

高性能の 480 MHz Arm<sup>®</sup> Cortex<sup>®</sup>-M85 コア (Helium<sup>™</sup>)、デュアルバンク、バックグラウンドおよび SWAP 動作に対応する最大 2 MB のコードフラッシュメモリ、12 KB のデータフラッシュメモリ、パリティ/ECC を備えた 1 MB の SRAM。高集積度のイーサネット MAC コントローラ、USB 2.0 フルスピード、CANFD、SDHI、I3C、および高度なアナログ機能。Arm<sup>®</sup> TrustZone と協調して動作する暗号化アクセラレータ、鍵管理サポート、改ざん検出、および電源分析耐性を備え、セキュア要素機能を有機的に結ぶ統合 Renesas セキュア IP。

## 特長

- Arm<sup>®</sup> Cortex<sup>®</sup>-M85 コア (Helium<sup>™</sup>)
  - Armv8.1-M アーキテクチャプロファイル
  - Armv8-M セキュリティ拡張
  - 最高動作周波数: 480 MHz
  - メモリプロテクションユニット (Arm MPU)
    - 保護メモリシステムアーキテクチャ (PMSAv8)
    - セキュア MPU (MPU\_S): 8 領域
    - 非セキュア MPU (MPU\_NS): 8 領域
  - SysTick タイマ
    - 2 つの SysTick タイマを搭載: セキュアおよび非セキュアインスタンス
    - CPUCLK または MOCO 駆動 (8 分周)
  - CoreSight<sup>™</sup> ETM-M85
- メモリ
  - 最大 2 MB のコードフラッシュメモリ
  - 12 KB のデータフラッシュメモリ (100,000 回のプログラム/イレース (P/E) サイクル)
  - 1 MB の SRAM (128 KB の TCM を含む)
- 接続性
  - シリアルコミュニケーションインタフェース (SCI) × 6、最大 60 Mbps
    - 非同期式インタフェース
    - 8 ビットクロック同期式インタフェース
    - スマートカードインタフェース
    - 簡易 IIC
    - 簡易 SPI
    - マンチェスタコーディング (SCI0)
    - 簡易 LIN (SCI0, SCI1)
  - I<sup>2</sup>C バスインタフェース (IIC) × 2
  - I<sup>3</sup>C バスインタフェース (I3C)
  - シリアルペリフェラルインタフェース (SPI) × 2、最大 60 Mbps
  - USB 2.0 フルスピードモジュール (USBFS)
  - CAN フレキシブルデータレート (CANFD) × 2
  - イーサネット MAC/DMA コントローラ (ETHERC/EDMAC)
  - SD/MMC ホストインタフェース (SDHI) × 2
- アナログ
  - 12 ビット A/D コンバータ (ADC12) × 2
  - 12 ビット D/A コンバータ (DAC12) × 2
  - 高速アナログコンパレータ (ACMPHS) × 2
  - 温度センサ (TSN)
- タイマ
  - 32 ビット汎用 PWM タイマ (GPT32) × 8
  - 16 ビット汎用 PWM タイマ (GPT16) × 6
  - 低消費電力非同期汎用タイマ (AGT) × 2
  - 超低消費電力タイマ (ULPT) × 2
- セキュリティおよび暗号化
  - Renesas セキュア IP (RSIP-E51A)
    - 対称暗号: AES
    - 非対称暗号: RSA, ECC
    - メッセージダイジェスト計算: HASH
    - 128 ビットのユニーク ID
  - Arm<sup>®</sup> TrustZone<sup>®</sup>
    - コードフラッシュ用領域: 最大 2 領域または 4 領域 (バンクモードによる)
    - データフラッシュ用領域: 最大 2 領域
    - SRAM 用領域: 最大 2 領域
    - 各周辺モジュール用個別セキュア/非セキュアセキュリティ属性
  - プリビレッジ制御
  - デバイスライフサイクルの管理
  - セキュアブート
- 端子機能
  - セキュア兼用端子
- システムおよび電源管理
  - 低消費電力モード
  - イベントリンクコントローラ (ELC)
  - データトランスファコントローラ (DTC)
  - DMA コントローラ (DMAC) × 8
  - パワーオンリセット
  - プログラマブル電圧検出機能 (PVD) を設定可能
  - ウォッチドッグタイマ (WDT)
  - 独立ウォッチドッグタイマ (IWDT)
- マルチクロックソース
  - メインクロック発振器 (MOSC) (8~48 MHz)
  - サブクロック発振器 (SOSC) (32.768 kHz)
  - 高速オンチップオシレータ (HOCO) (16/18/20/32/48 MHz)
  - 中速オンチップオシレータ (MOCO) (8 MHz)
  - 低速オンチップオシレータ (LOCO) (32.768 kHz)
  - HOCO/MOCO/LOCO に対するクロックトリム機能
  - PLL1/PLL2
  - クロックアウトのサポート
- 汎用入出力ポート
  - 5 V トレランス、オープンドレイン、入力プルアップ、切り替え可能駆動能力
- 動作電圧
  - VCC: 1.68~3.6 V
  - VCC2: 1.65~3.6 V
- 動作ジャンクション温度およびパッケージ
  - T<sub>j</sub> = -40 °C~+125 °C
    - 100 ピン LQFP (14 mm × 14 mm、0.5 mm ピッチ)
    - 144 ピン LQFP (20 mm × 20 mm、0.5 mm ピッチ)
    - 176 ピン LQFP (24 mm × 24 mm、0.5 mm ピッチ)
    - 224 ピン BGA (13 mm × 13 mm、0.8 mm ピッチ)

## 1. 概要

本 MCU は、さまざまなシリーズのソフトウェアと互換性のある Arm<sup>®</sup> ベースの 32 ビットコアで構成されています。同じ一連のルネサス周辺デバイスを共有することで、設計の拡張性やプラットフォームベースの製品開発の効率が高まります。

本シリーズの MCU は最高 480 MHz で動作する高性能の Arm<sup>®</sup> Cortex<sup>®</sup>-M85 コア (Helium<sup>™</sup>) を内蔵しており、以下の特長があります。

- 最大 2 MB のコードフラッシュメモリ
- 1 MB の SRAM (128 KB の TCM RAM、896 KB のユーザー SRAM)
- イーサネット MAC コントローラ (ETHERC)、USBFS、SD/MMC ホストインタフェース
- アナログ周辺機能
- セキュリティ&セーフティ機能

### 1.1 機能の概要

表 1.1 Arm コア

機能	機能の説明
Arm <sup>®</sup> Cortex <sup>®</sup> -M85 コア	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 最高動作周波数：480 MHz</li> <li>● Arm<sup>®</sup> Cortex<sup>®</sup>-M85 コア <ul style="list-style-type: none"> <li>– リビジョン：(r0p2-00rel0)</li> <li>– ARMv8.1-M アーキテクチャプロファイル</li> <li>– Armv8-M セキュリティ拡張</li> <li>– ANSI/IEEE 規格 754-2008 準拠浮動小数点ユニット (FPU) スカラーの半精度、単精度、および倍精度浮動小数点演算</li> <li>– M プロファイルベクタ拡張 (MVE) 整数、半精度、および単精度浮動小数点 MVE (MVE-F)</li> <li>– Helium<sup>™</sup> 技術は M プロファイルベクタ拡張 (MVE)</li> </ul> </li> <li>● Arm<sup>®</sup> メモリプロテクションユニット (Arm MPU) <ul style="list-style-type: none"> <li>– 保護メモリシステムアーキテクチャ (PMSAv8)</li> <li>– セキュア MPU (MPU_S): 8 領域</li> <li>– 非セキュア MPU (MPU_NS): 8 領域</li> </ul> </li> <li>● SysTick タイマ <ul style="list-style-type: none"> <li>– 2 つの SysTick タイマを搭載：セキュアインスタンス (SysTick_S) と非セキュアインスタンス (SysTick_NS)</li> <li>– CPUCLK または MOCO 駆動 (8 分周)</li> </ul> </li> <li>● CoreSight<sup>™</sup> ETM-M85</li> </ul>

表 1.2 メモリ

機能	機能の説明
コードフラッシュメモリ	最大 2 MB のコードフラッシュメモリです。
データフラッシュメモリ	12 KB のデータフラッシュメモリです。
オプション設定メモリ	オプション設定メモリは、MCU のリセット後の状態を決定します。
SRAM	パリティビットまたは誤り訂正コード (ECC) を備えた高速 SRAM を内蔵しています。SRAM0 は ECC です。SRAM1 はパリティチェックです。
スタンバイ SRAM	ディープソフトウェアスタンバイモード 1 でデータを保持できる内蔵 SRAM です。
ROM	内蔵不変 ROM はファーストステージブートローダー (FSBL) を含みます。

表 1.3 システム (1/2)

機能	機能の説明
動作モード	3 種類の動作モード： <ul style="list-style-type: none"> <li>● シングルチップモード</li> <li>● JTAG ブートモード</li> <li>● SCI/USB ブートモード</li> </ul>
リセット	本 MCU は 12 種類のリセットをサポートしています。

表 1.3 システム (2/2)

機能	機能の説明
プログラマブル電圧検出 (PVD)	プログラマブル電圧検出 (PVD) モジュールは、VCC 端子への入力電圧レベルを監視します。検出レベルはレジスタ設定で選択できます。PVD モジュールは 3 つの独立した電圧監視回路 (PVD0, PVD1, PVD2) から構成されています。PVD0、PVD1、および PVD2 は VCC 端子への入力電圧レベルを測定します。PVD のレジスタは、アプリケーションの設定により、さまざまな電圧しきい値で VCC 端子への入力電圧の変動の検出を設定できます。
クロック	<ul style="list-style-type: none"> <li>メインクロック発振器 (MOSC)</li> <li>サブクロック発振器 (SOSC)</li> <li>高速オンチップオシレータ (HOCO)</li> <li>中速オンチップオシレータ (MOCO)</li> <li>低速オンチップオシレータ (LOCO)</li> <li>PLL1/PLL2</li> <li>クロックアウトのサポート</li> </ul>
クロック周波数精度測定回路 (CAC)	クロック周波数精度測定回路 (CAC) は、測定の対象となるクロック (測定対象クロック) に対して、測定の基準となるクロック (測定基準クロック) で生成した時間内のクロックのパルスを数え、そのパルス数が許容範囲内にあるか否かで精度を判定します。測定終了時、または測定基準クロックで生成した時間内のパルスの数が許容範囲内がないとき、割り込み要求が発生します。
割り込みコントローラユニット (ICU)	割り込みコントローラユニット (ICU) は、ネスト型ベクタ割り込みコントローラ (NVIC)、DMA コントローラ (DMAC)、およびデータトランスファコントローラ (DTC) モジュールにリンクされるイベント信号を制御します。ICU はノンマスクابل割り込みも制御します。
低消費電力モード	消費電力は、以下に示す複数の方法で低減できます。その方法には、クロック分周器の設定、EBCLK 出力制御、SDCLK 出力制御、モジュール停止、パワーゲート制御、通常動作時の動作電力制御モードの選択、低消費電力モードやプロセッサ低消費電力モードへの移行があります。
レジスタライトプロテクション	レジスタライトプロテクション機能は、ソフトウェアエラーによって重要なレジスタが書き換えられないように保護します。保護対象のレジスタは、プロテクトレジスタ (PRCR_S と PRCR_NS) で設定します。
メモリプロテクションユニット (MPU)	すべてのバスマスタはメモリプロテクションユニット (MPU) を備えています。

表 1.4 イベントリンク

機能	機能の説明
イベントリンクコントローラ (ELC)	イベントリンクコントローラ (ELC) は、さまざまな周辺モジュールで発生するイベント要求をソース信号として使用し、それらのモジュールを別のモジュールと接続することによって、CPU を介さずにモジュール間の直接リンクを実現します。

表 1.5 ダイレクトメモリアクセス

機能	機能の説明
データトランスファコントローラ (DTC)	データトランスファコントローラ (DTC) は、割り込み要求によって起動するとデータ転送を行います。
DMA コントローラ (DMAC)	8 チャンネルのダイレクトメモリアクセスコントローラ (DMAC) は CPU を介さずにデータ転送が可能です。DMA 転送要求が発生すると、DMAC は転送元アドレスに格納されているデータを転送先アドレスへ転送します。

表 1.6 外部バスインタフェース

機能	機能の説明
外部バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>CS 領域 (ECBI) : 外部デバイス (外部メモリアンタフェース) を接続</li> <li>SDRAM 領域 (ECBI) : SDRAM (外部メモリアンタフェース) を接続</li> </ul>

表 1.7 タイマ (1/2)

機能	機能の説明
汎用 PWM タイマ (GPT)	汎用 PWM タイマ (GPT) は、GPT32 × 8 チャンネルの 32 ビットタイマおよび GPT16 × 6 チャンネルの 16 ビットタイマにより構成されます。PWM 波形はアップカウンタ、ダウンカウンタ、またはその両方を制御することにより生成が可能です。さらに、ブラシレス DC モーター制御用の PWM 波形の生成が可能です。GPT は、汎用タイマとしても使用できます。
GPT 用のポートアウトプットイネーブル (POEG)	ポートアウトプットイネーブル (POEG) は、汎用 PWM タイマ (GPT) の出力端子を出力禁止状態にすることができます。

表 1.7 タイマ (2/2)

機能	機能の説明
低消費電力非同期汎用タイマ (AGT)	低消費電力非同期汎用タイマ (AGT) は、パルス出力、外部パルスの幅または周期の測定、および外部イベントのカウンタに利用可能な 16 ビットのタイマです。このタイマは、リロードレジスタとダウンカウンタで構成されています。これらのリロードレジスタとダウンカウンタは、同一アドレスに配置され、AGT レジスタでアクセス可能です。
超低消費電力タイマ (ULPT)	超低消費電力タイマ (ULPT) は、パルス出力または外部イベントのカウンタに使用可能な 32 ビットタイマです。この 32 ビットタイマは、リロードレジスタとダウンカウンタで構成されています。これらのリロードレジスタとダウンカウンタは、同一アドレスに配置され、ULPTCNT レジスタでアクセス可能です。
ウォッチドッグタイマ (WDT)	ウォッチドッグタイマ (WDT) は 14 ビットのダウンカウンタです。システムが暴走すると WDT をリフレッシュできなくなるため、カウンタがアンダーフローした際に MCU をリセットするのに使用できます。さらに、WDT はノンマスカブル割り込みまたはアンダーフロー割り込みを発生させるのに使用できます。
独立ウォッチドッグタイマ (IWDT)	独立ウォッチドッグタイマ (IWDT) には、14 ビットのダウンカウンタがあり、ダウンカウンタのアンダーフロー時のリセット出力によって、MCU をリセットします。代替的には、カウンタのアンダーフロー時の割り込み要求の発生を選択できます。これにより、リフレッシュインターバルを考慮して、プログラムの暴走を検出できます。IWDT には、次の 2 種類のスタートモードがあります。オートスタートモードでは、リセット状態の解除後にカウントを自動的に開始します。また、レジスタスタートモードでは、リフレッシュ (特定のレジスタへの書き込み) により、カウントを開始します。

表 1.8 通信インタフェース (1/2)

機能	機能の説明
シリアルコミュニケーションインタフェース (SCI)	シリアルコミュニケーションインタフェース (SCI) × 6 チャンネルには、調歩同期式および同期式のシリアルインタフェースがあります。 シリアルインタフェース : <ul style="list-style-type: none"> <li>調歩同期式インタフェース (UART および調歩同期式通信インタフェースアダプタ (ACIA))</li> <li>8 ビットクロック同期式インタフェース</li> <li>簡易 IIC (マスタのみ)</li> <li>簡易 SPI</li> <li>スマートカードインタフェース</li> <li>マンチェスタインタフェース</li> <li>簡易 LIN インタフェース</li> </ul> スマートカードインタフェースは、電子信号と伝送プロトコルに関して ISO/IEC 7816-3 規格に準拠しています。すべてのチャンネルは FIFO バッファを内蔵しており、連続した全二重通信が可能です。また、内蔵のポーレートジェネレータを用いて、データ転送速度の個別設定が可能です。 本 MCU では、最大レートがサポートされています。実際のレートについては、電気的特性を参照してください。
I <sup>2</sup> C バスインタフェース (IIC)	I <sup>2</sup> C バスインタフェース (IIC) には 2 チャンネルあります。IIC モジュールは、NXP 社の I <sup>2</sup> C (Inter-Integrated Circuit) バスインタフェース方式に準拠しており、そのサブセット機能を備えています。
I <sup>3</sup> C バスインタフェース (I3C)	I <sup>3</sup> C バスインタフェース (I3C) には 1 チャンネルあります。I3C モジュールは、NXP 社の I <sup>2</sup> C (Inter-Integrated Circuit) および MIPI 社の I3C バスインタフェース方式に準拠しており、それらのサブセット機能を備えています。
シリアルペリフェラルインタフェース (SPI)	シリアルペリフェラルインタフェース (SPI) によって、複数のプロセッサおよび周辺デバイスとの高速な全二重同期式シリアル通信が可能です。 本 MCU では、最大レートがサポートされています。実際のレートについては、電気的特性を参照してください。
Control Area Network with Flexible Data-Rate モジュール (CANFD)	CAN with Flexible Data-Rate (CANFD) モジュールは、クラシカル CAN フレームと ISO 11898-1 規格に準拠する CANFD フレームの両方を取り扱うことができます。 本モジュールはチャンネルごとに 4 個の送信バッファと 16 個の受信バッファをサポートしています。
USB 2.0 フルスピードモジュール (USBFS)	ホストコントローラまたはデバイスコントローラとして動作可能な USB 2.0 フルスピードモジュール (USBFS) です。このモジュールは、ユニバーサルシリアルバス規格 2.0 のフルスピードおよびロースピード転送 (ホストコントローラのみ) をサポートしています。また USB トランシーバを内蔵しており、ユニバーサルシリアルバス規格 2.0 で定義されている全転送タイプに対応しています。USB はデータ転送用にバッファメモリを内蔵し、最大 10 本のパイプを使用できます。パイプ 1~9 に対しては、通信を行う周辺デバイスやユーザーシステムに合わせた任意のエンドポイント番号の割り付けが可能です。

表 1.8 通信インタフェース (2/2)

機能	機能の説明
SD/MMC ホストインタフェース (SDHI)	セキュアデジタル (SD) カードホストインタフェースおよびマルチメディアカード (MMC) ホストインタフェースは、各種の外付けメモリカードと MCU との接続に必要な機能を提供します。SDHI は、SD、SDHC、および SDXC フォーマットに対応するメモリカードを接続するために 1 ビットと 4 ビットのバスをサポートしています。SD 規格に対応したホストデバイスを開発するには、SD Host/Ancillary Product License Agreement (SD HALA) に準拠する必要があります。MMC インタフェースは、eMMC 4.51 (JEDEC Standard JESD 84-B451) デバイスアクセスを可能にする 1 ビット、4 ビット、および 8 ビットの MMC バスをサポートしています。このインタフェースには下位互換性があり、高速 SDR 転送モードもサポートしています。
イーサネットコントローラ (ETHERC)	イーサネット/IEEE802.3 の Media Access Control (MAC) 層規格に準拠した 1 チャネルのイーサネットコントローラ (ETHERC) です。ETHERC は MAC 層のインタフェースを 1 チャネル内蔵しており、MCU を物理層の LSI (PHY-LSI) に接続することにより、イーサネット/IEEE802.3 規格に準拠したフレームの送受信が可能です。ETHERC はイーサネット DMA コントローラ (EDMAC) に接続されているため、CPU を介することなくデータを転送できます。

表 1.9 アナログ機能

機能	機能の説明
12 ビット A/D コンバータ (ADC12)	12 ビットの逐次比較方式の A/D コンバータを内蔵しています。最大 25 チャネルのアナログ入力を選択可能です。変換には温度センサ出力、内部基準電圧を選択可能です。
12 ビット D/A コンバータ (DAC12)	12 ビットの D/A コンバータ (DAC12) を内蔵しています。
温度センサ (TSN)	デバイス動作の信頼性確保のため、内蔵されている温度センサ (TSN) でチップの温度を測定し、監視します。センサはチップの温度と正比例する電圧を出力します。チップ温度と出力電圧はほとんどリニアの関係にあります。出力電圧は ADC12 で変換されてから、末端の応用機器で使用できます。
高速アナログコンパレータ (ACMPHS)	高速アナログコンパレータ (ACMPHS) は、アナログ入力電圧と基準電圧の比較、および変換結果に基づいたデジタル出力に使用できます。アナログ入力電圧と基準電圧は、どちらも内部ソース (D/A コンバータ出力または内部基準電圧) および外部ソースから ACMPHS に供給できます。このような柔軟性は、A/D 変換を行うことなくアナログ信号間の合否判定を実施する必要があるアプリケーションで有用です。

表 1.10 データ処理

機能	機能の説明
巡回冗長検査 (CRC) 演算器	巡回冗長検査 (CRC: Cyclic Redundancy Check) 演算器は、CRC コードを生成してデータエラーを検出します。LSB ファーストまたは MSB ファーストでの通信用に、CRC 演算結果のビットオーダーを切り替えることができます。さらに、さまざまな CRC 生成多項式を使用できます。スヌープ機能は、特定のアドレスに対する読み出しと書き込みを監視するのを許可します。この機能は、シリアル送信バッファへの書き込みとシリアル受信バッファからの読み出しを監視する場合など、特定のイベントで CRC コードの自動生成が必要となるアプリケーションで役立ちます。
データ演算回路 (DOC)	データ演算回路 (DOC) は、32 ビットのデータを比較、加算、および減算します。選択した条件が適用される場合、32 ビットのデータが比較され、割り込みを生成可能です。

表 1.11 セキュリティ

機能	機能の説明
セキュリティ機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ARMv8-M TrustZone セキュリティ</li> <li>● プリビレッジ制御</li> <li>● デバイスライフサイクルの管理</li> <li>● 認証レベル (AL)</li> <li>● キーインジェクション</li> <li>● セキュア兼用端子</li> <li>● セキュアブート</li> <li>● セキュアファクトリプログラミング</li> </ul>
Renesas セキュア IP (RSIP-E51A)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 対称暗号: AES</li> <li>● 非対称暗号: RSA, ECC</li> <li>● メッセージダイジェスト計算: HASH</li> <li>● 128 ビットの真性乱数生成回路</li> <li>● 256 ビットのハードウェアユニークキー (HUK)</li> <li>● 128 ビットのユニーク ID</li> <li>● OEM ブートローダーバージョン</li> <li>● SPA/DPA 保護</li> </ul>

## 1.2 ブロック図

図 1.1 に、本 MCU のスーパーセットのブロック図を示します。グループ内の個々のデバイスは、その機能のサブセットを持つ場合があります。

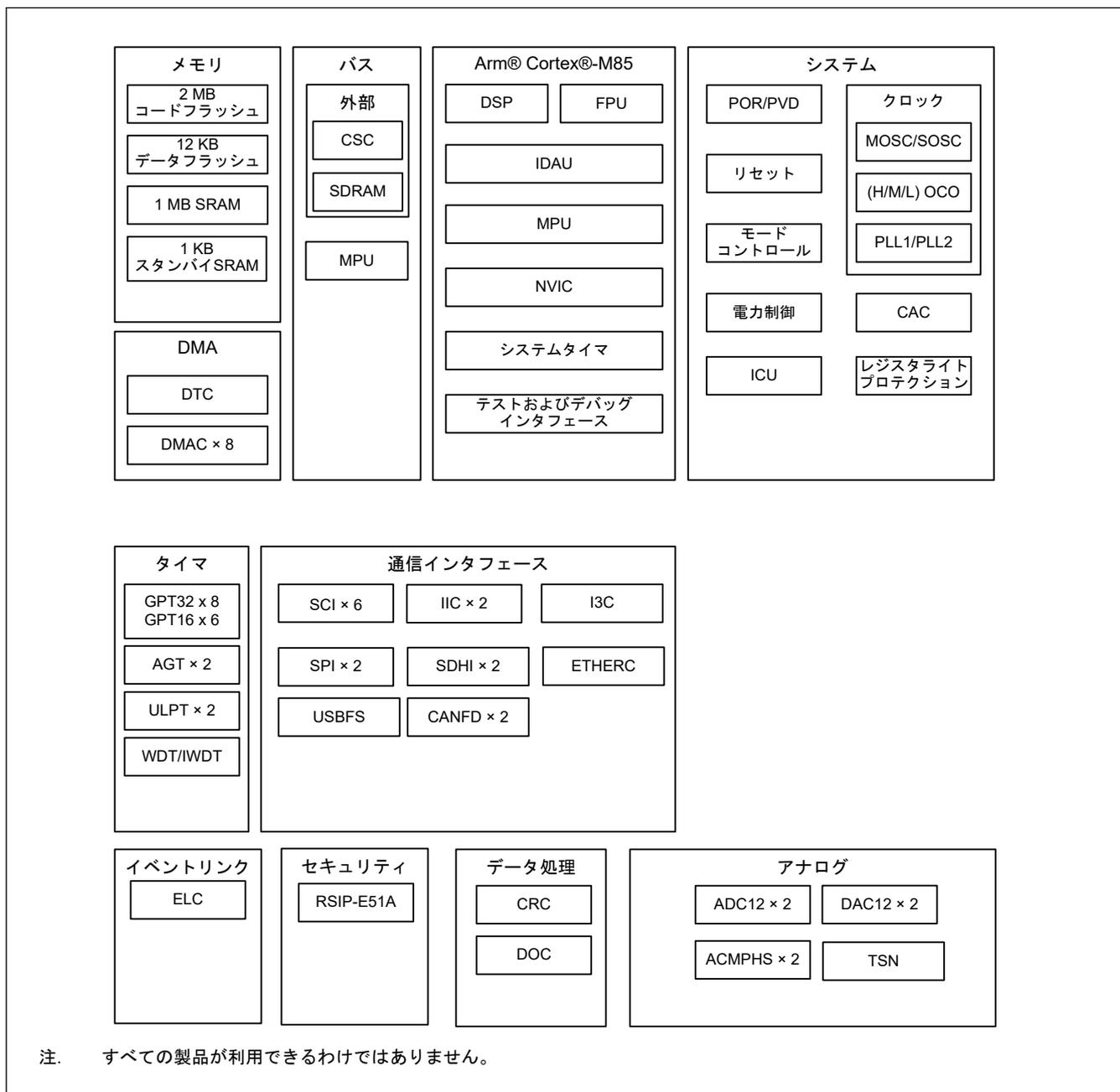


図 1.1 ブロック図

## 1.3 型名

図 1.2 に、メモリ容量およびパッケージタイプを含む製品の型名情報を示します。表 1.12 に、製品一覧表を示します。

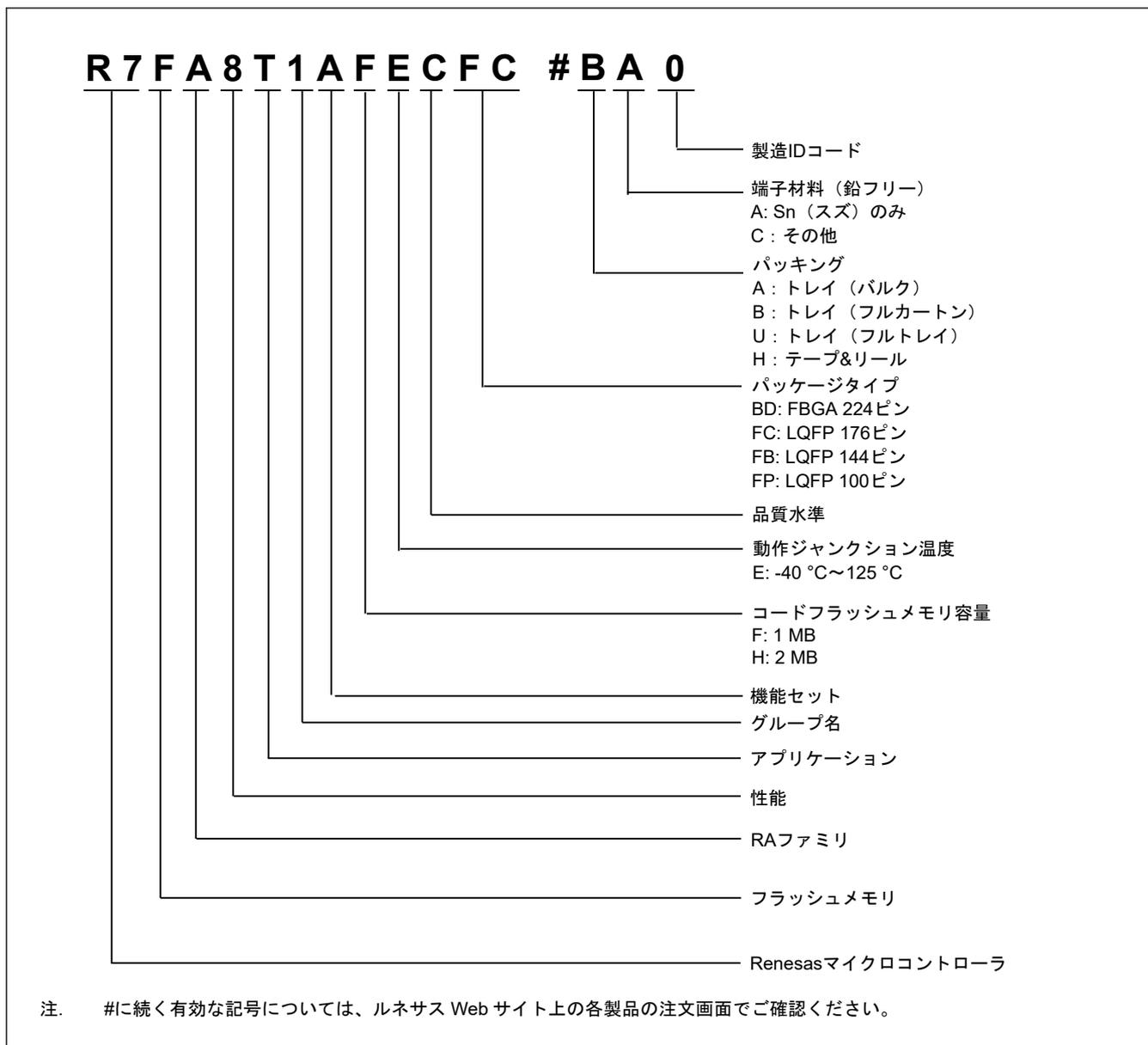


図 1.2 型名の読み方

表 1.12 製品一覧

製品型名	パッケージコード	コードフラッシュ	データフラッシュ	SRAM	動作ジャンクション温度
R7FA8T1AHECBD	PLBG0224GD-A	2 MB	12 KB	1 MB	-40~+125 °C
R7FA8T1AHECFC	PLQP0176KJ-A				
R7FA8T1AHECFB	PLQP0144KA-B				
R7FA8T1AHECFP	PLQP0100KP-A				
R7FA8T1AFECBD	PLBG0224GD-A	1 MB			
R7FA8T1AFECFC	PLQP0176KJ-A				
R7FA8T1AFECFB	PLQP0144KA-B				
R7FA8T1AFECFP	PLQP0100KP-A				

## 1.4 機能の比較

表 1.13 機能の比較 (1/2)

型名	R7FA8T1AxECBD	R7FA8T1AxECFC	R7FA8T1AxECFB	R7FA8T1AxECFP	
端子総数	224	176	144	100	
パッケージ	BGA	LQFP			
I/O ポート	174	128	106	70	
コードフラッシュメモリ	2 MB, 1 MB				
データフラッシュメモリ	12 KB				
TCM	128 KB				
I/D キャッシュ	32 KB				
SRAM	896 KB				
	パリティ	512 KB			
	ECC	384 KB			
スタンバイ SRAM	1 KB				
DMA	DTC	あり			
	DMAC	8			
バス	外部バス	32 ビットバス	16 ビットバス	なし	
	SDRAM	32 ビットバス	16 ビットバス	なし	
システム	CPU クロック	最高 480 MHz	最高 400 MHz	最高 360 MHz	
	CPU クロックソース	MOSC, SOSC, HOCO, MOCO, PLL1P			
	CAC	あり			
	WDT/IWDT	あり			
通信	SCI	6			
	IIC	2			
	I3C	あり			
	SPI	2			
	CANFD	2			
	USBFS	あり			
	SDHI/MMC	2			
	ETHERC	あり			
タイマ	GPT32 <sup>(注1)</sup>	8			
	GPT16 <sup>(注1)</sup>	6			
	AGT <sup>(注1)</sup>	2			
	ULPT <sup>(注1)</sup>	2			
アナログ	ADC12	ユニット 0: 12 ユニット 1: 13 共用チャネル端子: 4 <sup>(注2)</sup>	ユニット 0: 12 ユニット 1: 12 共用チャネル端子: 4 <sup>(注2)</sup>	ユニット 0: 11 ユニット 1: 8 共用チャネル端子: 3 <sup>(注2)</sup>	ユニット 0: 6 ユニット 1: 5 共用チャネル端子: 0 <sup>(注2)</sup>
	DAC12	2			
	ACMPHS	2			
	TSN	あり			
データ処理	CRC	あり			
	DOC	あり			
イベント制御	ELC	あり			

表 1.13 機能の比較 (2/2)

型名	R7FA8T1AxECBD	R7FA8T1AxECFC	R7FA8T1AxECFB	R7FA8T1AxECFP
セキュリティ	RSIP-E51A、セキュアデバッグ、セキュアブート、イミュータブルストレージ、TrustZone、セキュアファクトリプログラミング、ライフサイクルの管理			

注. 製品型名は、メモリサイズをサポートしているかどうかによって異なります。「1.3. 型名」を参照してください。

注 1. 使用できる端子は端子数によって異なります。詳細は、「1.7. 端子一覧」を参照してください。

注 2. ADC ユニットの一部の入力チャネルは同一のポート端子を共用しています。

## 1.5 端子機能

表 1.14 端子機能 (1/6)

機能	信号	入出力	説明
電源	VCC、VCC2	入力	電源端子。システムの電源に接続してください。この端子は0.1 μFのコンデンサを介してVSS端子に接続してください。コンデンサは端子近くに配置してください。
	VCC_DCDC	入力	スイッチングレギュレータ電源端子
	VLO	入出力	スイッチングレギュレータ端子
	VCL	入力	この端子は、内部電源を安定化するための平滑コンデンサを介してVSS端子に接続してください。コンデンサは端子近くに配置してください。
	VSS、VSS_DCDC	入力	グランド端子。システムの電源(0 V)に接続してください。
クロック	XTAL	出力	水晶振動子用の接続端子。EXTAL端子を通じて外部クロック信号の入力が可能です。
	EXTAL	入力	
	XCIN	入力	サブクロック発振器用の入出力端子。XCOUTとXCINの間には、水晶振動子を接続してください。
	XCOUT	出力	
	EXCIN	入力	外部サブクロック入力
	CLKOUT	出力	クロック出力端子
動作モード制御	MD	入力	動作モード設定用の端子。本端子の信号レベルは、リセット解除時の動作モードの遷移中に変更しないでください。
システム制御	RES	入力	リセット信号入力端子。本端子がLowになると、MCUはリセット状態となります。
CAC	CACREF	入力	測定基準クロックの入力端子
オンチップエミュレータ	TMS	入力	オンチップエミュレータ用またはバウンダリスキャン用端子
	TDI	入力	
	TCK	入力	
	TDO	出力	
	TCLK	出力	トレースデータと同期をとるためのクロックを出力します。
	TDATA0~TDATA3	出力	トレースデータ出力
	SWO	出力	シリアルワイヤトレース出力端子
	SWDIO	入出力	シリアルワイヤデバッグデータの入出力端子
	SWCLK	入力	シリアルワイヤクロック端子
割り込み	NMI	入力	ノンマスクブル割り込み要求端子
	IRQn	入力	マスクブル割り込み要求端子
	IRQn-DS	入力	マスクブル割り込み要求端子は、ディープソフトウェアスタンバイモード時でも使用できます。

表 1.14 端子機能 (2/6)

機能	信号	入出力	説明
外部バスインタフェース	EBCLK	出力	外部デバイス用の外部バスクロックを出力します。
	RD	出力	外部バスインタフェース空間から読み出し中であることを示すストロープ信号、アクティブ Low
	WR	出力	1 ライトストロープモード時、外部バスインタフェース空間に書き込み中であることを示すストロープ信号、アクティブ Low
	WRn	出力	バイトストロープモード時、外部バスインタフェース空間に書き込み中で、データバス端子 (D07~D00, D15~D08, D23~D16, D31~D24) のいずれかが有効であることを示すストロープ信号、アクティブ Low
	BCn	出力	1 ライトストロープモード時、外部バスインタフェース空間にアクセス中で、データバス端子 (D07~D00, D15~D08, D23~D16, D31~D24) のいずれかが有効であることを示すストロープ信号、アクティブ Low
	ALE	出力	アドレス/データマルチプレクスバス選択時のアドレスラッチ信号
	WAIT	入力	外部空間にアクセスするときのウェイト要求信号用の入力端子、アクティブ Low
	CSn	出力	CS 領域選択信号、アクティブ Low
	A00~A23	出力	アドレスバス
	D00~D31	入出力	データバス
	A00/D00~A15/D15	入出力	アドレス/データマルチプレクスバス
SDRAM インタフェース	SDCLK	出力	SDRAM 専用クロックを出力します。
	CKE	出力	SDRAM クロックイネーブル信号
	SDCS	出力	SDRAM のチップセレクト信号、アクティブ Low
	RAS	出力	SDRAM Low アドレスストロープ信号、アクティブ Low
	CAS	出力	SDRAM 列アドレスストロープ信号、アクティブ Low
	WE	出力	SDRAM ライトイネーブル信号、アクティブ Low
	DQMn	出力	SDRAM 入出力データマスクイネーブル信号 (DQ07~DQ00, DQ15~DQ08, DQ23~DQ16, DQ31~DQ24)
	A00~A16	出力	アドレスバス
	DQ00~DQ31	入出力	データバス
GPT	GTETRG A、GTETRG B、GTETRG C、GTETRG D	入力	外部トリガ入力端子
	GTIO Cn A、GTIO Cn B	入出力	インプットキャプチャ、アウトプットコンペア、または PWM 出力端子
	GTADSM0、GTADSM1	出力	A/D 変換開始要求モニタリング出力端子
	GTIU	入力	ホールセンサ入力端子 U
	GTIV	入力	ホールセンサ入力端子 V
	GTIW	入力	ホールセンサ入力端子 W
	GTOUUP	出力	BLDC モーター制御用 3 相 PWM 出力 (正相 U 相)
	GTOULO	出力	BLDC モーター制御用 3 相 PWM 出力 (逆相 U 相)
	GTOVUP	出力	BLDC モーター制御用 3 相 PWM 出力 (正相 V 相)
	GTOVLO	出力	BLDC モーター制御用 3 相 PWM 出力 (逆相 V 相)
	GTOWUP	出力	BLDC モーター制御用 3 相 PWM 出力 (正相 W 相)
	GTOWLO	出力	BLDC モーター制御用 3 相 PWM 出力 (逆相 W 相)

表 1.14 端子機能 (3/6)

機能	信号	入出力	説明
AGT	AGTEEn	入力	外部イベント入力カインェブル信号
	AGTIOn	入出力	外部イベント入力およびパルス出力端子
	AGTOOn	出力	パルス出力端子
	AGTOAn	出力	出力コンペアマッチ A 出力端子
	AGTOBn	出力	出力コンペアマッチ B 出力端子
ULPT	ULPTEEn	入力	外部カウント制御入力
	ULPTEVIn	入力	外部イベント入力
	ULPTOn	出力	パルス出力
	ULPTOAn	出力	出力コンペアマッチ A 出力
	ULPTOBn	出力	出力コンペアマッチ B 出力
	ULPTEEn-DS	入力	外部カウント制御入力はディープソフトウェアスタンバイモード 1 時も使用できます。
	ULPTEVIn-DS	入力	外部イベント入力はディープソフトウェアスタンバイモード 1 時も使用できます。
	ULPTOn-DS	出力	パルス出力はディープソフトウェアスタンバイモード 1 時も使用できます。
	ULPTOAn-DS	出力	出力コンペアマッチ A 出力はディープソフトウェアスタンバイモード 1 時も使用できます。
	ULPTOBn-DS	出力	出力コンペアマッチ B 出力はディープソフトウェアスタンバイモード 1 時も使用できます。
SCI	SCKn	入出力	クロック用の入出力端子 (クロック同期式モード)
	RXDn	入力	受信データ用の入力端子 (調歩同期式モード/クロック同期式モード)
	TXDn	出力	送信データ用の出力端子 (調歩同期式モード/クロック同期式モード)
	CTS <sub>n</sub> _RTS <sub>n</sub>	入出力	送受信の開始制御用の入出力端子 (調歩同期式モード/クロック同期式モード)、アクティブ Low
	CTS <sub>n</sub>	入力	送信の開始用の入力端子
	DEn	出力	RS-485 用のドライバインェブル信号
	SCLn	入出力	IIC クロック用の入出力端子 (簡易 IIC モード)
	SDAn	入出力	IIC データ用の入出力端子 (簡易 IIC モード)
	SCKn	入出力	クロック用の入出力端子 (簡易 SPI モード)
	MISO <sub>n</sub>	入出力	データのスレーブ送信用の入出力端子 (簡易 SPI モード)
	MOSI <sub>n</sub>	入出力	データのマスタ送信用の入出力端子 (簡易 SPI モード)
	SS <sub>n</sub>	入力	チップセレクト入力端子 (簡易 SPI モード)、アクティブ Low
IIC	SCLn	入出力	クロック用の入出力端子
	SDAn	入出力	データ用の入出力端子
I3C	I3C_SCL0	入出力	クロック用の入出力端子
	I3C_SDA0	入出力	データ用の入出力端子
SPI	RSPCKA、RSPCKB	入出力	クロック入出力端子
	MOSIA、MOSIB	入出力	マスタからの出力データ用の入出力端子
	MISOA、MISOB	入出力	スレーブからの出力データ用の入出力端子
	SSLA0、SSLB0	入出力	スレーブ選択用の入出力端子
	SSLA1~SSLA3、SSLB1~SSLB3	出力	スレーブ選択用の出力端子

表 1.14 端子機能 (4/6)

機能	信号	入出力	説明
CANFD	CRXn	入力	受信データ
	CTXn	出力	送信データ
USBFS	VCC_USB	入力	電源端子
	VSS_USB	入力	グランド端子
	USB_DP	入出力	USB 内蔵トランシーバ D+端子。この端子は USB バスの D+端子に接続してください。
	USB_DM	入出力	USB 内蔵トランシーバ D-端子。この端子は USB バスの D-端子に接続してください。
	USB_VBUS	入力	USB ケーブル接続モニタ端子。USB バスの VBUS に接続してください。ファンクションコントローラ機能選択時の VBUS の接続/切断を検出できます。
	USB_EXICEN	出力	外部電源 (OTG) チップの低消費電力制御信号
	USB_VBUSEN	出力	外部電源チップへの VBUS (5 V) 供給許可信号
	USB_OVRCURA、 USB_OVRCURB	入力	これらの端子には外部過電流検出信号を接続してください。OTG 電源チップとの接続時には VBUS コンパレータ信号を接続してください
	USB_OVRCURA-DS、 USB_OVRCURB-DS	入力	USBFS 用のオーバーカレント端子はディープソフトウェアスタンバイモード 1 時も使用できます。 これらの端子には外部過電流検出信号を接続してください。 OTG 電源チップとの接続時には VBUS コンパレータ信号を接続してください
	USB_ID	入力	OTG 動作時に MicroAB コネクタの ID 入力信号を接続してください。
SDHI/MMC	SDnCLK	出力	SD クロック出力端子
	SDnCMD	入出力	コマンド出力端子、レスポンス入力信号端子
	SDnDATA0~SDnDATA7	入出力	SD/MMC データバス端子
	SDnCD	入力	SD カード検出端子
	SDnWP	入力	SD 書き込み保護信号

表 1.14 端子機能 (5/6)

機能	信号	入出力	説明
ETHERC	REF50CK0	入力	50 MHz 基準クロック。この端子は、RMII モード時に送受信タイミング用の基準信号を入力します。
	RMII0_CRS_DV	入力	RMII モード時のキャリア検出信号。有効な受信データが RMII0_RXD1 と RMII0_RXD0 上にあることを示します。
	RMII0_TXDn	出力	RMII モード時、2 ビットの送信データ
	RMII0_RXDn	入力	RMII モード時、2 ビットの受信データ
	RMII0_TXD_EN	出力	RMII モード時のデータ送信イネーブル信号
	RMII0_RX_ER	入力	RMII モード時にデータ受信中にエラーが発生したことを示す信号
	ET0_CRS	入力	キャリア検出/データ受信イネーブル信号
	ET0_RX_DV	入力	有効な受信データが ET0_ERXD3~ET0_ERXD0 上にあることを示す信号
	ET0_EXOUT	出力	汎用外部出力端子
	ET0_LINKSTA	入力	PHY-LSI からのリンク状態を入力
	ET0_ETXDn	出力	MII の 4 ビット送信データ
	ET0_ERXDn	入力	MII の 4 ビット受信データ
	ET0_TX_EN	出力	送信イネーブル信号。ET0_ETXD3~ET0_ETXD0 上に送信データが準備できたことを示す信号として機能します。
	ET0_TX_ER	出力	送信エラー端子。送信中のエラーを PHY_LSI に通知する信号として機能します。
	ET0_RX_ER	出力	受信エラー端子。データ受信中に発生したエラー状態を認識する信号として機能します。
	ET0_TX_CLK	入力	送信クロック端子。これらの端子は、ET0_TX_EN、ET0_ETXD3~ET0_ETXD0、および ET0_TX_ER からの出力タイミング用の基準信号を入力します。
	ET0_RX_CLK	入力	受信クロック端子。これらの端子は、ET0_RX_DV、ET0_ERXD3~ET0_ERXD0、および ET0_RX_ER への入力タイミング用の基準信号を入力します。
	ET0_COL	入力	衝突検出信号
	ET0_WOL	出力	Magic Packet 受信を示す信号
	ET0_MDC	出力	ET0_MDIO による情報転送用の基準クロック出力信号
ET0_MDIO	入出力	PHY-LSI と管理情報を交換するための双方向入出力信号	
アナログ電源	AVCC0	入力	アナログ電圧源端子。それぞれのモジュールのアナログ電源端子として使用されます。
	AVSS0	入力	アナロググランド端子。それぞれのモジュールのアナロググランド端子として使用されます。この端子には VSS 端子と同じ電圧を供給してください。
	VREFH	入力	ADC12 (ユニット 1) と D/A コンバータ用のアナログ基準電圧源端子。ADC12 (ユニット 1) および D/A コンバータを使用しない場合は AVCC0 に接続してください。
	VREFL	入力	ADC12 および D/A コンバータのアナログ基準グランド端子。ADC12 (ユニット 1) および D/A コンバータを使用しない場合は AVSS0 に接続してください。
	VREFH0	入力	ADC12 (ユニット 0) 用のアナログ基準電圧源端子。ADC12 (ユニット 0) を使用しない場合は AVCC0 に接続してください。
	VREFL0	入力	ADC12 用のアナログ基準グランド端子。ADC12 (ユニット 0) を使用しない場合は AVSS0 に接続してください。
ADC12	ANmn	入力	A/D コンバータで処理されるアナログ信号用の入力端子。 (m: ADC ユニット番号、n: ピン番号)
	ADTRGm	入力	A/D 変換を開始する外部トリガ信号用の入力端子、アクティブ Low

表 1.14 端子機能 (6/6)

機能	信号	入出力	説明
DAC12	DAn	出力	D/A コンバータで処理されるアナログ信号用の出力端子
ACMPHS	VCOUT	出力	コンパレータ出力端子
	IVREFn	入力	コンパレータ用基準電圧入力端子
	IVCMPn	入力	コンパレータ用アナログ電圧入力端子
I/O ポート	Pmn	入出力	汎用入出力端子 (m : ポート番号、n : ピン番号)
	P200	入力	汎用入力端子

### 1.6 ピン配置図

以下にピン配置図（上面図）を示します。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
A	NC	P301	P304	P306	P308	P905	P909	VCL	RES	P314	P202	P204	VCC_USB	P814/USB_DP	P413	A
B	P609	P112	P302	P305	P307	P311	P907	P200	P901	P313	P203	P205	VSS_USB	P815/USB_DM	P408	B
C	PA14	P114	P113	P303	P915	P309	P906	P908	P903	P900	P315	VSS	P207	P415	P412	C
D	P611	PA12	P115	PA11	P300	P310	P312	P210/TMS/SWDIO	P904	P902	P206	P407	P411	P410	P414	D
E	PA09	P613	P615	P610	PA13	P911	P910	P913	P201/MD	P211/TCK/SWCLK	P409	P712	P708	P710	P709	E
F	VCL	PA10	P612	P614	PA15	P914	P912	P208/TDI	P209/TDO	P711	P715	VCC	VCC	NC	NC	F
G	VCC_DCDC	VCC_DCDC	PA08	PA03	PA07	VCL	VSS	VSS	VCC	P714	P713	VCC	NC	VSS	VSS	G
H	VLO	VLO	PA01	PA00	PA05	VCL	VSS	VSS	VCC	PB04	PB05	VSS	VCC	P213/XTAL	P212/EXTAL	H
J	VSS_DCDC	VSS	VCC2	P607	P813	VCC	VSS	VSS	VCC	PB02	PB06	PB07	VSS	XCOUT	XCIN	J
K	P107	P106	P600	P601	P605	PA02	P503	P505	P511	P705	P707	P704	P706	VCC	VCL	K
L	P104	P103	P105	P602	PA06	PA04	P507	P509	P009	P404	P703	P701	P702	PB00	PB01	L
M	P102	P101	P800	P603	P606	P811	P508	P010	P011	P007	P805	P402	P406/EXCIN	P700	PB03	M
N	P100	P801	P803	P604	P504	P506	P510	AVCC0	AVSS0	P005	P806	P807	P512	P403	P405	N
P	P802	P804	VCC2	P810	P500	P502	P014	VREFL	VREFL0	P004	P003	P001	P513	P514	P401	P
R	P808	P809	VSS	P812	P501	VCL	P015	VREFH	VREFH0	P008	P006	P002	P000	P515	P400	R
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	

図 1.3 224 ピン BGA のピン配置



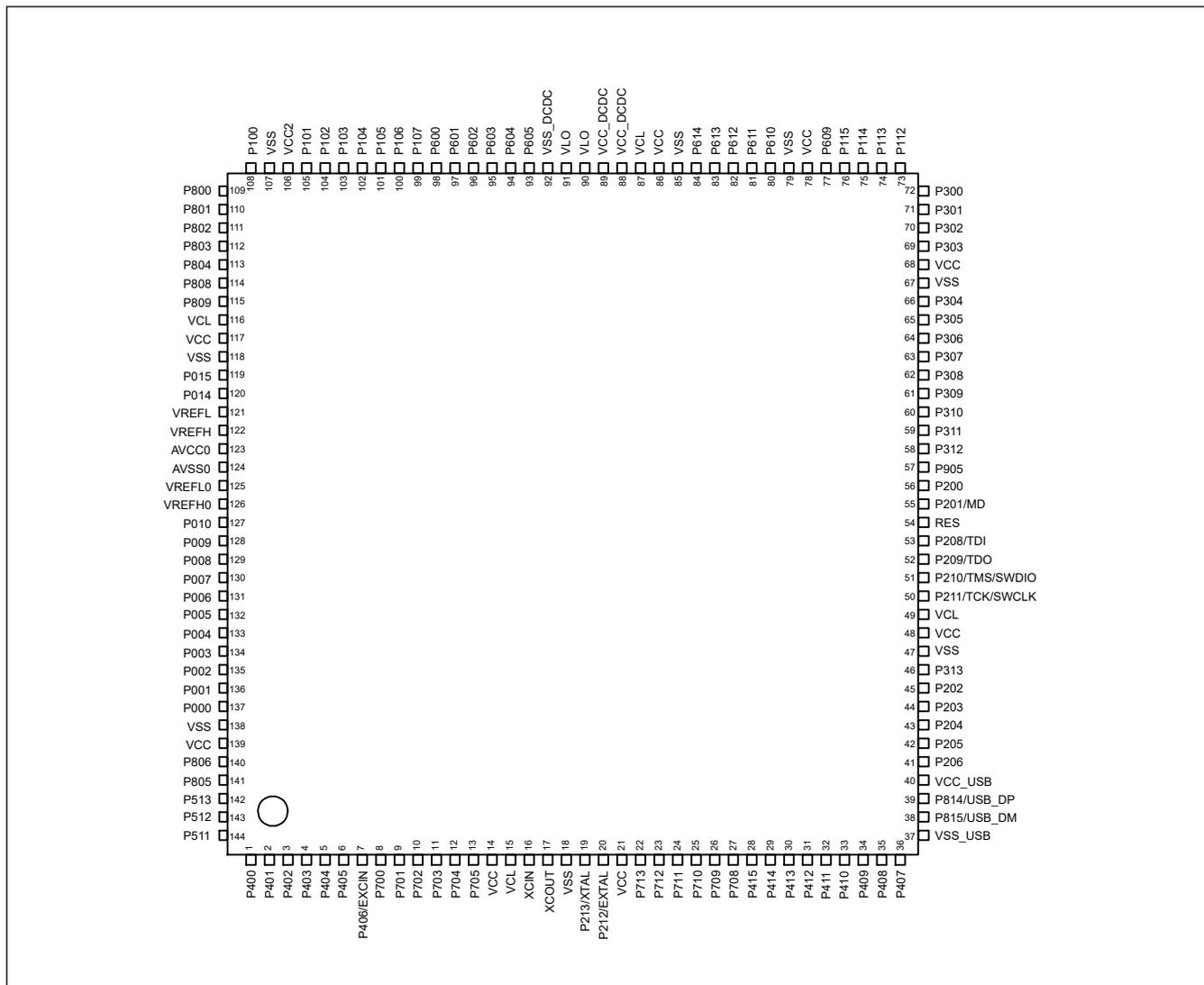


図 1.5 144 ピン LQFP のピン配置

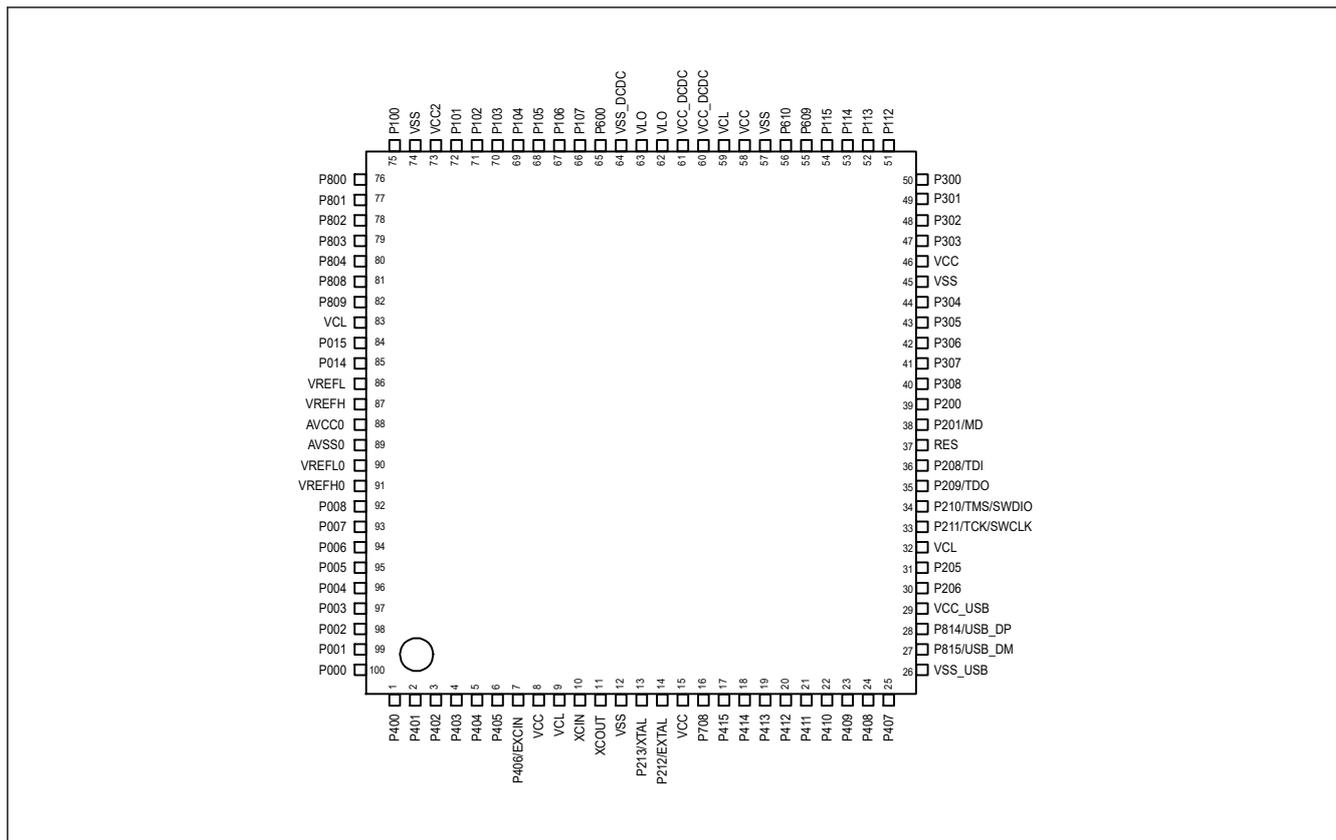


図 1.6 100 ピン LQFP のピン配置

## 1.7 端子一覧

表 1.15 端子一覧 (1/6)

BGA224	LQFP176	LQFP144	LQFP100	電源、システム、クロック、デバッグ、CAC	I/O ポート	外部バス、SDRAM	外部割り込み	SCI/IIC/I3C/SPI/CANFD/USBFS/SDHI/MMC/EHTERC (MII, RMII)	GPT/AGT/ULPT	ADC12/DAC12/ACMPHS
R15	1	1	1	-	P400	-	IRQ0	TXD1_A/MOSI1_A/SDA1_A/I3C_SCL0/SD1CLK_B/ET0_WOL/ET0_WOL	GTIOC6A/AGTIO1	ADTRG1
P15	2	2	2	-	P401	-	IRQ5-DS	RXD1_A/MISO1_A/SCL1_A/I3C_SDA0/CTX0/SD1CMD_B/ET0_MDC/ET0_MDC	GTETRGA/GTIOC6B	-
M12	3	3	3	CACREF	P402	-	IRQ4-DS	SCK1_A/DE1/CRX0/SD1DAT0_B/ET0_MDIO/ET0_MDIO	-	-
N14	4	4	4	-	P403	-	IRQ14-DS	CTS1_RTS1_A/SS4_A/DE1/SD1DAT1_B/ET0_LINKSTA/ET0_LINKSTA	GTIOC3A	-
L10	5	5	5	-	P404	-	IRQ15-DS	CTS1_A/SD1DAT2_B/ET0_EXOUT/ET0_EXOUT	GTIOC3B	-
N15	6	6	6	-	P405	-	-	SCK2_B/DE2/SD1DAT3_B/ET0_TX_EN/RMII0_TXD_EN_B	GTIOC1A/AGTIO1	-
M13	7	7	7	EXCIN	P406	-	-	TXD2_B/MOSI2_B/SDA2_B/SSLA3_C/SD1CD/ET0_RX_ER/RMII0_TXD1_B	GTIOC1B	-
M14	8	8	-	-	P700	-	-	RXD2_B/MISO2_B/SCL2_B/MISOA_C/SD1WP/ET0_ETXD1/RMII0_TXD0_B	GTIOC5A	-
L12	9	9	-	-	P701	-	-	CTS2_RTS2_B/SS2_B/DE2/MOSIA_C/SD1DAT4_B/ET0_ETXD0/REF50CK0_B	GTIOC5B/ULPTO1	-
L13	10	10	-	-	P702	-	-	CTS2_B/RSPCKA_C/SD1DAT5_B/ET0_ERXD1/RMII0_RXD0_B	GTIOC6A/ULPTO0	-
L11	11	11	-	-	P703	-	-	SSLA0_C/SD1DAT6_B/ET0_ERXD0/RMII0_RXD1_B	GTIOC6B/AGTO1	VCOUT
K12	12	12	-	-	P704	-	-	SSLA1_C/CTX0/SD1DAT7_B/ET0_RX_CLK/RMII0_RX_ER_B	GTADSM0/AGTO0	-
K10	13	13	-	-	P705	-	-	CTS1_B/SSLA2_C/CRX0/ET0_CRS/RMII0_CRS_DV_B	GTADSM1/AGTIO0	-
K13	14	-	-	-	P706	-	IRQ7	RXD1_B/MISO1_B/SCL1_B	AGTIO0	-
K11	15	-	-	-	P707	-	IRQ8	TXD1_B/MOSI1_B/SDA1_B	-	-
L14	16	-	-	-	PB00	-	-	SCK1_B/DE1	-	-
J10	-	-	-	-	PB02	-	-	-	-	-
M15	-	-	-	-	PB03	-	-	-	-	-
H10	-	-	-	-	PB04	-	-	-	-	-
L15	17	-	-	-	PB01	ALE	-	CTS1_RTS1_B/SS1_B/DE1	-	-
H11	-	-	-	-	PB05	-	-	-	-	-
J11	-	-	-	-	PB06	-	-	-	GTIOC9A	-
J12	-	-	-	-	PB07	-	-	-	GTIOC9B	-
K14	18	14	8	VCC	-	-	-	-	-	-
K15	19	15	9	VCL	-	-	-	-	-	-
J15	20	16	10	XCIN	-	-	-	-	-	-
J14	21	17	11	XCOUT	-	-	-	-	-	-
J13	22	18	12	VSS	-	-	-	-	-	-
H14	23	19	13	XTAL	P213	-	IRQ2	TXD1_C/MOSI1_C/SDA1_C	GTETRGC/GTIOC0A/ULPTEE0	ADTRG1
H15	24	20	14	EXTAL	P212	-	IRQ3	RXD1_C/MISO1_C/SCL1_C	GTETRGD/GTIOC0B/AGTEE1	-
G12	25	21	15	VCC	-	-	-	-	-	-
H13	26	-	-	VCC	-	-	-	-	-	-
G13	27	-	-	NC <sup>(注1)</sup>	-	-	-	-	-	-
G14	28	-	-	VSS	-	-	-	-	-	-
F15	29	-	-	NC <sup>(注1)</sup>	-	-	-	-	-	-
F14	30	-	-	NC <sup>(注1)</sup>	-	-	-	-	-	-
G15	31	-	-	VSS	-	-	-	-	-	-
F13	32	-	-	VCC	-	-	-	-	-	-
F11	-	-	-	-	P715	-	-	RXD4_C/MISO4_C/SCL4_C	-	-

表 1.15 端子一覧 (2/6)

BGA224	LOFP176	LOFP144	LOFP100	電源、システム、クロック、デバッグ、CAC	I/O ポート	外部バス、SDRAM	外部割り込み	SCI/IIC/I3C/SPI/CANFD/USBFS/SDHI/MMC/EHTERC (MII, RMII)	GPT/AGT/ULPT	ADC12/DAC12/ACMPHS
G10	-	-	-	-	P714	-	-	TXD4_C/MOSI4_C/SDA4_C	-	-
H12	-	-	-	VSS	-	-	-	-	-	-
G11	-	22	-	-	P713	-	-	-	GTIOC2A/AGTOA0	-
E12	-	23	-	-	P712	-	-	-	GTIOC2B/AGTOB0	-
F10	-	24	-	-	P711	-	-	-	AGTEE0	-
E14	33	25	-	-	P710	CS5	-	CTS4_B	-	-
E15	34	26	-	-	P709	CS4	IRQ10	CTS4_RTS4_B/SS4_B/DE4	-	-
E13	35	27	16	CACREF	P708	WR1/BC1	IRQ11	SCK4_B/DE4/SSLB3_B	-	-
C14	36	28	17	-	P415	WAIT	IRQ8	TXD4_B/MOSI4_B/SDA4_B/SSLB2_B/CTX1/SD0CD	GTADSM0/GTIOC0A	-
D15	37	29	18	-	P414	A23	IRQ9	RXD4_B/MISO4_B/SCL4_B/SSLB1_B/CRX1/SD0WP	GTADSM1/GTIOC0B	-
A15	38	30	19	-	P413	A22	-	SSLB0_B/SD0CLK_A	GTOUUP/ULPTEE1	-
C15	39	31	20	-	P412	A21	-	CTS3_A/RSPCKB_B/USB_EXICEN/SD0CMD_A	GTOULO/AGTEE1	-
D13	40	32	21	-	P411	A20	IRQ4	CTS3_RTS3_A/SS3_A/DE3/MOSIB_B/USB_ID/SD0DAT0_A	GTOVUP/GTIOC9A/AGTOA1	-
D14	41	33	22	-	P410	A19	IRQ5	SCK3_A/DE3/SCL0_A/MISOB_B/USB_OVRCURB-DS/SD0DAT1_A	GTOVLO/GTIOC9B/AGTOB1	-
E11	42	34	23	-	P409	A18	IRQ6	TXD3_A/MOSI3_A/SDA3_A/SDA0_A/USB_OVRCURA-DS	GTOVUP/ULPTOA0	-
G6	-	-	-	VCL	-	-	-	-	-	-
B15	43	35	24	-	P408	A17	IRQ7	CTS4_A/RXD3_A/MISO3_A/SCL3_A/SCL0_B/USB_VBUSEN	GTOVLO/GTIOC10A/ULPTOB0	-
D12	44	36	25	-	P407	CS6	-	CTS4_RTS4_A/SS4_A/DE4/SDA0_B/SSLA3_A/USB_VBUS	GTIOC10B/AGTIO0	ADTRG0
B13	45	37	26	VSS_USB	-	-	-	-	-	-
B14	46	38	27	-	P815	-	-	CTX0/USB_DM	GTIOC8A	-
A14	47	39	28	-	P814	-	-	CRX0/USB_DP	GTIOC8B	-
A13	48	40	29	VCC_USB	-	-	-	-	-	-
C13	-	-	-	-	P207	-	-	-	-	-
D11	49	41	30	-	P206	CS7	IRQ0-DS	RXD4_A/MISO4_A/SCL4_A/SDA1_B/SSLA2_A/USB_VBUSEN/SD0DAT2_A	GTIU	-
B12	50	42	31	CLKOUT	P205	-	IRQ1-DS	TXD4_A/MOSI4_A/SDA4_A/SCL1_B/SSLA1_A/USB_OVRCURA/SD0DAT3_A	GTIV/GTIOC4A/AGTO1	-
A12	51	43	-	CACREF	P204	-	-	SCK4_A/DE4/SSLA0_A/USB_OVRCURB/SD0DAT4_A	GTIW/GTIOC4B/AGTIO1	-
B11	52	44	-	-	P203	-	IRQ2-DS	RSPCKA_A/CTX0/SD0DAT5_A	GTIOC5A/ULPTOA1	-
A11	53	45	-	-	P202	-	IRQ3-DS	MOSIA_A/CRX0/SD0DAT6_A	GTIOC5B/ULPTOB1	-
B10	54	46	-	-	P313	-	-	CTS3_C/MISOA_A/SD0DAT7_A	-	-
A10	55	-	-	-	P314	-	-	CTS3_RTS3_C/SS3_C/DE3	-	ADTRG0
C11	56	-	-	-	P315	-	-	SCK3_C/DE3	-	-
C10	57	-	-	-	P900	-	-	TXD3_C/MOSI3_C/SDA3_C	-	-
B9	58	-	-	-	P901	-	-	RXD3_C/MISO3_C/SCL3_C	AGTIO1	-
D10	-	-	-	-	P902	-	-	-	-	-
C12	59	47	-	VSS	-	-	-	-	-	-
F12	60	48	-	VCC	-	-	-	-	-	-
C9	-	-	-	-	P903	-	-	-	GTIOC11A	-
D9	-	-	-	-	P904	-	-	-	GTIOC11B	-
A8	61	49	32	VCL	-	-	-	-	-	-
E10	62	50	33	TCK/SWCLK	P211	-	-	SCK9_B/DE9	GTOUUP/GTIOC0A	-
D8	63	51	34	TMS/SWDIO	P210	-	-	CTS9_RTS9_B/SS9_B/DE9	GTOULO/GTIOC0B	-
F9	64	52	35	TDO/SWO/CLKOUT	P209	-	-	TXD9_B/MOSI9_B/SDA9_B/CTX1	GTOVUP/GTIOC1A	-
F8	65	53	36	TDI	P208	-	IRQ3	RXD9_B/MISO9_B/SCL9_B/CRX1	GTOVLO/GTIOC1B	VCOUT

表 1.15 端子一覧 (3/6)

BGA224	LOFP176	LOFP144	LOFP100	電源、システム、クロック、デバッグ、CAC	I/O ポート	外部バス、SDRAM	外部割り込み	SCI/IIC/I3C/SPI/CANFD/USBFS/SDHI/MMC/EHTERC (MII, RMII)	GPT/AGT/ULPT	ADC12/DAC12/ACMPHS
E8	-	-	-	CLKOUT	P913	-	-	-	-	-
A9	66	54	37	RES	-	-	-	-	-	-
E9	67	55	38	MD	P201	-	-	-	-	-
B8	68	56	39	-	P200	-	NMI	-	-	-
F7	-	-	-	-	P912	-	-	-	GTIOC3A	-
E6	-	-	-	-	P911	-	-	-	GTIOC3B	-
E7	-	-	-	-	P910	-	-	-	-	-
A7	69	-	-	-	P909	CS3/CAS	-	-	GTIOC12A	-
C8	70	-	-	-	P908	CS2/RAS	IRQ11	-	GTIOC12B	-
B7	71	-	-	-	P907	A16/A16	IRQ10	USB_EXICEN	GTIOC13A	-
C7	72	-	-	-	P906	A15/A15	IRQ9	USB_ID	GTIOC13B	-
A6	73	57	-	-	P905	A14/A14	IRQ8	CTS3_B	-	-
D7	74	58	-	-	P312	A13/A13	-	CTS3_RTS3_B/SS3_B/DE3/CTX0/ET0_TX_CLK	GTADSM0/AGTOA1	-
B6	75	59	-	-	P311	A12/A12	-	SCK3_B/DE3/CRX0/ET0_TX_ER	GTADSM1/AGTOB1	-
G8	-	-	-	VSS	-	-	-	-	-	-
D6	76	60	-	-	P310	A11/A11	-	TXD3_B/MOSI3_B/SDA3_B/ET0_ETXD2	AGTEE1	-
C6	77	61	-	-	P309	A10/A10	-	RXD3_B/MISO3_B/SCL3_B/ET0_ETXD3	-	-
A5	78	62	40	TCLK	P308	A9/A9	-	CTS9_B/SD0CLK_B/ET0_MDC/ET0_MDC	GTIU/ULPTOB1	-
B5	79	63	41	TDATA0	P307	A8/A8	-	SD0CMD_B/ET0_MDIO/ET0_MDIO	GTIV/ULPTOA1	-
A4	80	64	42	TDATA1	P306	A7/A7	-	SD0CD/ET0_TX_EN/RMII0_TXD_EN_A	GTIW/ULPTEV1	-
B4	81	65	43	TDATA2	P305	A6/A6	IRQ8	SD0WP/ET0_RX_ER/RMII0_TXD1_A	GTOVUP/ULPTEE1	-
A3	82	66	44	TDATA3	P304	A5/A5	IRQ9	SD0DAT0_B/ET0_ETXD1/RMII0_TXD0_A	GTOVLO/GTIOC7A/ULPTO1	-
G7	83	67	45	VSS	-	-	-	-	-	-
G9	84	68	46	VCC	-	-	-	-	-	-
C5	-	-	-	-	P915	-	-	-	GTIOC5A	-
F6	-	-	-	-	P914	-	-	-	GTIOC5B	-
C4	85	69	47	-	P303	A4/A4	-	SD0DAT1_B/ET0_ETXD0/REF50CK0_A	GTIOC7B	-
B3	86	70	48	-	P302	A3/A3	IRQ5	SD0DAT2_B/ET0_ERXD1/RMII0_RXD0_A	GTOUUP/GTIOC4A/ULPTO0-DS	-
A2	87	71	49	-	P301	A2/A2	IRQ6	SD0DAT3_B/ET0_ERXD0/RMII0_RXD1_A	GTOULO/GTIOC4B/AGTIO0/ULPTEE0-DS	-
D5	88	72	50	-	P300	A1/A1/DQM3	IRQ4	SCK0_A/DE0/SSLA3_B/ET0_RX_CLK/RMII0_RX_ER_A	GTIOC3A/ULPTEV10-DS	-
B2	89	73	51	-	P112	A0/BC0/A0/DQM1	-	TXD0_A/MOSI0_A/SDA0_A/SSLA2_B/ET0_CRS/RMII0_CRS_DV_A	GTIOC3B/ULPTOB0-DS	-
C3	90	74	52	-	P113	CS1/CKE	-	RXD0_A/MISO0_A/SCL0_A/SSLA1_B/ET0_EXOUT/ET0_EXOUT	GTIOC2A/ULPTOA0-DS	-
C2	91	75	53	-	P114	CS0/WE	-	CTS0_RTS0_A/SS0_A/DE0/SSLA0_B/ET0_LINKSTA/ET0_LINKSTA	GTIOC2B	-
D3	92	76	54	-	P115	SDCS	-	CTS0_A/MOSIA_B/ET0_WOL/ET0_WOL	GTIOC5A	-
B1	93	77	55	-	P609	D8[A8/D8]/DQ8	-	TXD0_C/MOSI0_C/SDA0_C/MISOA_B/CTX1/ET0_RX_DV	GTIOC5B/ULPTOA1-DS	-
D4	-	-	-	-	PA11	WR2/BC2/DQM2	-	-	GTIOC6A	-
D2	-	-	-	-	PA12	D16/DQ16	-	-	GTIOC6B	-
E5	-	-	-	-	PA13	D17/DQ17	-	-	-	-
C1	-	-	-	-	PA14	D18/DQ18	-	TXD9_C/MOSI9_C/SDA9_C	-	-
-	94	78	-	VCC	-	-	-	-	-	-
H7	95	79	-	VSS	-	-	-	-	-	-
E4	96	80	56	-	P610	D9[A9/D9]/DQ9	-	RXD0_C/MISO0_C/SCL0_C/RSPCKA_B/CRX1/ET0_COL	GTIOC4A/ULPTOB1-DS	-
D1	97	81	-	CLKOUT/CACREF	P611	D10[A10/D10]/DQ10	-	SCK0_C/DE0/MOSIA_B/ET0_ERXD2	GTIOC4B	-

表 1.15 端子一覧 (4/6)

BGA224	LOFP176	LOFP144	LOFP100	電源、システム、クロック、デバッグ、CAC	I/O ポート	外部バス、SDRAM	外部割り込み	SCI/IIC/I3C/SPI/CANFD/USBFS/SDHI/MMC/EHTERC (MII, RMII)	GPT/AGT/ULPT	ADC12/DAC12/ACMPHS
F3	98	82	-	-	P612	D11[A11/D11]/DQ11	-	CTS0_RTS0_C/SS0_C/DE0/SSLA0_B/ET0_ERXD3	-	-
E2	99	83	-	-	P613	D12[A12/D12]/DQ12	-	CTS0_C	GTETRGA/AGTO1	-
F4	100	84	-	-	P614	D13[A13/D13]/DQ13	-	-	GTETRGA/AGTO0	-
E3	101	-	-	-	P615	D14[A14/D14]/DQ14	IRQ7	USB_VBUSEN	GTETRGC	-
G3	102	-	-	-	PA08	D15[A15/D15]/DQ15	IRQ6	-	GTETRGD	-
E1	103	-	-	-	PA09	EBCLK/SDCLK	IRQ5	-	-	-
F2	104	-	-	-	PA10	WR/WR0/DQM0	IRQ4	-	-	-
F5	-	-	-	-	PA15	D19/DQ19	-	RXD9_C/MISO9_C/SCL9_C	-	-
J5	-	-	-	-	P813	D20/DQ20	-	-	-	-
G5	-	-	-	-	PA07	D21/DQ21	-	-	GTIOC7A	-
L5	-	-	-	-	PA06	D22/DQ22	-	CTS2_C	GTIOC7B	-
H5	-	-	-	-	PA05	D23/DQ23	-	CTS2_RTS2_C/SS2_C/DE2	-	-
L6	-	-	-	-	PA04	D24/DQ24	-	SCK2_C/DE2	-	-
G4	-	-	-	-	PA03	D25/DQ25	-	TXD2_C/MOSI2_C/SDA2_C	-	-
K6	-	-	-	-	PA02	D26/DQ26	-	RXD2_C/MISO2_C/SCL2_C	-	-
J7	105	85	57	VSS	-	-	-	-	-	-
J6	106	86	58	VCC	-	-	-	-	-	-
H3	107	-	-	-	PA01	RD	-	-	-	-
H4	108	-	-	-	PA00	D7[A7/D7]/DQ7	-	-	-	-
F1	109	87	59	VCL	-	-	-	-	-	-
J4	110	-	-	-	P607	D6[A6/D6]/DQ6	-	-	-	-
G1	111	88	60	VCC_DCDC	-	-	-	-	-	-
G2	112	89	61	VCC_DCDC	-	-	-	-	-	-
H1	113	90	62	VLO	-	-	-	-	-	-
H2	114	91	63	VLO	-	-	-	-	-	-
J1	115	92	64	VSS_DCDC	-	-	-	-	-	-
M5	116	-	-	-	P606	D5[A5/D5]/DQ5	-	-	-	-
K5	117	93	-	-	P605	D4[A4/D4]/DQ4	-	CTS0_B	GTIOC8A	-
N4	118	94	-	-	P604	D3[A3/D3]/DQ3	-	CTS0_RTS0_B/SS0_B/DE0	GTIOC8B	-
M4	119	95	-	-	P603	D2[A2/D2]/DQ2	-	TXD0_B/MOSI0_B/SDA0_B	GTIOC7A/ULPT00	-
L4	120	96	-	-	P602	D1[A1/D1]/DQ1	-	RXD0_B/MISO0_B/SCL0_B	GTIOC7B/ULPTEE0	-
K4	121	97	-	-	P601	D0[A0/D0]/DQ0	-	SCK0_B/DE0	GTIOC6A/ULPTEE10	-
K3	122	98	65	CACREF	P600	-	-	-	GTIOC6B/ULPTEE11-DS	-
K1	123	99	66	-	P107	-	-	-	GTOWUP/GTIOC8A/AGTOA0	-
K2	124	100	67	-	P106	-	-	SSLB3_A	GTOWLO/GTIOC8B/AGTOB0/ULPTEE1-DS	-
L3	125	101	68	-	P105	-	IRQ0	SSLB2_A	GTIOC1A/ULPT01-DS	-
L1	126	102	69	-	P104	-	IRQ1	CTS9_A/SSLB1_A	GTETRGA/GTIOC1B	-
L2	127	103	70	-	P103	-	-	CTS9_RTS9_A/SS9_A/DE9/SSLB0_A/CTX0	GTOWUP/GTIOC2A	-
M1	128	104	71	-	P102	-	-	TXD9_A/MOSI9_A/SDA9_A/RSPCKB_A/CRX0	GTOWLO/GTIOC2B/AGTO0	ADTRG0
M2	129	105	72	-	P101	-	IRQ1	RXD9_A/MISO9_A/SCL9_A/MOSIB_A	GTETRGA/GTIOC8A/AGTEE0	-
J3	130	106	73	VCC2	-	-	-	-	-	-
J2	131	107	74	VSS	-	-	-	-	-	-
N1	132	108	75	-	P100	-	IRQ2	SCK9_A/DE9/MISOB_A	GTETRGA/GTIOC8B/AGTIO0	-
M3	133	109	76	-	P800	-	IRQ11	CTS2_A	GTIU/GTIOC11A/AGTOA0	-

表 1.15 端子一覧 (5/6)

BGA224	LOFP176	LOFP144	LOFP100	電源、システム、クロック、デバッグ、CAC	I/O ポート	外部バス、SDRAM	外部割り込み	SCI/IIC/I3C/SPI/CANFD/USBFS/SDHI/MMC/EHTERC (MII, RMII)	GPT/AGT/ULPT	ADC12/DAC12/ACMPHS
N2	134	110	77	-	P801	-	IRQ12	TXD2_A/MOSI2_A/SDA2_A	GTIV/GTI0C11B/AGTOB0	-
P1	135	111	78	-	P802	-	-	RXD2_A/MISO2_A/SCL2_A	GTIW/GTI0C12A	-
N3	136	112	79	-	P803	-	-	SCK2_A/DE2	GTETRG/GTI0C12B	-
P2	137	113	80	-	P804	-	IRQ14	CTS2_RTS2_A/SS2_A/DE2	GTETRGD/GTI0C13A	-
R1	138	114	81	-	P808	-	IRQ15	-	GTI0C13B	-
R2	139	115	82	-	P809	-	-	-	-	-
P3	140	-	-	VCC2	-	-	-	-	-	-
R3	141	-	-	VSS	-	-	-	-	-	-
P4	142	-	-	-	P810	-	-	SD1CLK_A	ULPTOA0	-
M6	143	-	-	-	P811	-	-	USB_ID/SD1CMD_A	ULPTOB0	-
R4	144	-	-	-	P812	-	-	USB_EXICEN/SD1DAT0_A	-	AN122
P5	145	-	-	CACREF	P500	-	-	USB_VBUSEN/SD1DAT1_A	-	AN121
R5	146	-	-	-	P501	-	-	USB_OVRCURA/SD1DAT2_A	-	AN120
P6	147	-	-	-	P502	-	-	USB_OVRCURB/SD1DAT3_A	-	AN019/AN119
K7	-	-	-	-	P503	-	-	SD1CD	-	-
N5	-	-	-	-	P504	-	-	SD1WP	-	-
K8	-	-	-	-	P505	D27/DQ27	-	SD1DAT4_A	-	-
N6	-	-	-	-	P506	D28/DQ28	-	SD1DAT5_A	-	-
L7	-	-	-	-	P507	D29/DQ29	-	SD1DAT6_A	-	-
M7	-	-	-	-	P508	D30/DQ30	IRQ1	SD1DAT7_A	-	-
L8	-	-	-	-	P509	D31/DQ31	IRQ2	-	ULPTEV11	-
N7	-	-	-	-	P510	WR3/BC3	IRQ3	-	ULPTEV10	-
R6	148	116	83	VCL	-	-	-	-	-	-
J9	149	117	-	VCC	-	-	-	-	-	-
J8	150	118	-	VSS	-	-	-	-	-	-
R7	151	119	84	-	P015	-	IRQ13	-	-	AN105/DA1
P7	152	120	85	-	P014	-	-	-	-	AN007/DA0
P8	153	121	86	VREFL	-	-	-	-	-	-
R8	154	122	87	VREFH	-	-	-	-	-	-
N8	155	123	88	AVCC0	-	-	-	-	-	-
N9	156	124	89	AVSS0	-	-	-	-	-	-
P9	157	125	90	VREFL0	-	-	-	-	-	-
R9	158	126	91	VREFH0	-	-	-	-	-	-
M9	-	-	-	-	P011	-	-	-	-	AN106
M8	159	127	-	-	P010	-	IRQ14	-	-	AN005/IVCMP0
L9	160	128	-	-	P009	-	IRQ13-DS	-	-	AN006
R10	161	129	92	-	P008	-	IRQ12-DS	-	-	AN008
M10	162	130	93	-	P007	-	-	-	-	AN004
R11	163	131	94	-	P006	-	IRQ11-DS	-	-	AN002/IVCMP3
N10	164	132	95	-	P005	-	IRQ10-DS	-	-	AN001
P10	165	133	96	-	P004	-	IRQ9-DS	-	-	AN000/IVCMP2
P11	166	134	97	-	P003	-	-	-	-	AN104/IVREF1
R12	167	135	98	-	P002	-	IRQ8-DS	-	-	AN102/IVCMP3
P12	168	136	99	-	P001	-	IRQ7-DS	-	-	AN101/IVREF0
R13	169	137	100	-	P000	-	IRQ6-DS	-	-	AN100/IVCMP2
H6	-	-	-	VCL	-	-	-	-	-	-
H8	170	138	-	VSS	-	-	-	-	-	-
H9	171	139	-	VCC	-	-	-	-	-	-
N11	172	140	-	-	P806	-	IRQ0	-	-	AN018/AN118

表 1.15 端子一覧 (6/6)

BGA224	LOFP176	LOFP144	LOFP100	電源、システム、クロック、デバッグ、CAC	I/O ポート	外部バス、SDRAM	外部割り込み	SCI/IIC/I3C/SPI/CANFD/USBFS/SDHI/MMC/EHTERC (MII, RMII)	GPT/AGT/ULPT	ADC12/DAC12/ACMPHS
M11	173	141	-	-	P805	-	-	-	-	AN017/AN117
N12	-	-	-	-	P807	-	-	-	-	-
P13	174	142	-	-	P513	-	-	-	-	AN016/AN116/IVCMP0
R14	-	-	-	-	P515	-	-	-	-	-
N13	175	143	-	-	P512	-	IRQ14	SCL1_A/CTX1	GTIOC0A	-
P14	-	-	-	-	P514	-	-	-	-	-
K9	176	144	-	-	P511	-	IRQ15	SDA1_A/CRX1	GTIOC0B	-

注. いくつかの端子名には、\_A、\_B、および\_C という接尾語が付加されています。これらの接尾語には、電気的特性に対しては特別な条件があります。詳細は、section x, Electrical Characteristics を参照してください。

注 1. ボール以外の NC が存在します。

## 2. 電気的特性

他に指定がなければ、最小値と最大値は設計シミュレーション、特性結果、または製品テストのいずれかにより保証されます。

サポートする周辺機能と端子は、製品型名によって異なります。

特に記載のない限り、本 MCU の電気的特性は以下の条件で定義されています。

- $VCC = VCC\_DCDC = VCC\_USB = 1.68 \sim 3.6 \text{ V}$
- $VCC2 = 1.65 \sim 3.6 \text{ V}$
- $AVCC0 = 1.65 \sim 3.6 \text{ V}$
- $VREFH0 = 2.7 \text{ V} \sim AVCC0$
- $VREFH = 1.65 \text{ V} \sim AVCC0$
- $VSS = VSS\_DCDC = AVSS0 = VREFL0 / VREFL = VSS\_USB = 0 \text{ V}$
- VCC 電圧が 2.7 V 未満のとき、 $LVOCR.LVO0E = 1$ 。それ以外のとき、 $LVOCR.LVO0E = 0$ 。
- VCC2 電圧が 2.7 V 未満のとき、 $LVOCR.LVO1E = 1$ 。それ以外のとき、 $LVOCR.LVO1E = 0$ 。
- $T_j = T_{opj}$
- 他に指定がない場合、Typ 値は室温 25°C および  $VCC = VCC\_DCDC = VCC\_USB = AVCC0 = VREFH0 = VREFH = 3.3 \text{ V}$  で測定されます。

図 2.1 に入出力タイミング計測条件を示します。

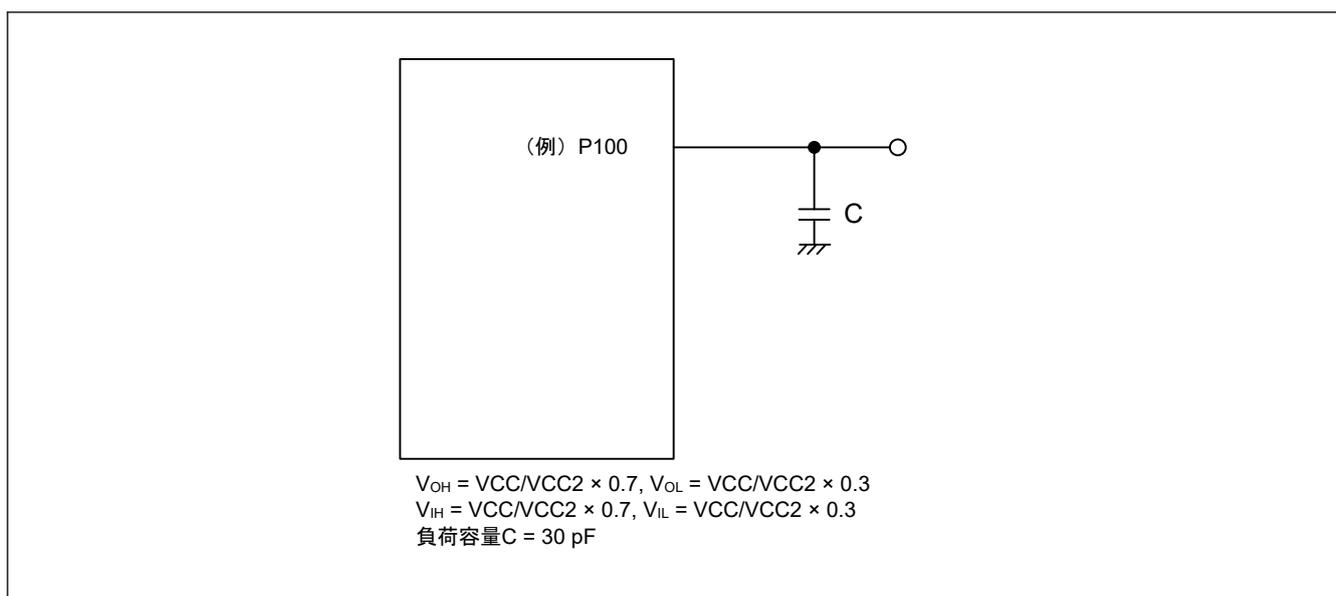


図 2.1 入出力タイミング計測条件

各周辺モジュールのタイミング仕様の計測条件は、最適な周辺動作に推奨されるものです。ただし、ユーザー条件に合うように、各端子の駆動能力を調整してください。

### 2.1 絶対最大定格

表 2.1 絶対最大定格 (1/2)

項目	シンボル	値	単位
電源電圧	$VCC, VCC2, VCC\_DCDC, VCC\_USB$ (注2)	-0.3~+4.0	V
外部電源電圧	VCL	-0.3~+1.6	V

表 2.1 絶対最大定格 (2/2)

項目	シンボル	値	単位
入力電圧 (5V トレラントポートを除く(注1))	$V_{in}$	-0.3~VCC + 0.3 または-0.3~VCC2 + 0.3	V
入力電圧 (5V トレラントポート(注1))	$V_{in}$	-0.3~+ VCC + 4.0 (最大 5.8)	V
リファレンス電源電圧	VREFH/VREFH0	-0.3~AVCC0 + 0.3	V
アナログ電源電圧	AVCC0	-0.3~+4.0	V
アナログ入力電圧	$V_{AN}$	-0.3~AVCC0 + 0.3	V
動作ジャンクション温度(注3) (注4)	$T_{opj}$	-40~+125	°C
保存温度	$T_{stg}$	-55~+125	°C

注 1. ポート P205、P206、P402~P404、P406~P415、P511、P512、P709~P715、PB01 は、5V トレラント対応ポートです。

注 2. VCC\_DCDC および VCC\_USB を VCC に接続してください。

注 3. 「2.2.1. Tj/Ta の定義」を参照してください。

注 4.  $T_j = +105^{\circ}\text{C} \sim +125^{\circ}\text{C}$  の場合のディレーティング動作については、弊社営業窓口までお問い合わせください。ディレーティングとは、信頼性向上のための系統的な負荷軽減策です。

【使用上の注意】絶対最大定格を超えて MCU を使用した場合、MCU の永久破壊となることがあります。

表 2.2 推奨動作条件

項目	シンボル	Min	Typ	Max	単位	
電源電圧	VCC, VCC_DCDC	下記以外	1.68	—	3.60	V
		ETHERC/IIC ファストモード +使用時	2.70	—	3.60	V
		USB/SDRAM 使用時	3.00	—	3.60	V
	VCC2	1.65	—	3.60	V	
	VCL	外部 VDD 使用時(注2)	1.20	—	1.25	V
		DCDC 使用時 (High-speed モード)	—	1.21	—	V
		DCDC 使用時 (Low-speed モードまたはソフトウェアスタンバイモード)	—	1.18	—	V
VSS, VSS_DCDC	—	0	—	V		
USB 電源電圧	VCC_USB	—	VCC	—	V	
	VSS_USB	—	0	—	V	
アナログ電源電圧	AVCC0(注1)	ADC 未使用時	1.65	—	3.60	V
		ADC 使用時	2.70	—	3.60	V
	AVSS0	—	0	—	V	

注 1. A/D コンバータ、D/A コンバータ、および高速アナログコンバータを使用していない場合、AVCC0 端子、VREFH/VREFH0 端子、AVSS0 端子、および VREFL/VREFL0 端子を開放したままにしないでください。AVCC0 端子および VREFH/VREFH0 端子を VCC に、AVSS0 端子および VREFL/VREFL0 端子を VSS にそれぞれ接続してください。

注 2. VCL 電圧が VCC 電圧を超えることのないようにしてください。

## 2.2 DC 特性

### 2.2.1 Tj/Ta の定義

表 2.3 DC 特性

項目	シンボル	Typ	Max	単位	測定条件
許容動作ジャンクション温度	$T_j$	—	125	°C	High-speed モード Low-speed モード

注.  $T_j = T_a + \theta_{ja} \times$  総消費電力 (W) となるようにしてください。このとき、総消費電力 =  $(VCC - V_{OH}) \times \Sigma I_{OH} + V_{OL} \times \Sigma I_{OL} + (I_{CCmax} + I_{CC\_DCDCmax}) \times VCC$  です。

注. 最低周囲温度 (Ta) は -40°Cです。

## 2.2.2 I/O $V_{IH}$ , $V_{IL}$

表 2.4 シュミットトリガ入力端子以外の I/O  $V_{IH}$ ,  $V_{IL}$

項目	VCC/VCC2/ AVCC0	シンボル	Min	Typ	Max	単位	
周辺機能端子	EXTAL (外部ク ロック入力)、 WAIT、SPI(注1) (RSPCK を除 く)	$V_{IH}$	$VCC \times 0.8$	—	—	V	
		$V_{IL}$	—	—	$VCC \times 0.2$		
	SPI(注2) (RSPCKB_A を除く)	1.65 V 以上	$V_{IH}$	$VCC2 \times 0.8$	—		—
			$V_{IL}$	—	—		$VCC2 \times 0.2$
	SD(注3)	2.70 V 以上	$V_{IH}$	$VCC \times 0.625$	—		$VCC + 0.3$
			$V_{IL}$	$VSS - 0.3$	—		$VCC \times 0.25$
		1.70~1.95 V	$V_{IH}$	1.27	—		2
			$V_{IL}$	$VSS - 0.3$	—		0.58
	SD(注4)	2.70 V 以上	$V_{IH}$	$VCC2 \times 0.625$	—		$VCC2 + 0.3$
			$V_{IL}$	$VSS - 0.3$	—		$VCC2 \times 0.25$
		1.70~1.95 V	$V_{IH}$	1.27	—		2
			$V_{IL}$	$VSS - 0.3$	—		0.58
	MMC(注5)	2.70 V 以上	$V_{IH}$	$VCC \times 0.625$	—		$VCC + 0.3$
			$V_{IL}$	$VSS - 0.3$	—		$VCC \times 0.25$
		1.70~1.95 V	$V_{IH}$	$VCC \times 0.65$	—		$VCC + 0.3$
			$V_{IL}$	$VSS - 0.3$	—		$VCC \times 0.35$
	MMC(注6)	2.70 V 以上	$V_{IH}$	$VCC2 \times 0.625$	—		$VCC2 + 0.3$
			$V_{IL}$	$VSS - 0.3$	—		$VCC2 \times 0.25$
		1.70~1.95 V	$V_{IH}$	$VCC2 \times 0.65$	—		$VCC2 + 0.3$
			$V_{IL}$	$VSS - 0.3$	—		$VCC2 \times 0.35$
D00~D31、 TMS、TDI、 TCK、SWDIO、 SWCLK	1.68 V 以上	$V_{IH}$	$VCC \times 0.7$	—	—		
		$V_{IL}$	—	—	$VCC \times 0.3$		
DQ00~DQ31	3.00 V 以上	$V_{IH}$	$VCC \times 0.7$	—	—		
		$V_{IL}$	—	—	$VCC \times 0.3$		
ETHERC	2.70 V 以上	$V_{IH}$	2.3	—	—		
		$V_{IL}$	—	—	$VCC \times 0.2$		
IIC (SMBus)	2.70 V 以上	$V_{IH}$	2.1	—	$VCC + 3.6$ (最大 5.8)		
		$V_{IL}$	—	—	0.8		
EXCIN	1.68 V 以上	$V_{IH}$	0.9	—	3.9		
		$V_{IL}$	—	—	0.3		

注 1. SPI0\_A、SPI0\_B、SPI0\_C、および SPI1\_B

注 2. SPI1\_A

注 3. SD\_A ch0、SD\_B ch1、および SD\_B ch1

注 4. SD\_A ch1

注 5. MMC\_A ch0、MMC\_A ch1、および MMC\_B ch1

注 6. MMC\_A ch1 (最大 4 ビットのバス幅)

表 2.5 シュミットトリガ入力端子の I/O  $V_{IH}$ 、 $V_{IL}$ 

項目		VCC/VCC2/ AVCC0	シンボル	Min	Typ	Max	単位
周辺機能端子	IIC (SMBus を除く)	1.68 V 以上	$V_{IH}$	$VCC \times 0.7$	—	$VCC + 3.6$ (最大 5.8)	V
			$V_{IL}$	—	—	$VCC \times 0.3$	
			$\Delta V_T$	$VCC \times 0.05$	—	—	
	I3C	1.68 V 以上	$V_{IH}$	$VCC \times 0.7$	—	$VCC + 0.3$	
			$V_{IL}$	—	—	$VCC \times 0.3$	
			$\Delta V_T$	$VCC \times 0.1$	—	—	
	5 V トレラントポート(注1)(注5)	1.68 V 以上	$V_{IH}$	$VCC \times 0.8$	—	$VCC + 3.6$ (最大 5.8)	
			$V_{IL}$	—	—	$VCC \times 0.2$	
			$\Delta V_T$	$VCC \times 0.05$	—	—	
	その他の VCC 入力端子(注2)	1.68 V 以上	$V_{IH}$	$VCC \times 0.8$	—	—	
			$V_{IL}$	—	—	$VCC \times 0.2$	
			$\Delta V_T$	$VCC \times 0.05$	—	—	
	その他の VCC2 入力端子(注2)	1.65 V 以上	$V_{IH}$	$VCC2 \times 0.8$	—	—	
			$V_{IL}$	—	—	$VCC2 \times 0.2$	
			$\Delta V_T$	$VCC2 \times 0.05$	—	—	
その他の AVCC0 入力端子(注2)	1.65 V 以上	$V_{IH}$	$AVCC0 \times 0.8$	—	—		
		$V_{IL}$	—	—	$AVCC0 \times 0.2$		
		$\Delta V_T$	$AVCC0 \times 0.05$	—	—		
ポート	5 V トレラントポート(注3)(注5)	1.68 V 以上	$V_{IH}$	$VCC \times 0.8$	—	$VCC + 3.6$ (最大 5.8)	
			$V_{IL}$	—	—	$VCC \times 0.2$	
	その他の VCC 入力端子(注4)	1.68 V 以上	$V_{IH}$	$VCC \times 0.8$	—	—	
			$V_{IL}$	—	—	$VCC \times 0.2$	
	その他の VCC2 入力端子(注4)	1.65 V 以上	$V_{IH}$	$VCC2 \times 0.8$	—	—	
			$V_{IL}$	—	—	$VCC2 \times 0.2$	
	その他の AVCC0 入力端子(注4)	1.65 V 以上	$V_{IH}$	$AVCC0 \times 0.8$	—	—	
			$V_{IL}$	—	—	$AVCC0 \times 0.2$	

注 1. P205、P206、P402~P404、P406~P415、P511、P512、P709~P715、PB01 (合計 26 端子) に関連する RES および周辺機能端子

注 2. 表で説明した周辺機能端子を除くすべての入力端子。各ポートの電源電圧ごとに項目を分けています。ポートの電源の入出力に関する章を参照してください。

注 3. P205、P206、P402~P404、P406~P415、P511、P512、P709~P715、PB01 (合計 25 端子)

注 4. 表で説明したポートを除くすべての入力端子。各ポートの電源電圧ごとに項目を分けています。ポートの電源の入出力に関する章を参照してください。

注 5. VCC が 1.68 V 未満の場合、5 V トレラントポートの入力電圧は、3.6 V 未満としてください。このようにしないと、絶縁破壊が発生する可能性があります。5 V トレラントポートは耐圧違反を防止するように電氣的に制御されるためです。

2.2.3 I/O I<sub>OH</sub>、I<sub>OL</sub>

表 2.6 I/O I<sub>OH</sub>、I<sub>OL</sub> (1/2)

項目		VCC/ VCC2/ AVCC0	シンボル	Min	Typ	Max	単位	
許容出力電流 (端子ごとの平均値)	ポート P000~P011、P014、P015、P201	—	I <sub>OH</sub>	—	—	-2.0	mA	
			I <sub>OL</sub>	—	—	2.0	mA	
	ポート P205、P206、P402~P404、P406~P415、P511、P512、P709~P715、PA09、PB01 (合計 26 端子)	低駆動(注1)	—	I <sub>OH</sub>	—	—	-2.0	mA
				I <sub>OL</sub>	—	—	2.0	mA
		中駆動(注2)	—	I <sub>OH</sub>	—	—	-4.0	mA
				I <sub>OL</sub>	—	—	4.0	mA
		高駆動(注3)	—	I <sub>OH</sub>	—	—	-20	mA
				I <sub>OL</sub>	—	—	20.0	mA
	ポート P100~P103、P304~P308、P800~P804、P808~P810、PA09 (合計 18 端子)	低駆動(注1)	—	I <sub>OH</sub>	—	—	-2.0	mA
				I <sub>OL</sub>	—	—	2.0	mA
		中駆動(注2)	—	I <sub>OH</sub>	—	—	-4.0	mA
				I <sub>OL</sub>	—	—	4.0	mA
		高駆動(注3)	—	I <sub>OH</sub>	—	—	-16	mA
				I <sub>OL</sub>	—	—	16.0	mA
		高速高駆動(注4)	—	I <sub>OH</sub>	—	—	-20	mA
				I <sub>OL</sub>	—	—	20.0	mA
	ポート PA09	低駆動(注1)	—	I <sub>OH</sub>	—	—	-2.0	mA
				I <sub>OL</sub>	—	—	2.0	mA
		中駆動(注2)	—	I <sub>OH</sub>	—	—	-4.0	mA
				I <sub>OL</sub>	—	—	4.0	mA
		高駆動(注3)	—	I <sub>OH</sub>	—	—	-20	mA
				I <sub>OL</sub>	—	—	20.0	mA
		高速高駆動(注4)	—	I <sub>OH</sub>	—	—	-20	mA
				I <sub>OL</sub>	—	—	20.0	mA
その他の出力端子(注5)	低駆動(注1)	—	I <sub>OH</sub>	—	—	-2.0	mA	
			I <sub>OL</sub>	—	—	2.0	mA	
	中駆動(注2)	—	I <sub>OH</sub>	—	—	-4.0	mA	
			I <sub>OL</sub>	—	—	4.0	mA	
	高駆動(注3)	—	I <sub>OH</sub>	—	—	-16	mA	
			I <sub>OL</sub>	—	—	16.0	mA	

表 2.6 I/O I<sub>OH</sub>、I<sub>OL</sub> (2/2)

項目			VCC/ VCC2/ AVCC0	シンボ ル	Min	Typ	Max	単位	
許容出力電流 (端子ごとの最大値)	ポート P000~P011、P014、P015、P201	—	—	I <sub>OH</sub>	—	—	-4.0	mA	
		—	—	I <sub>OL</sub>	—	—	4.0	mA	
	ポート P205、P206、P402~P404、P406~P415、P511、P512、P709~P715、PA09、PB01 (合計 26 端子)	低駆動(注1)	—	—	I <sub>OH</sub>	—	—	-4.0	mA
			—	—	I <sub>OL</sub>	—	—	4.0	mA
		中駆動(注2)	—	—	I <sub>OH</sub>	—	—	-8.0	mA
			—	—	I <sub>OL</sub>	—	—	8.0	mA
	高駆動(注3)	—	—	I <sub>OH</sub>	—	—	-40	mA	
		—	—	I <sub>OL</sub>	—	—	40.0	mA	
	ポート P100~P103、P304~P308、P800~P804、P808~P810、PA09 (合計 18 端子)	低駆動(注1)	—	—	I <sub>OH</sub>	—	—	-4.0	mA
			—	—	I <sub>OL</sub>	—	—	4.0	mA
		中駆動(注2)	—	—	I <sub>OH</sub>	—	—	-8.0	mA
			—	—	I <sub>OL</sub>	—	—	8.0	mA
		高駆動(注3)	—	—	I <sub>OH</sub>	—	—	-32	mA
			—	—	I <sub>OL</sub>	—	—	32.0	mA
		高速高駆動(注4)	—	—	I <sub>OH</sub>	—	—	-40	mA
			—	—	I <sub>OL</sub>	—	—	40.0	mA
	その他の出力端子(注5)	低駆動(注1)	—	—	I <sub>OH</sub>	—	—	-4.0	mA
			—	—	I <sub>OL</sub>	—	—	4.0	mA
		中駆動(注2)	—	—	I <sub>OH</sub>	—	—	-8.0	mA
			—	—	I <sub>OL</sub>	—	—	8.0	mA
高駆動(注3)		—	—	I <sub>OH</sub>	—	—	-32	mA	
		—	—	I <sub>OL</sub>	—	—	32.0	mA	
許容出力電流 (全端子合計の最大値)	全出力端子の最大値	VCC I/O	1.68 V 以上	ΣI <sub>OH</sub> (max)	—	—	-80	mA	
		VCC2 I/O	1.65 V 以上		—	—	-80		
		AVCC0 I/O	1.65 V 以上		—	—	-33		
		VCC および VCC2 I/O	1.65 V 以上	ΣI <sub>OL</sub> (max)	—	—	80	mA	
		AVCC0 I/O	1.65 V 以上		—	—	33		

- 注 1. PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットで低駆動が選択されている場合の値です。選択された駆動能力は、P400 と P401 を除き、ディープレジスタスタンバイモードで保持されます。
- 注 2. PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットで中駆動が選択されている場合の値です。選択された駆動能力は、P400 と P401 を除き、ディープレジスタスタンバイモードで保持されます。
- 注 3. PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットで高駆動が選択されている場合の値です。選択された駆動能力は、P400 と P401 を除き、ディープレジスタスタンバイモードで保持されます。
- 注 4. PmnPFS レジスタのポート駆動能力で高速高駆動が選択されている場合の値です。選択された駆動能力は、ディープレジスタスタンバイモードで保持されます。
- 注 5. 入力ポートである P200 を除きます。

**【使用上の注意】** MCU の信頼性を確保するため、出力電流値はこの表の値を超えないようにしてください。平均出力電流は、100 μs の間に計測した電流の平均値を意味します。

2.2.4 I/O  $V_{OH}$ 、 $V_{OL}$ 、その他の特性表 2.7 I/O  $V_{OH}$ 、 $V_{OL}$ 、その他の特性 (1/3)

項目	VCC/VCC2/ AVCC0	シンボル	Min	Typ	Max	単位	測定条件			
出力電圧	IIC	$V_{OL}$	—	—	0.4	V	$I_{OL} = 3.0 \text{ mA}$			
			—	—	0.6		$I_{OL} = 6.0 \text{ mA}$			
		1.68 V 以上	$V_{OL}$	—	—		$VCC \times 0.2$	$I_{OL} = 3.0 \text{ mA}$		
			$V_{OL}$	—	—		0.6	$I_{OL} = 6.0 \text{ mA}$		
	IIC(注1)	2.70 V 以上	$V_{OL}$	—	—		0.4	$I_{OL} = 15.0 \text{ mA}$ (ICFER.FMPE = 1)		
			$V_{OL}$	—	0.4		—	$I_{OL} = 20.0 \text{ mA}$ (ICFER.FMPE = 1)		
	I3C	2.70 V 以上	$V_{OL}$	—	—		0.4	$I_{OL} = 3.0 \text{ mA}$ (PRTS.PRTMD = 1, BFCTL.FMPE = 0, BFCTL.HSME = 0)		
				—	—		0.6	$I_{OL} = 6.0 \text{ mA}$ (PRTS.PRTMD = 1, BFCTL.FMPE = 0, BFCTL.HSME = 0)		
			$V_{OL}$	—	—		0.4	$I_{OL} = 15.0 \text{ mA}$ (PRTS.PRTMD = 1, BFCTL.FMPE = 1, BFCTL.HSME = 0)		
				—	0.4		—	$I_{OL} = 20.0 \text{ mA}$ (PRTS.PRTMD = 1, BFCTL.FMPE = 1, BFCTL.HSME = 0)		
			$V_{OL}$	—	—		0.4	$I_{OL} = 3.0 \text{ mA}$ (PRTS.PRTMD = 1, BFCTL.FMPE = 0, BFCTL.HSME = 1)		
				$V_{OH}$	$VCC - 0.27$		—	—	$I_{OH} = 3.0 \text{ mA}$ (PRTS.PRTMD = 0, BFCTL.FMPE = 0, BFCTL.HSME = 0)	
			$V_{OL}$	—	—		0.27	$I_{OL} = 3.0 \text{ mA}$ (PRTS.PRTMD = 0, BFCTL.FMPE = 0, BFCTL.HSME = 0)		
				1.68 V 以上	$V_{OL}$		—	—	$VCC \times 0.2$	$I_{OL} = 3.0 \text{ mA}$ (PRTS.PRTMD = 1, BFCTL.FMPE = 0, BFCTL.HSME = 0)
			—				—	0.6	$I_{OL} = 6.0 \text{ mA}$ (PRTS.PRTMD = 1, BFCTL.FMPE = 0, BFCTL.HSME = 0)	
			$V_{OL}$	—	—		$VCC \times 0.2$	$I_{OL} = 3.0 \text{ mA}$ (PRTS.PRTMD = 1, BFCTL.FMPE = 0, BFCTL.HSME = 1)		
				$V_{OH}$	$VCC - 0.27$		—	—	$I_{OH} = 3.0 \text{ mA}$ (PRTS.PRTMD = 0, BFCTL.FMPE = 0, BFCTL.HSME = 0)	
			$V_{OL}$	—	—		0.27	$I_{OL} = 3.0 \text{ mA}$ (PRTS.PRTMD = 0, BFCTL.FMPE = 0, BFCTL.HSME = 0)		
				ETHERC	2.70 V 以上		$V_{OH}$	$VCC - 0.5$	—	—
			$V_{OL}$				—	—	0.4	$I_{OL} = 1.0 \text{ mA}$
	SD	2.70 V 以上	$V_{OH}$	$VCC \times 0.75$	—		—	$I_{OH} = -2.0 \text{ mA}$		
				$V_{OL}$	—		—	$VCC \times 0.125$	$I_{OL} = 3.0 \text{ mA}$	
			$V_{OH}$	$VCC2 \times 0.75$	—		—	$I_{OH} = -2.0 \text{ mA}$		
				$V_{OL}$	—		—	$VCC2 \times 0.125$	$I_{OL} = 3.0 \text{ mA}$	
1.70 V ~ 1.95 V			$V_{OH}$	1.4	—	—	$I_{OH} = -2.0 \text{ mA}$			
			$V_{OL}$	—	—	0.45	$I_{OL} = 2.0 \text{ mA}$			

表 2.7 I/O  $V_{OH}$ 、 $V_{OL}$ 、その他の特性 (2/3)

項目		VCC/VCC2/ AVCC0	シンボ ル	Min	Typ	Max	単位	測定条件
出力電 圧	MMC	2.70 V 以上	$V_{OH}$	$VCC \times 0.75$	—	—	V	$I_{OH} = -0.1 \text{ mA}$ ( $VCC = 2.7 \text{ V}$ )
			$V_{OL}$	—	—	$VCC \times 0.125$		$I_{OL} = 0.1 \text{ mA}$ ( $VCC = 2.7 \text{ V}$ )
			$V_{OH}$	$VCC2 \times 0.75$	—	—		$I_{OH} = -0.1 \text{ mA}$ ( $VCC2 = 2.7 \text{ V}$ )
			$V_{OL}$	—	—	$VCC2 \times 0.125$		$I_{OL} = 0.1 \text{ mA}$ ( $VCC2 = 2.7 \text{ V}$ )
		1.70 V ~ 1.95 V	$V_{OH}$	$VCC - 0.45$	—	—	$I_{OH} = -2.0 \text{ mA}$	
			$V_{OL}$	—	—	0.45	$I_{OL} = 2.0 \text{ mA}$	
	$V_{OH}$		$VCC2 - 0.45$	—	—	$I_{OH} = -2.0 \text{ mA}$		
	ポート P205, P206, P402~ P404, P406~ P415, P511, P512, P709~ P715, PA09, PB01 (合計 26 端 子) (注2)	—	$V_{OH}$	$VCC - 1.0$	—	—	$I_{OH} = -20 \text{ mA}$ $VCC = 3.3 \text{ V}$	
		—	$V_{OL}$	—	—	1	$I_{OL} = 20 \text{ mA}$ $VCC = 3.3 \text{ V}$	
	その他の出力端子	1.68 V 以上	$V_{OH}$	$VCC - 0.5$	—	—	$I_{OH} = -1.0 \text{ mA}$	
			$V_{OL}$	—	—	0.5	$I_{OL} = 1.0 \text{ mA}$	
		1.65 V 以上	$V_{OH}$	$VCC2 - 0.5$	—	—	$I_{OH} = -1.0 \text{ mA}$	
			$V_{OL}$	—	—	0.5	$I_{OL} = 1.0 \text{ mA}$	
			$V_{OH}$	$AVCC0 - 0.5$	—	—	$I_{OH} = -1.0 \text{ mA}$	
			$V_{OL}$	—	—	0.5	$I_{OL} = 1.0 \text{ mA}$	
入カ リ 電 流	RES	1.68 V 以上	$ I_{in} $	—	—	5.0	$\mu\text{A}$	$V_{in} = 0 \text{ V}$ $V_{in} = 5.5 \text{ V}$
	ポート P200	1.68 V 以上		—	—	1.0		$V_{in} = 0 \text{ V}$ $V_{in} = VCC$
スリー ステ ート 電 流 (オフ 状 態)	5 V トレラントポ ート	1.68 V 以上	$ I_{TSI} $	—	—	5.0	$\mu\text{A}$	$V_{in} = 0 \text{ V}$ $V_{in} = 5.5 \text{ V}$
	その他のポート (P200 を除く)	1.68 V 以上		—	—	1.0		$V_{in} = 0 \text{ V}$ $V_{in} = VCC$
		1.65 V 以上		—	—	1.0		$V_{in} = 0 \text{ V}$ $V_{in} = VCC2, AVCC0$
入カ プ ル ア ッ プ MOS 電 流	ポート P0~PB	2.70 V 以上	$I_p$	-300	—	-10	$\mu\text{A}$	$VCC, VCC2, AVCC0 = 2.7 \sim 3.6 \text{ V}$ $V_{in} = 0 \text{ V}$
		1.68 V 以上		-300	—	-5		$VCC = 1.68 \sim 3.6 \text{ V}$ $V_{in} = 0 \text{ V}$
		1.65 V 以上		-300	—	-5		$VCC2, AVCC0 = 1.65 \sim 3.6 \text{ V}$ $V_{in} = 0 \text{ V}$

表 2.7 I/O  $V_{OH}$ 、 $V_{OL}$ 、その他の特性 (3/3)

項目	VCC/VCC2/ AVCC0	シンボ ル	Min	Typ	Max	単位	測定条件
SCL 電 流ソ ースと して機 能す るプ ルア ッ プ電 流	I3C(注3) 3.0 V~3.6 V	$I_{CS}$	3	—	12	mA	$V_{CC} = 3.0 \sim 3.6 \text{ V}$ $V_{in} = 0.3 \times V_{CC} \sim 0.7 \times V_{CC}$
	1.68 V~1.95 V						$V_{CC} = 1.68 \sim 1.95 \text{ V}$ $V_{in} = 0.3 \times V_{CC} \sim 0.7 \times V_{CC}$
入力容 量	ポート P014, P015	$C_{in}$	—	—	16	pF	$V_{bias} = 0 \text{ V}$ $V_{amp} = 20 \text{ mV}$ $f = 1 \text{ MHz}$ $T_a = 25 \text{ }^\circ\text{C}$
	ポート P814/ USB_DP, P815/ USB_DM		—	—	12		
	ポート P400, P401, P409, P410, P511, P512		—	—	10		
	その他の入力端子		—	—	8		

注 1. SCL0\_A, SDA0\_A, SCL1\_A, SDA1\_A (合計 4 端子)

注 2. PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットで高駆動が選択されている場合の値です。  
選択された駆動能力は、ディープソフトウェアスタンバイモードで保持されます。

注 3. I3C\_SCL0 (1 端子)。これは IIC High-speed モード選択時の値です。

## 2.2.5 動作電流とスタンバイ電流

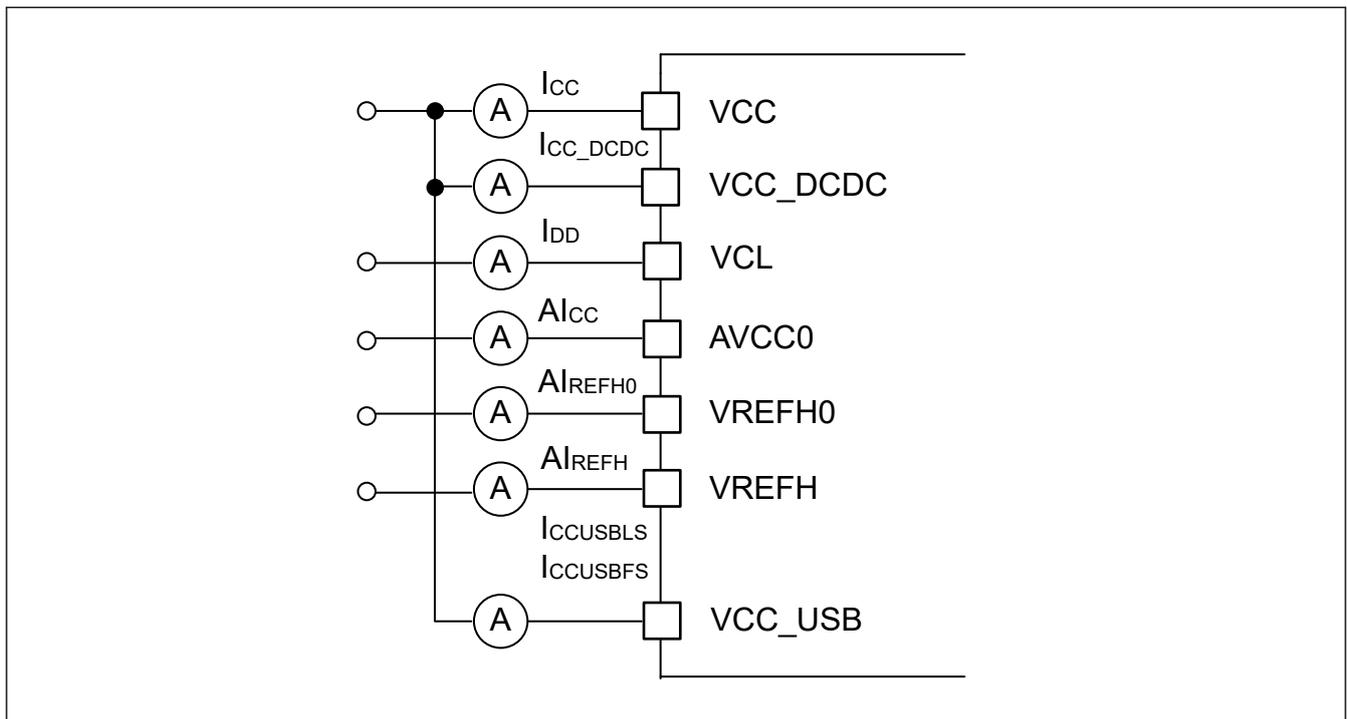


図 2.2 消費電流測定図

表 2.8 High-speed モード、最大条件 (MVE および周辺機能動作) (DCDC モード) における電流

項目	シンボル	Typ	Max		単位	測定条件			
			105 °C	125 °C					
消費電流(注1)	—	I <sub>CC</sub>	2.8	7.05	7.19	mA			
消費電流(注2)	CPUCLK = 480 MHz	VCC_DCD C ≥ 2.5 V	I <sub>CC_DCDC</sub> (注5)	159	289	—	mA	VCC_DCDC = 3.3 V CPUCLK = 480 MHz, ICLK = 240 MHz, PCLKA = 120 MHz, PCLKB = 60 MHz, PCLKC = 60 MHz, PCLKD = 120 MHz, PCLKE = 240 MHz, FCLK = 60 MHz, BCLK = 120 MHz	
			I <sub>DD</sub> (注3)	374	595	—			
		VCC_DCD C < 2.5 V	I <sub>CC_DCDC</sub> (注5)	292	320	—			VCC_DCDC = 1.8 V
			I <sub>DD</sub>	374	400(注4)	—			
	CPUCLK = 400 MHz	VCC_DCD C ≥ 2.5 V	I <sub>CC_DCDC</sub> (注5)	133	255	295	mA	VCC_DCDC = 3.3 V CPUCLK = 400 MHz, ICLK = 200 MHz, PCLKA = 100 MHz, PCLKB = 50 MHz, PCLKC = 50 MHz, PCLKD = 100 MHz, PCLKE = 100 MHz, FCLK = 50 MHz, BCLK = 100 MHz	
			I <sub>DD</sub> (注3)	312	526	607			
		VCC_DCD C < 2.5 V	I <sub>CC_DCDC</sub> (注5)	244	320	320			VCC_DCDC = 1.8 V
			I <sub>DD</sub>	312	400(注4)	400(注4)			
CPUCLK = 360 MHz	VCC_DCD C ≥ 2.5 V	I <sub>CC_DCDC</sub> (注5)	122	243	283	mA	VCC_DCDC = 3.3 V CPUCLK = 360 MHz, ICLK = 120 MHz, PCLKA = 120 MHz, PCLKB = 60 MHz, PCLKC = 60 MHz, PCLKD = 120 MHz, PCLKE = 120 MHz, FCLK = 60 MHz, BCLK = 120 MHz		
		I <sub>DD</sub> (注3)	287	501	583				
	VCC_DCD C < 2.5 V	I <sub>CC_DCDC</sub> (注5)	224	320	320			VCC_DCDC = 1.8 V	
		I <sub>DD</sub>	287	400(注4)	400(注4)				
CPUCLK = 240 MHz	VCC_DCD C ≥ 2.5 V	I <sub>CC_DCDC</sub> (注5)	95	210	249	mA	VCC_DCDC = 3.3 V CPUCLK = 240 MHz, ICLK = 240 MHz, PCLKA = 120 MHz, PCLKB = 60 MHz, PCLKC = 60 MHz, PCLKD = 120 MHz, PCLKE = 120 MHz, FCLK = 60 MHz, BCLK = 120 MHz		
		I <sub>DD</sub> (注3)	224	432	514				
	VCC_DCD C < 2.5 V	I <sub>CC_DCDC</sub> (注5)	175	320	320			VCC_DCDC = 1.8 V	
		I <sub>DD</sub>	224	400(注4)	400(注4)				

注 1. 消費電流値はすべての出力端子を無負荷状態にして、さらにすべての入力プルアップ MOS をオフ状態にした場合の値です。

注 2. 動作中の周辺機能にクロックが供給された状態で計測しました。BGO 動作は含まれません。

注 3. I<sub>DD</sub> は、下記の式にしたがって f (CPUCLK および ICLK) に依存します。

$$I_{DD} \text{ Max. (105 °C)} = 0.68 \times f_{CPUCLK} + 0.41 \times f_{ICLK} + 175 \text{ (単位: mA、ただし } f_{CPUCLK} \text{ および } f_{ICLK} \text{ については MHz)}$$

$$I_{DD} \text{ Max. (125 °C)} = 0.68 \times f_{CPUCLK} + 0.41 \times f_{ICLK} + 253 \text{ (単位: mA、ただし } f_{CPUCLK} \text{ および } f_{ICLK} \text{ については MHz)}$$

注 4. VCC\_DCDC < 2.5 V において、動作時の実消費電流はここに示す電流値を上回らないこと。

注 5. 標準 DCDC 効率が適用されます。

表 2.9 High-speed モード、最大条件 (MVE および周辺機能動作) (外部 VDD モード) における電流

項目	CPUCLK 周波数	シンボル	Typ	Max		単位	測定条件
				105 °C	125 °C		
消費電流(注1) (注2)	—	I <sub>CC</sub>	2.8	7.05	7.19	mA	
	CPUCLK = 480 MHz	I <sub>DD</sub> (注3)	374	595	—	mA	CPUCLK = 480 MHz, ICLK = 240 MHz, PCLKA = 120 MHz, PCLKB = 60 MHz, PCLKC = 60 MHz, PCLKD = 120 MHz, PCLKE = 240 MHz, FCLK = 60 MHz, BCLK = 120 MHz
	CPUCLK = 400 MHz	I <sub>DD</sub> (注3)	312	526	607	mA	CPUCLK = 400 MHz, ICLK = 200 MHz, PCLKA = 100 MHz, PCLKB = 50 MHz, PCLKC = 50 MHz, PCLKD = 100 MHz, PCLKE = 100 MHz, FCLK = 50 MHz, BCLK = 100 MHz
	CPUCLK = 360 MHz	I <sub>DD</sub> (注3)	287	501	583	mA	CPUCLK = 360 MHz, ICLK = 120 MHz, PCLKA = 120 MHz, PCLKB = 60 MHz, PCLKC = 60 MHz, PCLKD = 120 MHz, PCLKE = 120 MHz, FCLK = 60 MHz, BCLK = 120 MHz
	CPUCLK = 240 MHz	I <sub>DD</sub> (注3)	224	432	514	mA	CPUCLK = 240 MHz, ICLK = 240 MHz, PCLKA = 120 MHz, PCLKB = 60 MHz, PCLKC = 60 MHz, PCLKD = 120 MHz, PCLKE = 120 MHz, FCLK = 60 MHz, BCLK = 120 MHz

注 1. 消費電流値はすべての出力端子を無負荷状態にして、さらにすべての入力プルアップ MOS をオフ状態にした場合の値です。

注 2. 動作中の周辺機能にクロックが供給された状態で計測しました。BGO 動作は含まれません。

注 3. I<sub>DD</sub> は、下記の式にしたがって f (CPUCLK および ICLK) に依存します。

$$I_{DD} \text{ Max. (105 °C)} = 0.68 \times f \text{ CPUCLK} + 0.41 \times f \text{ ICLK} + 175 \text{ (単位: mA、ただし fCPUCLK および fICLK については MHz)}$$

$$I_{DD} \text{ Max. (125 °C)} = 0.68 \times f \text{ CPUCLK} + 0.41 \times f \text{ ICLK} + 253 \text{ (単位: mA、ただし fCPUCLK および fICLK については MHz)}$$

表 2.10 High-speed モード、最大データ処理 (MVE 動作)、周辺クロック ON (DCDC モード) における電流

項目	シンボル	Typ	Max		単位	測定条件
			105 °C	125 °C		
消費電流(注1) (注2)	CPUCLK = 480 MHz	I <sub>CC_DCDC</sub> (注4)	154	271	—	mA VCC_DCDC = 3.3 V (注5)
		I <sub>DD</sub> (注3)	362	559	—	
	CPUCLK = 400 MHz	I <sub>CC_DCDC</sub> (注4)	130	242	282	
		I <sub>DD</sub> (注3)	305	497	580	
	CPUCLK = 360 MHz	I <sub>CC_DCDC</sub> (注4)	119	228	268	
		I <sub>DD</sub> (注3)	279	469	552	
	CPUCLK = 240 MHz	I <sub>CC_DCDC</sub> (注4)	92	194	234	
		I <sub>DD</sub> (注3)	215	399	483	

注 1. 消費電流値はすべての出力端子を無負荷状態にして、さらにすべての入力プルアップ MOS をオフ状態にした場合の値です。

注 2. 動作中の周辺機能にクロックが供給された状態で計測しました。BGO 動作は含まれません。

注 3. I<sub>DD</sub> は、下記の式にしたがって f (CPUCLK および ICLK) に依存します。

$$I_{DD} \text{ Max. (105 °C)} = 0.67 \times f \text{ CPUCLK} + 0.29 \times f \text{ ICLK} + 175 \text{ (単位: mA、ただし fCPUCLK および fICLK については MHz)}$$

$$I_{DD} \text{ Max. (125 °C)} = 0.67 \times f \text{ CPUCLK} + 0.29 \times f \text{ ICLK} + 253 \text{ (単位: mA、ただし fCPUCLK および fICLK については MHz)}$$

注 4. 標準 DCDC 効率が適用されます。

注 5. 最大条件下と同じ周波数条件が適用されます。

表 2.11 High-speed モード、最大データ処理 (MVE 動作)、周辺クロック ON (外部 VDD モード) における電流

項目	シンボル	Typ	Max		単位	測定条件
			105 °C	125 °C		
消費電流(注1) (注2)	CPUCLK = 480 MHz	$I_{DD}$ (注3)	362	559	—	(注4)
	CPUCLK = 400 MHz	$I_{DD}$ (注3)	305	497	580	
	CPUCLK = 360 MHz	$I_{DD}$ (注3)	279	469	552	
	CPUCLK = 240 MHz	$I_{DD}$ (注3)	215	399	483	

注 1. 消費電流値はすべての出力端子を無負荷状態にして、さらにすべての入力プルアップ MOS をオフ状態にした場合の値です。

注 2. 動作中の周辺機能にクロックが供給された状態で計測しました。BGO 動作は含まれません。

注 3.  $I_{DD}$  は、下記の式にしたがって  $f$  (CPUCLK および ICLK) に依存します。

$$I_{DD} \text{ Max. (105 °C)} = 0.67 \times f \text{ CPUCLK} + 0.29 \times f \text{ ICLK} + 175 \text{ (単位: mA、ただし } f \text{ CPUCLK および } f \text{ ICLK については MHz)}$$

$$I_{DD} \text{ Max. (125 °C)} = 0.67 \times f \text{ CPUCLK} + 0.29 \times f \text{ ICLK} + 253 \text{ (単位: mA、ただし } f \text{ CPUCLK および } f \text{ ICLK については MHz)}$$

注 4. 最大条件下と同じ周波数条件が適用されます。

表 2.12 High-speed モード、最大データ処理 (MVE 動作)、周辺クロック OFF (DCDC モード) における電流

項目	シンボル	Typ	Max		単位	測定条件
			105 °C	125 °C		
消費電流(注1) (注2)	CPUCLK = 480 MHz	$I_{CC\_DCDC}$ (注4)	146	260	—	VCC_DCDC = 3.3 V (注5)
		$I_{DD}$ (注3)	342	536	—	
	CPUCLK = 400 MHz	$I_{CC\_DCDC}$ (注4)	123	232	272	
		$I_{DD}$ (注3)	289	478	560	
	CPUCLK = 360 MHz	$I_{CC\_DCDC}$ (注4)	111	216	256	
		$I_{DD}$ (注3)	261	445	528	
	CPUCLK = 240 MHz	$I_{CC\_DCDC}$ (注4)	83	181	222	
		$I_{DD}$ (注3)	194	373	457	

注 1. 消費電流値はすべての出力端子を無負荷状態にして、さらにすべての入力プルアップ MOS をオフ状態にした場合の値です。

注 2. この状態では、周辺機能へのクロック信号供給は停止されています。BGO 動作は含まれません。

注 3.  $I_{DD}$  は、下記の式にしたがって  $f$  (CPUCLK および ICLK) に依存します。

$$I_{DD} \text{ Max. (105 °C)} = 0.68 \times f \text{ CPUCLK} + 0.17 \times f \text{ ICLK} + 175 \text{ (単位: mA、ただし } f \text{ CPUCLK および } f \text{ ICLK については MHz)}$$

$$I_{DD} \text{ Max. (125 °C)} = 0.68 \times f \text{ CPUCLK} + 0.17 \times f \text{ ICLK} + 253 \text{ (単位: mA、ただし } f \text{ CPUCLK および } f \text{ ICLK については MHz)}$$

注 4. 標準 DCDC 効率が適用されます。

注 5. 最大条件下と同じ周波数条件が適用されます。

表 2.13 High-speed モード、最大データ処理 (MVE 動作)、周辺クロック OFF (外部 VDD モード) における電流

項目	シンボル	Typ	Max		単位	測定条件
			105 °C	125 °C		
消費電流(注1) (注2)	CPUCLK = 480 MHz	$I_{DD}$ (注3)	342	536	—	(注4)
	CPUCLK = 400 MHz	$I_{DD}$ (注3)	289	478	560	
	CPUCLK = 360 MHz	$I_{DD}$ (注3)	261	445	528	
	CPUCLK = 240 MHz	$I_{DD}$ (注3)	194	373	457	

注 1. 消費電流値はすべての出力端子を無負荷状態にして、さらにすべての入力プルアップ MOS をオフ状態にした場合の値です。

注 2. この状態では、周辺機能へのクロック信号供給は停止されています。BGO 動作は含まれません。

注 3.  $I_{DD}$  は、下記の式にしたがって  $f$  (CPUCLK および ICLK) に依存します。

$$I_{DD} \text{ Max. (105 °C)} = 0.68 \times f \text{ CPUCLK} + 0.17 \times f \text{ ICLK} + 175 \text{ (単位: mA、ただし } f \text{ CPUCLK および } f \text{ ICLK については MHz)}$$

$$I_{DD} \text{ Max. (125 °C)} = 0.68 \times f \text{ CPUCLK} + 0.17 \times f \text{ ICLK} + 253 \text{ (単位: mA、ただし } f \text{ CPUCLK および } f \text{ ICLK については MHz)}$$

注 4. 最大条件下と同じ周波数条件が適用されます。

表 2.14 High-speed モード、CPU スリープモード (DCDC モードおよび外部 VDD モード) における電流

項目	シンボル	Typ	Max		単位	測定条件	
			105 °C	125 °C			
消費電流(注1)(注3)(注4)	CPUCLK = 240 MHz	$I_{DD}$ (注2)	29	216	310	mA	—

注 1. 消費電流値はすべての出力端子を無負荷状態にして、さらにすべての入力プルアップ MOS をオフ状態にした場合の値です。

注 2.  $I_{DD}$  は、下記の式にしたがって  $f$  (CPUCLK および ICLK) に依存します。

$$I_{DD} \text{ Typ. (25 °C)} = 0.063 \times f_{\text{CPUCLK}} + 0.13 \times f_{\text{ICLK}} + 17.6 \text{ (単位: mA、ただし } f_{\text{CPUCLK}} \text{ および } f_{\text{ICLK}} \text{ については MHz)}$$

$$I_{DD} \text{ Max. (105 °C)} = 0.063 \times f_{\text{CPUCLK}} + 0.13 \times f_{\text{ICLK}} + 175 \text{ (単位: mA、ただし } f_{\text{CPUCLK}} \text{ および } f_{\text{ICLK}} \text{ については MHz)}$$

$$I_{DD} \text{ Max. (125 °C)} = 0.063 \times f_{\text{CPUCLK}} + 0.13 \times f_{\text{ICLK}} + 253 \text{ (単位: mA、ただし } f_{\text{CPUCLK}} \text{ および } f_{\text{ICLK}} \text{ については MHz)}$$

注 3. この状態では、周辺機能へのクロック信号供給は停止されています。BGO 動作は含まれません。

注 4. ICLK、FCLK、BCLK、PCLKA、PCLKB、PCLKC、PCLKD、および PCLKE は、64 分周に設定されています。

表 2.15 High-speed モード、CPU ディープスリープモード (DCDC モードおよび外部 VDD モード) における電流

項目	シンボル	Typ	Max		単位	測定条件	
			105 °C	125 °C			
消費電流(注1)(注3)(注4)	CPUCLK = 240 MHz	$I_{DD}$ (注2)	12	85	112	mA	—

注 1. 消費電流値はすべての出力端子を無負荷状態にして、さらにすべての入力プルアップ MOS をオフ状態にした場合の値です。

注 2.  $I_{DD}$  は、下記の式にしたがって  $f$  (ICLK) に依存します。

$$I_{DD} \text{ Typ. (25 °C)} = 0.13 \times f_{\text{ICLK}} + 5 \text{ (単位: mA、ただし } f_{\text{CPUCLK}} \text{ および } f_{\text{ICLK}} \text{ については MHz)}$$

$$I_{DD} \text{ Max. (105 °C)} = 0.13 \times f_{\text{ICLK}} + 69 \text{ (単位: mA、ただし } f_{\text{CPUCLK}} \text{ および } f_{\text{ICLK}} \text{ については MHz)}$$

$$I_{DD} \text{ Max. (125 °C)} = 0.13 \times f_{\text{ICLK}} + 97 \text{ (単位: mA、ただし } f_{\text{CPUCLK}} \text{ および } f_{\text{ICLK}} \text{ については MHz)}$$

注 3. この状態では、周辺機能へのクロック信号供給は停止されています。BGO 動作は含まれません。

注 4. ICLK、FCLK、BCLK、PCLKA、PCLKB、PCLKC、PCLKD、および PCLKE は、64 分周に設定されています。

表 2.16 BGO 動作時の増加分 (DCDC モードおよび外部 VDD モード)

項目	シンボル	Typ	Max		単位	測定条件
			105 °C	125 °C		
消費電流(注1)	データフラッシュ P/E	$I_{CC}$	6	—	mA	—
	コードフラッシュ P/E		8	—		

注 1. 消費電流値はすべての出力端子を無負荷状態にして、さらにすべての入力プルアップ MOS をオフ状態にした場合の値です。

表 2.17 Low-speed モード (DCDC モード) における電流

項目	シンボル	Typ	Max		単位	測定条件
			105 °C	125 °C		
消費電流(注1)(注2)(注3)	$I_{DD}$	14.5	—	—	mA	CPUCLK = ICLK = 1 MHz

注 1. 消費電流値はすべての出力端子を無負荷状態にして、さらにすべての入力プルアップ MOS をオフ状態にした場合の値です。

注 2. この状態では、周辺機能へのクロック信号供給は停止されています。BGO 動作は含まれません。

注 3. FCLK、BCLK、PCLKA、PCLKB、PCLKC、PCLKD、および PCLKE は、64 分周 (15.6 kHz) に設定されています。

表 2.18 スタンバイ電流 (DCDC モード)

項目	シンボル	Typ	Max 125 °C	単位	測定条件		
消費電流 (注1)	ソフトウェアスタンバイモード(注2)		I <sub>CC</sub>	0.02	0.94	mA	—
	SRAM と TCM のデータは保持されます。		I <sub>CC_DCDC</sub>	0.88	28.29		VCC_DCDC = 3.3 V PDRAMSCR0.RKEEPn = 1 (n = 0~6) PDRAMSCR1.RKEEP0 = 1
	SRAM と TCM のデータは保持されません。		I <sub>CC_DCDC</sub>	0.83	26.64		VCC_DCDC = 3.3 V PDRAMSCR0.RKEEPn = 0 (n = 0~6) PDRAMSCR1.RKEEP0 = 0
	ディープソフトウェアスタンバイモード 1		I <sub>CC</sub>	5.21	148	μA	—
			I <sub>CC_DCDC</sub>	0.57	5.50		—
	機能起動時に増加	スタンバイ SRAM のデータは保持されます。	I <sub>CC</sub>	0.12	2.60		—
		PVD0, PVD1, PVD2		表 2.20 を参照			—
		LOCO 使用時		3.10	—		—
		水晶振動子		表 2.21 を参照			—
	IWDT および ULPT (すべてのユニット) が動作中			0.07	—		—
	ディープソフトウェアスタンバイモード 2		I <sub>CC</sub>	1.68	43.99	—	
			I <sub>CC_DCDC</sub>	0.57	5.50	—	
機能起動時に増加	PVD0, PVD1, PVD2	I <sub>CC</sub>	表 2.20 を参照		—		
	水晶振動子		表 2.21 を参照		—		
ディープソフトウェアスタンバイモード 3		I <sub>CC</sub>	0.99	42.90	—		
		I <sub>CC_DCDC</sub>	0.57	5.50	—		
機能起動時に増加	水晶振動子	I <sub>CC</sub>	表 2.21 を参照		—		

注 1. 消費電流値はすべての出力端子を無負荷状態にして、さらにすべての入力プルアップ MOS をオフ状態にした場合の値です。

注 2. 外部クロックを使用する場合、EXTAL 端子はプルアップまたはプルダウンです。クロックがトグルされる場合、ソフトウェアスタンバイモードの電流消費は、通常の条件下では 48 MHz で 130 μA 増加します。

表 2.19 Coremark およびノーマルモード電流 (DCDC および外部電源モード)

項目			シンボル	Typ	Max	単位	測定条件	
消費電流(注1)(注2)	Coremark	キャッシュはオン	$I_{DD}$	318	—	$\mu\text{A}/\text{MHz}$	CPUCLK = 480 MHz ICLK = 240 MHz PCLKA = 7.5 MHz PCLKB = 7.5 MHz PCLKC = 7.5 MHz PCLKD = 7.5 MHz PCLKE = 7.5 MHz FCLK = 7.5 MHz BCLK = 7.5 MHz	
		キャッシュはオフ、ITCM から実行		281	—			
		キャッシュはオフ、SRAM から実行		178	—			
		キャッシュはオフ、フラッシュから実行		169	—			
	通常モード	すべての周辺機能が無効、キャッシュはオン、While (1) コードはフラッシュから実行		223	—			
		すべての周辺機能が無効、キャッシュはオフ、While (1) コードはフラッシュから実行		138	—			
	Coremark	キャッシュはオフ、フラッシュから実行		165	—	$\mu\text{A}/\text{MHz}$		CPUCLK = 360 MHz ICLK = 120 MHz PCLKA = 30 MHz PCLKB = 30 MHz PCLKC = 30 MHz PCLKD = 30 MHz PCLKE = 30 MHz FCLK = 30 MHz BCLK = 30 MHz
	通常モード	すべての周辺機能が無効、キャッシュはオフ、While (1) コードはフラッシュから実行		137	—			

注 1. 消費電流値はすべての出力端子を無負荷状態にして、さらにすべての入力プルアップ MOS をオフ状態にした場合の値です。

注 2. この状態では、周辺機能へのクロック信号供給は停止されています。BGO 動作は含まれません。

表 2.20 ディープソフトウェアスタンバイモード 1 と 2 で PVD0、PVD1、PVD2 有効時の増加

項目		シンボル	Typ	Max 125 °C	単位	測定条件
消費電流	ディープソフトウェアスタンバイモード 1 で PVDn (n = 0~2) を有効化するときの共通回路	$I_{CC}$	4.51	—	$\mu\text{A}$	—
	ディープソフトウェアスタンバイモード 2 で PVDn (n = 0~2) を有効化するときの共通回路		4.97	—		—
	OFS1(_SEC), PVDLPSEL = 1 で有効化された PVD0		2.16	—		—
	PVD1 有効		2.16	—		—
	PVD2 有効		2.16	—		—

表 2.21 ディープソフトウェアスタンバイモード 1, 2, 3 でサブクロック発振器有効時の増加

項目		シンボル	Typ	Max 125 °C	単位	測定条件	
消費電流	水晶振動子を使用時	$I_{CC}$	低消費電力モード 3	0.22	—	$\mu\text{A}$	—
			低消費電力モード 2	0.27	—		—
			低消費電力モード 1	0.34	—		—
			標準モード	0.67	—		—

表 2.22 インラッシュカレント

項目				シンボル	Typ	Max 125 °C	単位	測定条件
消費電流	ディープソフトウェアスタンバイモードからの復帰時のインラッシュカレント	VCC_DCD C のインラッシュカレント(注1)	DPSBYGR.DCSSMODE = 0	I <sub>RUSH</sub>	—	630	mA	—
			DPSBYGR.DCSSMODE = 1		—	1020		—

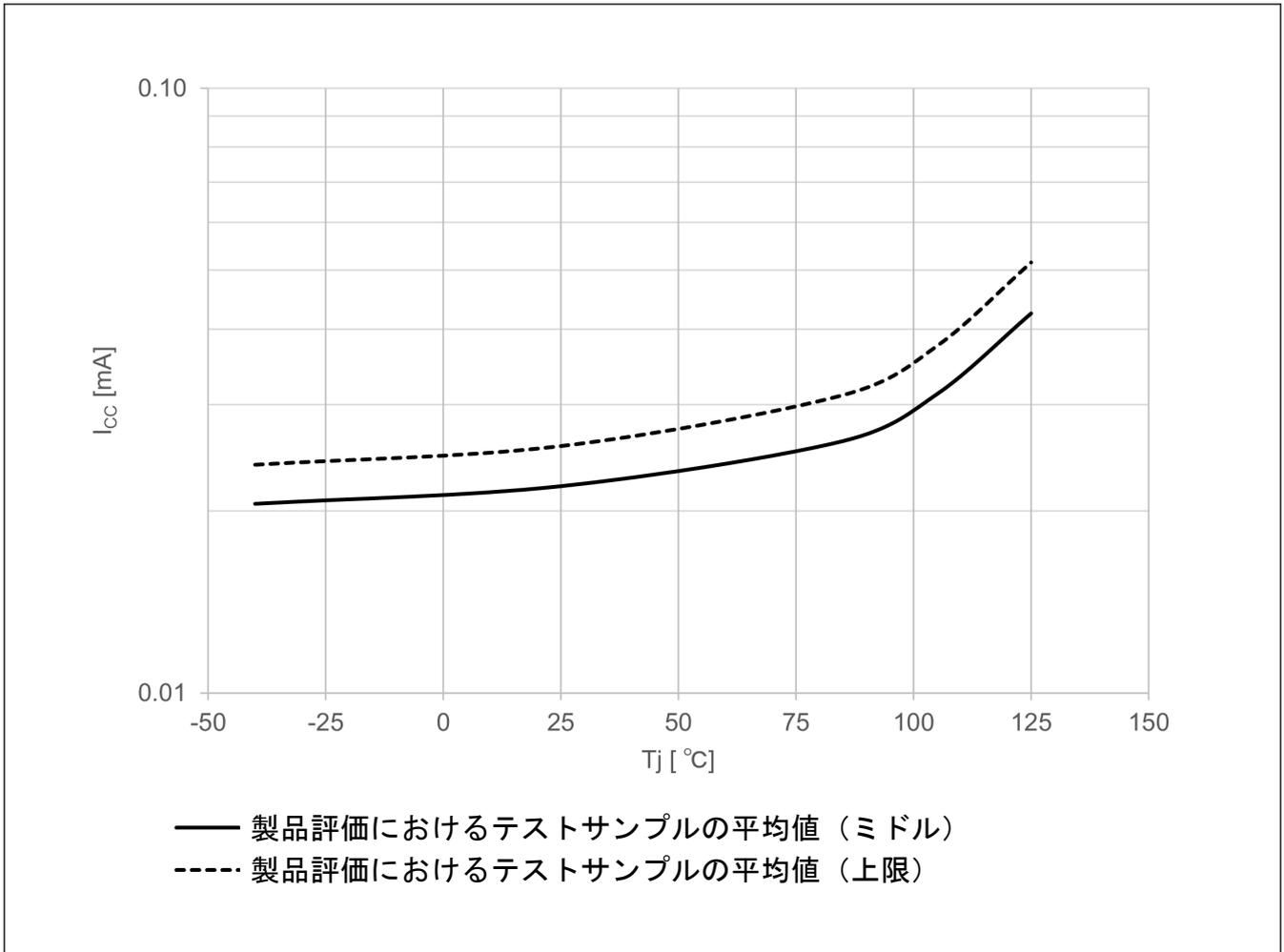
注 1. 参考値

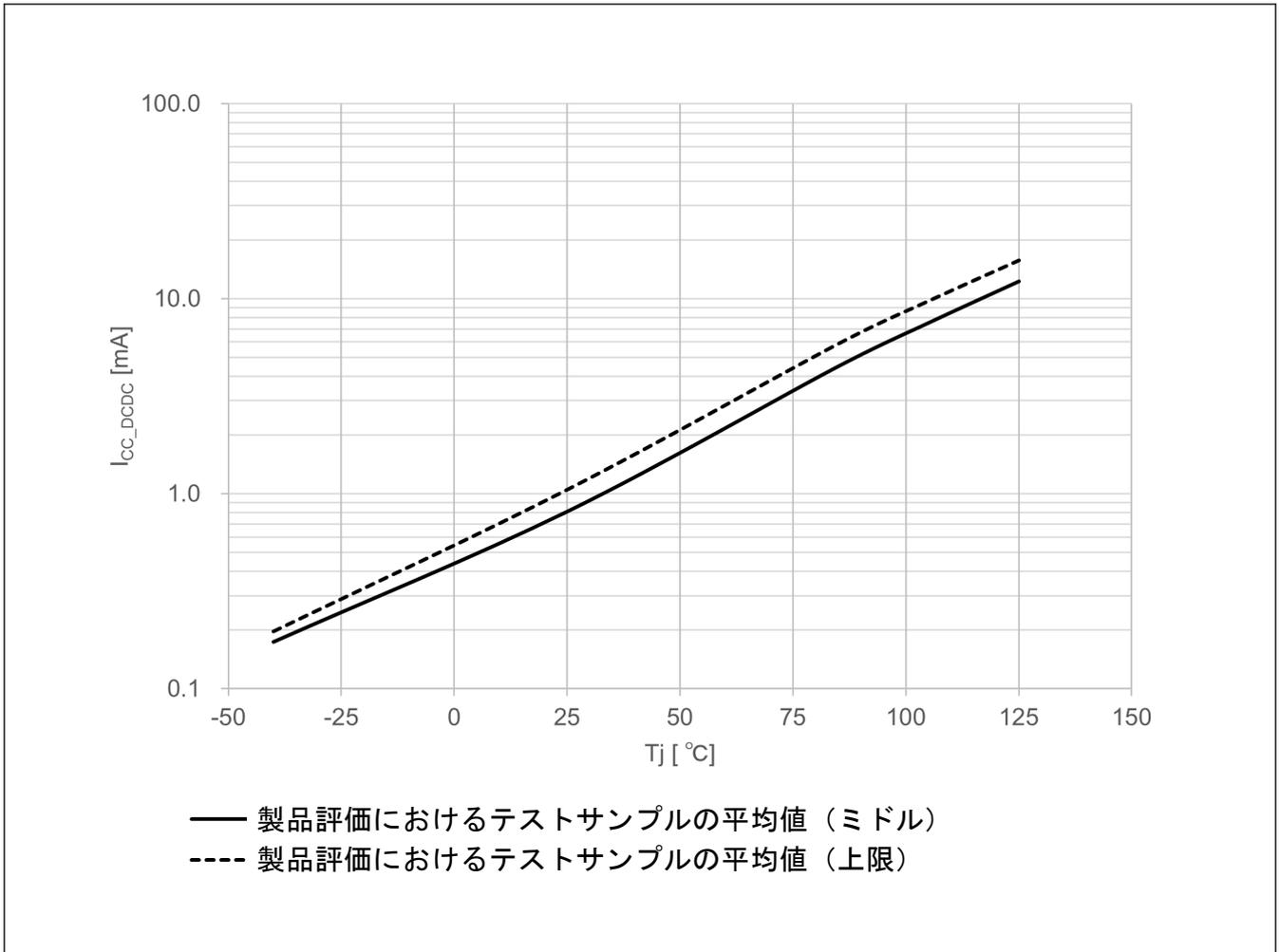
表 2.23 動作電流 (アナログ)

項目				シンボル	Typ	Max 125 °C	単位	測定条件	
消費電流(注1)	発振器	メインクロック発振器		I <sub>CC</sub>	0.48	—	mA	MOMCR.MODRV0[2:0] = 000b	
					0.58	—		MOMCR.MODRV0[2:0] = 011b	
					0.90	—		MOMCR.MODRV0[2:0] = 101b	
					アナログ電源電流	12 ビット A/D 変換中		A <sub>I<sub>CC</sub></sub>	0.8
	S/H アンプによる 12 ビット A/D 変換中		2.3	3.3		—			
	ACMPHS (1 ユニット)		100	150		μA	—		
	温度センサ		0.1	0.2		mA	—		
	D/A 変換中 (1 ユニット当り)	AMP 出力なし	0.1	0.2		mA	—		
		AMP 出力あり	0.8	1.6		mA	—		
	A/D、D/A 変換待機時 (全ユニット)		0.9	1.6		mA	—		
	スタンバイモードの ADC12、DAC12 (全ユニット) (注2)		2	8		μA	—		
	基準電源電流 (VREFH0)	12 ビット A/D 変換中 (ユニット 0)		A <sub>I<sub>REFH0</sub></sub>	70	120	μA	—	
		12 ビット A/D 変換待機時 (ユニット 0)			0.07	0.5		μA	—
		スタンバイモードの ADC12 (ユニット 0)			0.07	0.5		μA	—
	リファレンス電源電流 (VREFH)	12 ビット A/D 変換中 (ユニット 1)		A <sub>I<sub>REFH</sub></sub>	70	120	μA	—	
		D/A 変換中 (1 ユニット当り)	AMP 出力なし		0.1	0.4		mA	—
			AMP 出力あり		0.1	0.4		mA	—
		12 ビット A/D (ユニット 1)、D/A (全ユニット) 変換待機時			0.07	0.8		μA	—
		スタンバイモードの ADC12 (ユニット 1)			0.07	0.8		μA	—
	USB 動作電流	ロースピード	USBFS	I <sub>CCUSBLS</sub>	3.5	6.5	μA	VCC_USB	
		フルスピード	USBFS	I <sub>CCUSBFS</sub>	4.0	10.0		mA	VCC_USB

注 1. 消費電流値はすべての出力端子を無負荷状態にして、さらにすべての入力プルアップ MOS をオフ状態にした場合の値です。

注 2. 本 MCU がソフトウェアスタンバイモードの場合または MSTPCR.DMSTPD16 (12 ビット A/D コンバータ 0 モジュールストップビット) および MSTPCR.DMSTPD15 (12 ビット A/D コンバータ 1 モジュールストップビット) がモジュールストップ状態の場合

図 2.3 ソフトウェアスタンバイモードにおける温度依存性 ( $I_{cc}$ ) (参考データ)

図 2.4 ソフトウェアスタンバイモードにおける温度依存性 ( $I_{CC\_DCDC}$ ) (参考データ)

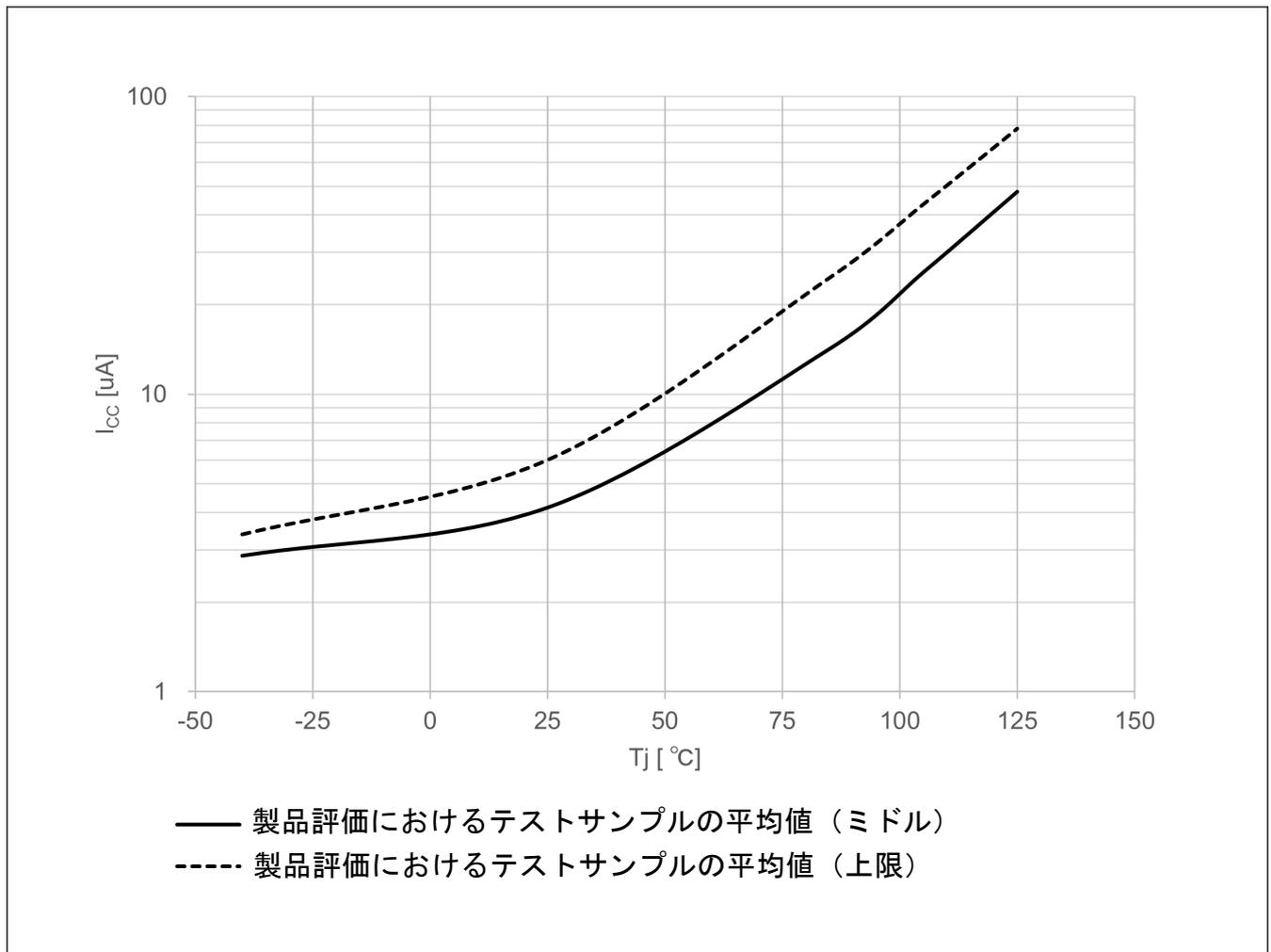


図 2.5 ディープソフトウェアスタンバイモード1における温度依存性 (参考データ)

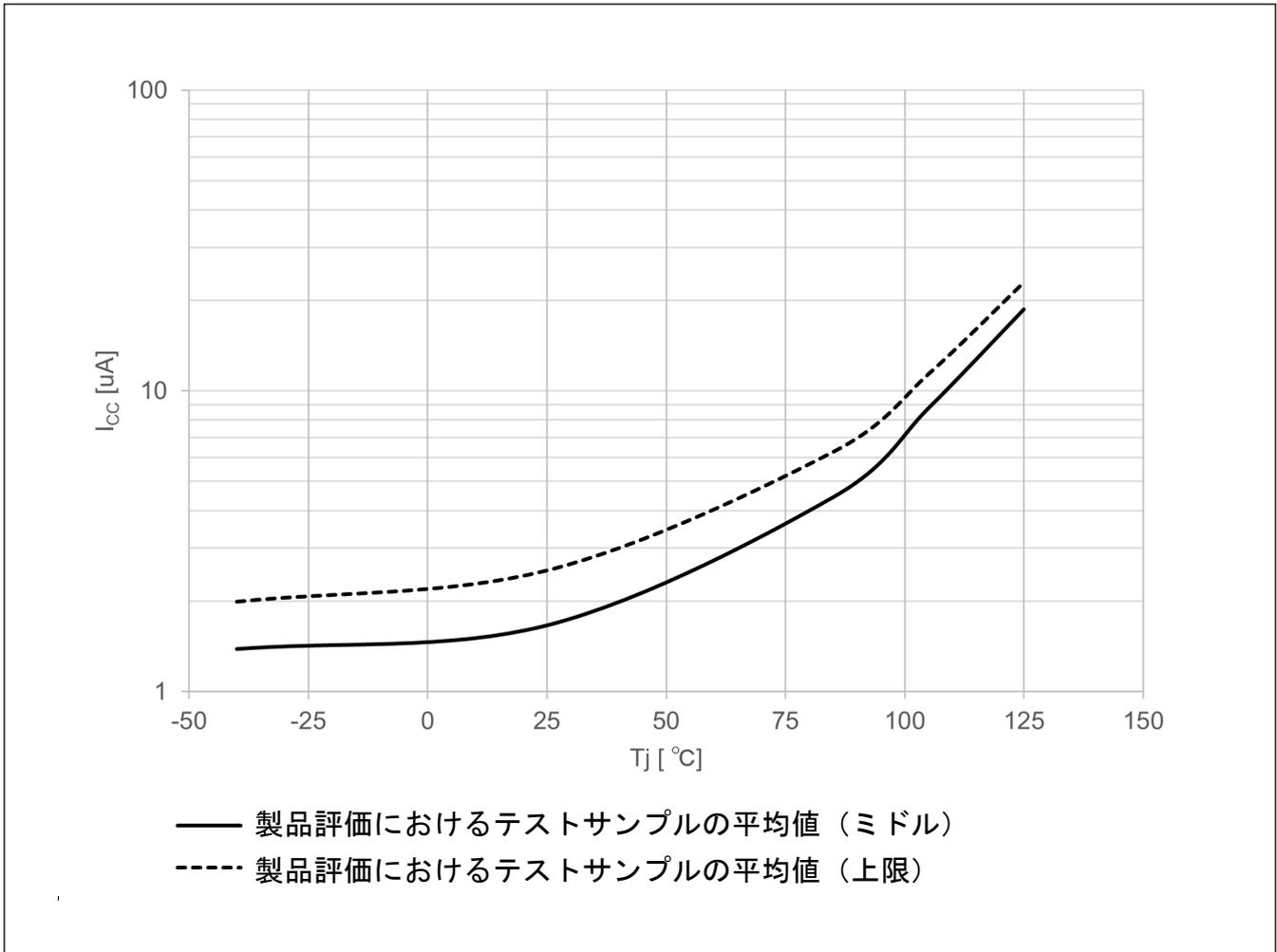


図 2.6 ディープソフトウェアスタンバイモード 2 における温度依存性 (参考データ)

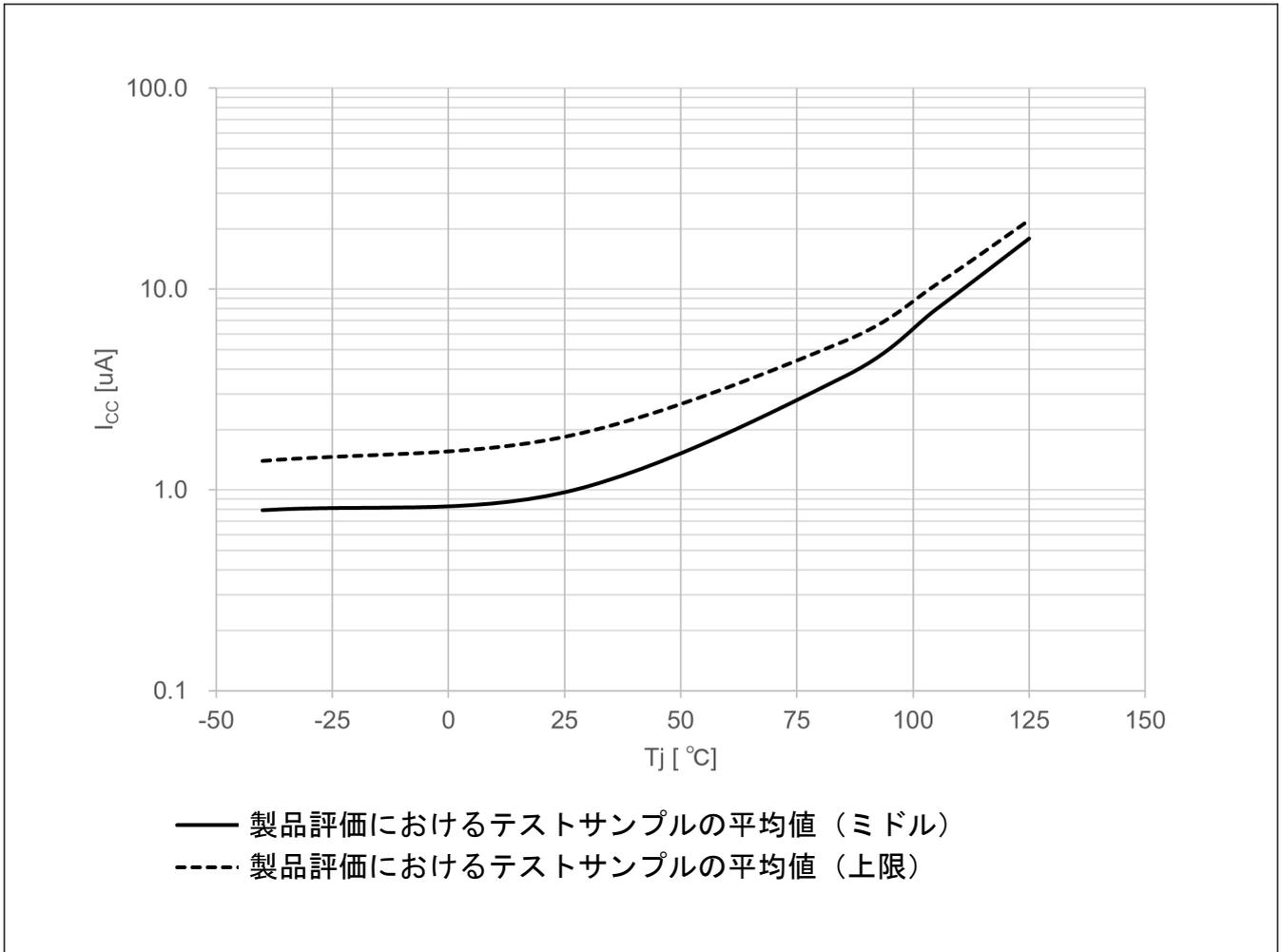


図 2.7 ディープソフトウェアスタンバイモード 3 における温度依存性 (参考データ)

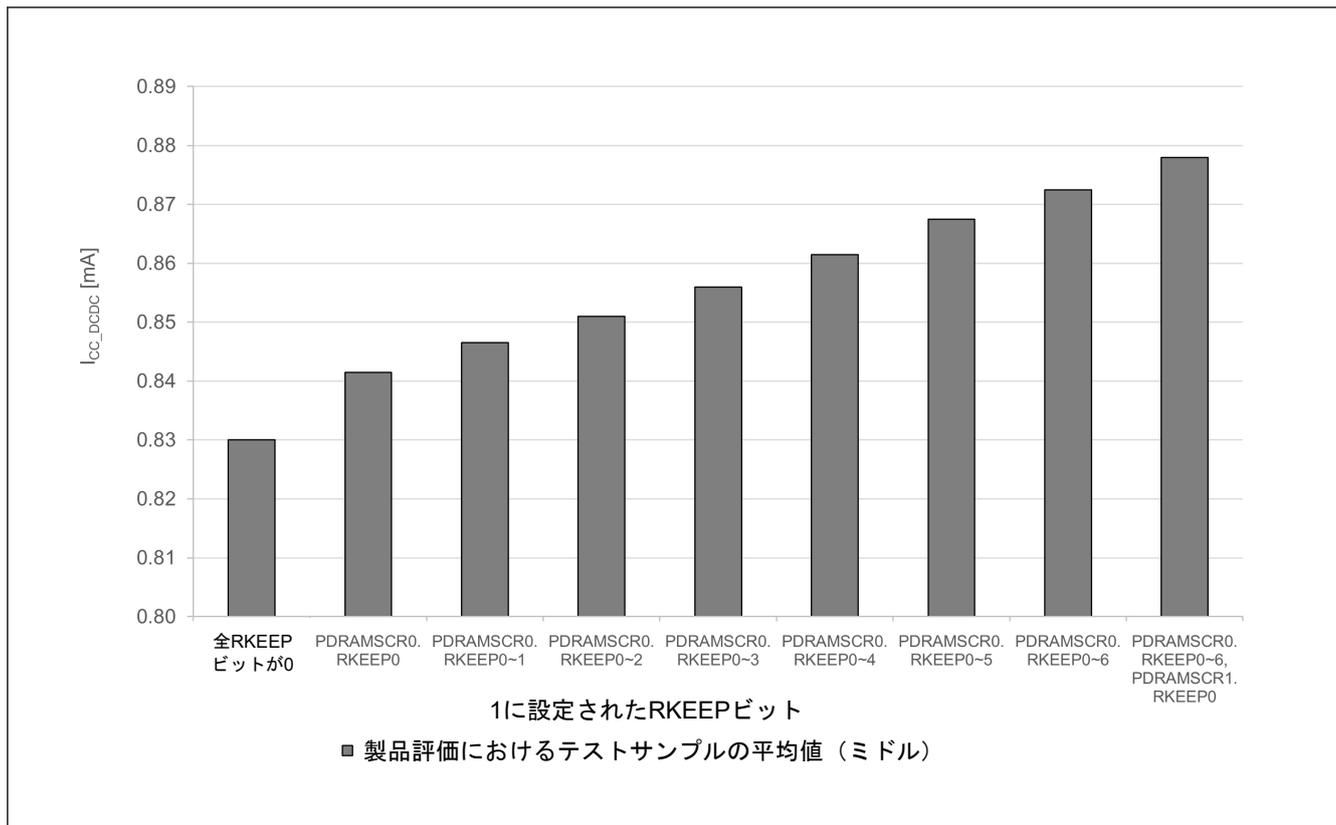


図 2.8 1 SRAM ステートあたりのソフトウェアスタンバイ電流 (参考データ)

より実際に近い I<sub>CC\_DCDC</sub> 値は以下の式で求められます。

$$I_{CC\_DCDC} = I_{DD} \times (V_{CL} \div V_{CC}) \div \text{効率}$$

ここで、V<sub>CL</sub> と V<sub>CC</sub> はそれぞれ V<sub>CL</sub> 端子と V<sub>CC</sub> 端子の電圧であり、効率は以下の図に示されています。

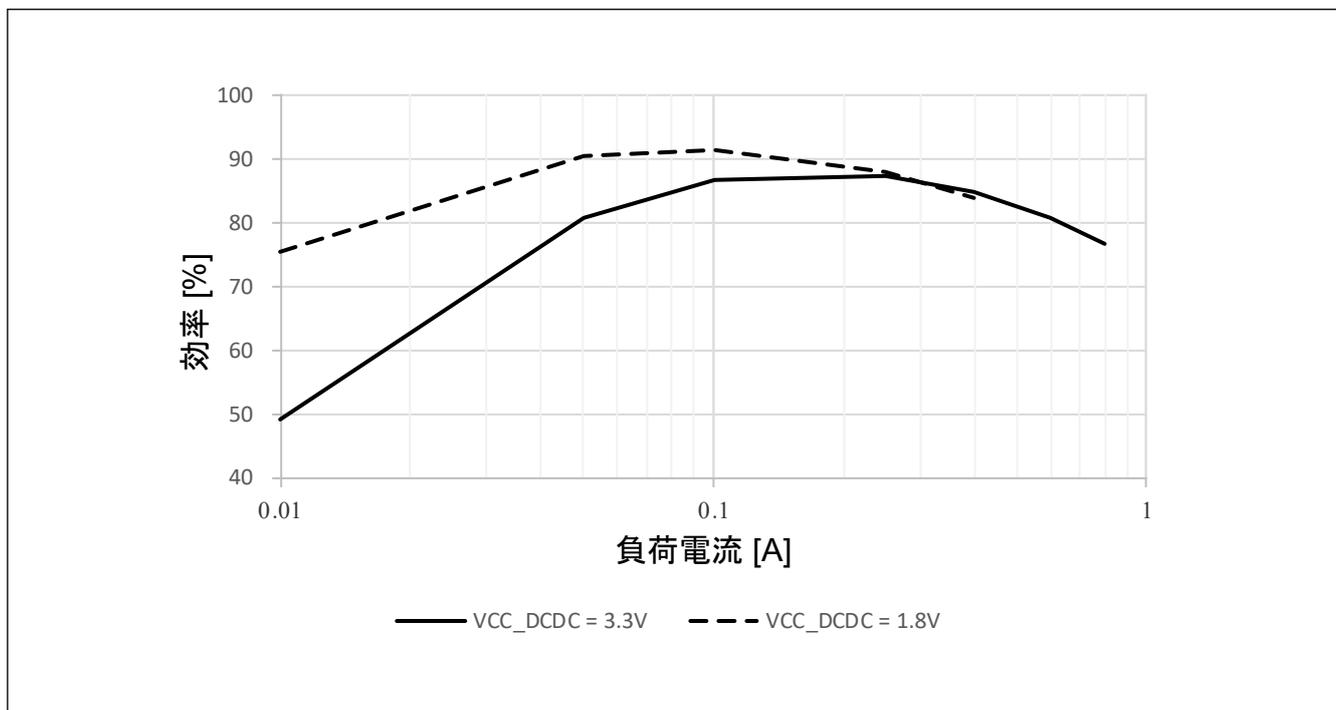


図 2.9 High-speed モード、T<sub>j</sub> = 25 °C における標準 DCDC 効率 (%) と負荷電流 (A)

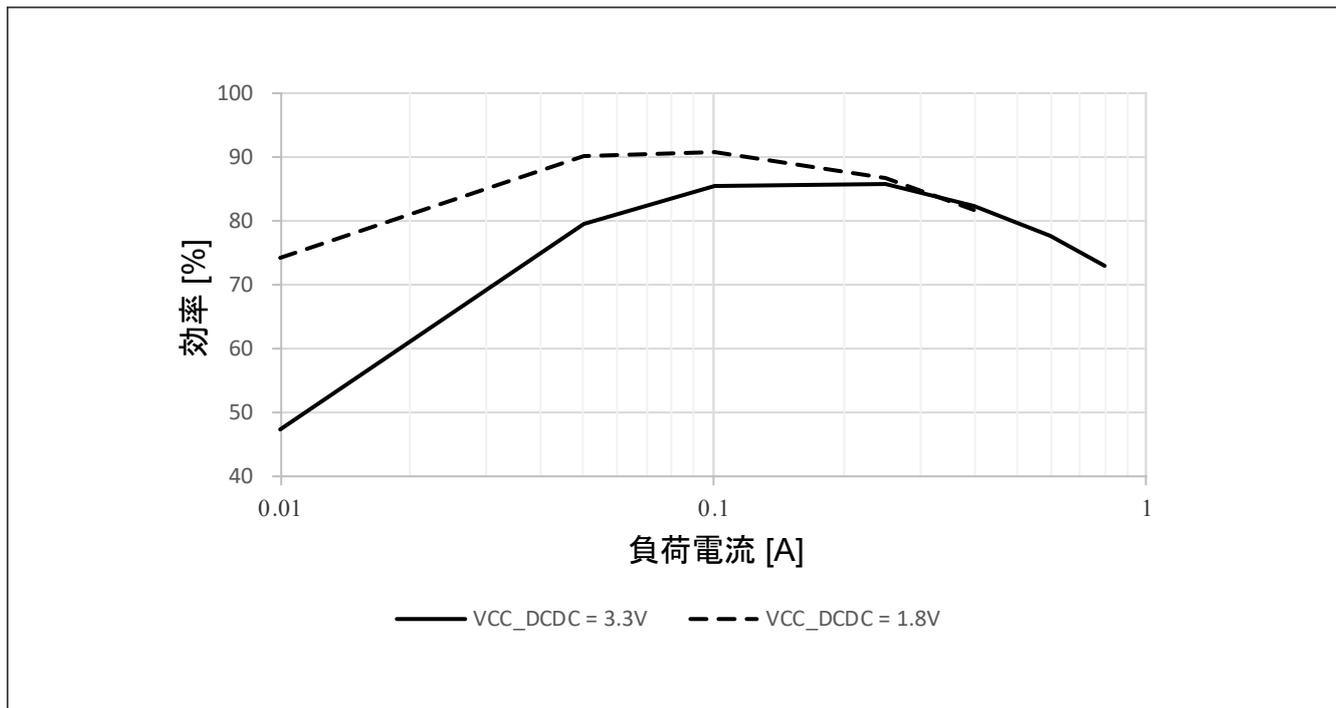


図 2.10 High-speed モード、Tj = 125 °C における標準 DCDC 効率 (%) と負荷電流 (A)

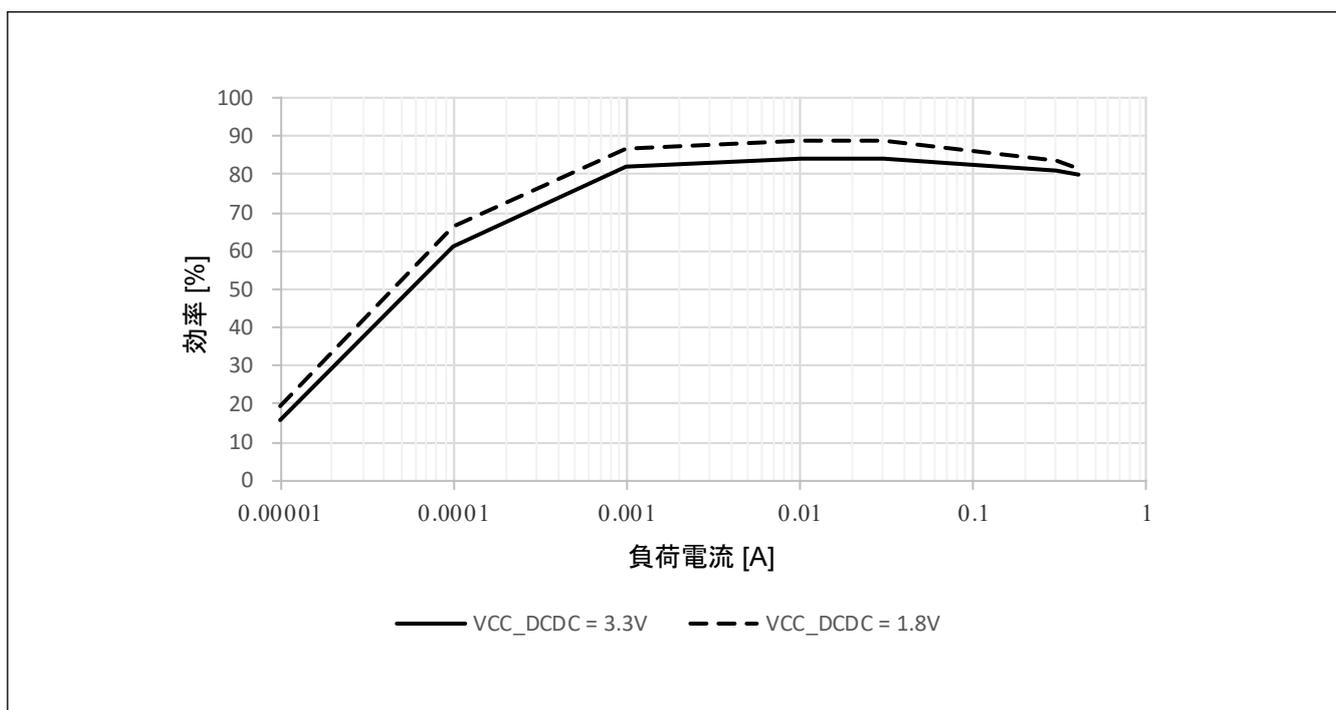


図 2.11 Low-speed モードおよびソフトウェアスタンバイモード、Tj = 25 °C における標準 DCDC 効率 (%) と負荷電流 (A)

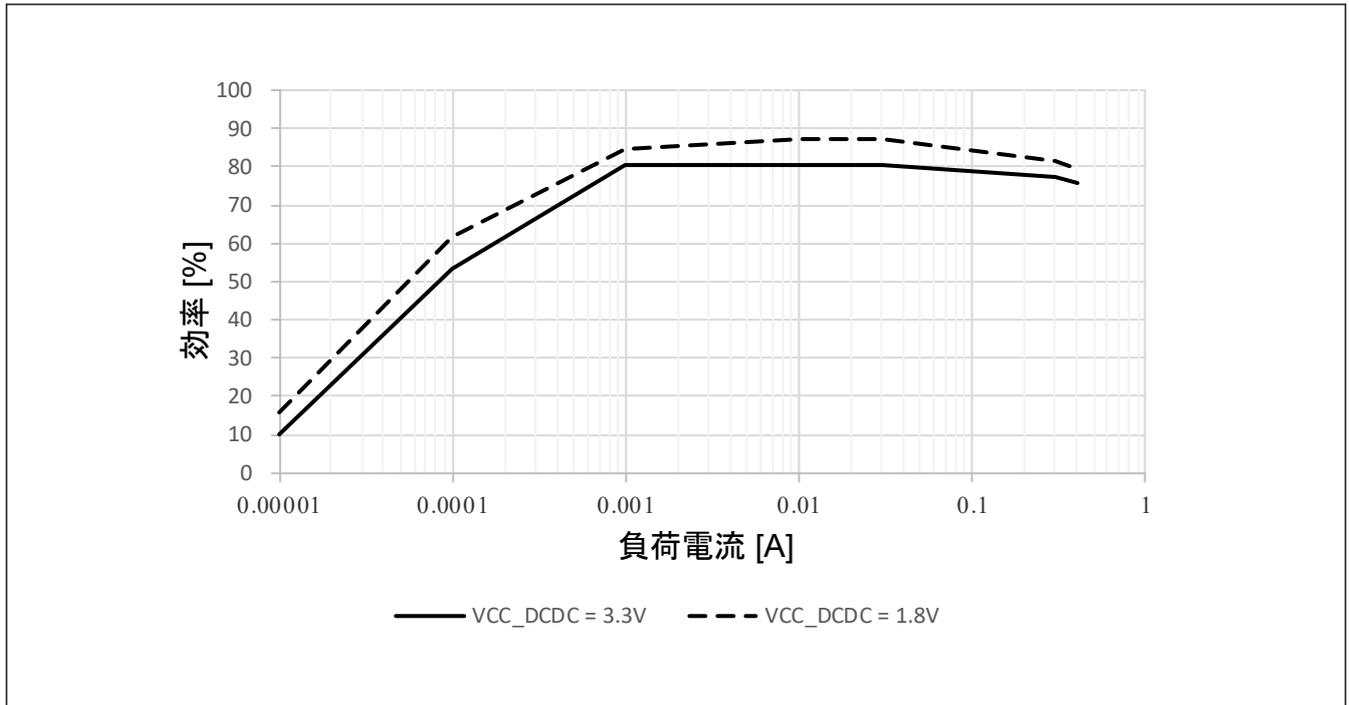


図 2.12 Low-speed モードおよびソフトウェアスタンバイモード、Tj = 125 °C における標準 DCDC 効率 (%) と負荷電流 (A)

注. DCDC 効率は VCC\_DCDC 電流にもとづいて得られます。

### 2.2.6 VCC 立ち上がり／立ち下がり勾配とリップル周波数

表 2.24 パワーオン／オフ時の VCC 立ち上がり／立ち下がり勾配の特性

項目	シンボル	Min	Typ	Max	単位	測定条件
パワーオン時の VCC 立ち上がり勾配(注1)	SfVCC	0.0084	—	20	ms/V	—
パワーオフ時の VCC 立ち下がり勾配(注1)	SfVCC1	0.0084	—	—	ms/V	—

注 1. VCC 電圧が V<sub>POR1</sub> を通過する場合

表 2.25 動作中の VCC リップル周波数特性と立ち上がり／立ち下がり勾配の特性

リップル電圧は、VCC 上限 (3.6 V) と下限 (1.68 V) の範囲内で、許容リップル周波数 f<sub>r(VCC)</sub> を満たす必要があります。VCC 変動が VCC ± 10% を超える場合は、許容電圧変動立ち上がり／立ち下がり勾配 dt/dVCC を満たす必要があります。

項目	シンボル	Min	Typ	Max	単位	測定条件
許容リップル周波数	f <sub>r(VCC)</sub>	—	—	10.0	kHz	図 2.13 V <sub>r(VCC)</sub> ≤ VCC × 0.2
		—	—	1.0	MHz	図 2.13 V <sub>r(VCC)</sub> ≤ VCC × 0.08
		—	—	10.0	MHz	図 2.13 V <sub>r(VCC)</sub> ≤ VCC × 0.06
許容電圧変動立ち上がり／立ち下がり勾配	dt/dVCC(注1)	1.0	—	—	ms/V	VCC 変動が VCC ± 10% を超える場合

注 1. VCC 電圧が V<sub>POR1</sub> を通過しない場合

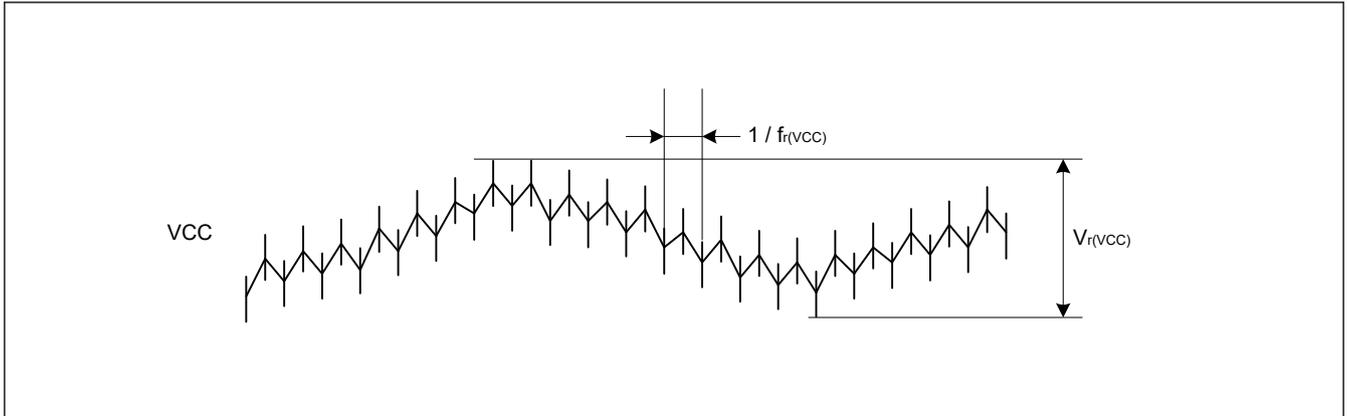


図 2.13 リップル波形

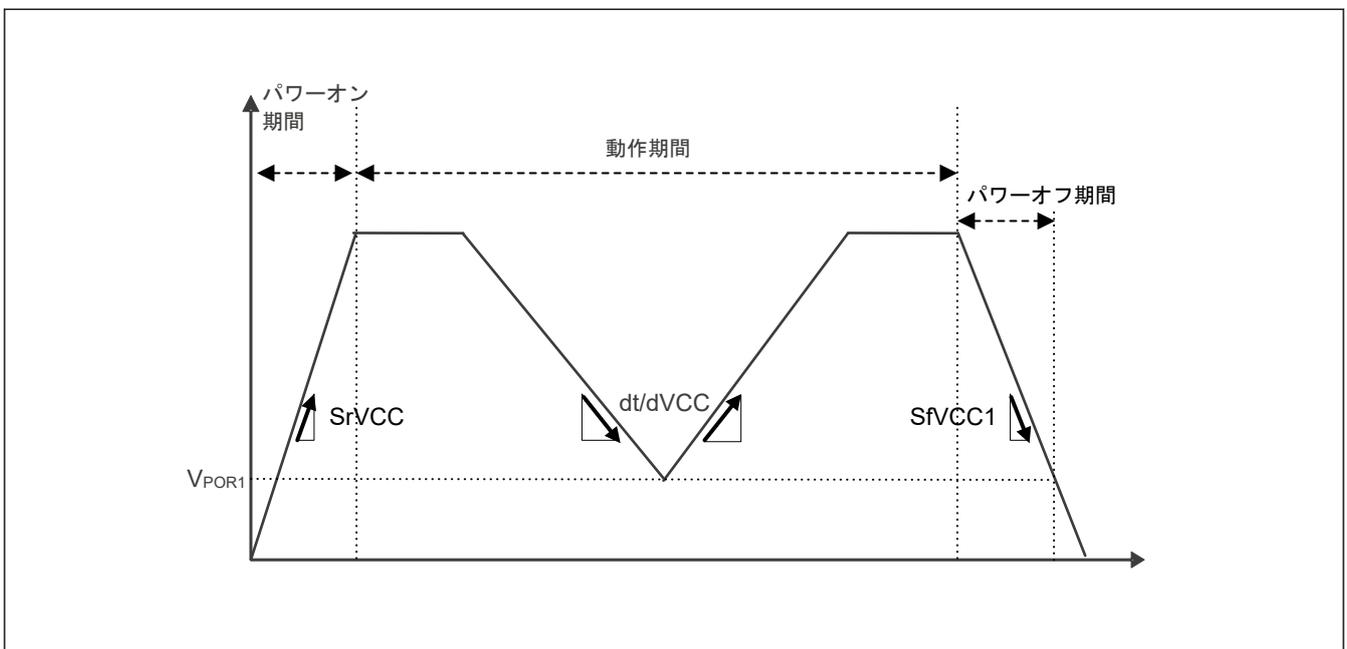


図 2.14 VCC 立ち上がり/立ち下がり波形

## 2.2.7 熱特性

ジャンクション温度 ( $T_j$ ) の最大値は、「2.2.1.  $T_j/T_a$  の定義」の値を超えないようにしてください。

$T_j$  は、以下のいずれかの式で計算されます。

- $T_j = T_a + \theta_{ja} \times \text{総消費電力}$
- $T_j = T_t + \Psi_{jt} \times \text{総消費電力}$ 
  - $T_j$ : ジャンクション温度 (°C)
  - $T_a$ : 周囲温度 (°C)
  - $T_t$ : ケース上面中央部温度 (°C)
  - $\theta_{ja}$ : 「ジャンクション」 - 「周囲」間の熱抵抗 (°C/W)
  - $\Psi_{jt}$ : 「ジャンクション」 - 「ケース上面中央部」間の熱抵抗 (°C/W)
- 総消費電力 = 電圧 × (リーク電流 + ダイナミック電流)
- IO のリーク電流 =  $\Sigma (I_{OL} \times V_{OL}) / \text{電圧} + \Sigma (|I_{OH}| \times |V_{CC} - V_{OH}|) / \text{電圧}$
- IO のダイナミック電流 =  $\Sigma IO (C_{in} + C_{load}) \times IO \text{ のスイッチング周波数} \times \text{電圧}$ 
  - $C_{in}$ : 入力容量

- C<sub>load</sub> : 出力容量

θ<sub>ja</sub> と Ψ<sub>jt</sub> については、表 2.26 を参照してください。

表 2.26 熱抵抗

項目	パッケージ	シンボル	値(注1)	単位	測定条件
熱抵抗	100 ピン LQFP (PLQP0100KP-A)	θ <sub>ja</sub>	32.9	°C/W	JESD 51-2 および 51-7 準拠
	144 ピン LQFP (PLQP0144KA-B)		31.7		
	176 ピン LQFP (PLQP0176KJ-A)		32.0		
	224 ピン BGA (PLBG0224GD-A)		21.5		
	100 ピン LQFP (PLQP0100KP-A)	Ψ <sub>jt</sub>	0.42	°C/W	JESD 51-2 および 51-7 準拠
	144 ピン LQFP (PLQP0144KA-B)		0.40		
	176 ピン LQFP (PLQP0176KJ-A)		0.42		
	224 ピン BGA (PLBG0224GD-A)		0.24		
					JESD 51-2 および 51-9 準拠

注 1. 値は、4 層基板使用時の基準値です。熱抵抗は、基板の層数やサイズによって変わります。詳細は、JEDEC 規格を参照してください。

### 2.2.7.1 最大電流計算の手引き

表 2.27 各ユニットの消費電力 (1/2)

ダイナミック電流 / リーク電流	MCU ドメイン	カテゴリ	項目	シンボル	周波数 [MHz]	電流 [uA/MHz]	電流(注1) [mA]	条件
リーク電流	アナログ	レギュレータ およびリーク (注1)	T <sub>j</sub> = 95°C	I <sub>CC</sub>	—	—	0.54	—
			T <sub>j</sub> = 105°C		—	—	0.64	
			T <sub>j</sub> = 115°C		—	—	0.75	
			T <sub>j</sub> = 125°C		—	—	0.85	
			T <sub>j</sub> = 95°C	I <sub>CC_DCDC</sub>	—	—	62	V <sub>CC_DCDC</sub> = 3.3 V、High-speed モード
			T <sub>j</sub> = 105°C		—	—	75	
			T <sub>j</sub> = 115°C		—	—	91	
			T <sub>j</sub> = 125°C		—	—	108	
			T <sub>j</sub> = 95°C		—	—	112	V <sub>CC_DCDC</sub> = 1.8 V、High-speed モード
			T <sub>j</sub> = 105°C		—	—	134	
			T <sub>j</sub> = 115°C		—	—	164	
			T <sub>j</sub> = 125°C		—	—	193	
			T <sub>j</sub> = 95°C	I <sub>DD</sub>	—	—	146	—
			T <sub>j</sub> = 105°C		—	—	175	
			T <sub>j</sub> = 115°C		—	—	214	
			T <sub>j</sub> = 125°C		—	—	253	

表 2.27 各ユニットの消費電力 (2/2)

ダイナミック電流／リーク電流	MCU ドメイン	カテゴリ	項目	シンボル	周波数 [MHz]	電流 [uA/MHz]	電流(注1) [mA]	条件		
ダイナミック電流	CPU	キャッシュあり動作	CoreMark	I <sub>DD</sub>	480	307	147	CPUCLK = 480 MHz		
			周辺ユニット		タイマ	GPT16 (6ch) <sup>(注2)</sup>	120	16.988	2.039	—
			GPT32 (8ch) <sup>(注2)</sup>		120	20.279	2.433			
			POEG (4 グループ) <sup>(注2)</sup>		60	1.363	0.082			
			AGT (2ch) <sup>(注2)</sup>		60	2.233	0.134			
			ULPT (2ch) <sup>(注2)</sup>		60	0.350	0.021			
			WDT		60	0.775	0.047			
			IWDT		60	0.100	0.006			
ダイナミック電流	周辺ユニット	通信インタフェース	ETHERC	I <sub>DD</sub>	120	8.149	0.978	—		
			USBFS		60	8.713	0.523			
			SCI (6ch) <sup>(注2)</sup>		120	22.717	2.726			
			IIC (2ch) <sup>(注2)</sup>		60	2.867	0.172			
			I3C		120	15.274	1.833			
			CANFD (2ch) <sup>(注2)</sup>		120	9.050	1.086			
			SPI (2ch) <sup>(注2)</sup>		120	7.950	0.954			
			SDHI (2ch) <sup>(注2)</sup>		60	16.742	1.005			
		アナログ	ADC (2 ユニット) <sup>(注2)</sup>		120	3.961	0.475	—		
			DAC12 (2ch) <sup>(注2)</sup>		120	1.079	0.129			
			TSN		60	0.092	0.005			
			ACMPHS (2ch) <sup>(注2)</sup>		60	0.083	0.005			
		イベントリンク	ELC		60	1.670	0.100	—		
		セキュリティ	RSIP-E51A		120	311.301	37.4	—		
		データ処理	CRC		120	4.372	0.525	—		
			DOC		120	0.427	0.051			
		システム	CAC		60	0.738	0.044	—		
		DMA	DMAC (1ch あたり)		240	9.012	2.163	—		
			DTC		240	11.175	2.682			
		FSBL 動作				240	—	93.4	—	
						120	—	72.9	—	

注 1. 「レギュレータ」、「リーク」はそれぞれ内部電圧レギュレータの電流と MCU のリーク電流を意味します。  
T<sub>J</sub> の温度に応じていずれかが選択されます。

注 2. チャンネルごとまたはユニットごとの消費電流を求めるには、電流[mA]をチャンネル数、グループ数、またはユニット数で割ります。

表 2.28 各ユニットの動作の概要 (1/2)

周辺機能	動作の概要
GPT	動作モードが、のこぎり波 PWM モードに設定されています。
POEG	モジュールストップビットのクリアのみを行います。
AGT	AGT が PCLKB で動作しています。

表 2.28 各ユニットの動作の概要 (2/2)

周辺機能	動作の概要
ULPT	ULPT が LOCO で動作しています。
WDT	WDT が PCLKB で動作しています。
IWDT	IWDT が IWDTCLK で動作しています。
ETHERC	動作モードが全二重モードに設定されています。 ETHERC が RMII (Reduced Media Independent Interface) を使用して動作しています。
USBFS	転送タイプがバルク転送に設定されています。USBFS がフルスピード転送 (12 Mbps) を使用して動作しています。
SCI	SCI がクロック同期式モードでデータを送信しています。
IIC	通信フォーマットは I2C バスフォーマットになります。IIC がマスタモードでデータを送信しています。
I3C	通信フォーマットは I3C SDR フォーマットになります。I3C がマスタモードでデータを送信しています (12.5 MHz)。
CANFD	CANFD がセルフテストモード 1 でデータを送受信しています。
SPI	SPI モードが SPI 動作 (4 線式) に設定されています。 SPI マスタ/スレーブモードがマスタモードに設定されています。 SPI が 32 ビット幅のデータを送信しています。
SDHI	転送バスモードがワイドバスモード (8 ビット) に設定されています。SDHI が CMD24 (シングルブロックライト) を発行しています。
ADC	分解能は 12 ビット精度に設定されます。データレジスタが A/D 変換値加算モードに設定されています。 ADC12 がアナログ入力を連続スキャンモードで変換しています。
DAC12	DAC12 が変換結果の出力とデータレジスタ値の更新を行っています。
TSN	TSN が動作しています。
ACMPHS	ACMPHS が動作しています。
ELC	モジュールストップビットのクリアのみを行います。
RSIP-E51A	RSIP はセルフテスト動作を実行しています。
CRC	CRC が 32 ビット CRC32-C 多項式を使用して CRC コードを生成しています。
DOC	DOC がデータ比較モードで動作しています。
CAC	測定対象クロックが PCLKB に設定されています。測定基準クロックが PCLKB に設定されています。 CAC がクロック周波数精度を測定しています。
DMAC	転送データのビット長が 32 ビットに設定されています。転送モードがブロック転送モードに設定されています。 DMAC が SRAM0 から SRAM0 にデータを転送しています。
DTC	転送データのビット長が 32 ビットに設定されています。転送モードがブロック転送モードに設定されています。 DTC が SRAM0 から SRAM0 にデータを転送しています。

### 2.2.7.2 Tj の計算例

前提事項：

- パッケージ 224 ピン BGA :  $\theta_{ja} = 21.5^{\circ}\text{C/W}$
- $T_a = 80^{\circ}\text{C}$
- $I_{CC} + I_{CC\_DCDC} = 240\text{ mA}$
- $V_{CC} = 3.5\text{ V}$  ( $V_{CC} = V_{CC2} = AV_{CC0} = V_{CC\_USB}$ )
- $I_{OH} = 1\text{ mA}$ ,  $V_{OH} = V_{CC} - 0.5\text{ V}$ , 12 出力
- $I_{OL} = 20\text{ mA}$ ,  $V_{OL} = 1.0\text{ V}$ , 8 出力
- $I_{OL} = 1\text{ mA}$ ,  $V_{OL} = 0.5\text{ V}$ , 12 出力
- $C_{in} = 8\text{ pF}$ , 32 ピン、入力周波数 = 10 MHz
- $C_{load} = 30\text{ pF}$ , 32 ピン、出力周波数 = 10 MHz

IO のスタティック電流 =  $\Sigma (V_{OL} \times I_{OL}) / \text{電圧} + \Sigma ((V_{CC} - V_{OH}) \times I_{OH}) / \text{電圧}$

$$= (20\text{ mA} \times 1\text{ V}) \times 8 / 3.5\text{ V} + (1\text{ mA} \times 0.5\text{ V}) \times 12 / 3.5\text{ V} + ((V_{CC} - (V_{CC} - 0.5\text{ V})) \times 1\text{ mA}) \times 12 / 3.5\text{ V}$$

$$= 45.7 \text{ mA} + 1.71 \text{ mA} + 1.71 \text{ mA}$$

$$= 49.1 \text{ mA}$$

IO のダイナミック電流 =  $\Sigma \text{ IO (Cin + Cload)} \times \text{IO のスイッチング周波数} \times \text{電圧}$

$$= ((8 \text{ pF} \times 32) \times 10 \text{ MHz} + (30 \text{ pF} \times 32) \times 10 \text{ MHz}) \times 3.5 \text{ V}$$

$$= 42.6 \text{ mA}$$

総消費電力 = 電圧  $\times$  (スタティック電流 + ダイナミック電流)

$$= (240 \text{ mA} \times 3.5 \text{ V}) + (49.1 \text{ mA} + 42.6 \text{ mA}) \times 3.5 \text{ V}$$

$$= 1161 \text{ mW (1.161 W)}$$

$T_j = T_a + \theta_{ja} \times \text{総消費電力}$

$$= 80^\circ\text{C} + 21.5^\circ\text{C/W} \times 1.161\text{W}$$

$$= 105.0^\circ\text{C}$$

## 2.3 AC 特性

## 2.3.1 周波数

表 2.29 High-speed モードにおける動作周波数の値

項目	シンボル	Min	Typ	Max	単位		
動作周波数	CPU クロック (CPUCLK)	DCDC、BGA パッケージ、 $T_j \leq 105^\circ\text{C}$ (注3)	f	—	—	480	MHz
		DCDC、BGA パッケージ、 $T_j \leq 125^\circ\text{C}$ (注3)	—	—	—	400	
		外部 VDD、BGA パッケージ、 $T_j \leq 105^\circ\text{C}$	—	—	—	480	
		外部 VDD、BGA パッケージ、 $T_j \leq 125^\circ\text{C}$	—	—	—	400	
		DCDC、176 ピン/144 ピン LQFP パッケージ、 $T_j \leq 125^\circ\text{C}$ (注3)	—	—	—	400	
		外部 VDD、176 ピン/144 ピン LQFP パッケージ、 $T_j \leq 125^\circ\text{C}$	—	—	—	400	
		DCDC、100 ピン LQFP パッケージ、 $T_j \leq 105^\circ\text{C}$ (注3)	—	—	—	360	
		DCDC、100 ピン LQFP パッケージ、 $T_j \leq 125^\circ\text{C}$ (注3)	—	—	—	240	
		外部 VDD、100 ピン LQFP パッケージ、 $T_j \leq 105^\circ\text{C}$	—	—	—	360	
		外部 VDD、100 ピン LQFP パッケージ、 $T_j \leq 125^\circ\text{C}$	—	—	—	240	
	システムクロック (ICLK)	—	—	—	240		
	周辺モジュールクロック (PCLKA)	—	—	—	120		
	周辺モジュールクロック (PCLKB)	—	—	—	60		
	周辺モジュールクロック (PCLKC)	—(注2)	—	—	60		
	周辺モジュールクロック (PCLKD)	—	—	—	120		
	周辺モジュールクロック (PCLKE)	—	—	—	240		
	フラッシュインタフェースクロック (FCLK)	—(注1)	—	—	60		
	外部バスクロック (BCLK)	VCC $\geq 2.7\text{ V}$	—	—	—	120	
		VCC $\geq 1.68\text{ V}$	—	—	—	60	
EBCLK 端子出力	VCC $\geq 2.7\text{ V}$	—	—	—	60		
	VCC $\geq 1.68\text{ V}$	—	—	—	30		
SDCLK 端子出力	VCC $\geq 3.0\text{ V}$	—	—	—	120		
SCI クロック (SCICLK)	—	—	—	120			
SPI クロック (SPICLK)	—	—	—	120			
CANFD コアクロック (CANFDCLK)	—	—	—	80			
USB クロック (USBCLK)	—	—	—	48			
I3C クロック (I3CCLK)	—	—	—	200			

注 1. フラッシュメモリのプログラミング/イレース中、FCLK は 4 MHz 以上の周波数で実行する必要があります。

注 2. ADC12 使用時、PCLKC の周波数は 1 MHz 以上にしてください。

注 3. VCC\_DCDC < 2.5 V にて DCDC 使用時、電流 I<sub>DD</sub> は動作電流の指定値未満にしてください。  
表 2.8 を参照してください。

表 2.30 Low-speed モードにおける動作周波数の値

項目	シンボル	Min	Typ	Max	単位	
動作周波数	CPU クロック (CPUCLK)	f	—	—	1	MHz
	システムクロック (ICLK)	—	—	1		
	周辺モジュールクロック (PCLKA)	—	—	1		
	周辺モジュールクロック (PCLKB)	—	—	1		
	周辺モジュールクロック (PCLKC)	—(注2)	—	1		
	周辺モジュールクロック (PCLKD)	—	—	1		
	周辺モジュールクロック (PCLKE)	—	—	1		
	フラッシュインタフェースクロック (FCLK)	—(注1)	—	1		
	外部バスクロック (BCLK)	—	—	1		
	EBCLK 端子出力	—	—	1		
	SDCLK 端子出力	VCC ≥ 3.0 V	—	—	1	
	SCI クロック (SCICLK)	—	—	1		
	SPI クロック (SPICLK)	—	—	1		
	CANFD コアクロック (CANFDCLK)	—	—	1		
	USB クロック (USBCLK)	—	—	1		
I3C クロック (I3CCLK)	—	—	1			

注 1. フラッシュメモリのプログラム/イレースは、Low-speed モードでは許可されていません。

注 2. ADC12 使用時、PCLKC の周波数は 1 MHz 以上にしてください。

## 2.3.2 クロックタイミング

表 2.31 サブクロック発振器以外のクロックタイミング (1/2)

項目	シンボル	Min	Typ	Max	単位	測定条件	
EBCLK 端子出力サイクル時間	t <sub>Bcyc</sub>	VCC = 2.70 V 以上	16.6	—	—	ns	図 2.15
		VCC = 1.68 V 以上	33.3	—	—		
EBCLK 端子出力 High レベルパルス幅	t <sub>CH</sub>	VCC = 2.70 V 以上	3.3	—	—	ns	
		VCC = 1.68 V 以上	9.6	—	—		
EBCLK 端子出力 Low レベルパルス幅	t <sub>CL</sub>	VCC = 2.70 V 以上	3.3	—	—	ns	
		VCC = 1.68 V 以上	9.6	—	—		
EBCLK 端子出力立ち上がり時間	t <sub>Cr</sub>	VCC = 2.70 V 以上	—	—	5.0	ns	
		VCC = 1.68 V 以上	—	—	7.0		
EBCLK 端子出力立ち下がり時間	t <sub>Cf</sub>	VCC = 2.70 V 以上	—	—	5.0	ns	
		VCC = 1.68 V 以上	—	—	7.0		
SDCLK 端子出力サイクル時間	t <sub>SDcyc</sub>	8.33	—	—	ns		
SDCLK 端子出力 High レベルパルス幅	t <sub>CH</sub>	1.0	—	—	ns		
SDCLK 端子出力 Low レベルパルス幅	t <sub>CL</sub>	1.0	—	—	ns		
SDCLK 端子出力立ち上がり時間	t <sub>Cr</sub>	—	—	3.0	ns		
SDCLK 端子出力立ち下がり時間	t <sub>Cf</sub>	—	—	3.0	ns		

表 2.31 サブクロック発振器以外のクロックタイミング (2/2)

項目	シンボル	Min	Typ	Max	単位	測定条件		
EXTAL 外部クロック入力サイクル時間	$t_{EXcyc}$	20.80	—	—	ns	図 2.16		
EXTAL 外部クロック入力 High レベルパルス幅	$t_{EXH}$	5.30	—	—	ns			
EXTAL 外部クロック入力 Low レベルパルス幅	$t_{EXL}$	5.30	—	—	ns			
EXTAL 外部クロック立ち上がり時間	$t_{EXr}$	—	—	3.0	ns			
EXTAL 外部クロック立ち下がり時間	$t_{EXf}$	—	—	3.0	ns			
メインクロック発振器周波数	$f_{MAIN}$	8	—	48	MHz	—		
メインクロック発振安定待機時間 (水晶) (注1)	$t_{MAINOSCWT}$	—	—	—(注1)	ms	図 2.17		
LOCO クロック発振周波数	$f_{LOCO}$	29.4912	32.768	36.0448	kHz	—		
LOCO クロック発振安定待機時間	$t_{LOCOWT}$	—	—	60.4	$\mu$ s	図 2.18		
MOCO クロック発振周波数	$f_{MOCO}$	6.8	8.0	9.2	MHz	—		
MOCO クロック発振安定待機時間	$t_{MOCOWT}$	—	—	15.0	$\mu$ s	—		
HOCO クロック発振器発振周波数	FLL なし	$f_{HOCO16}$	15.78	16.00	16.22	MHz	$-20 \leq T_j \leq 125^\circ\text{C}$	
		$f_{HOCO18}$	17.75	18.00	18.25			
		$f_{HOCO20}$	19.72	20.00	20.28			
		$f_{HOCO32}$	31.55	32.00	32.45			
		$f_{HOCO48}$	47.33	48.00	48.67			
		$f_{HOCO16}$	15.71	16.00	16.29			$-40 \leq T_j \leq -20^\circ\text{C}$
	$f_{HOCO18}$	17.68	18.00	18.32				
	$f_{HOCO20}$	19.64	20.00	20.36				
	$f_{HOCO32}$	31.42	32.00	32.58				
	$f_{HOCO48}$	47.14	48.00	48.86				
	FLL あり	$f_{HOCO16}$	15.960	16.000	16.040		$-40 \leq T_j \leq 125^\circ\text{C}$ サブクロック周波数精度は、 $\pm 50$ ppm です。	
		$f_{HOCO18}$	17.955	18.000	18.045			
		$f_{HOCO20}$	19.950	20.000	20.050			
		$f_{HOCO32}$	31.920	32.000	32.080			
$f_{HOCO48}$		47.880	48.000	48.120				
HOCO クロック発振安定待機時間(注2)	$t_{HOCOWT}$	—	—	64.7	$\mu$ s	—		
HOCO 停止幅時間	$t_{HOCOSTP}$	1	—	—	$\mu$ s	図 2.21		
HOCO ピリオドジッタ	ジッタ	-3	—	3	%	—		
FLL 安定待機時間	$t_{FLLWT}$	—	—	1.8	ms	—		
PLL1/PLL2 VCO 周波数	$f_{VCO}$	640	—	1440.0	MHz	—		
出力クロック P に対する PLL1/PLL2 出力周波数	$t_{PLL}$	40	—	480	MHz	—		
出力クロック Q, R に対する PLL1/PLL2 出力周波数	$t_{PLL}$	71	—	480	MHz	—		
PLL1/PLL2 クロック発振安定待機時間	$t_{PLLWT}$	—	—	40	$\mu$ s	図 2.19		
PLL1/PLL2 ピリオドジッタ	—	—	$\pm 70$	—	ps	—		
PLL1/PLL2 ロングタームジッタ	—	—	$\pm 300$	—	ps	期間 : 1 $\mu$ s、10 $\mu$ s		

注 1. メインクロック発振器を設定する場合、発振器メーカーに発振評価を確認し、その結果を推奨発振安定時間として使用してください。MOSCWTCR レジスタを、推奨値以上に設定してください。  
メインクロック動作を開始するために MOSCCR.MOSTP ビット設定を変更したら、OSCSF.MOSCSF フラグが 1 であることを確認してからメインクロック発振器の使用を開始してください。

注 2. リセット状態の解除から HOCO 発振周波数 ( $f_{HOCO}$ ) が動作保証範囲に達するまでの時間です。

表 2.32 サブクロック発振器のクロックタイミング

パラメータ	シンボル	Min	Typ	Max	単位	測定条件
サブクロック周波数	$f_{SUB}$	—	32.768	—	kHz	—
サブクロック発振安定待機時間	$t_{SUBOSCWT}$	—	—	— (注1)	s	図 2.20

注 1. サブクロック発振器を設定する場合、発振器メーカーに発振評価を確認し、その結果を推奨発振安定時間として使用してください。サブクロック動作を開始するために SOSCCR.SOSTP ビット設定を変更したら、必ずサブクロック発振安定時間が十分に経過してからサブクロック発振器の使用を開始してください。示された時間の 2 倍を推奨します。

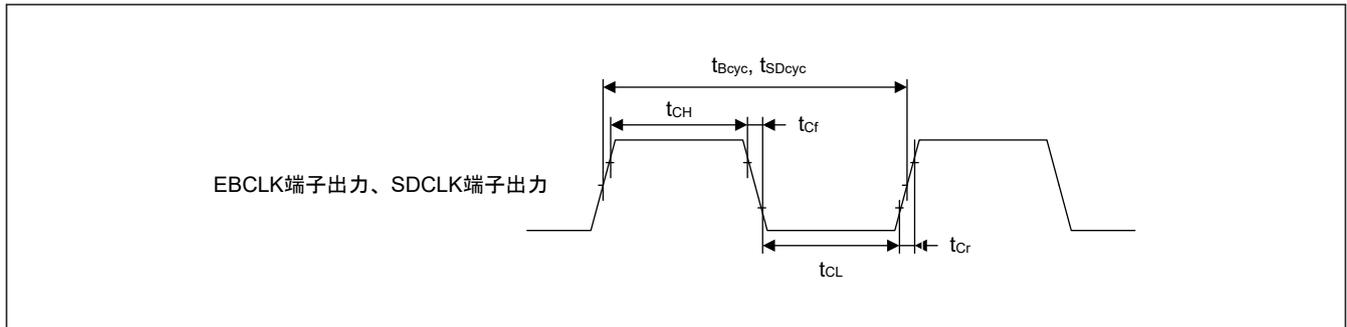


図 2.15 EBCLK および SDCLK の出力タイミング

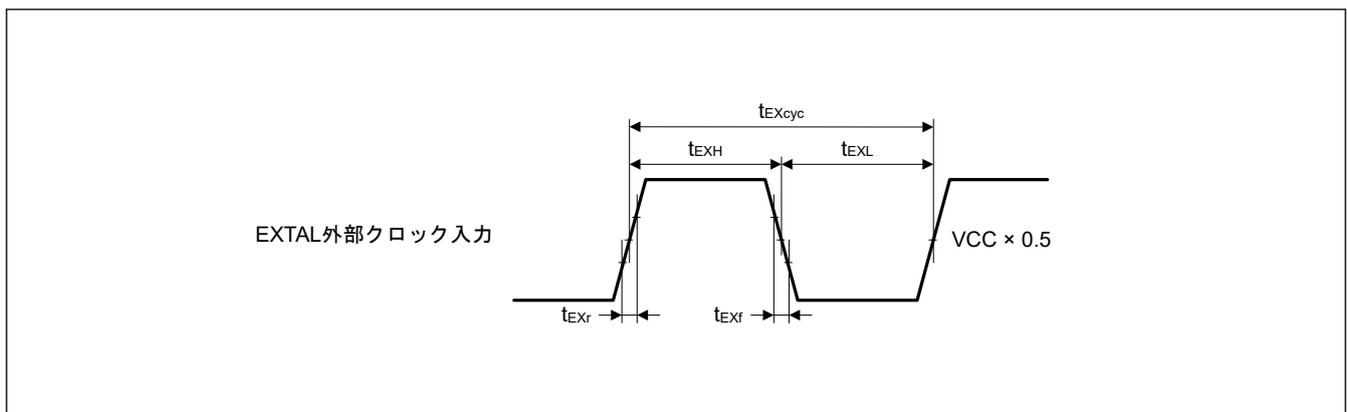


図 2.16 EXTAL 外部クロック入力タイミング

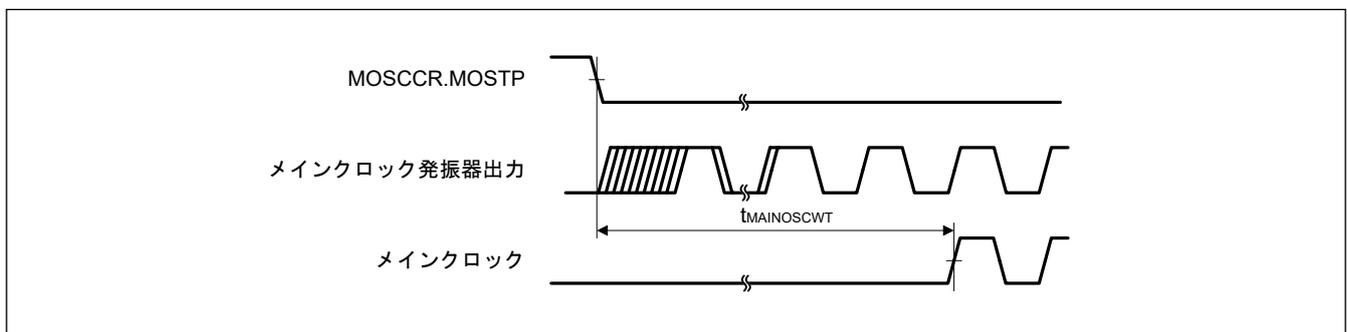


図 2.17 メインクロック発振開始タイミング

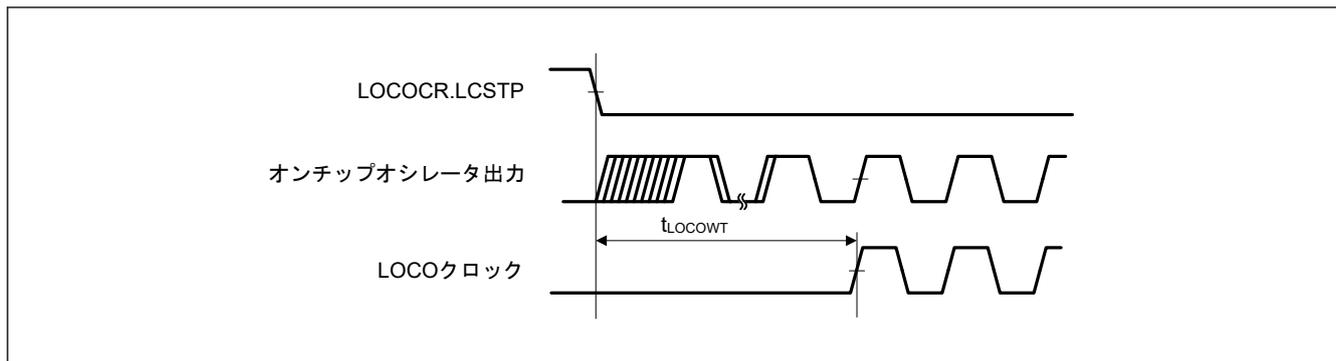
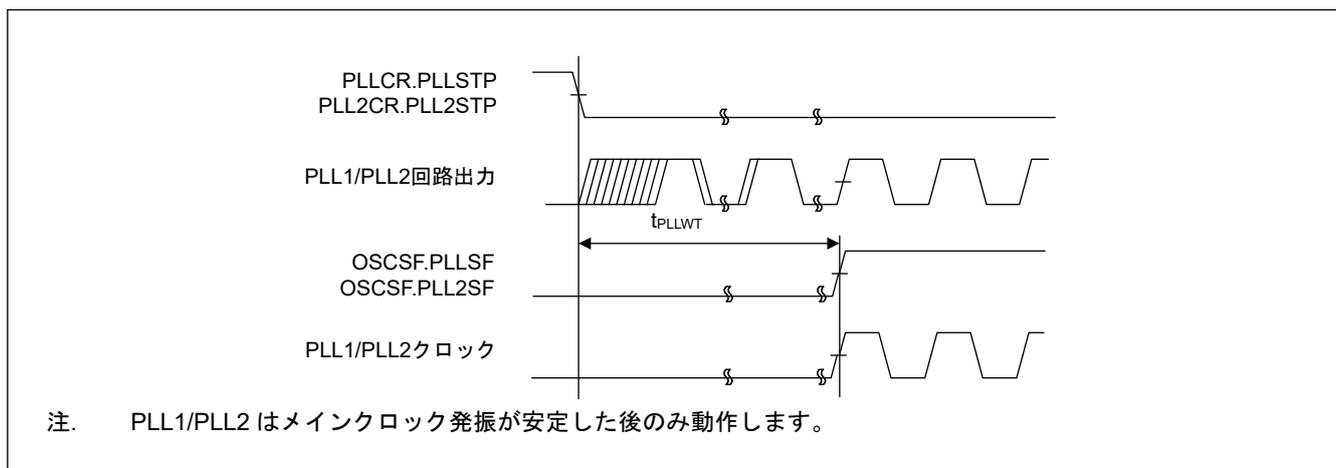


図 2.18 LOCO クロック発振開始タイミング



注. PLL1/PLL2 はメインクロック発振が安定した後のみ動作します。

図 2.19 PLL1/PLL2 クロック発振開始タイミング

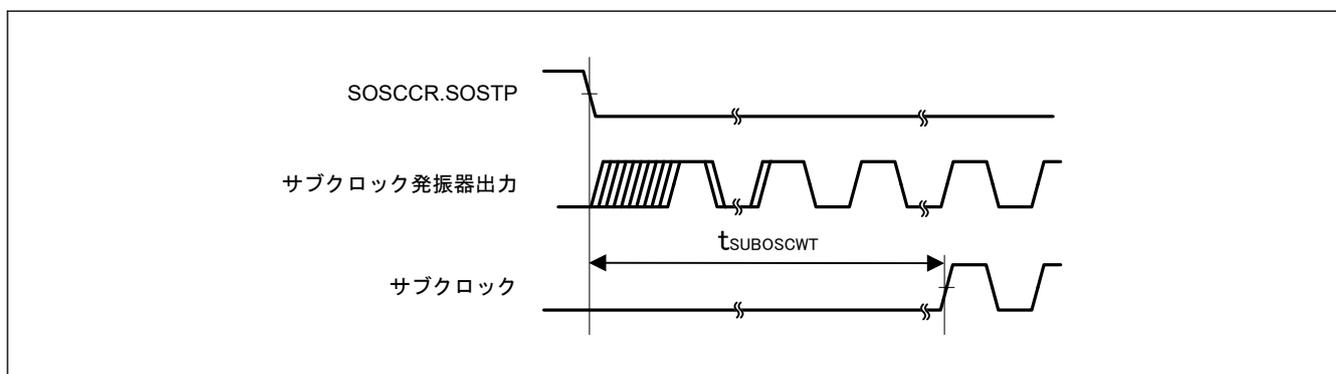


図 2.20 サブクロック発振開始タイミング

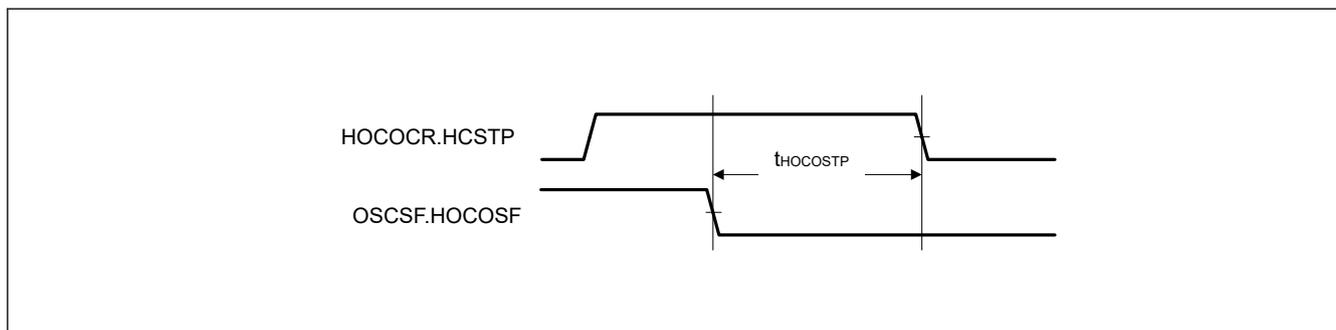


図 2.21 HOCO 停止幅時間

### 2.3.3 リセットタイミング

表 2.33 リセットタイミング

項目	シンボル	Min	Typ	Max	単位	測定条件		
RES パルス幅	パワーオン	$t_{RESWP}$	4.2	—	—	ms	図 2.22	
	ディープソフトウェアスタンバイモード1	$t_{RESWD}$	DPSBYCR.DCSSMODE = 0	1.30	—	—	ms	図 2.23
			DPSBYCR.DCSSMODE = 1	0.71	—	—		
	ディープソフトウェアスタンバイモード2	$t_{RESWD}$	DPSBYCR.DCSSMODE = 0	2.00	—	—	ms	図 2.23
			DPSBYCR.DCSSMODE = 1	1.50	—	—		
	ディープソフトウェアスタンバイモード3	$t_{RESWD}$	DPSBYCR.DCSSMODE = 0	3.50	—	—	ms	図 2.23
			DPSBYCR.DCSSMODE = 1	2.90	—	—		
	ソフトウェアスタンバイモード	$t_{RESWS}$	0.66	—	—	ms		
	Low-speed モード	$t_{RESWLS}$	0.46	—	—	ms		
	CPU ディープスリープモード (SOSC 動作)	$t_{RESWSODS}$	0.36	—	—	ms		
	CPU ディープスリープモード (SOSC 動作以外)	$t_{RESWDS}$	0.24	—	—	ms		
	SOSC 動作	$t_{RESWSO}$	0.19	—	—	ms		
上記以外	$t_{RESW}$	62.0	—	—	$\mu$ s			
RES 解除後の待機時間	$t_{RESWT}$	—	54.9	64.6	$\mu$ s	図 2.22		
内部リセット (IWDT リセット、WDT リセット、CPU ロックアップリセット、バスエラーリセット、共通メモリエラーリセット、ソフトウェアリセット) 解除後の待機時間	$t_{RESW2}$	—	54.9	64.6	$\mu$ s	—		

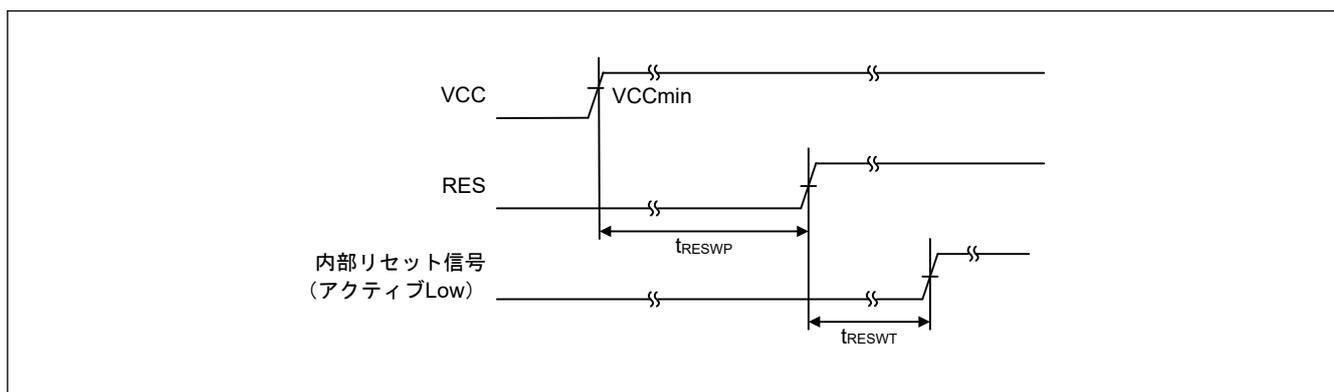


図 2.22 VCC が  $V_{POR}$  電圧しきい値を超える条件下での RES 端子入力タイミング

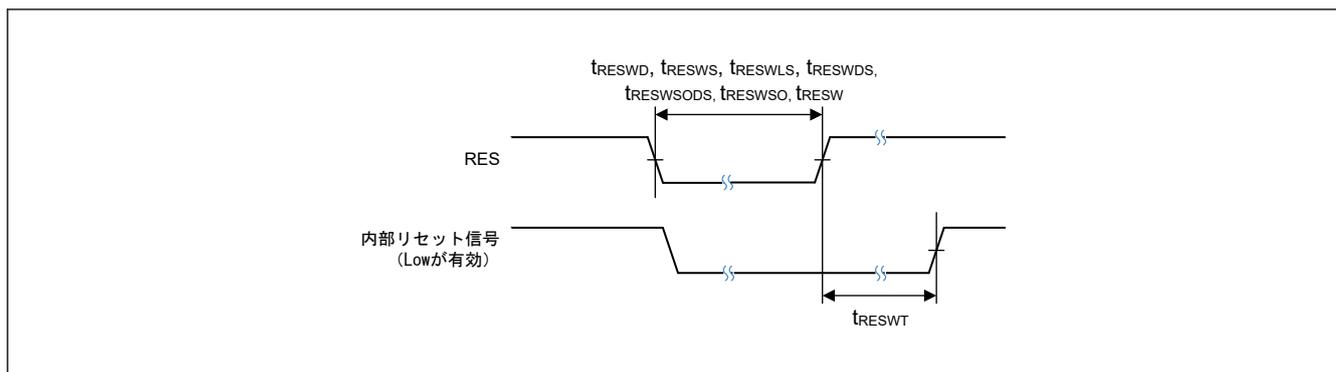


図 2.23 リセット入力タイミング

### 2.3.4 ウェイクアップタイミング

表 2.34 低消費電力モードからの復帰タイミング (1/2)

項目	高速復帰機能	シンボル	Min	Typ	Max	単位	測定条件		
CPU ディープスリープモードからの復帰時間	—	$t_{DSL P}$ (注10)	—	182	214	$\mu s$	—		
ソフトウェアスタンバイモードからの復帰時間	メインクロック発振器に水晶振動子を接続	システムクロックソースはメインクロック発振器(注1) MOSCSCR.MOSCSOK P = 0	有効	$t_{SBYMC}$ (注9)	—	2.33	2.43	ms	図 2.24 全発振器の分周比は 1 です。
		システムクロックソースはメインクロック発振器(注1) MOSCSCR.MOSCSOK P = 1	有効	—	310	385	$\mu s$		
		システムクロックソースはメインクロック発振器を使用した PLL1P(注2) MOSCSCR.MOSCSOK P = 0	有効	$t_{SBYPC}$ (注9)	—	2.47	2.59	ms	
		システムクロックソースはメインクロック発振器を使用した PLL1P(注2) MOSCSCR.MOSCSOK P = 1	有効	—	388	511	$\mu s$		
	メインクロック発振器に外部クロックを入力	システムクロックソースはメインクロック発振器(注3)	有効	$t_{SBYEX}$ (注9)	—	310	385	$\mu s$	
		システムクロックソースはメインクロック発振器を使用した PLL1P(注4)	有効	$t_{SBYPE}$ (注9)	—	388	511	$\mu s$	
	システムクロックソースはサブクロック発振器(注5)	有効	$t_{SBYSC}$ (注9)	—	0.81	0.87	ms		
	システムクロックソースは HOCO クロック発振器(注6)	有効	$t_{SBYHO}$ (注9)	—	310	385	$\mu s$		
システムクロックソースは HOCO を使用した PLL1P(注7)	有効	$t_{SBYPH}$ (注9)	—	398	522	$\mu s$			
システムクロックソースは MOCO クロック発振器(注8)	有効	$t_{SBYMO}$ (注9)	—	312	387	$\mu s$			

表 2.34 低消費電力モードからの復帰タイミング (2/2)

項目			高速復帰機能	シンボル	Min	Typ	Max	単位	測定条件	
ディープソフトウェアスタンバイモードからの復帰時間	ディープソフトウェアスタンバイモード 1	任意の PVD0 (OFS1(_SEC).PVDLPS EL = 1)、PVD1、または PVD2 が有効	標準	t <sub>DSBY</sub>	—	0.68	1.20	ms	図 2.25	
			高速		—	0.29	0.62	ms		
		任意の PVD0(OFS1(_SEC).PVDLPSEL = 1)、PVD1、および PVD2 が無効	標準		—	0.73	1.30			
			高速		—	0.33	0.71			
		ディープソフトウェアスタンバイモード 2	DPSWCR.WSTS = 0x0B		標準	—	0.73	1.10		ms
					高速	—	0.33	0.50		ms
	DPSWCR.WSTS = 0x9A		標準		—	1.60	2.00	ms		
			高速		—	1.20	1.50	ms		
	ディープソフトウェアスタンバイモード 3		標準		—	2.10	3.50	ms		
			高速		—	1.70	2.90	ms		
ディープソフトウェアスタンバイモード解除後待機時間			—	t <sub>DSBYWT</sub>	47.7	—	64.6	μs		

- 注 1. 水晶の周波数が 48 MHz (メインクロック発振器ウェイトコントロールレジスタ (MOSCWTCR) が 0x05) で、かつ内部クロックの分周設定のうち最大値が 1 の場合。
- 注 2. PLL1P の周波数が 480 MHz (メインクロック発振器ウェイトコントロールレジスタ (MOSCWTCR) が 0x05) で、かつ内部クロックの分周設定のうち最大値が 8 の場合。
- 注 3. 外部クロックの周波数が 48 MHz (メインクロック発振器ウェイトコントロールレジスタ (MOSCWTCR) が 0x00) で、かつ内部クロックの分周設定のうち最大値が 1 の場合。
- 注 4. PLL1P の周波数が 480 MHz (メインクロック発振器ウェイトコントロールレジスタ (MOSCWTCR) が 0x00) で、かつ内部クロックの分周設定のうち最大値が 8 の場合。
- 注 5. サブクロック発振器の周波数が 32.768 kHz で、かつ内部クロックの分周設定のうち最大値が 1 の場合。
- 注 6. HOCO 周波数が 20 MHz で、かつ内部クロックの分周設定のうち最大値が 1 の場合。
- 注 7. PLL 周波数が 480 MHz で、かつ内部クロックの分周設定のうち最大値が 8 の場合。
- 注 8. MOCO 周波数が 8 MHz で、かつ内部クロックの分周設定のうち最大値が 1 の場合。
- 注 9. 復帰時間は次の式により計算できます： $t_{\text{Common}} + \max(t_{\text{OSCSTB}}, t_{\text{PG1}}, t_{\text{PGCK}}) + \max(t_{\text{PG2}}, t_{\text{LPW}})$ 。式の各変数は下表の値および式により求めることができます。表中の変数 n については、内部クロック (CPUCLK、ICLK、PCLKm、FCLK、BCLK、および EBCLK) の分周設定 (m = A~E) のうち最大値が選択されます。  
下表の t<sub>OSCSTB</sub> は、各発振器が有効になっている時間を意味します。複数の発振器が有効になっているときの t<sub>OSCSTB</sub> は、有効になっている発振器のうちで最長の t<sub>OSCSTB</sub> となります。
- 注 10. ICLK 周波数は 240 MHz です。この復帰時間は t<sub>PG2</sub> に対応します。

表 2.35 復帰時間を構成する要素

ウェイクアップ時間	発振保持	高速復帰機能	Typ							Max							単位
			t <sub>Commo n</sub>	t <sub>OSCSTB (注1)</sub>	t <sub>PG1</sub>	t <sub>PGCK</sub>	t <sub>PG2</sub>	t <sub>LPW</sub>	t <sub>Commo n</sub>	t <sub>OSCSTB (注1)</sub>	t <sub>PG1</sub>	t <sub>PGCK</sub>	t <sub>PG2</sub>	t <sub>LPW</sub>			
t <sub>SBYMC</sub>	MOSC 無効	有効	52.667 + 4/ f <sub>ICLK</sub>	t <sub>MAINOSC WT</sub>	75.5	2.1 + 10.5/ f <sub>MOCO</sub> + 2.5n/ f <sub>MOCO</sub> + 2.5/ f <sub>SRCCLK</sub> + 2/ f <sub>ICLK</sub>	1449/ f <sub>MOCO</sub> + 10/ f <sub>ICLK</sub>	10 + 2/ f <sub>ICLK</sub> + 2n/ f <sub>MAIN</sub>	82.369 + 4/ f <sub>ICLK</sub>	t <sub>MAINOSC WT</sub> + 11/0.236	88.8	2.5 + 10.5/ f <sub>MOCO</sub> + 2.5n/ f <sub>MOCO</sub> + 2.5/ f <sub>SRCCLK</sub> + 2/ f <sub>ICLK</sub>	1449/ f <sub>MOCO</sub> + 10/ f <sub>ICLK</sub>	10 + 2/ f <sub>ICLK</sub> + 2n/ f <sub>MAIN</sub>	μs		
	MOSC 有効	有効	52.667 + 4/ f <sub>ICLK</sub>	3/0.262				10 + 2/ f <sub>ICLK</sub> + 2n/ f <sub>MAIN</sub>	82.369 + 4/ f <sub>ICLK</sub>	14/0.236				10 + 2/ f <sub>ICLK</sub> + 2n/ f <sub>MAIN</sub>		μs	
t <sub>SBYPC</sub>	MOSC 無効	有効	52.667 + 4/ f <sub>ICLK</sub>	24.125 + t <sub>MAINOSC CWT</sub> + 31/0.262 (注2)				10 + 2/ f <sub>ICLK</sub> + 2n/ f <sub>PLL</sub>	82.369 + 4/ f <sub>ICLK</sub>	24.05 + t <sub>MAINOSC WT</sub> + 42/0.236 (注3)				10 + 2/ f <sub>ICLK</sub> + 2n/ f <sub>PLL</sub>	μs		
	MOSC 有効	有効	52.667 + 4/ f <sub>ICLK</sub>	24.125 + 34/0.262 (注2)				10 + 2/ f <sub>ICLK</sub> + 2n/ f <sub>PLL</sub>	82.369 + 4/ f <sub>ICLK</sub>	24.05 + 45/0.236 (注3)				10 + 2/ f <sub>ICLK</sub> + 2n/ f <sub>PLL</sub>		μs	
t <sub>SBYEX</sub>	—	有効	52.667 + 4/ f <sub>ICLK</sub>	3/0.262				10 + 2/ f <sub>ICLK</sub> + 2n/ f <sub>EXMAIN</sub>	82.369 + 4/ f <sub>ICLK</sub>	14/0.236				10 + 2/ f <sub>ICLK</sub> + 2n/ f <sub>EXMAIN</sub>	μs		
t <sub>SBYPE</sub>	—	有効	52.667 + 4/ f <sub>ICLK</sub>	24.125 + 34/0.262 (注2)				10 + 2/ f <sub>ICLK</sub> + 2n/ f <sub>PLL</sub>	82.369 + 4/ f <sub>ICLK</sub>	24.05 + 45/0.236 (注3)				10 + 2/ f <sub>ICLK</sub> + 2n/ f <sub>PLL</sub>	μs		
t <sub>SBYSC</sub>	—	有効	52.667 + 4/ f <sub>ICLK</sub>	0				10 + 2/ f <sub>ICLK</sub> + 2n/ f <sub>SOSC</sub>	82.369 + 4/ f <sub>ICLK</sub>	0				10 + 2/ f <sub>ICLK</sub> + 2n/ f <sub>SOSC</sub>	μs		
t <sub>SBYHO</sub>	—	有効	52.667 + 4/ f <sub>ICLK</sub>	23.375				10 + 2/ f <sub>ICLK</sub> + 2n/ f <sub>HOCO</sub>	82.369 + 4/ f <sub>ICLK</sub>	70.234				10 + 2/ f <sub>ICLK</sub> + 2n/ f <sub>HOCO</sub>	μs		
t <sub>SBYPH</sub>	—	有効	52.667 + 4/ f <sub>ICLK</sub>	24.125 + 140(注2)				10 + 2/ f <sub>ICLK</sub> + 2n/ f <sub>PLL</sub>	82.369 + 4/ f <sub>ICLK</sub>	24.05 + 202(注3)				10 + 2/ f <sub>ICLK</sub> + 2n/ f <sub>PLL</sub>	μs		
t <sub>SBYMO</sub>	—	有効	52.667 + 4/ f <sub>ICLK</sub>	0				10 + 2/ f <sub>ICLK</sub> + 2n/ f <sub>MOCO</sub>	82.369 + 4/ f <sub>ICLK</sub>	0				10 + 2/ f <sub>ICLK</sub> + 2n/ f <sub>MOCO</sub>	μs		

注. 周波数の単位は MHz です。  
 注 1. 複数の発振器が動作している場合、この列の動作発振器の最大値が適用されます。  
 注 2. PLL1LDOCR.SKEEP と PLL2LDOCR.SKEEP が両方とも 1 の場合、“24.125”は低減できます。

注 3. PLL1LDOCR.SKEEP と PLL2LDOCR.SKEEP が両方とも 1 の場合、"24.05"は低減できます。

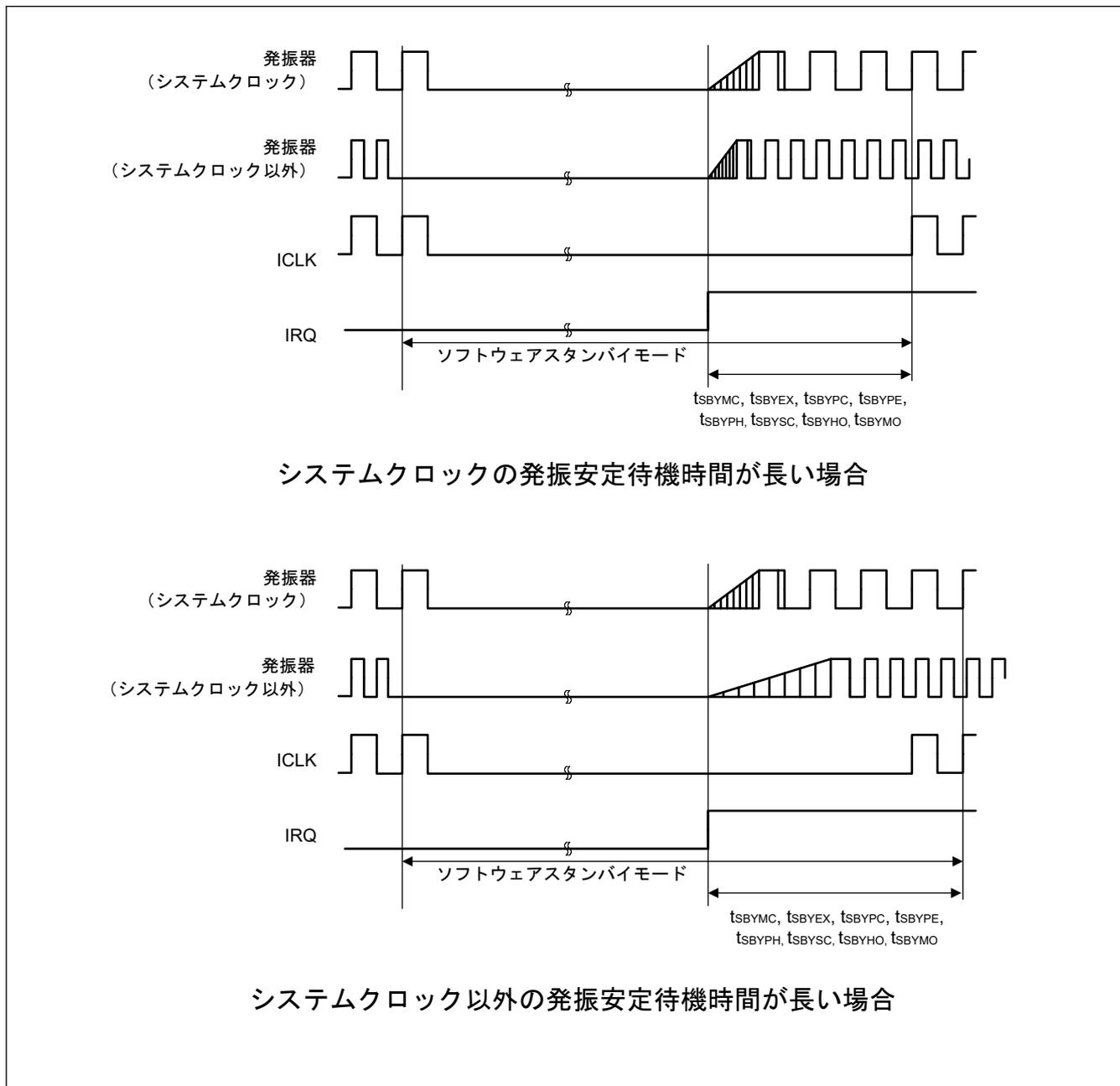


図 2.24 ソフトウェアスタンバイモード解除タイミング

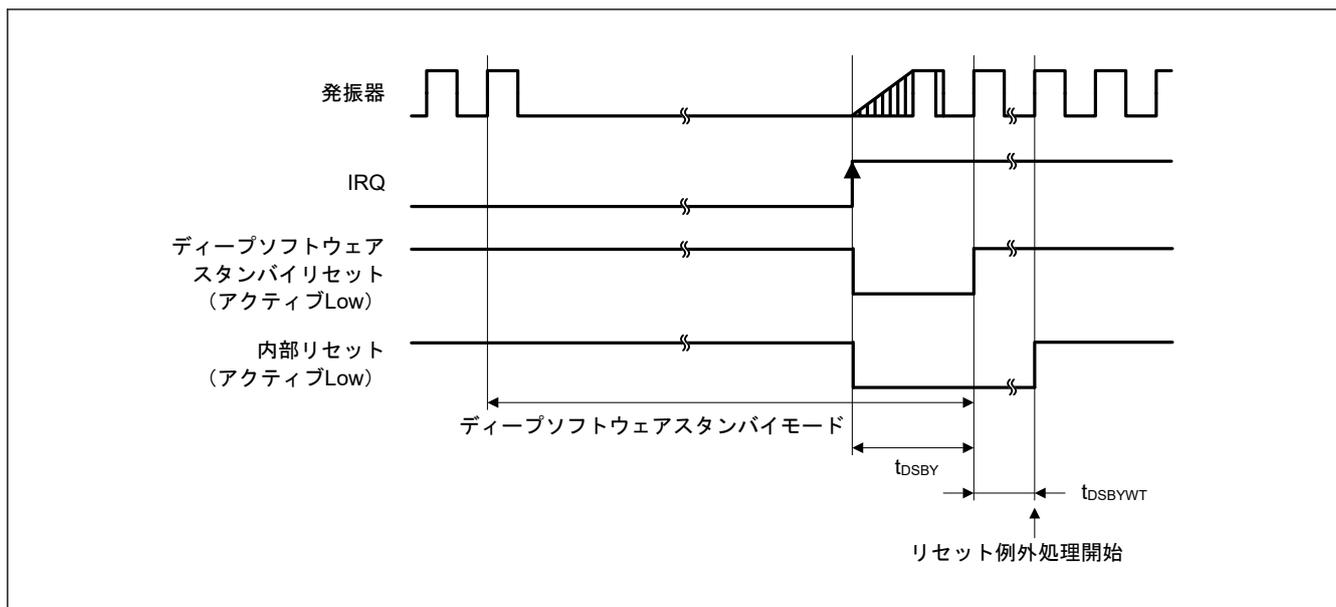


図 2.25 ディープソフトウェアスタンバイモード解除タイミング

### 2.3.5 NMI/IRQ ノイズフィルタ

表 2.36 NMI/IRQ ノイズフィルタ

項目	シンボル	Min	Typ	Max	単位	測定条件	
NMI パルス幅	t <sub>NMIW</sub>	200	—	—	ns	NMI デジタルフィルタ 無効	
		t <sub>Pcyc</sub> × 2(注1)	—	—			t <sub>Pcyc</sub> × 2 ≤ 200 ns
		200	—	—		NMI デジタルフィルタ 有効	t <sub>NMICK</sub> × 3 ≤ 200 ns
		t <sub>NMICK</sub> × 3.5(注2)	—	—			t <sub>NMICK</sub> × 3 > 200 ns
IRQ パルス幅	t <sub>IRQW</sub>	200	—	—	ns	IRQ デジタルフィルタ 無効	
		t <sub>Pcyc</sub> × 2(注1)	—	—			t <sub>Pcyc</sub> × 2 ≤ 200 ns
		200	—	—		IRQ デジタルフィルタ 有効	t <sub>IRQCK</sub> × 3 ≤ 200 ns
		t <sub>IRQCK</sub> × 3.5(注3)	—	—			t <sub>IRQCK</sub> × 3 > 200 ns

- 注. ソフトウェアスタンバイモード時は最小 200 ns です。
- 注. システムクロックソースを切り替える場合、切り替えるクロックソースの 4 クロックサイクルを足します。
- 注 1. t<sub>Pcyc</sub> は PCLKB の周期を示します。
- 注 2. t<sub>NMICK</sub> は、NMI デジタルフィルタサンプリングクロックの周期を示します。
- 注 3. t<sub>IRQCK</sub> は、IRQi デジタルフィルタサンプリングクロックの周期を示します。

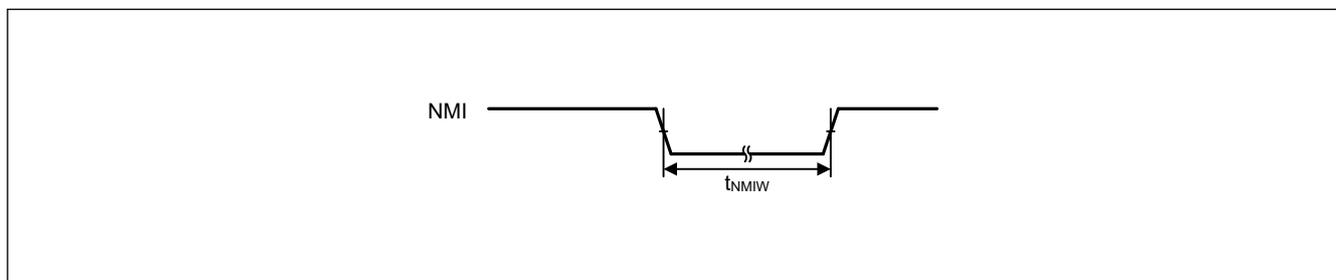


図 2.26 NMI 割り込み入力タイミング

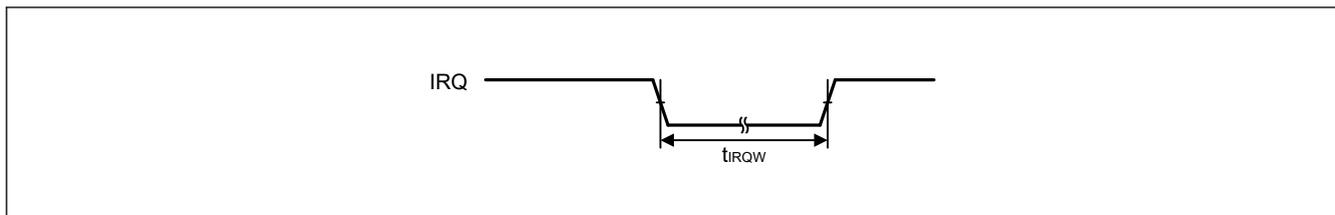


図 2.27 IRQ 割り込み入力タイミング

## 2.3.6 バスタイミング

表 2.37 バスタイミング (1/2)

条件 1: CS 領域コントローラ (CSC) 使用時

VCC = VCC\_DCDC = VCC\_USB = 1.68 V ~ 3.6 V、VCC2 = 1.65 V ~ 3.6 V

BCLK = 8 ~ 120 MHz、EBCLK = 8 ~ 60 MHz (VCC = VCC\_USB = 2.70 ~ 3.6 V の場合)

BCLK = 8 ~ 60 MHz、EBCLK = 8 ~ 30 MHz (VCC = VCC\_USB = 1.68 ~ 3.6 V の場合)

出力負荷条件: VOH = VCC × 0.5、VOL = VCC × 0.5、C = 30 pF

EBCLK: PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットで高駆動出力が選択されています。

その他: PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットで中駆動出力が選択されています。

条件 2: SDRAM 領域コントローラ (SDRAMC) 使用時

BCLK = SDCLK = 8 ~ 120 MHz

VCC = VCC2 = VCC\_DCDC = VCC\_USB = 3.0 ~ 3.6 V

出力負荷条件: VOH = VCC × 0.5、VOL = VCC × 0.5、C = 15 pF

SDCLK: PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットで高速高駆動出力が選択されています。

その他: PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットで高駆動出力が選択されています。

条件 3: SDRAM 領域コントローラ (SDRAMC) および CS 領域コントローラ (CSC) 同時使用時

BCLK = SDCLK = 8 ~ 60 MHz

VCC = VCC2 = VCC\_DCDC = VCC\_USB = 3.0 ~ 3.6 V

出力負荷条件: VOH = VCC × 0.5、VOL = VCC × 0.5、C = 15 pF

EBCLK/SDCLK: PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットで高駆動出力が選択されています。

その他: PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットで中駆動出力が選択されています。

項目		シンボル	Min	Max	単位	測定条件
アドレス遅延時間	2.70 V 以上	t <sub>AD</sub>	1.0	12.5	ns	図 2.28 ~ 図 2.34
	1.68 V 以上		1.0	12.5	ns	
バイト制御遅延時間	2.70 V 以上	t <sub>BCD</sub>	1.0	12.5	ns	
	1.68 V 以上		1.0	12.5	ns	
CS 遅延時間	2.70 V 以上	t <sub>CSD</sub>	1.0	12.5	ns	
	1.68 V 以上		1.0	12.5	ns	
ALE 遅延時間	2.70 V 以上	t <sub>ALED</sub>	1.0	12.5	ns	
	1.68 V 以上		1.0	12.5	ns	
RD 遅延時間	2.70 V 以上	t <sub>RS</sub>	1.0	12.5	ns	
	1.68 V 以上		1.0	12.5	ns	
読み出しデータセットアップ時間	2.70 V 以上	t <sub>RDS</sub>	12.5	—	ns	
	1.68 V 以上		20.5	—	ns	
読み出しデータホールド時間	2.70 V 以上	t <sub>RDH</sub>	0	—	ns	
	1.68 V 以上		0	—	ns	
WR/WRn 遅延時間	2.70 V 以上	t <sub>WRD</sub>	1.0	12.5	ns	
	1.68 V 以上		1.0	12.5	ns	
書き込みデータ遅延時間	2.70 V 以上	t <sub>WDD</sub>	—	12.5	ns	
	1.68 V 以上		—	12.5	ns	
書き込みデータホールド時間	2.70 V 以上	t <sub>WDH</sub>	1.0	—	ns	
	1.68 V 以上		1.0	—	ns	
WAIT セットアップ時間	2.70 V 以上	t <sub>WTS</sub>	12.5	—	ns	
	1.68 V 以上		20.5	—	ns	
WAIT ホールド時間	2.70 V 以上	t <sub>WTH</sub>	0	—	ns	
	1.68 V 以上		0	—	ns	

表 2.37 バスタイミング (2/2)

条件 1: CS 領域コントローラ (CSC) 使用時

VCC = VCC\_DCDC = VCC\_USB = 1.68 V~3.6 V、VCC2 = 1.65 V~3.6 V

BCLK = 8~120 MHz、EBCLK = 8~60 MHz (VCC = VCC\_USB = 2.70~3.6 V の場合)

BCLK = 8~60 MHz、EBCLK = 8~30 MHz (VCC = VCC\_USB = 1.68~3.6 V の場合)

出力負荷条件: VOH = VCC × 0.5、VOL = VCC × 0.5、C = 30 pF

EBCLK: PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットで高駆動出力が選択されています。

その他: PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットで中駆動出力が選択されています。

条件 2: SDRAM 領域コントローラ (SDRAMC) 使用時

BCLK = SDCLK = 8~120 MHz

VCC = VCC2 = VCC\_DCDC = VCC\_USB = 3.0~3.6 V

出力負荷条件: VOH = VCC × 0.5、VOL = VCC × 0.5、C = 15 pF

SDCLK: PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットで高速高駆動出力が選択されています。

その他: PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットで高駆動出力が選択されています。

条件 3: SDRAM 領域コントローラ (SDRAMC) および CS 領域コントローラ (CSC) 同時使用時

BCLK = SDCLK = 8~60 MHz

VCC = VCC2 = VCC\_DCDC = VCC\_USB = 3.0~3.6 V

出力負荷条件: VOH = VCC × 0.5、VOL = VCC × 0.5、C = 15 pF

EBCLK/SDCLK: PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットで高駆動出力が選択されています。

その他: PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットで中駆動出力が選択されています。

項目		シンボル	Min	Max	単位	測定条件
アドレス遅延 2 (SDRAM)	条件 2	t <sub>AD2</sub>	0.8	6.8	ns	図 2.35~図 2.41
	条件 3		0.8	10.8		
CS 遅延 2 (SDRAM)	条件 2	t <sub>CSD2</sub>	0.8	6.8	ns	
	条件 3		0.8	10.8		
DQM 遅延 (SDRAM)	条件 2	t <sub>DQMD</sub>	0.8	6.8	ns	
	条件 3		0.8	10.8		
CKE 遅延 (SDRAM)	条件 2	t <sub>CKED</sub>	0.8	6.8	ns	
	条件 3		0.8	10.8		
読み出しデータセットアップ時間 2 (SDRAM)	条件 2	t <sub>RDS2</sub>	2.9	—	ns	
	条件 3		6.9	—		
読み出しデータホールド時間 2 (SDRAM)	条件 2	t <sub>RDH2</sub>	1.5	—	ns	
	条件 3		1.5	—		
書き込みデータ遅延 2 (SDRAM)	条件 2	t <sub>WDD2</sub>	—	6.8	ns	
	条件 3		—	10.8		
書き込みデータホールド時間 2 (SDRAM)	条件 2	t <sub>WDH2</sub>	0.8	—	ns	
	条件 3		0.8	—		
WE 遅延 (SDRAM)	条件 2	t <sub>WED</sub>	0.8	6.8	ns	
	条件 3		0.8	10.8		
RAS 遅延 (SDRAM)	条件 2	t <sub>RASD</sub>	0.8	6.8	ns	
	条件 3		0.8	10.8		
CAS 遅延 (SDRAM)	条件 2	t <sub>CASD</sub>	0.8	6.8	ns	
	条件 3		0.8	10.8		

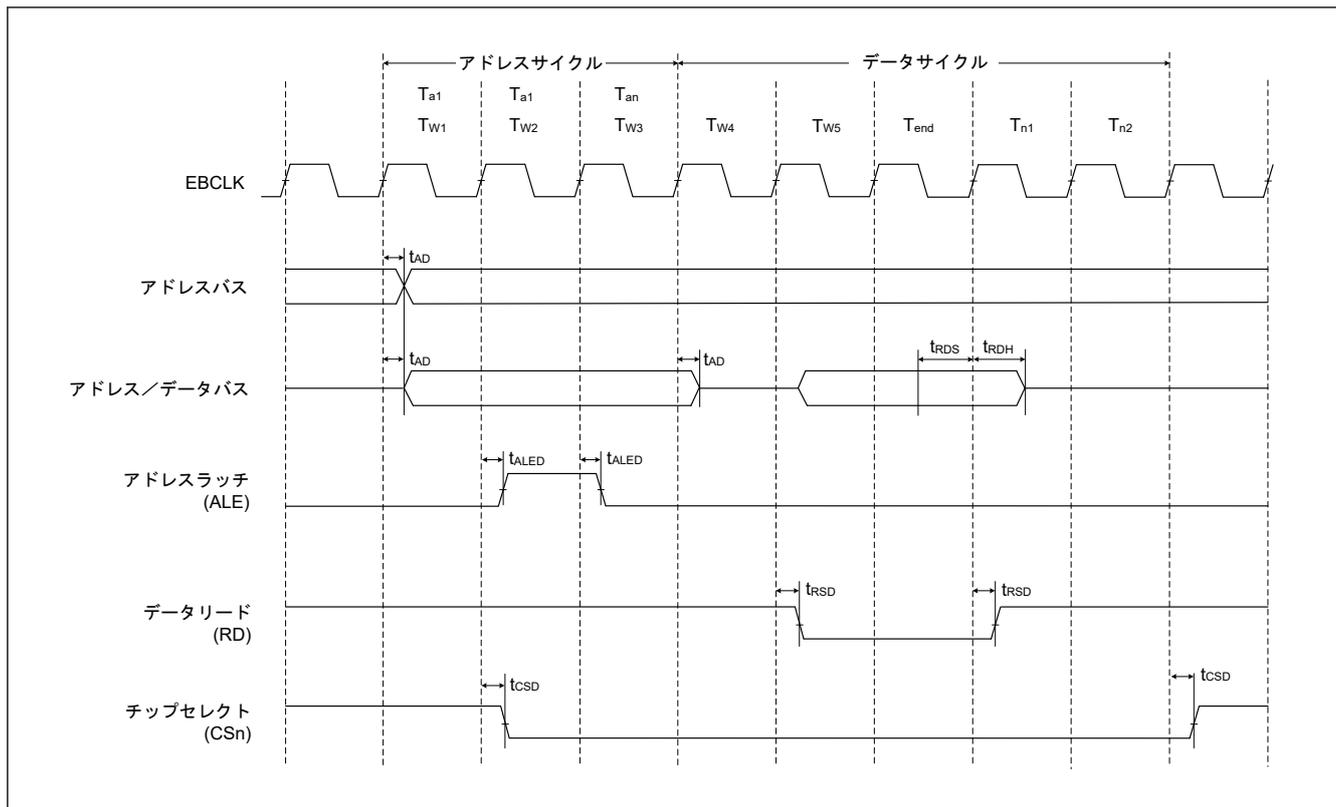


図 2.28 アドレス/データマルチプレクスバスのリードアクセスタイミング

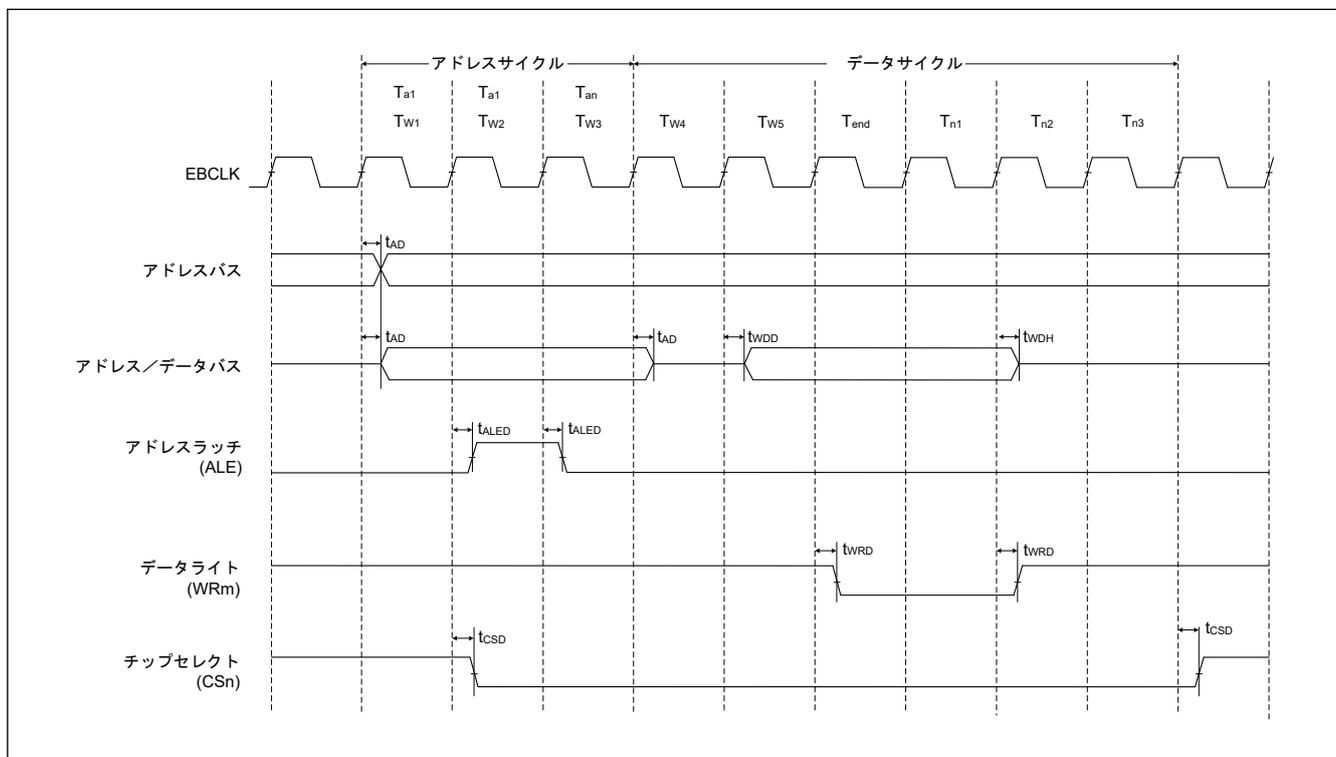


図 2.29 アドレス/データマルチプレクスバスのライトアクセスタイミング

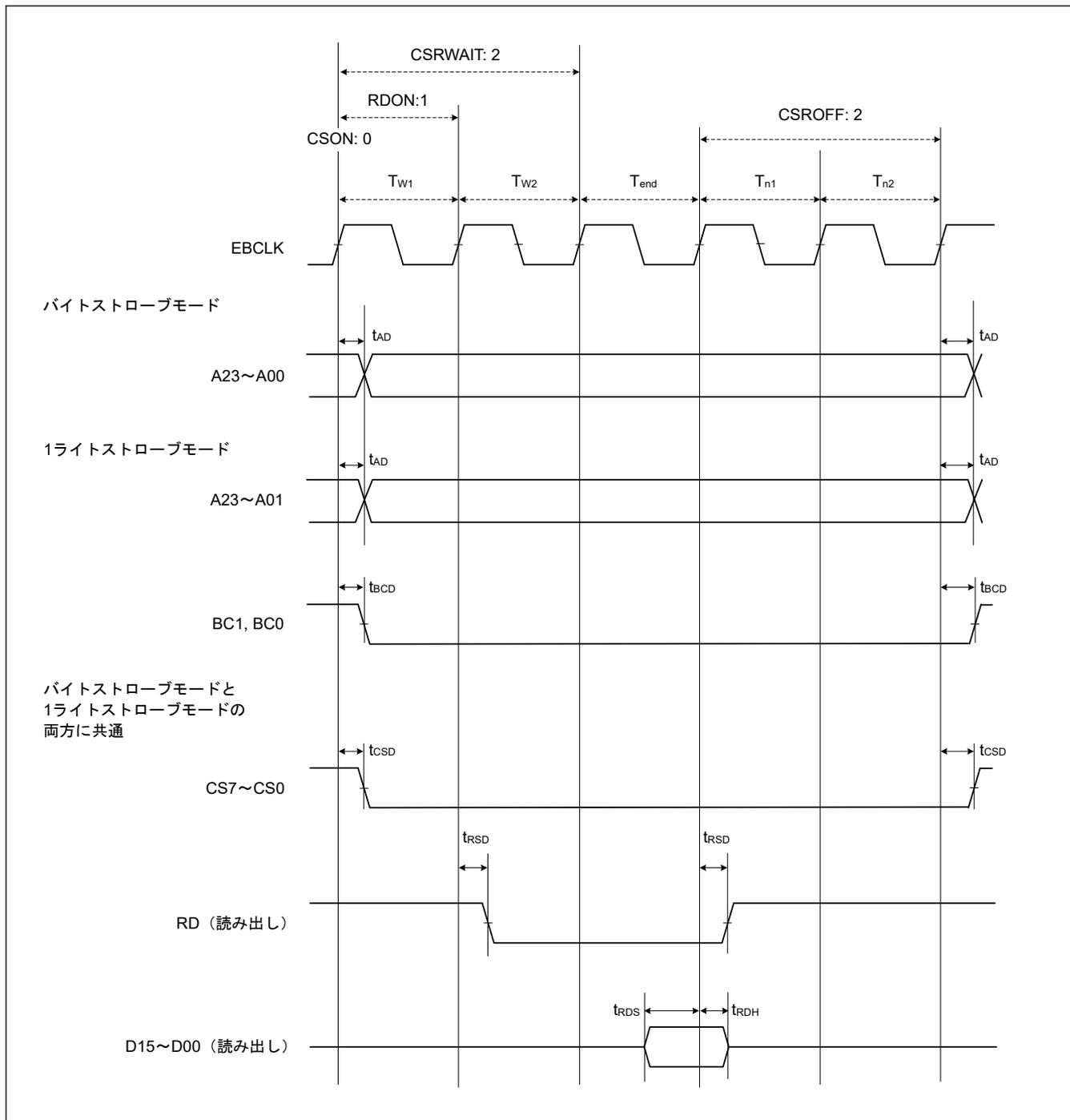


図 2.30 バスクロック同期を使用したノーマルリードサイクルの外部バスタイミング

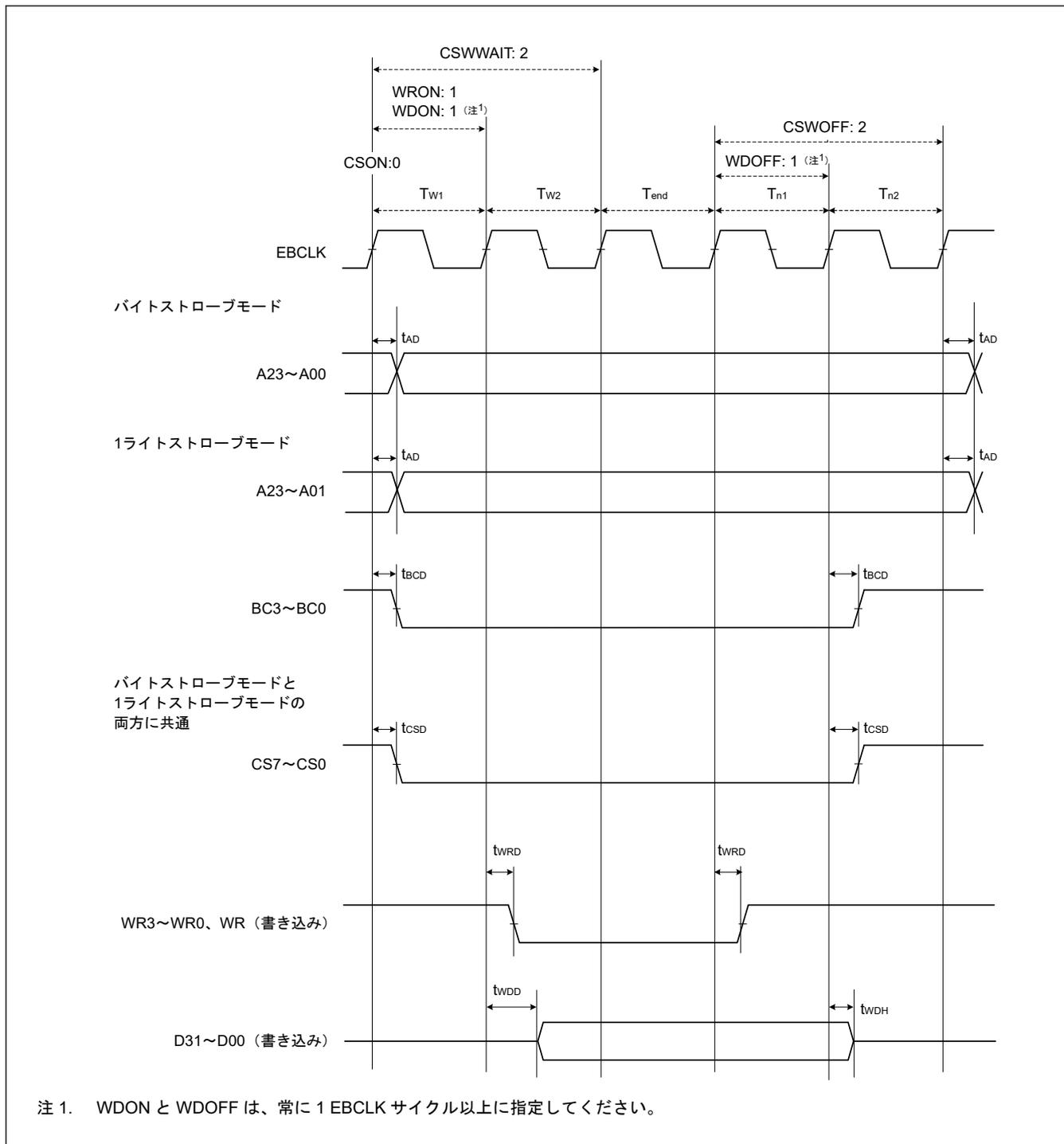


図 2.31 バスクロック同期を使用したノーマルライトサイクルの外部バスタイミング

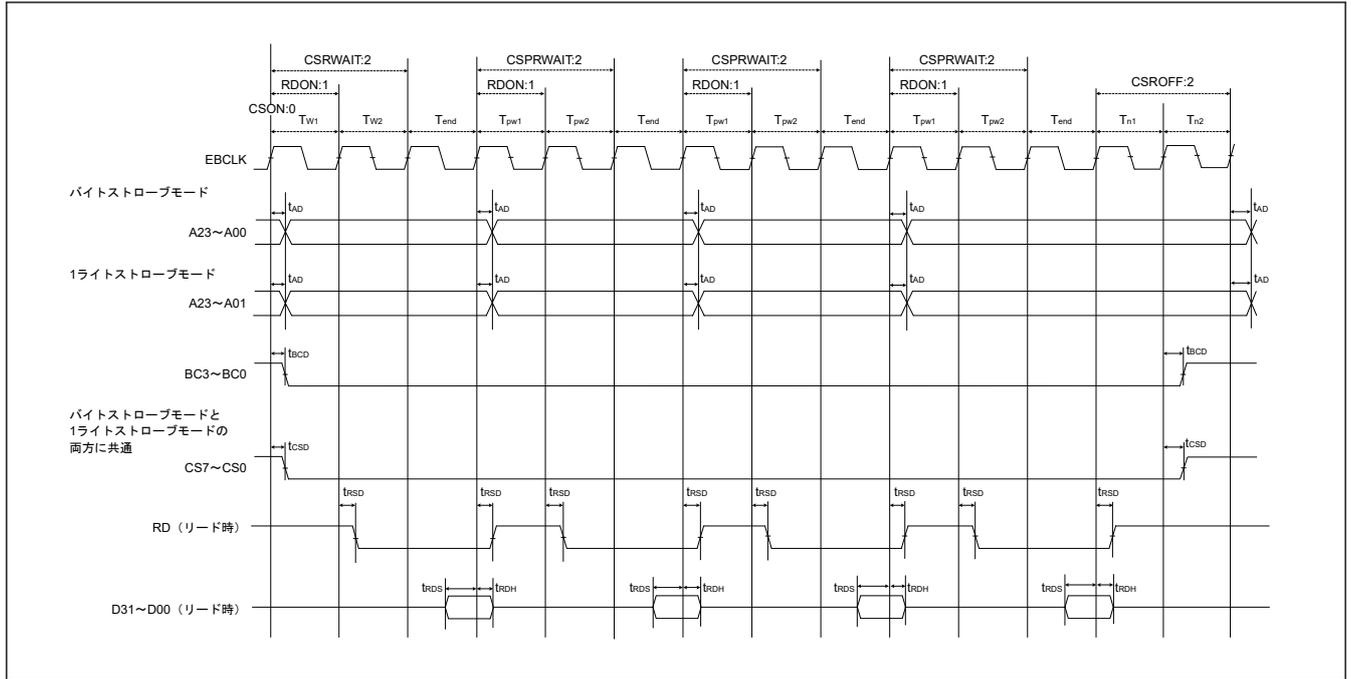
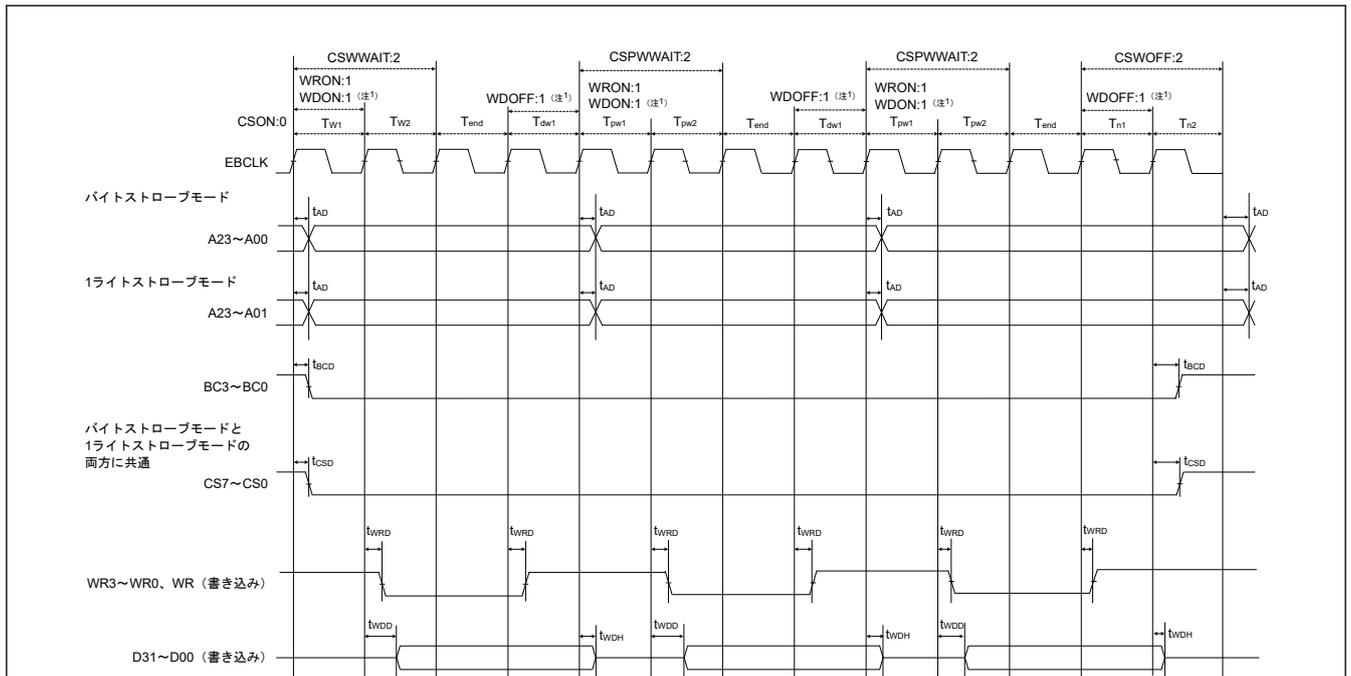


図 2.32 バスクロック同期を使用したページリードサイクルの外部バスタイミング



注 1. WDON と WDOFF は、常に 1 EBCLK サイクル以上に指定してください。

図 2.33 バスクロック同期を使用したページライトサイクルの外部バスタイミング

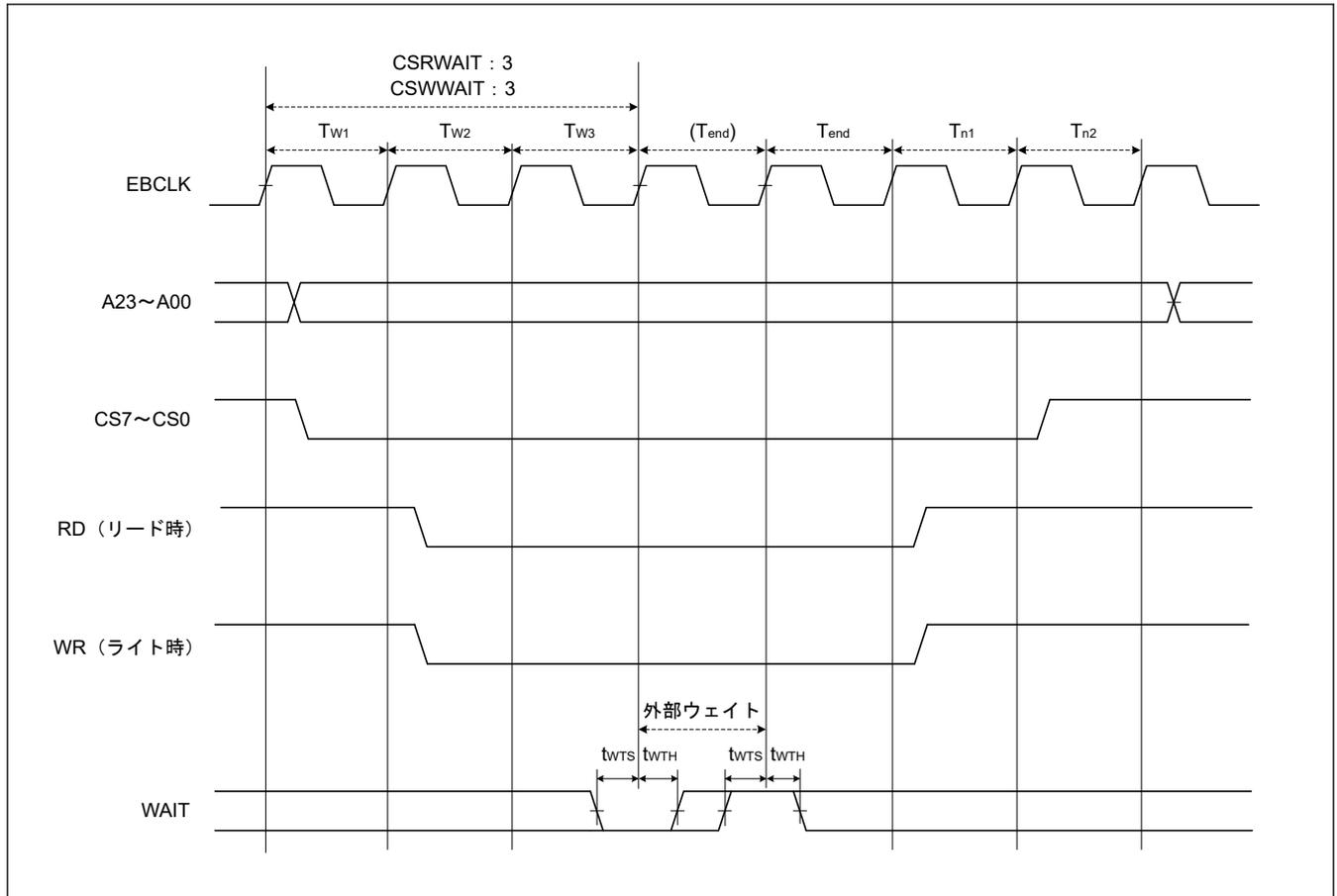


図 2.34 外部ウェイト制御の外部パスタイミング

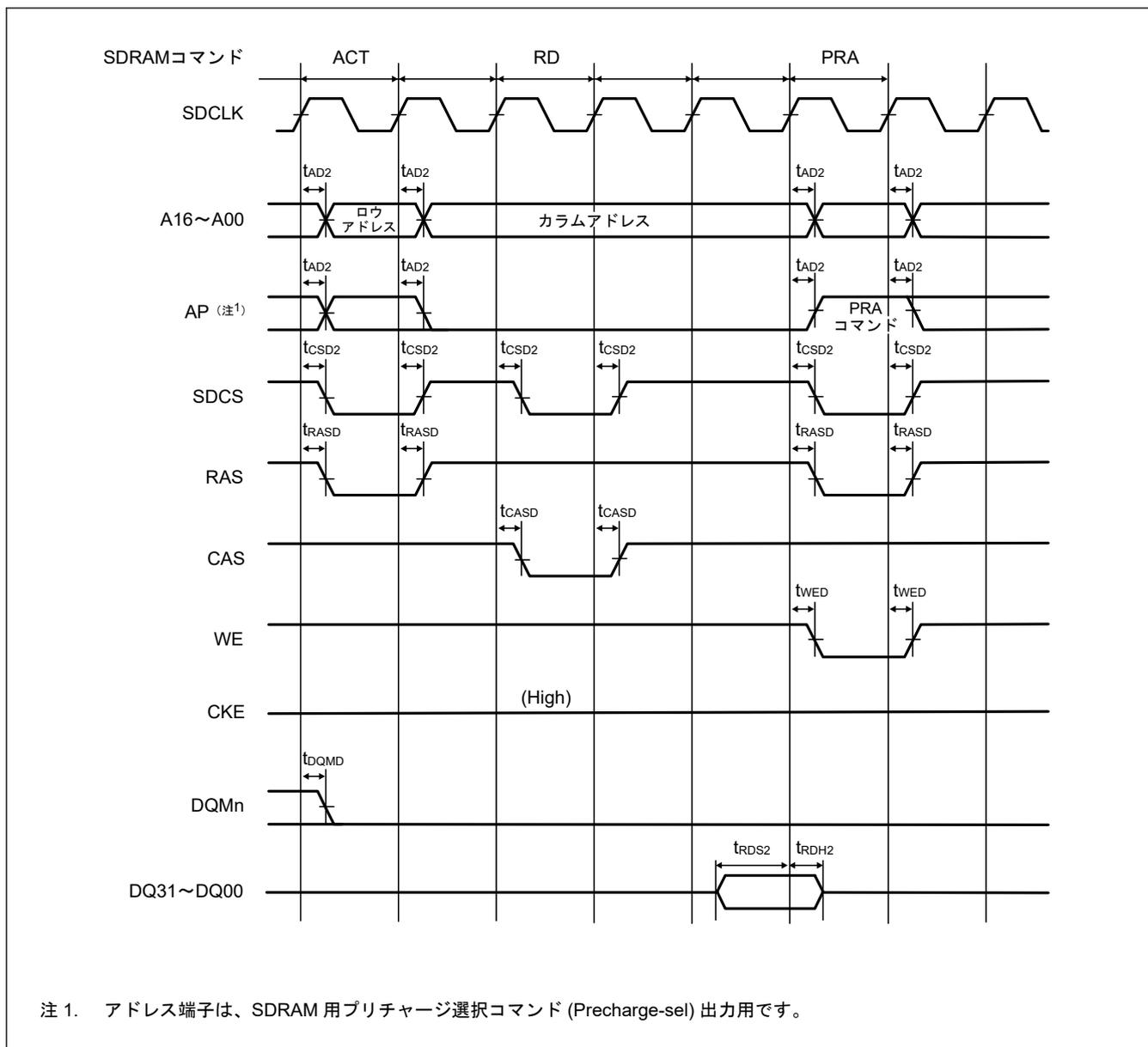


図 2.35 SDRAM シングルリードのタイミング

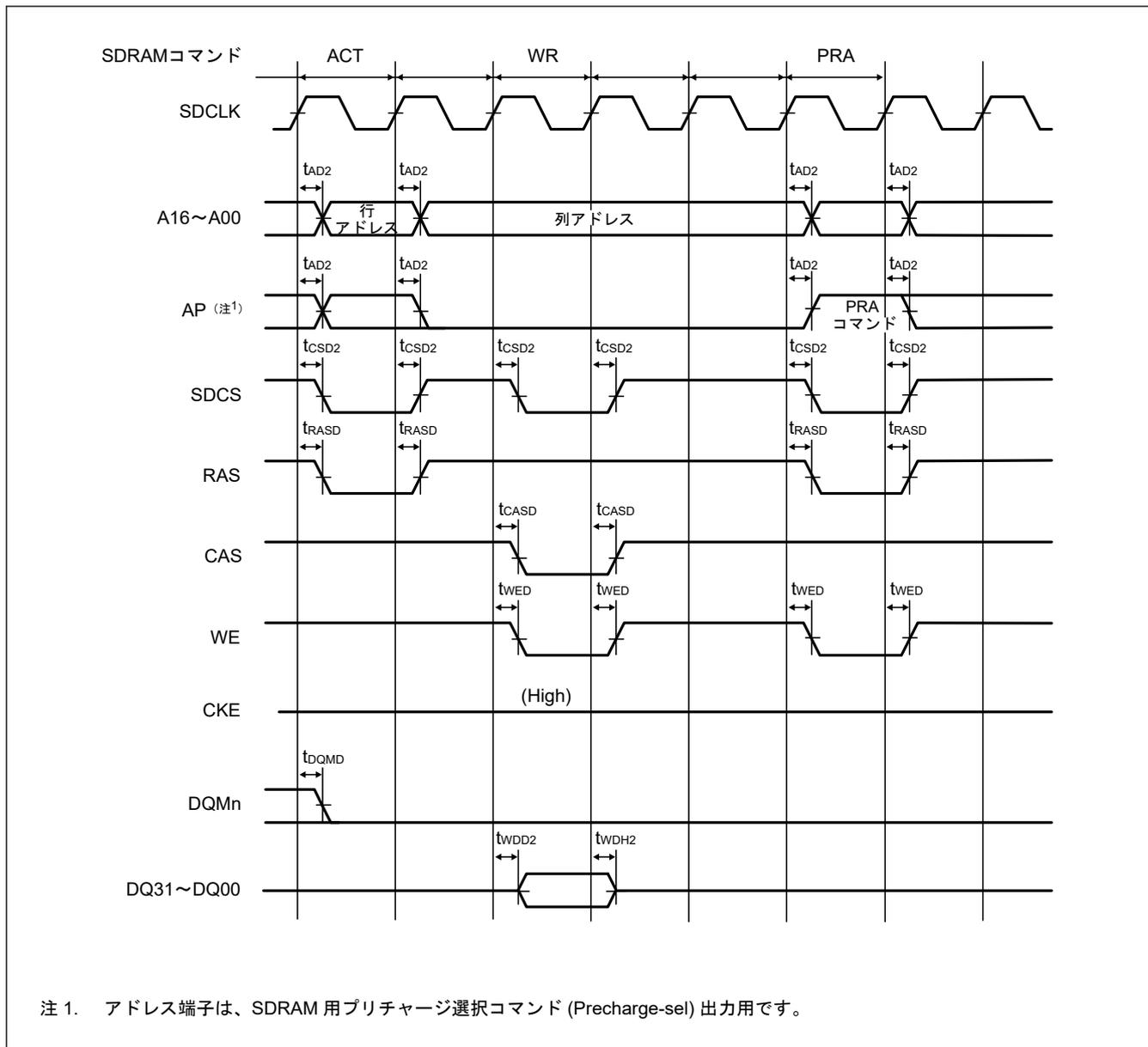


図 2.36 SDRAM シングルライトのタイミング

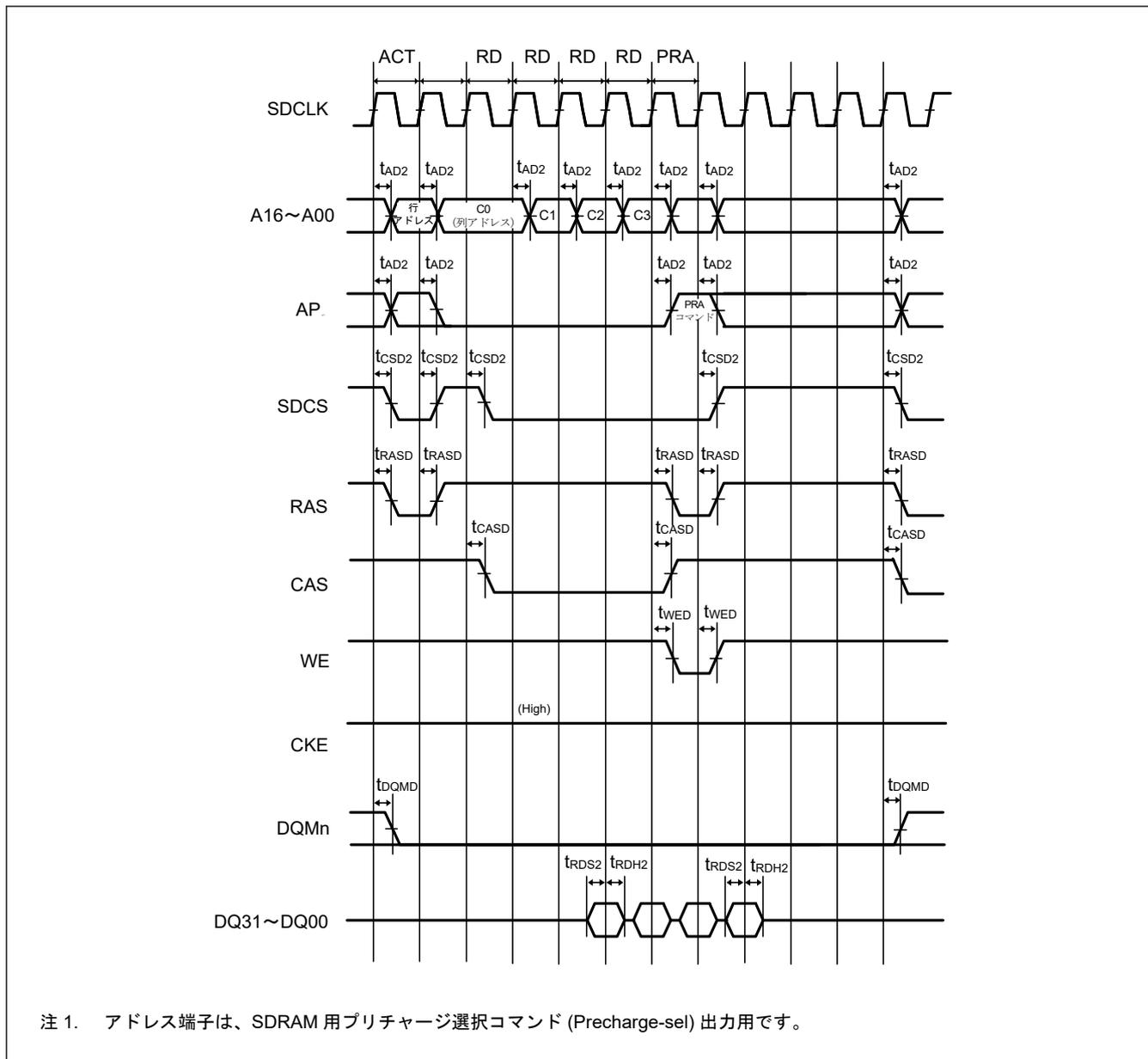


図 2.37 SDRAM マルチリードのタイミング

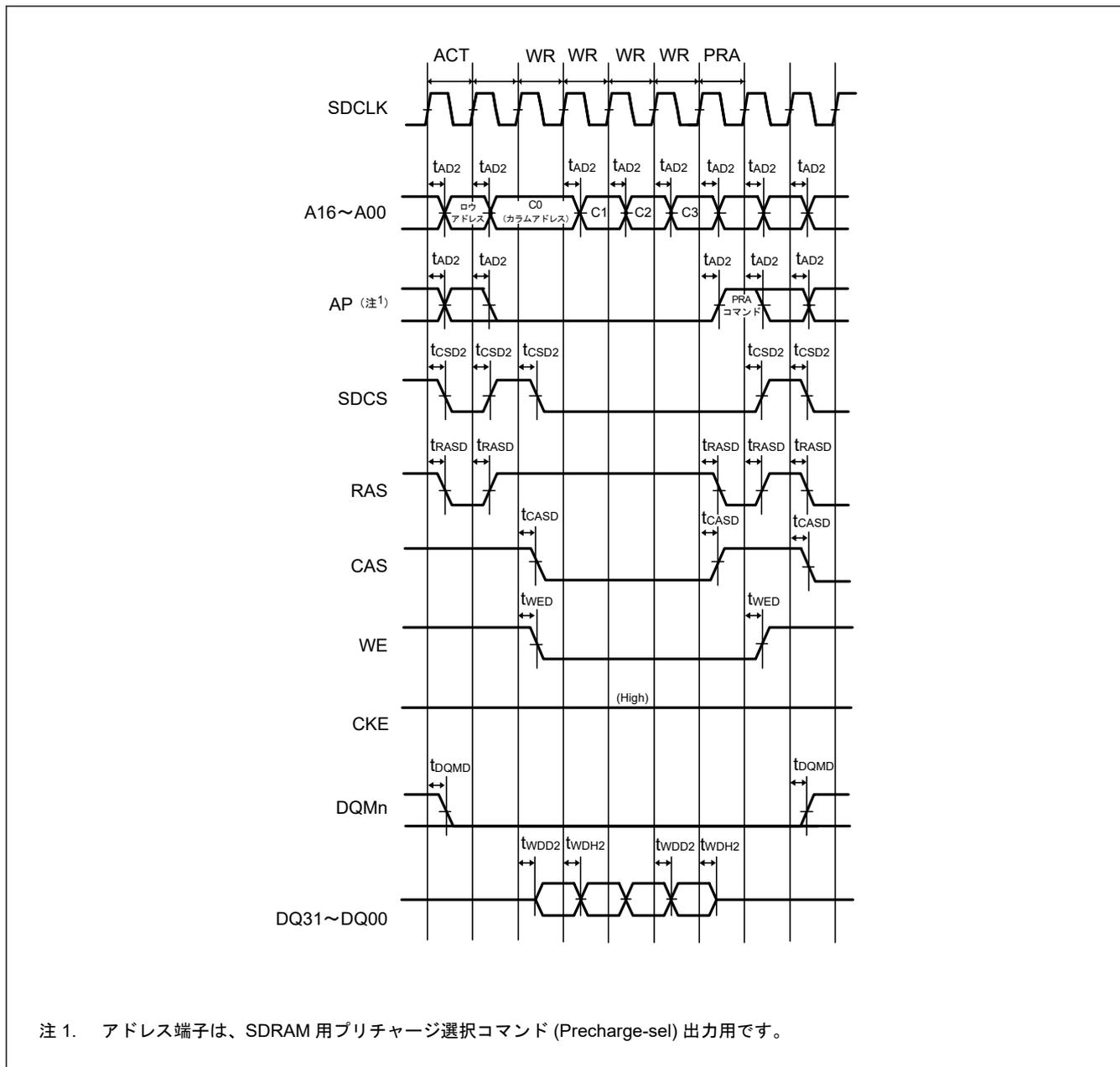


図 2.38 SDRAM マルチライトのタイミング

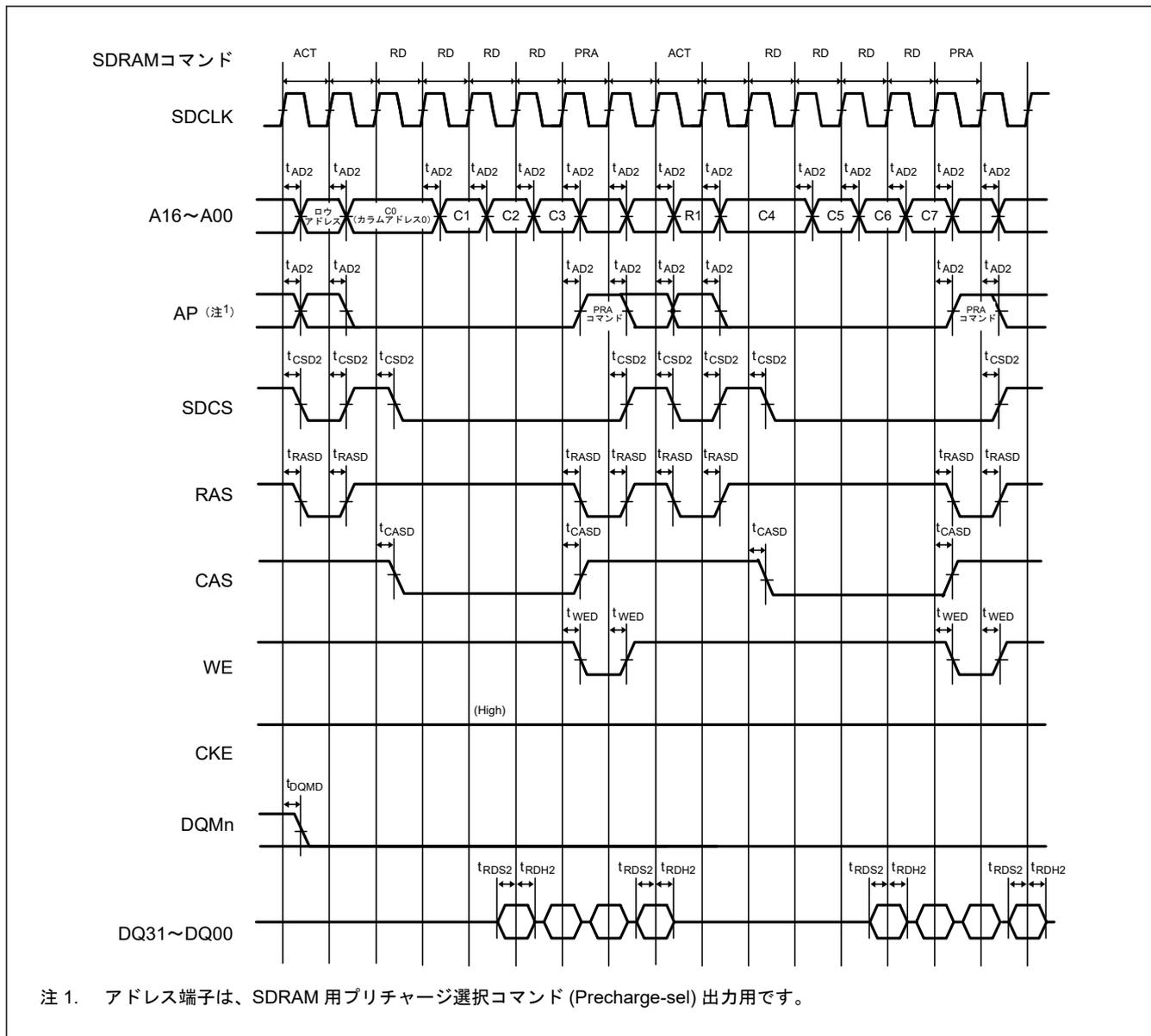


図 2.39 SDRAM マルチリードの行またぎのタイミング

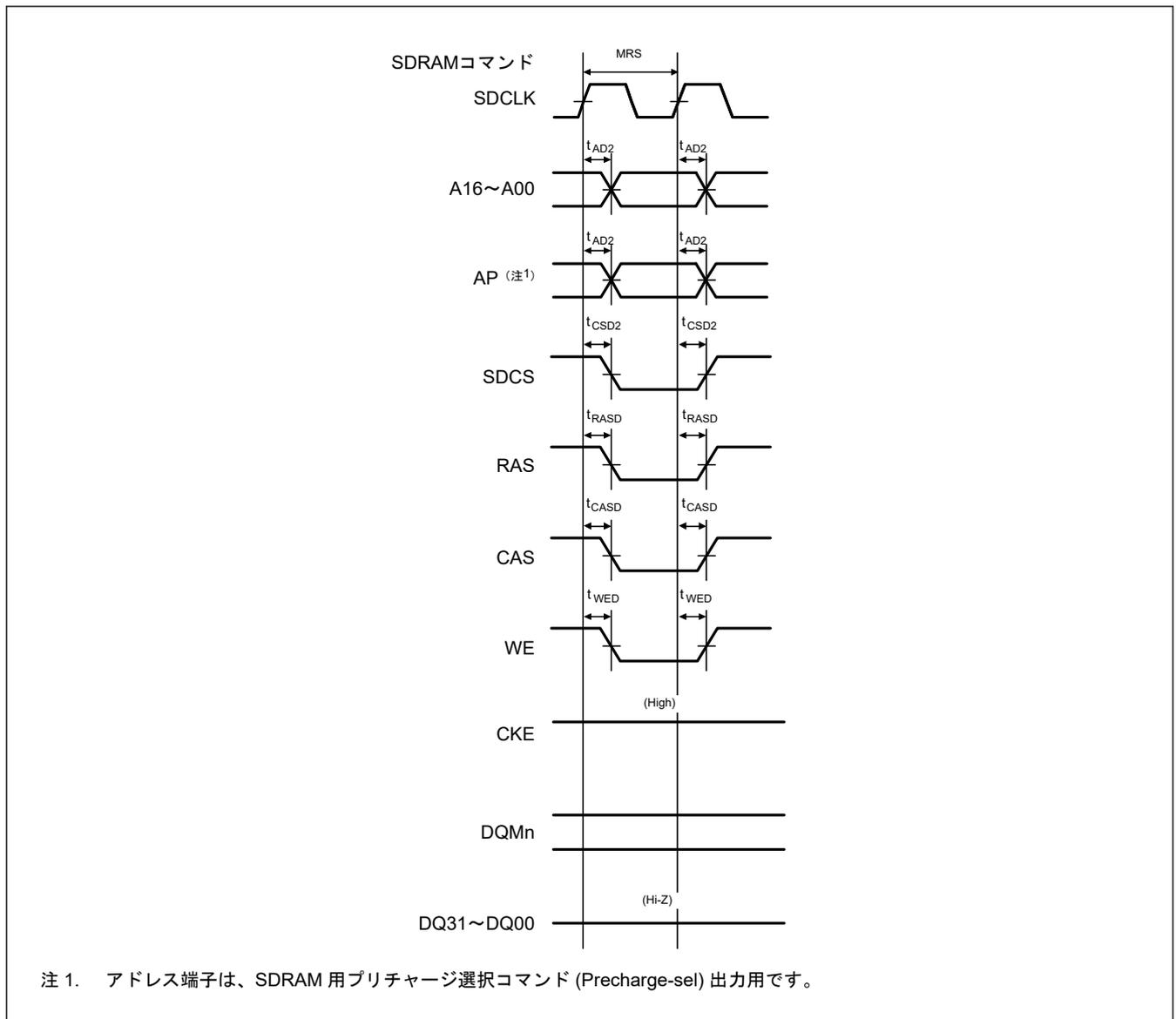


図 2.40 SDRAM モードレジスタの設定のタイミング

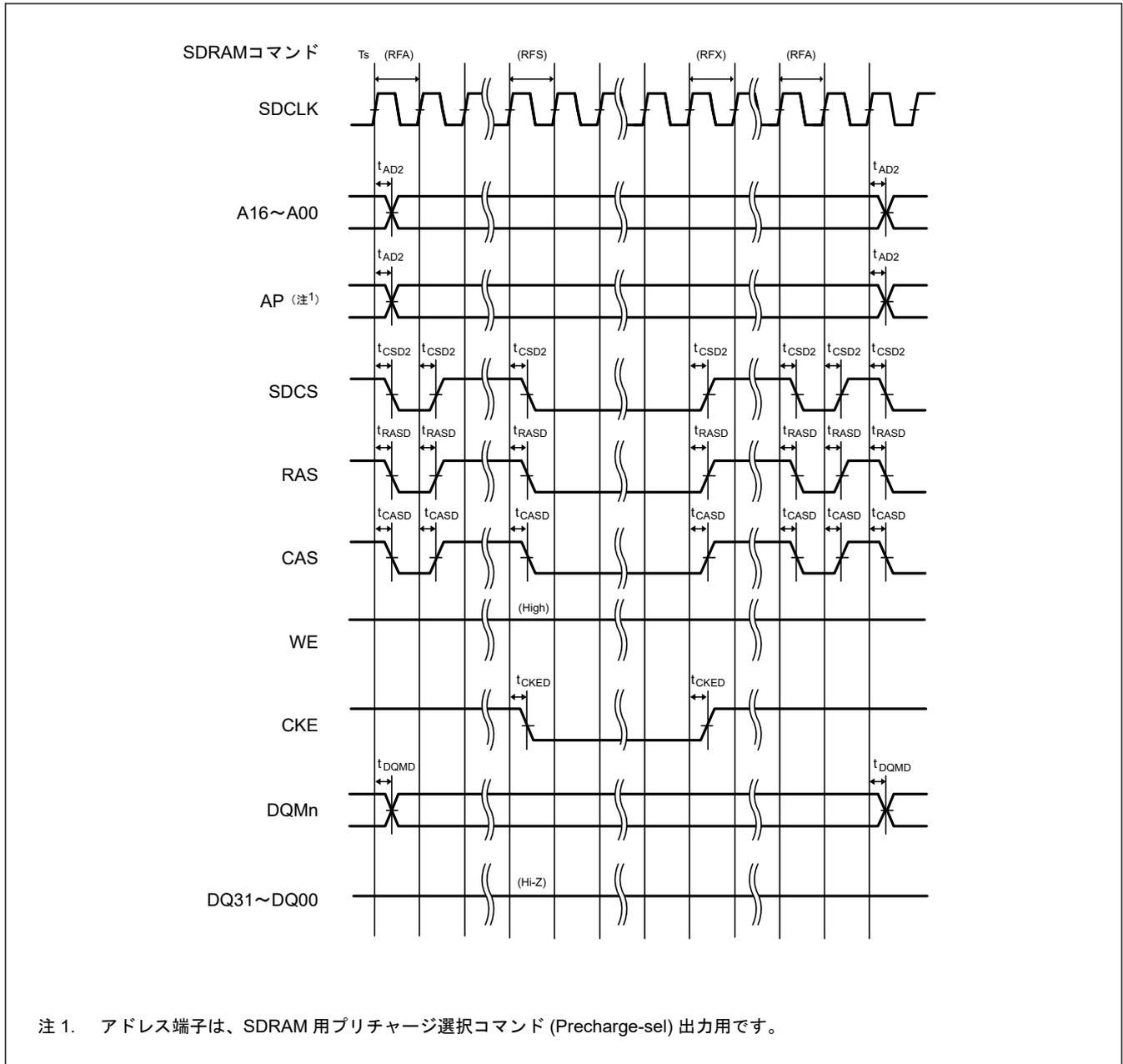


図 2.41 SDRAM セルフリフレッシュのタイミング

2.3.7 I/O ポート、POEG、GPT、AGT、ULPT、ADC12 のトリガタイミング

表 2.38 I/O ポート、POEG、GPT、AGT、ULPT、ADC12 のトリガタイミング (1/2)

GPT 条件：  
PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットで中駆動出力が選択されていること。  
VCC I/O と VCC2 I/O に GPT 端子が指定されている場合、VCC = VCC2 のときに限って下記の特性が保証されます。  
AGT 条件：  
PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットで中駆動出力が選択されていること。

項目	シンボル	Min	Max	単位	測定条件
I/O ポート	入カデータパルス幅	t <sub>PRW</sub>	5.5	—	t <sub>icyc</sub> 図 2.42
	EXCIN 入力周波数	t <sub>EXCIN</sub>	—	36	kHZ
POEG	POEG 入力トリガパルス幅	t <sub>POEW</sub>	3	—	t <sub>Pcyc</sub> 図 2.43

表 2.38 I/O ポート、POEG、GPT、AGT、ULPT、ADC12 のトリガタイミング (2/2)

GPT 条件:

PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットで中駆動出力が選択されていること。

VCC I/O と VCC2 I/O に GPT 端子が指定されている場合、VCC = VCC2 のときに限って下記の特性が保証されます。

AGT 条件:

PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットで中駆動出力が選択されていること。

項目		シンボル	Min	Max	単位	測定条件					
GPT	インプットキャプチャパルス幅 (サイクル)	単エッジ	$t_{GTICW}^{(注1)}$	1.5	—	$t_{pDcyc}$	図 2.44				
		両エッジ		2.5	—						
	インプットキャプチャパルス幅 (回数)	2.70 V 以上	$t_{GTICW}^{(注1)}$	12.5	—	ns		図 2.45			
		1.68 V 以上 (VCC)		25.0	—						
		1.65 V 以上 (VCC2)									
	GTIOCxY 出力スキュー (x = 0~7, Y = A または B)	2.70 V 以上	$t_{GTISK}$	—	4	ns			図 2.46		
		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		—	5						
	GTIOCxY 出力スキュー (x = 8~13, Y = A または B)	2.70 V 以上	$t_{GTISK}$	—	4	ns	図 2.46				
		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		—	5						
	GTIOCxY 出力スキュー (x = 0~13, Y = A または B)	2.70 V 以上	$t_{GTISK}$	—	6	ns		図 2.46			
		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		—	7						
	OPS 出力スキュー GTOUUP、GTOULO、 GTOVUP、GTOVLO、 GTOWUP、GTOWLO	2.70 V 以上	$t_{GTOSK}$	—	5	ns			図 2.46		
1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		—		6							
AGT	AGTIO、AGTEE 入力サイクル	$t_{ACYC}^{(注2)}$	2.70 V 以上	100	—	ns	図 2.47				
			1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)	100	—						
	AGTIO、AGTEE 入力 High レベル幅、Low レベル幅	$t_{ACKWH}$ 、 $t_{ACKWL}$	2.70 V 以上	40	—	ns		図 2.47			
			1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)	40	—						
	AGTIO、AGTO、AGTOA、 AGTOB 出力サイクル	$t_{ACYC2}$	2.70 V 以上	62.5	—	ns			図 2.47		
			1.68 V 以上 (VCC)	62.5	—						
			1.65 V 以上 (VCC2)								
	ULPT	ULPTEE、ULPTEVI 入力サイクル	$t_{ULCYC}^{(注3)}$	2.70 V 以上	32	-				$\mu s$	図 2.48
				1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)	32	-					
ULPTEE、ULPTVI 入力 High レベル幅、Low レベル幅		$t_{ULCKWH}$ 、 $t_{ULCKWL}$	2.70 V 以上	12	-	$\mu s$	図 2.48				
			1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)	12	-						
ULPTO、ULPTOA、ULPTOB 出力サイクル		$t_{ULCYC2}$	2.70 V 以上	64	-	$\mu s$		図 2.48			
			1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)	64	-						
ADC12	ADC12 トリガ入力パルス幅	$t_{TRGW}$	2.70 V 以上	1.5	—	$t_{pCyc}$			図 2.49		
			1.68 V 以上 (VCC)	3.0	—						
			1.65 V 以上 (VCC2)								

注.  $t_{cyc}$ : ICLK の周期、 $t_{pCyc}$ : PCLKB の周期、 $t_{pDcyc}$ : PCLKD の周期、 $t_{ULPTLCLK}$ : ULPTLCLK の周期

注 1. 「周期」と「回数」については、時間が長い方の特性が適用されます。

注 2. 入力サイクルの制限:

ソースクロックを切り替え中でない場合:  $t_{pCyc} \times 2 < t_{ACYC}$  を満たす必要があります。ソースクロックを切り替え中の場合:  $t_{pCyc} \times 6 < t_{ACYC}$  を満たす必要があります。

注 3. 入力サイクルの制限:

ULPTEVI:  $t_{pCyc} \times 2 < t_{ULCYC}$  を満たす必要があります。

ULPTEE:  $t_{ULPTLCLK} \times 2 < t_{ULCYC}$  を満たす必要があります。

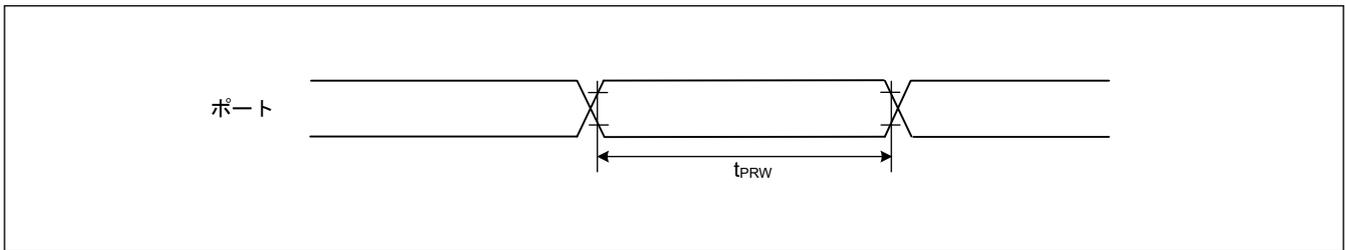


図 2.42 I/O ポート入カタイミング

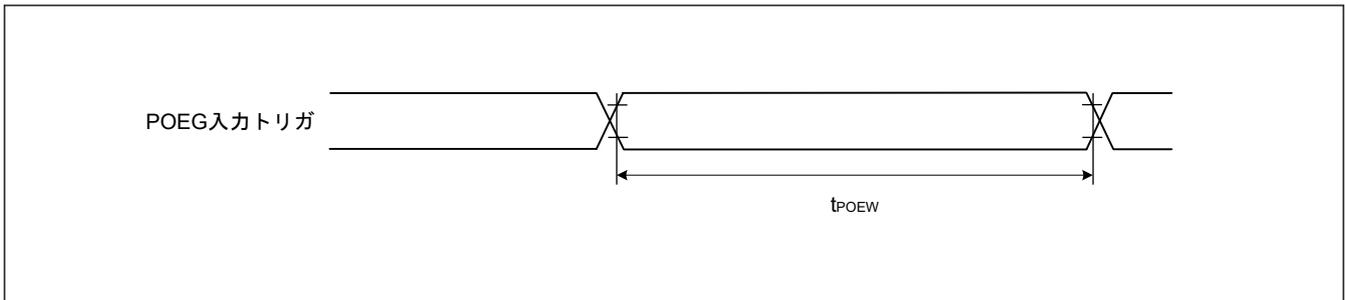


図 2.43 POEG 入カトリガタイミング

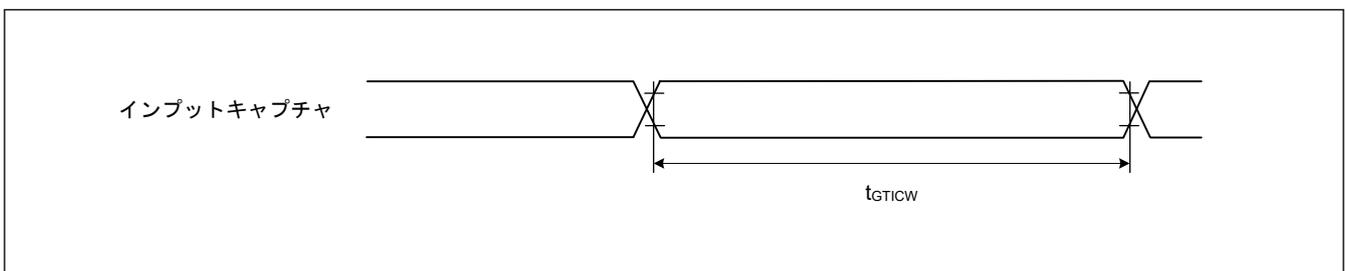


図 2.44 GPT インプットキャプチャタイミング

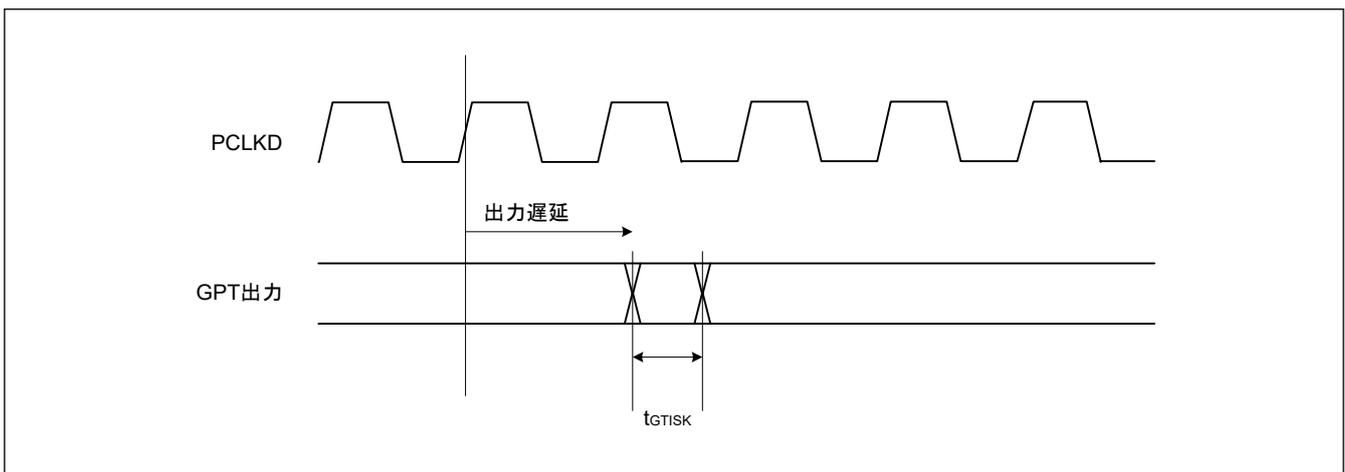


図 2.45 GPT 出力遅延スキュー

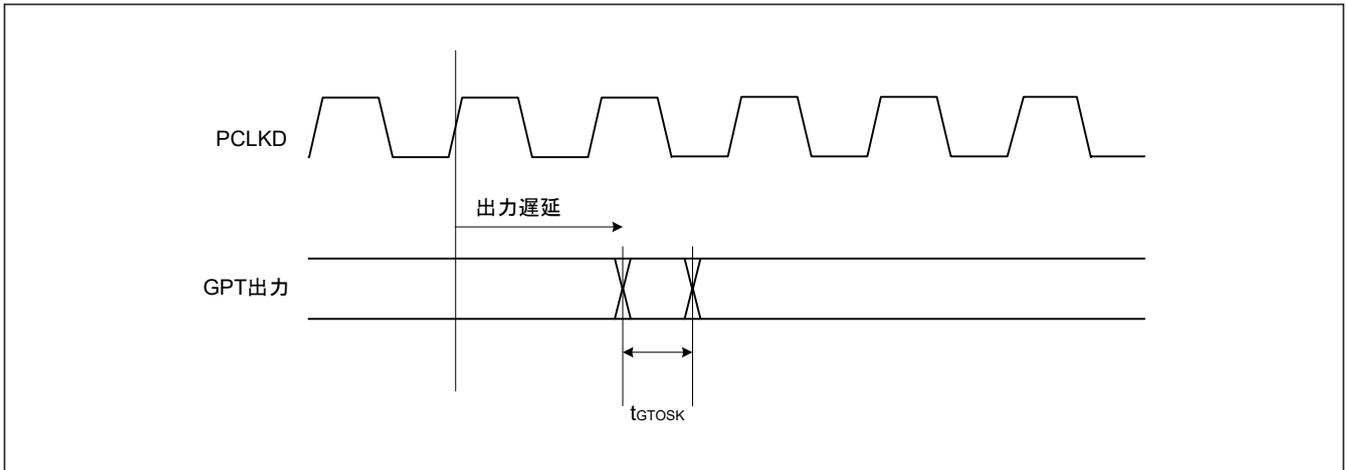


図 2.46 OPS の GPT 出力遅延スキュー

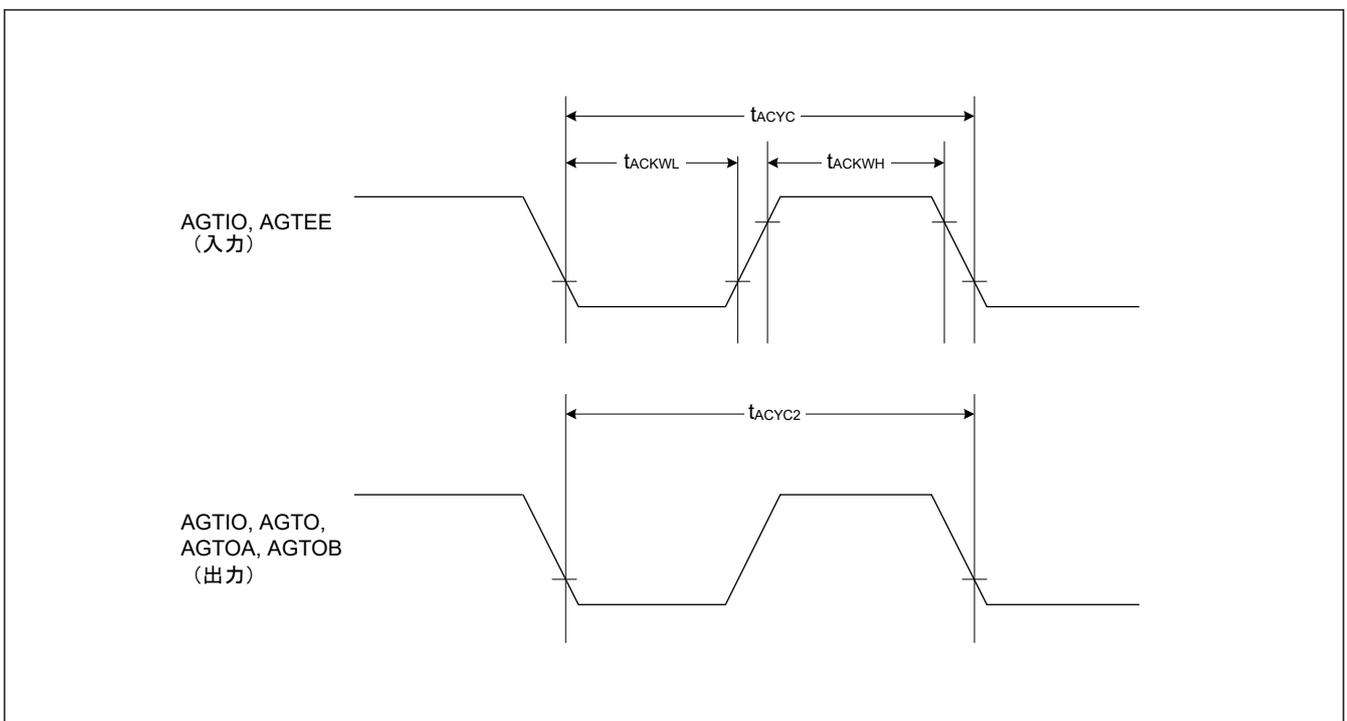


図 2.47 AGT 入出力タイミング

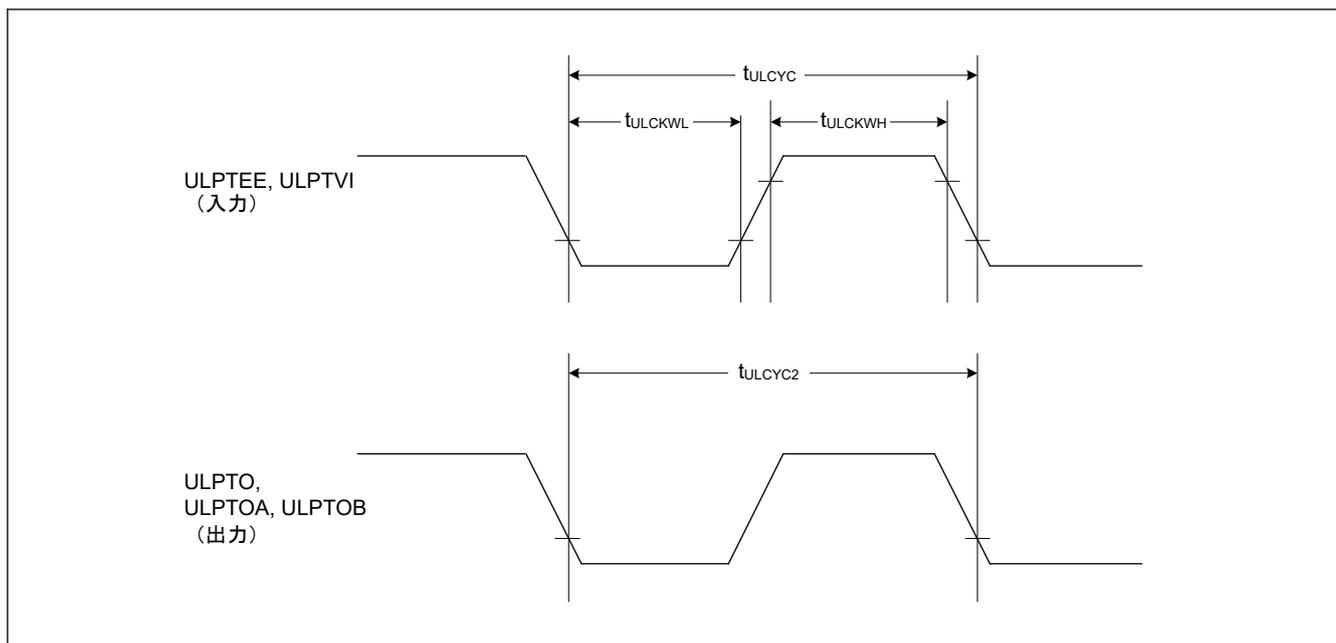


図 2.48 ULPT 入出カタイミング

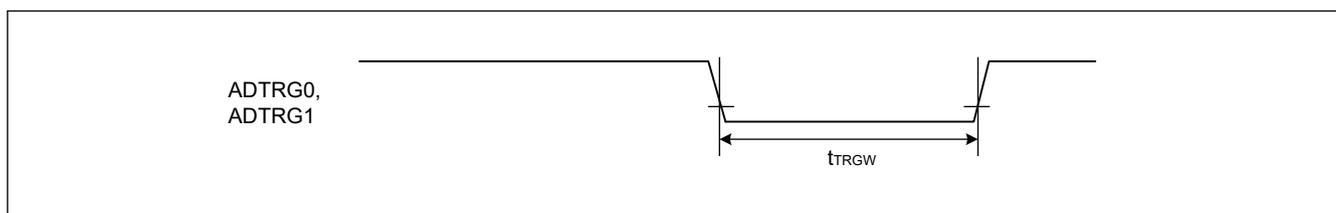


図 2.49 ADC12 トリガ入カタイミング

### 2.3.8 CAC タイミング

表 2.39 CAC タイミング

項目	シンボル	Min	Typ	Max	単位	測定条件
CAC CACREF 入力パルス幅	$t_{PBcyc} \leq t_{cac}$ (注1)	$t_{CACREF}$	$4.5 \times t_{cac} + 3 \times t_{PBcyc}$	—	ns	—
		$t_{PBcyc} > t_{cac}$ (注1)	$5 \times t_{cac} + 6.5 \times t_{PBcyc}$	—	ns	

注.  $t_{PBcyc}$  : PCLKB の周期

注 1.  $t_{cac}$  : CAC カウントクロックソースの周期

## 2.3.9 SCI タイミング

表 2.40 SCI タイミング (調歩同期式モード)

条件 : PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットで高駆動出力が選択されていること。  
VCC I/O と VCC2 I/O に SCI 端子が指定されている場合、VCC = VCC2 のときに限って下記の特性が保証されます。

項目	VCC/VCC2	シンボル	Min	Max	単位	備考
入力クロックサイクル	1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)	$t_{Scyc}$	4.0	—	$t_{Tcyc}$	図 2.50
入力クロックパルス幅	1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)	$t_{Sckw}$	0.4	—	$t_{Scyc}$	
入力クロック立ち上がり時間	1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)	$t_{Sckr}$	—	0.1(注1)	$t_{Scyc}$	
入力クロック立ち下がり時間	1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)	$t_{Sckf}$	—	0.1(注1)	$t_{Scyc}$	
出力クロックサイクル	1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)	$t_{Scyc}$	6.0	—	$t_{Tcyc}$	
出力クロックパルス幅	1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)	$t_{Sckw}$	0.4	—	$t_{Scyc}$	
出力クロック立ち上がり時間	2.70 V 以上	$t_{Sckr}$	—	3.3	ns	
	1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		—	6.6		
出力クロック立ち下がり時間	2.70 V 以上	$t_{Sckf}$	—	3.3	ns	
	1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		—	6.6		

注.  $t_{Tcyc}$  : TCLK の周期

注 1. 最長 1  $\mu$ s

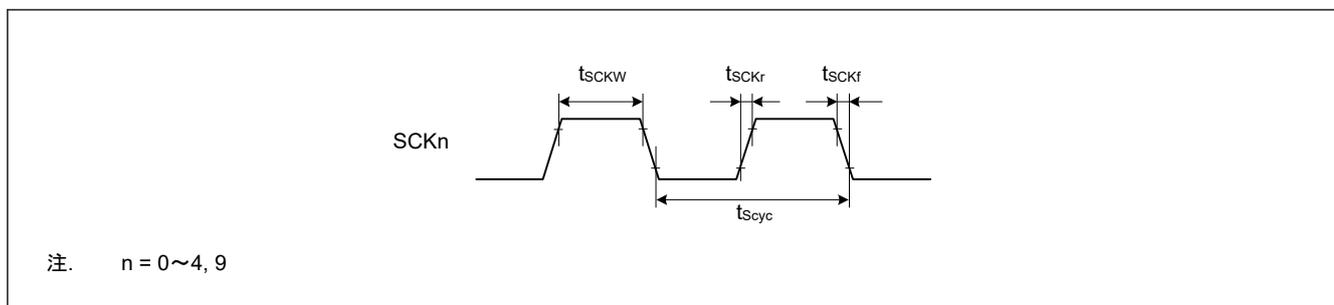


図 2.50 SCK クロック入出力タイミング

表 2.41 SCI タイミング (簡易 SPI) (1/2)

条件 : PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットで高駆動出力が選択されていること。  
VCC I/O と VCC2 I/O に SCI 端子が指定されている場合、VCC = VCC2 のときに限って下記の特性が保証されます。

項目		高速/デフォルト	VCC/VCC2	シンボル	Min	Max	単位	備考
SCK クロックサイクル出力	マスタ	—	2.70 V 以上	$t_{SPcyc}$	2.0	65536	$t_{Tcyc}$	図 2.51
			1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		4.0	65536		
SCK クロックサイクル入力	スレーブ	—	2.70 V 以上		2.0	65536		
			1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		4.0	65536		
SCK クロック High レベルパルス幅	マスタ	—	1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)	$t_{SPCKWH}$	0.4	—	$t_{SPcyc}$	
	スレーブ	—						
SCK クロック Low レベルパルス幅	マスタ	—	1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)	$t_{SPCKWL}$	0.4	—	$t_{SPcyc}$	
	スレーブ	—						
SCK クロック立ち上がり/立ち下がり時間	出力	—	2.70 V 以上	$t_{SPCKr}$ $t_{SPCKf}$	—	3.3	ns	
			1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		—	6.6		
	入力	—	2.70 V 以上	—	0.1 <sup>(注3)</sup>	$t_{SPcyc}$		
			1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)	—	0.1 <sup>(注3)</sup>			
データ入力セットアップ時間	マスタ	高速 <sup>(注1)</sup>	2.70 V 以上	$t_{SU}$	14.9 - (AST[2:0] 設定値)	—	ns	図 2.52、図 2.53
			1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		23.1 - (AST[2:0] 設定値)	—		
		デフォルト <sup>(注2)</sup>	2.70 V 以上		16.2 - (AST[2:0] 設定値)	—		
			1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		23.8 - (AST[2:0] 設定値)	—		
	スレーブ	デフォルト <sup>(注2)</sup>	2.70 V 以上		2.5	—		
			1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		4.5	—		
データ入力ホールド時間	マスタ	高速 <sup>(注1)</sup>	2.70 V 以上	$t_H$	-3.2 + (AST[2:0] 設定値)	—	ns	図 2.52、図 2.53
			1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		-3.2 + (AST[2:0] 設定値)	—		
		デフォルト <sup>(注2)</sup>	2.70 V 以上		-3.2 + (AST[2:0] 設定値)	—		
			1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		-3.2 + (AST[2:0] 設定値)	—		
	スレーブ	デフォルト <sup>(注2)</sup>	2.70 V 以上		2.5	—		
			1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		4.5	—		

表 2.41 SCI タイミング (簡易 SPI) (2/2)

条件：PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットで高駆動出力が選択されていること。  
VCC I/O と VCC2 I/O に SCI 端子が指定されている場合、VCC = VCC2 のときに限って下記の特性が保証されます。

項目	高速/デフォルト	VCC/VCC2	シンボル	Min	Max	単位	備考	
データ出力遅延時間	マスタ	高速(注1)	t <sub>OD</sub>	2.70 V 以上	—	3.0	ns	図 2.52、図 2.53
		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		—	4.5			
	デフォルト(注2)	2.70 V 以上		—	3.5			
		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		—	5.5			
	スレーブ	高速(注1)		2.70 V 以上	—	15.0		
		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		—	23.0			
デフォルト(注2)	2.70 V 以上	—	21.0					
	1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)	—	29.0					
データ出力ホールド時間	マスタ	高速(注1)	t <sub>OH</sub>	2.70 V 以上	-3.0	—	ns	図 2.52、図 2.53
		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		-4.5	—			
	デフォルト(注2)	2.70 V 以上		-3.5	—			
		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		-5.5	—			
	スレーブ	デフォルト(注2)		2.70 V 以上	0.0	—		
		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		0.0	—			
データ立ち上がり/立ち下がり時間	出力	—	t <sub>Dr</sub> , t <sub>Df</sub>	2.70 V 以上	—	3.3	ns	—
		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		—	6.6			
	入力	—		2.70 V 以上	—	1.0	μs	
		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		—	1.0			
SS 入力セットアップ時間	—	1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)	t <sub>LEAD</sub>	1.0	—	t <sub>SPcyc</sub>	図 2.54、図 2.55	
SS 入力ホールド時間	—	1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)	t <sub>LAG</sub>	1.0	—	t <sub>SPcyc</sub>	—	
SS 入力立ち上がり/立ち下がり時間	—	1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)	t <sub>SSLr</sub> , t <sub>SSLf</sub>	—	1.0	μs	—	
スレーブアクセス時間	—	2.70 V 以上	t <sub>SA</sub>	—	3 × t <sub>Tcyc</sub> + 25	ns	図 2.54、図 2.55	
		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		—	3 × t <sub>Tcyc</sub> + 32			
スレーブ出力解放時間	—	2.70 V 以上	t <sub>REL</sub>	—	3 × t <sub>Tcyc</sub> + 25	ns	—	
		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		—	3 × t <sub>Tcyc</sub> + 32			

注. t<sub>Tcyc</sub> : TCLK の周期

注 1. 所属グループを示すため、\_A、\_B、\_C などのように端子名の後ろに文字を付加した端子を使用してください。SCI0、SCI1、SCI2、SCI3、および SCI9 は\_A の例に該当し、SCI4 は\_B の例に該当します。

注 2. 所属グループのすべての端子を使用できます。

注 3. 最長 1 μs

表 2.42 SCI タイミング (クロック同期式モード) (1/3)

条件: PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットで高駆動出力が選択されていること。

VCC I/O と VCC2 I/O に SCI 端子が指定されている場合、VCC = VCC2 のときに限って下記の特性が保証されます。

項目		高速/デフォルト	VCC/VCC2	シンボル	Min	Max	単位	備考
SCK クロックサイクル出力	マスタ	—	2.70 V 以上	$t_{Scyc}$	2.0	—	$t_{Scyc}$	
			1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		4.0	—		
SCK クロックサイクル入力	スレーブ	—	2.70 V 以上		2.0	—		
			1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		4.0	—		
SCK クロック High レベルパルス幅	マスタ	—	2.70 V 以上	$t_{SCKWH}$	0.4	—	$t_{Scyc}$	
	スレーブ		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)					
SCK クロック Low レベルパルス幅	マスタ	—	2.70 V 以上	$t_{SCKWL}$	0.4	—	$t_{Scyc}$	
	スレーブ		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)					
SCK クロック立ち上がり/立ち下がり時間	出力	—	2.70 V 以上	$t_{SCKr, SCKf}$	—	3.3	ns	
			1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		—	6.6		
	入力	—	1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		—	0.1 <sup>(注3)</sup>	$t_{Scyc}$	
データ入力セットアップ時間	マスタ	高速 <sup>(注1)</sup>	2.70 V 以上	$t_{SU}$	15.1 - (AST[2:0] 設定値)	—	ns	
			1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		23.2 - (AST[2:0] 設定値)	—		
		デフォルト <sup>(注2)</sup>	2.70 V 以上		16.5 - (AST[2:0] 設定値)	—		
			1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		24.2 - (AST[2:0] 設定値)	—		
	スレーブ	デフォルト <sup>(注2)</sup>	2.70 V 以上	3.3	—			
			1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)	5.3	—			

表 2.42 SCI タイミング (クロック同期式モード) (2/3)

条件 : PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットで高駆動出力が選択されていること。  
VCC I/O と VCC2 I/O に SCI 端子が指定されている場合、VCC = VCC2 のときに限って下記の特性が保証されます。

項目		高速/デフォルト	VCC/VCC2	シンボル	Min	Max	単位	備考
データ入力ホールド時間	マスタ	高速(注1)	2.70 V 以上	$t_H$	$-3.3 + (\text{AST}[2:0] \text{ 設定値})$	—	ns	
			1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		$-3.3 + (\text{AST}[2:0] \text{ 設定値})$	—		
		デフォルト(注2)	2.70 V 以上		$-3.2 + (\text{AST}[2:0] \text{ 設定値})$	—		
			1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		$-3.2 + (\text{AST}[2:0] \text{ 設定値})$	—		
	スレーブ	デフォルト(注2)	2.70 V 以上		3.0	—		
			1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		5.0	—		
データ出力遅延時間	マスタ	高速(注1)	2.70 V 以上	$t_{OD}$	—	5.0	ns	
			1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		—	5.0		
		デフォルト(注2)	2.70 V 以上		—	7.3		
			1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		—	7.3		
	スレーブ	高速(注1)	2.70 V 以上		—	15.0		
			1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		—	23.0		
		デフォルト(注2)	2.70 V 以上		—	21.0		
			1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		—	29.0		

表 2.42 SCI タイミング (クロック同期式モード) (3/3)

条件 : PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットで高駆動出力が選択されていること。  
VCC I/O と VCC2 I/O に SCI 端子が指定されている場合、VCC = VCC2 のときに限って下記の特性が保証されます。

項目		高速/デフォルト	VCC/VCC2	シンボル	Min	Max	単位	備考
データ出力ホールド時間	マスタ	高速(注1)	2.70 V 以上	$t_{OH}$	-5.0	—	ns	
			1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		-5.0	—		
		デフォルト(注2)	2.70 V 以上		-7.3	—		
			1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		-7.3	—		
	スレーブ	高速(注1)	2.70 V 以上		0	—		
			1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		0	—		
		デフォルト(注2)	2.70 V 以上		0	—		
			1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		0	—		
データ立ち上がり/立ち下がり時間	出力	—	2.70 V 以上	$t_{Dr}, t_{Df}$	—	3.3	ns	
		—	1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		—	6.6		
	入力	—	1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		—	1.0		$\mu$ s

注.  $t_{Tyc}$  : TCLK の周期

注 1. 所属グループを示すため、\_A、\_B、\_C などのように端子名の後ろに文字を付加した端子を使用してください。SCI0、SCI1、SCI2、SCI3、および SCI9 は\_A の例に該当し、SCI4 は\_B の例に該当します。

注 2. 所属グループのすべての端子を使用できます。

注 3. 最長 1  $\mu$ s

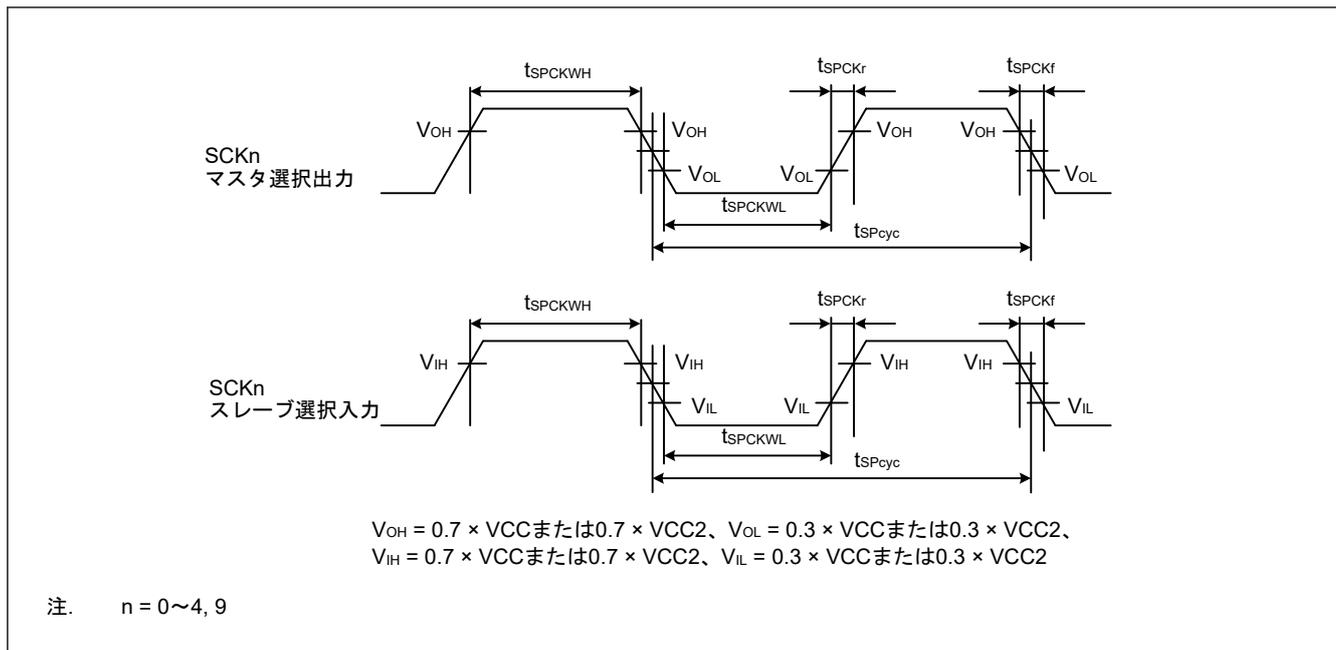


図 2.51 SCI 簡易 SPI モードクロックタイミング

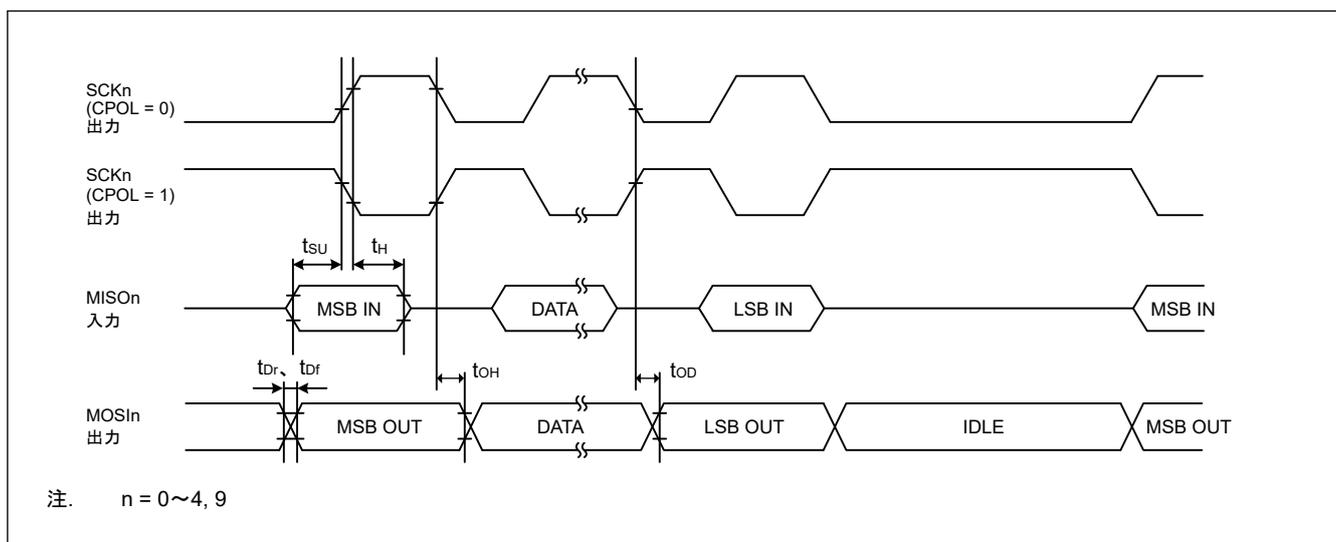


図 2.52 SCI 簡易 SPI モードタイミング (マスタ、CPHA = 0)

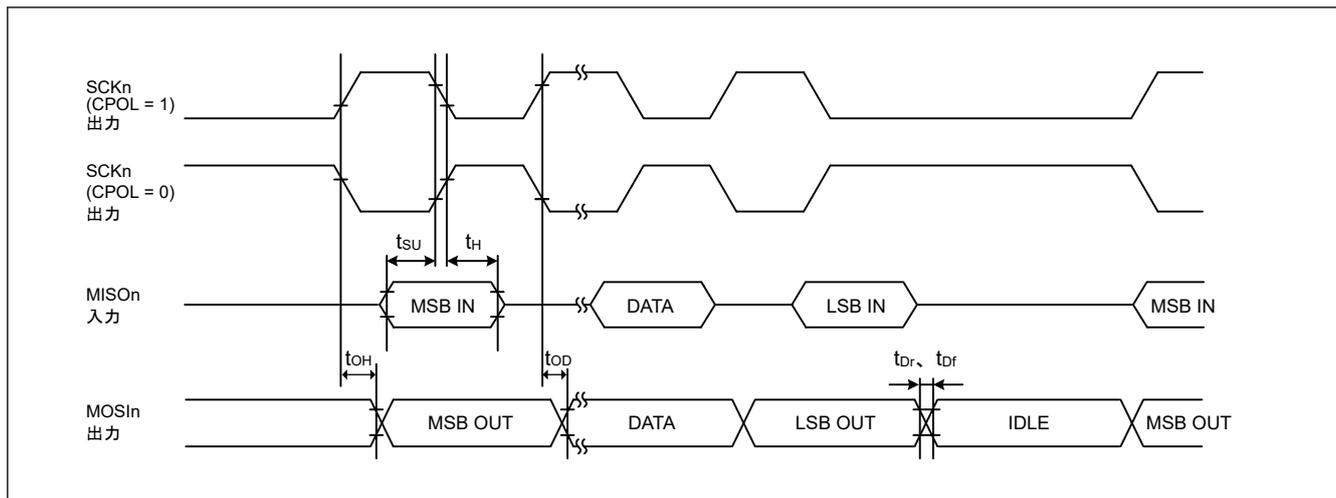
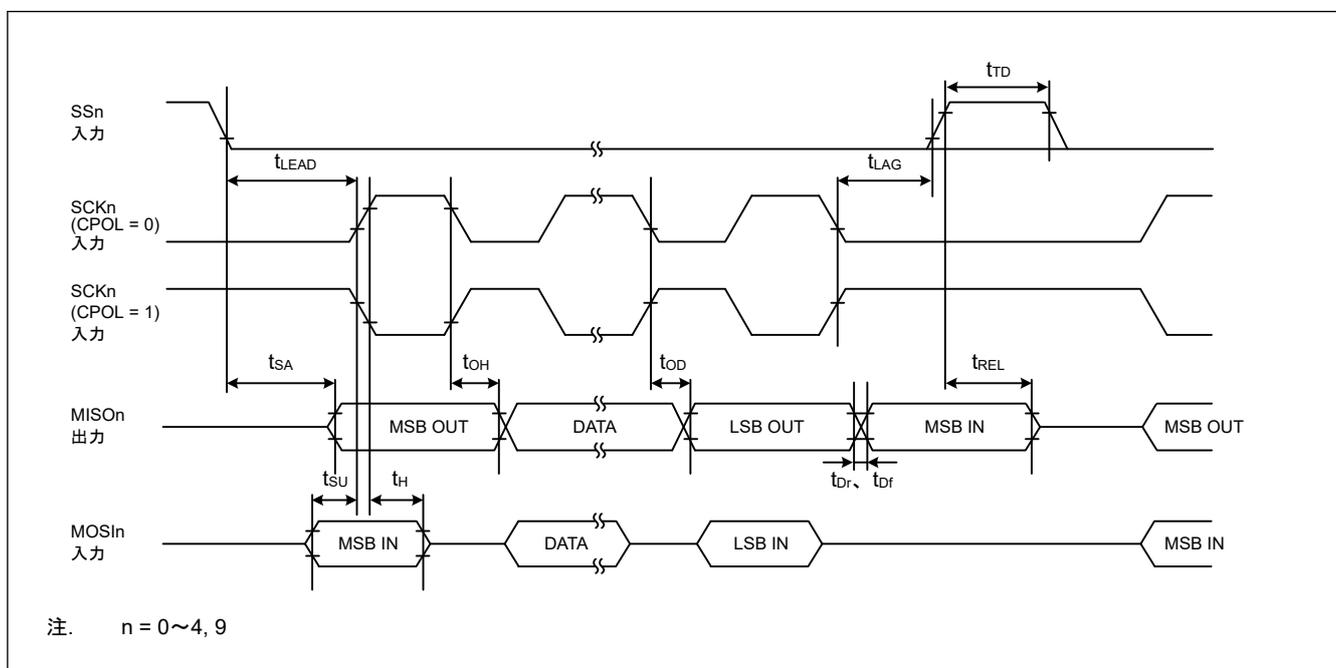


図 2.53 SCI 簡易 SPI モード タイミング (マスタ、CPHA = 1)



注. n = 0~4, 9

図 2.54 SCI 簡易 SPI モード タイミング (スレーブ、CPHA = 0)

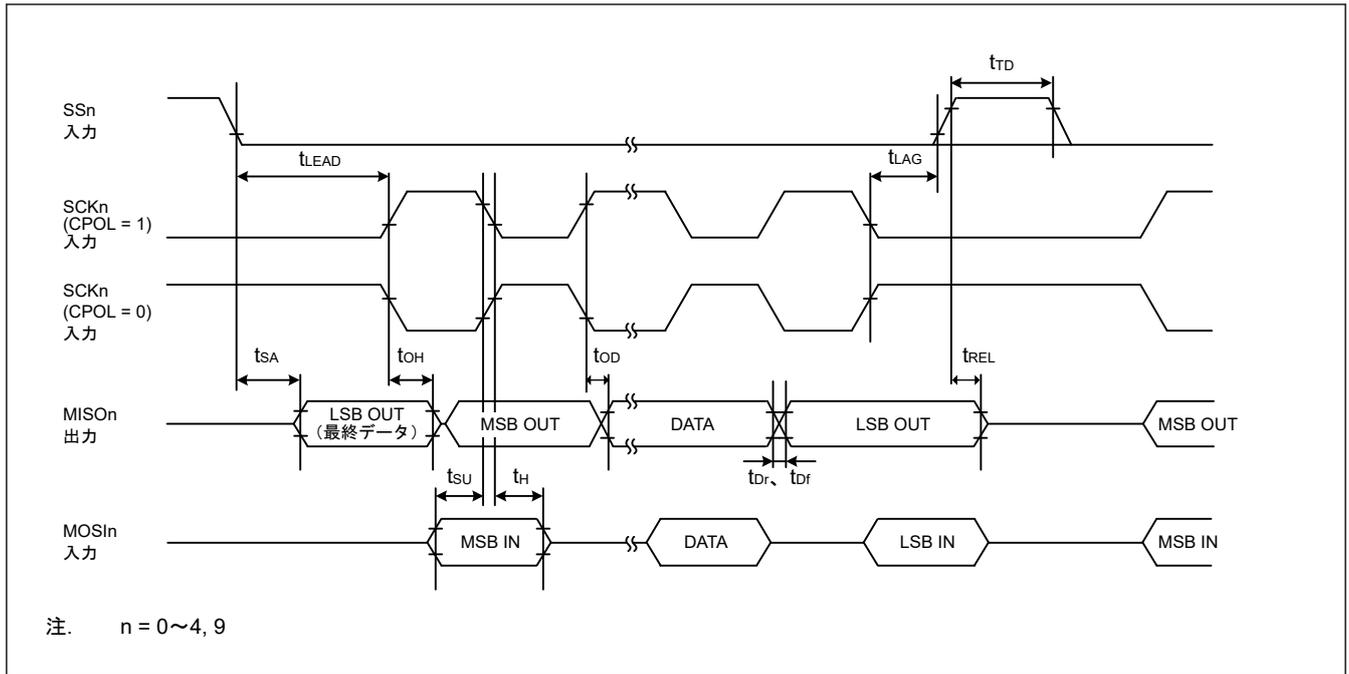


図 2.55 SCI 簡易 SPI モードタイミング (スレーブ、CPHA = 1)

表 2.43 SCI タイミング (簡易 IIC モード)

条件 : PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットで中駆動出力が選択されていること。

VCC : 1.68 V 以上、VCC2 : 1.65 V 以上

VCC I/O と VCC2 I/O に SCI 端子が指定されている場合、VCC = VCC2 のときに限って下記の特性が保証されます。

項目		シンボル	Min	Max	単位	備考
簡易 IIC (標準モード)	SCL、SDA 入力立ち上がり時間	$t_{sr}$	—	1000	ns	
	SCL、SDA 入力立ち下がり時間	$t_{sf}$	—	300	ns	
	SCL、SDA 入力スパイクパルス除去時間	$t_{sp}$	0	$4 \times t_{Tcyc}$	ns	
	データ入力セットアップ時間	$t_{SDAS}$	250	—	ns	
	データ入力ホールド時間	$t_{SDAH}$	0	—	ns	
	SCL、SDA の負荷容量	$C_b$ (注1)	—	400	pF	
簡易 IIC (ファストモード)	SCL、SDA 入力立ち上がり時間	$t_{sr}$	—	300	ns	
	SCL、SDA 入力立ち下がり時間	$t_{sf}$	—	300	ns	
	SCL、SDA 入力スパイクパルス除去時間	$t_{sp}$	0	$4 \times t_{Tcyc}$	ns	
	データ入力セットアップ時間	$t_{SDAS}$	100	—	ns	
	データ入力ホールド時間	$t_{SDAH}$	0	—	ns	
	SCL、SDA の負荷容量	$C_b$ (注1)	—	400	pF	

注.  $t_{Tcyc}$  : TCLK の周期

注 1.  $C_b$  はバスラインの容量総計を意味します。

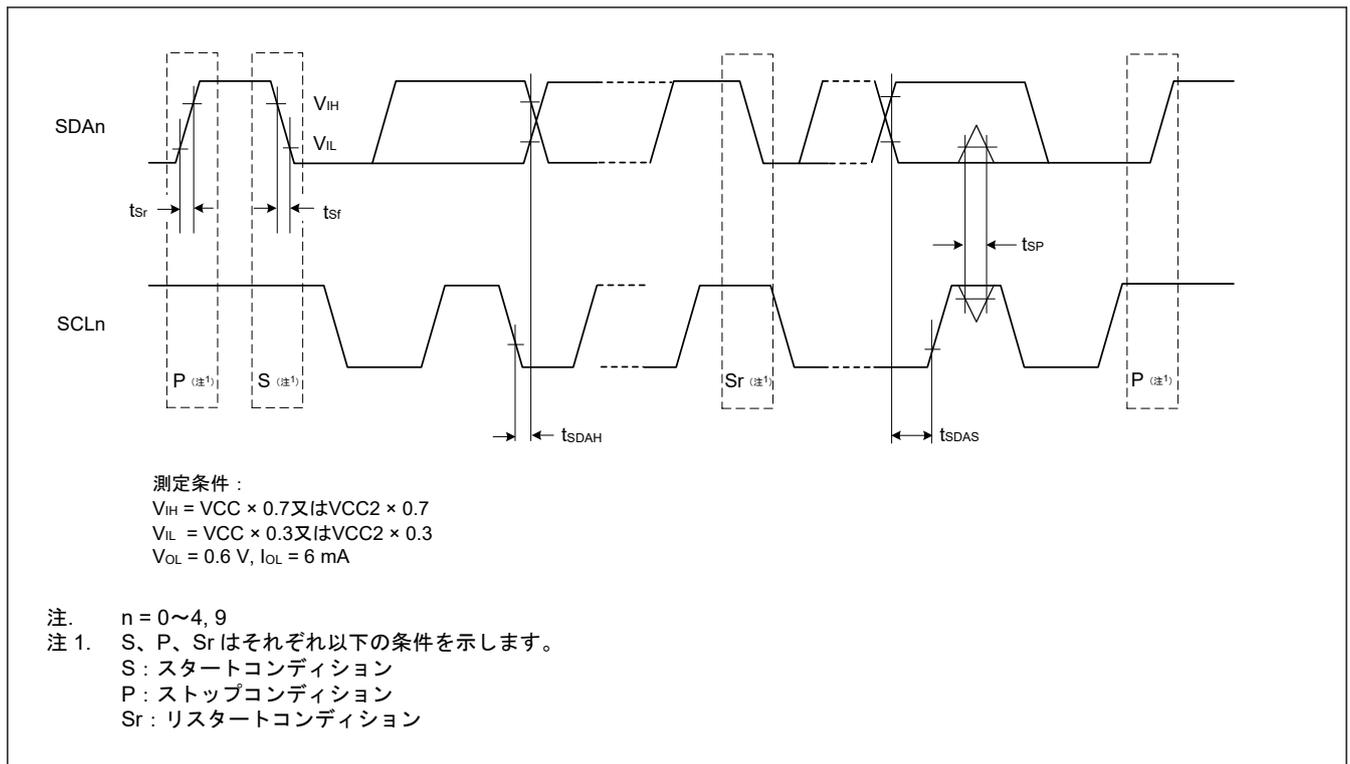


図 2.56 SCI 簡易 IIC モードタイミング

## 2.3.10 SPI タイミング

表 2.44 SPI タイミング (1/4)

条件:

1. PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットで高駆動出力が選択されていること。
2. 所属グループを示すため、"\_A"や"\_B"などのように端子名の後ろに文字を付加した端子を使用してください。
3. VCC/VCC2 の条件「3.00 V 以上」に、負荷容量 C = 15 pF の条件が適用されます。

項目	VCC/VCC2	シンボル	Min	Max	単位	備考	
RSPCK クロックサイクル	マスタ	3.00 V 以上	$t_{SPCyc}$	2.0	4096	$t_{Tcyc}$	図 2.57
		2.70 V 以上		2.0	4096		
		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		4.0	4096		
	スレーブ	3.00 V 以上		2.0	—		
		2.70 V 以上		2.0	—		
		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		4.0	—		
RSPCK クロック High レベルパルス幅	マスタ	1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)	$t_{SPCKWH}$	$(t_{SPCyc} - t_{SPCKr} - t_{SPCKf}) / 2 - 3$		ns	
	スレーブ	1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		0.4	—	$t_{SPCyc}$	
RSPCK クロック Low レベルパルス幅	マスタ	1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)	$t_{SPCKWL}$	$(t_{SPCyc} - t_{SPCKr} - t_{SPCKf}) / 2 - 3$		ns	
	スレーブ	1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		0.4	—	$t_{SPCyc}$	
RSPCK クロック立ち上がり／立ち下がり時間	出力	3.00 V 以上	$t_{SPCKr}, t_{SPCKf}$	—	1.66	ns	
		2.70 V 以上		—	3.30		
		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		—	6.60		
	入力	3.00 V 以上		—	0.1(注1)	$t_{SPCyc}$	
		2.70 V 以上		—	0.1(注1)		
		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		—	0.1(注1)		

表 2.44 SPI タイミング (2/4)

条件:

1. PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットで高駆動出力が選択されていること。
2. 所属グループを示すため、"\_A"や"\_B"のように端子名の後ろに文字を付加した端子を使用してください。
3. VCC/VCC2 の条件「3.00 V 以上」に、負荷容量 C = 15 pF の条件が適用されます。

項目	VCC/VCC2	シンボル	Min	Max	単位	備考	
データ入力セットアップ時間	マスタ	3.00 V 以上	$t_{SU}$	-2.5	—	ns	図 2.58、図 2.59
		2.70 V 以上	0.0	—			
		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)	0.0	—			
	スレーブ	3.00 V 以上	2.5	—			
		2.70 V 以上	2.5	—			
		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)	2.5	—			
データ入力ホールド時間	マスタ	3.00 V 以上	$t_H$	7.5	—	ns	
		2.70 V 以上	7.5	—			
		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)	9.5	—			
	スレーブ	3.00 V 以上	2.5	—			
		2.70 V 以上	2.5	—			
		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)	5.5	—			
SSL セットアップ時間	マスタ	3.00 V 以上	$t_{LEAD}$	$1 \times t_{SPcyc} - 10$	$8 \times t_{SPcyc} + 10$	ns	
		2.70 V 以上	$1 \times t_{SPcyc} - 10$	$8 \times t_{SPcyc} + 10$			
		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)	$1 \times t_{SPcyc} - 10$	$8 \times t_{SPcyc} + 10$			
	スレーブ	3.00 V 以上	4.0	—	$t_{Tcyc}$		
		2.70 V 以上	4.0	—			
		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)	4.0	—			
SSL ホールド時間	マスタ	3.00 V 以上	$t_{LAG}$	$1 \times t_{SPcyc} - 10$	$8 \times t_{SPcyc} + 10$	ns	
		2.70 V 以上	$1 \times t_{SPcyc} - 10$	$8 \times t_{SPcyc} + 10$			
		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)	$1 \times t_{SPcyc} - 10$	$8 \times t_{SPcyc} + 10$			
	スレーブ	3.00 V 以上	4.0	—	$t_{Tcyc}$		
		2.70 V 以上	4.0	—			
		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)	4.0	—			

表 2.44 SPI タイミング (3/4)

条件:

1. PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットで高駆動出力が選択されていること。
2. 所属グループを示すため、"\_A"や"\_B"などのように端子名の後ろに文字を付加した端子を使用してください。
3. VCC/VCC2 の条件「3.00 V 以上」に、負荷容量 C = 15 pF の条件が適用されます。

項目		VCC/VCC2	シンボル	Min	Max	単位	備考
TI SSP SS 入力セットアップ時間	スレーブ	3.00 V 以上	$t_{TISS}$	2.5	—	ns	図 2.63
		2.70 V 以上		2.5	—		
		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		2.5	—		
TI SSP SS 入力ホールド時間	スレーブ	3.00 V 以上	$t_{TIHS}$	2.5	—	ns	
		2.70 V 以上		2.5	—		
		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		5.5	—		
TI SSP 次アクセス時間	スレーブ	3.00 V 以上	$t_{TIND}$	$2 \times t_{TCyc} + SLNDL \times t_{TCyc}$	—	ns	
		2.70 V 以上		$2 \times t_{TCyc} + SLNDL \times t_{TCyc}$	—		
		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		$2 \times t_{TCyc} + SLNDL \times t_{TCyc}$	—		
TI SSP マスタ SS 出力遅延	マスタ	3.00 V 以上	$t_{TISSOD}$	—	4.0	ns	図 2.60
		2.70 V 以上		—	8.0		
		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		—	8.0		
データ出力遅延時間	マスタ	3.00 V 以上	$t_{OD1}$	—	2.0	ns	図 2.58、 図 2.59
		2.70 V 以上		—	3.0		
		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		—	6.0		
		3.00 V 以上	$t_{OD2}$	—	2.5		
		2.70 V 以上		—	2.5		
		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		—	4.5		
	スレーブ	3.00 V 以上	$t_{OD}$	—	12.5		
		2.70 V 以上		—	16.0		
		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		—	24.0		
データ出力ホールド時間	マスタ	3.00 V 以上	$t_{OH}$	-2.5	—	ns	図 2.58、 図 2.59
		2.70 V 以上		-2.5	—		
		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		-4.5	—		
	スレーブ	3.00 V 以上		0.0	—		
		2.70 V 以上		0.0	—		
		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		0.0	—		

表 2.44 SPI タイミング (4/4)

条件:

1. PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットで高駆動出力が選択されていること。
2. 所属グループを示すため、"\_A"や"\_B"などのように端子名の後ろに文字を付加した端子を使用してください。
3. VCC/VCC2 の条件「3.00 V 以上」に、負荷容量 C = 15 pF の条件が適用されます。

項目	VCC/VCC2	シンボル	Min	Max	単位	備考	
連続送信遅延時間	マスタ	3.00 V 以上	$t_{TD}$	$t_{SPcyc} + 2 \times t_{Tcyc}$	$8 \times t_{SPcyc} + 2 \times t_{Tcyc}$	ns	図 2.58、 図 2.59
		2.70 V 以上		$t_{SPcyc} + 2 \times t_{Tcyc}$	$8 \times t_{SPcyc} + 2 \times t_{Tcyc}$		
		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		$t_{SPcyc} + 2 \times t_{Tcyc}$	$8 \times t_{SPcyc} + 2 \times t_{Tcyc}$		
	スレーブ	3.00 V 以上		$t_{Tcyc}$	—	ns	
		2.70 V 以上		$t_{Tcyc}$	—		
		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		$t_{Tcyc}$	—		
MOSI、MISO 立ち上がり/立ち下がり時間	出力	3.00 V 以上	$t_{Dr}, t_{Df}$	—	1.66	ns	図 2.58、 図 2.59
		2.70 V 以上		—	3.30		
		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		—	6.60		
	入力	3.00 V 以上		—	1.0	$\mu s$	
		2.70 V 以上		—	1.0		
		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		—	1.0		
SSL 立ち上がり/立ち下がり時間	出力	3.00 V 以上	$t_{SSLr}, t_{SSLf}$	—	1.66	ns	図 2.58、 図 2.59
		2.70 V 以上		—	3.30		
		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		—	6.60		
	入力	3.00 V 以上		—	1.0	$\mu s$	
		2.70 V 以上		—	1.0		
		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		—	1.0		
スレーブアクセス時間	スレーブ	3.00 V 以上	$t_{SA}$	—	20.0	ns	図 2.61、 図 2.62
		2.70 V 以上		—	20.0		
		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		—	25.0		
スレーブ出力解放時間	スレーブ	3.00 V 以上	$t_{REL}$	—	20.0	ns	
		2.70 V 以上		—	20.0		
		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)		—	25.0		

注.  $t_{Tcyc}$ : TCLK の周期注 1. 最長 1  $\mu s$

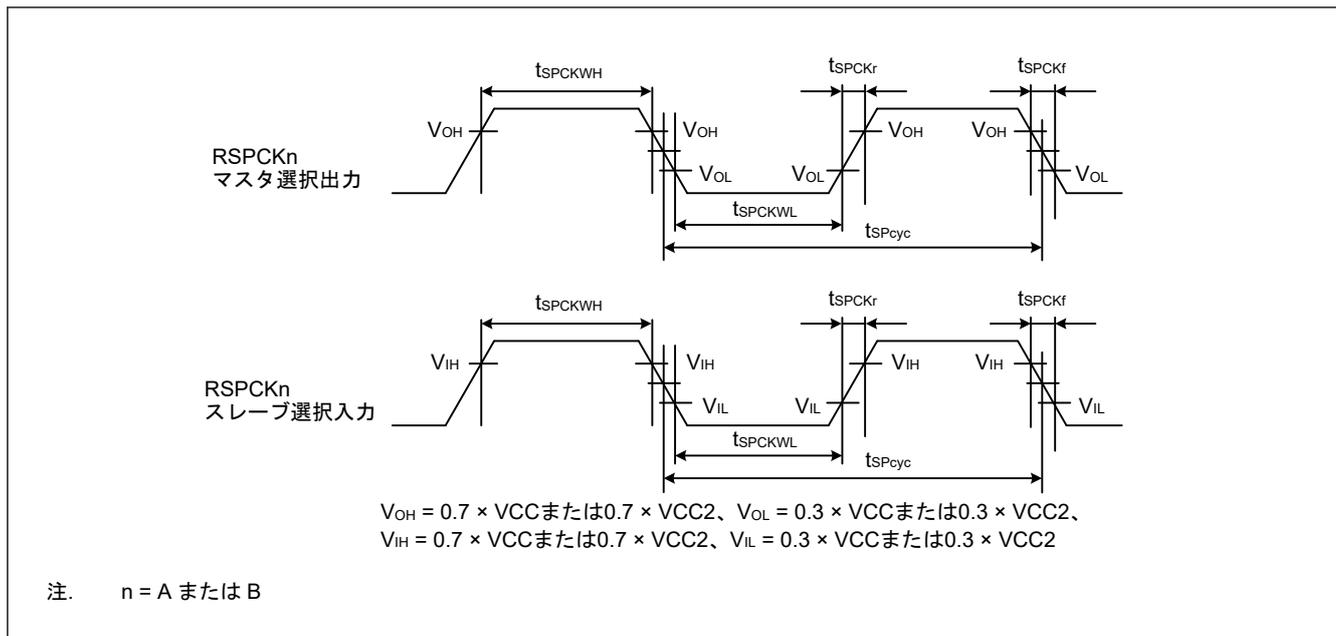


図 2.57 SPI クロックタイミング

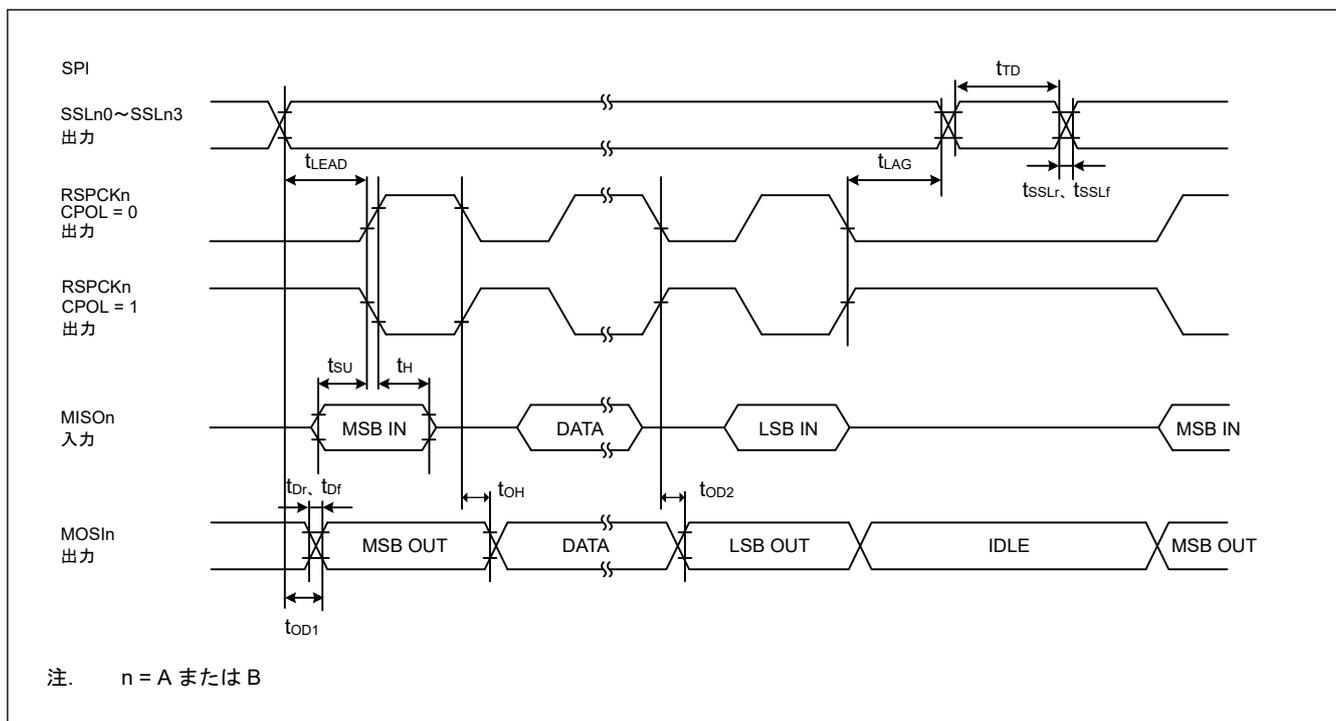


図 2.58 CPHA = 0 の場合におけるモトローラ SPI マスタの SPI タイミング

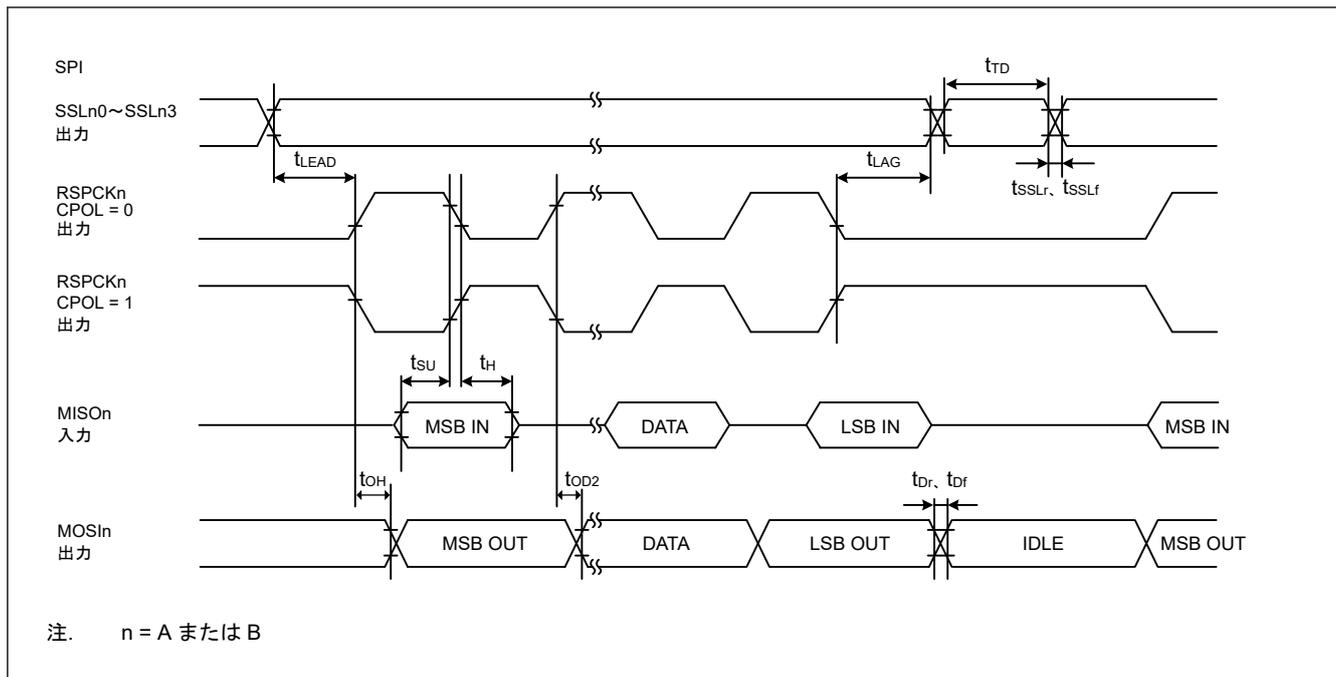


図 2.59 CPHA = 1 の場合におけるモトローラ SPI マスタの SPI タイミング

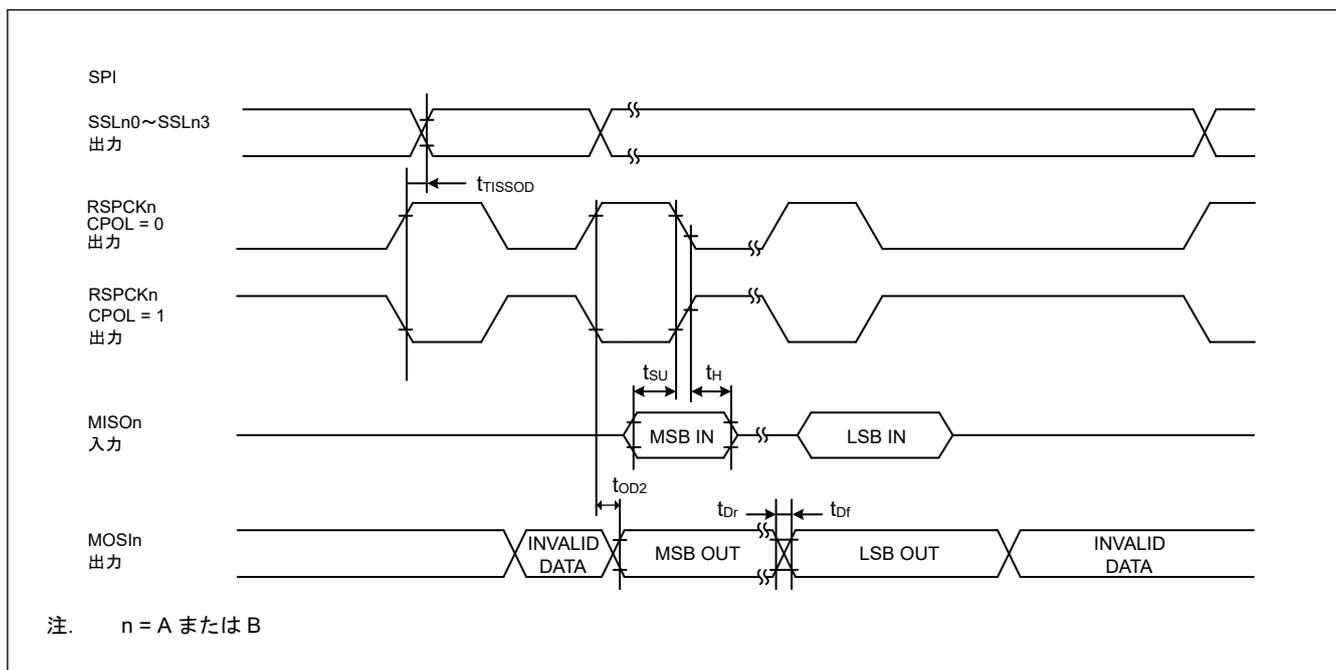


図 2.60 SPI タイミング (TI SSP マスタ)

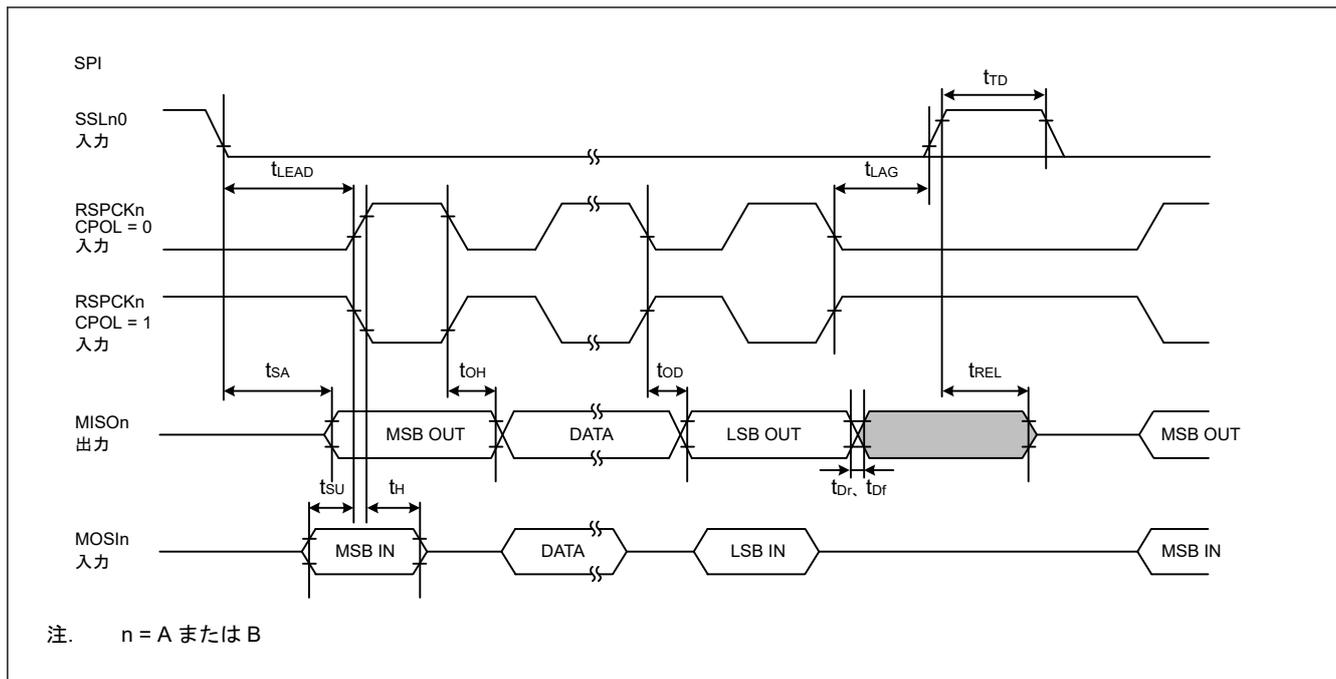


図 2.61 CPHA = 0 の場合におけるモトローラ SPI スレーブの SPI タイミング

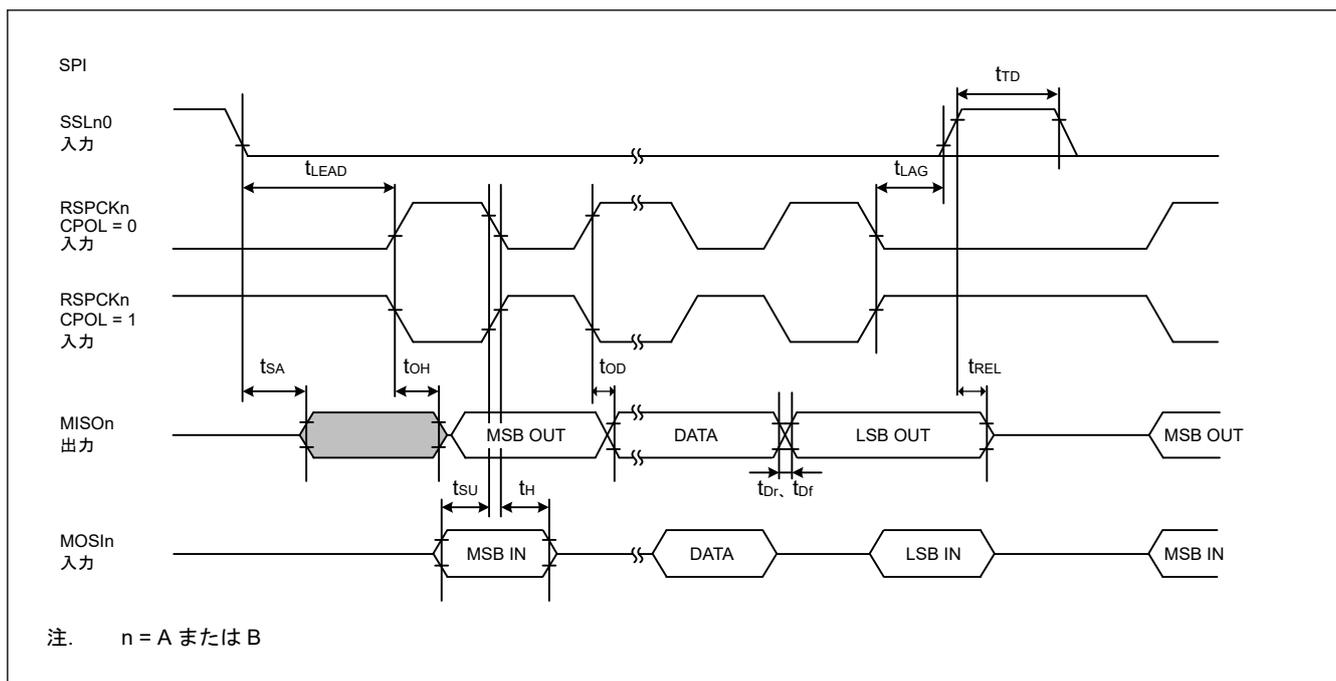


図 2.62 CPHA = 1 の場合におけるモトローラ SPI スレーブの SPI タイミング

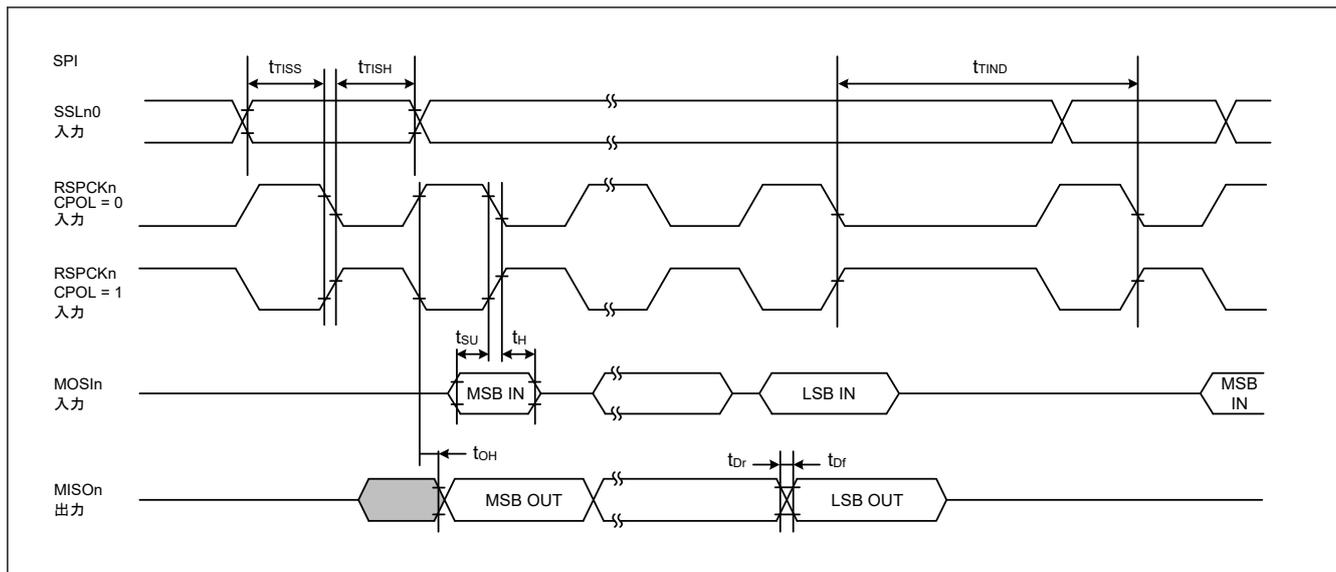


図 2.63 フレーム間の遅延がある送信における TI SSP スレーブの SPI タイミング

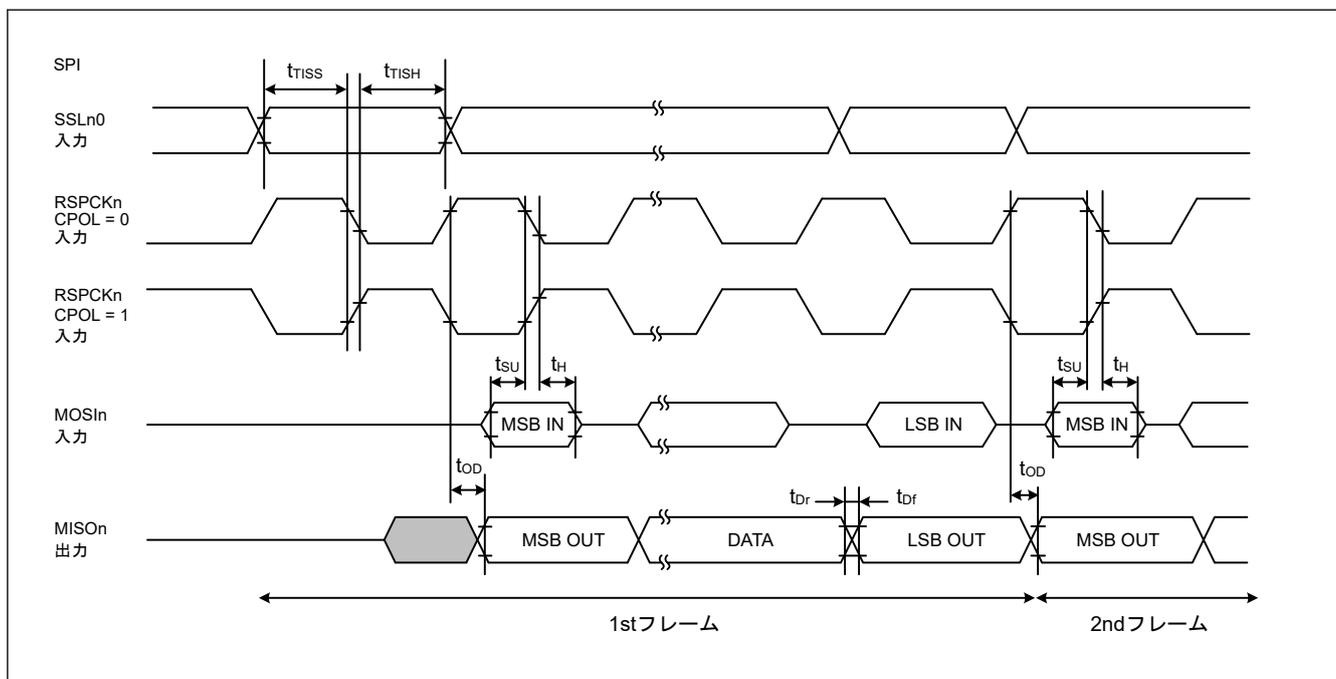


図 2.64 フレーム間の遅延がない送信における TI SSP スレーブの SPI タイミング

## 2.3.11 IIC タイミング

表 2.45 IIC タイミング (1) (1/2)

(1) 条件：以下の端子の PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットにおいて、VCC が 2.70 V 以上のときは中駆動出力が選択され、1.68～1.95 V のときは高駆動出力が選択されます。

SDA0\_B, SCL0\_B, SDA1\_B, SCL1\_B

(2) 以下の端子の設定は必要ありません：SCL0\_A, SDA0\_A, SCL1\_A, SDA1\_A

(3) 所属グループを示すため、"\_A"や"\_B"のように端子名の後ろに文字を付加した端子を使用してください。

IIC インタフェースについては、電気的特性の AC タイミングを各グループで測定しています。

項目	シンボル	VCC	Min	Max	単位	測定条件
IIC (標準モード、 SMBus) VCC が 2.70 V 以上 のとき、 ICFER.FMPE = 0、 VCC が 1.68～ 1.95 V のとき、 ICFER.FMPE = 1	SCL 入力サイクル時間	t <sub>SCL</sub>	2.70 V 以上 1.68～1.95 V	6 (12) × t <sub>IICcyc</sub> + 1300	—	ns <a href="#">図 2.65</a>
	SCL 入力 High レベルパルス幅	t <sub>SCLH</sub>	2.70 V 以上 1.68～1.95 V	3 (6) × t <sub>IICcyc</sub> + 300	—	ns
	SCL 入力 Low レベルパルス幅	t <sub>SCLL</sub>	2.70 V 以上 1.68～1.95 V	3 (6) × t <sub>IICcyc</sub> + 300	—	ns
	SCL, SDA 立ち上がり時間	t <sub>Sr</sub>	2.70 V 以上 1.68～1.95 V	—	1000	ns
	SCL, SDA 立ち下がり時間	t <sub>Sf</sub>	2.70 V 以上 1.68～1.95 V	—	300	ns
	SCL, SDA 入力スパイクパルス除去時間	t <sub>SP</sub>	2.70 V 以上 1.68～1.95 V	0	1 (4) × t <sub>IICcyc</sub>	ns
	ウェイクアップ機能が無効な場合の SDA 入力バスフリー時間	t <sub>BUF</sub>	2.70 V 以上 1.68～1.95 V	3 (6) × t <sub>IICcyc</sub> + 300	—	ns
	ウェイクアップ機能が有効な場合の SDA 入力バスフリー時間	t <sub>BUF</sub>	2.70 V 以上 1.68～1.95 V	3 (6) × t <sub>IICcyc</sub> + 4 × t <sub>Pcyc</sub> + 300	—	ns
	ウェイクアップ機能が無効な場合のスタートコンディショニング入力ホールド時間	t <sub>STAH</sub>	2.70 V 以上 1.68～1.95 V	t <sub>IICcyc</sub> + 300	—	ns
	ウェイクアップ機能が有効な場合のスタートコンディショニング入力ホールド時間	t <sub>STAH</sub>	2.70 V 以上 1.68～1.95 V	1 (5) × t <sub>IICcyc</sub> + t <sub>Pcyc</sub> + 300	—	ns
	リスタートコンディショニング入力セットアップ時間	t <sub>STAS</sub>	2.70 V 以上 1.68～1.95 V	1000	—	ns
	ストップコンディショニング入力セットアップ時間	t <sub>STOS</sub>	2.70 V 以上 1.68～1.95 V	1000	—	ns
	データ入力セットアップ時間	t <sub>SDAS</sub>	2.70 V 以上 1.68～1.95 V	t <sub>IICcyc</sub> + 50	—	ns
	データ入力ホールド時間	t <sub>SDAH</sub>	2.70 V 以上 1.68～1.95 V	0	—	ns
	SCL, SDA の負荷容量	C <sub>b</sub>	2.70 V 以上 1.68～1.95 V	—	400	pF

表 2.45 IIC タイミング (1) (2/2)

(1) 条件：以下の端子の PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットにおいて、VCC が 2.70 V 以上のときは中駆動出力が選択され、1.68～1.95 V のときは高駆動出力が選択されます。

SDA0\_B, SCL0\_B, SDA1\_B, SCL1\_B

(2) 以下の端子の設定は必要ありません：SCL0\_A, SDA0\_A, SCL1\_A, SDA1\_A

(3) 所属グループを示すため、"\_A"や"\_B"のように端子名の後ろに文字を付加した端子を使用してください。

IIC インタフェースについては、電気的特性の AC タイミングを各グループで測定しています。

項目	シンボル	VCC	Min	Max	単位	測定条件	
IIC (ファストモード) VCC が 2.70 V 以上のとき、ICFER.FMPE = 0、 VCC が 1.68～1.95 V のとき、ICFER.FMPE = 1	SCL 入力サイクル時間	$t_{SCL}$	2.70 V 以上 1.68～1.95 V	$6(12) \times t_{IICcyc} + 600$	—	ns	図 2.65
	SCL 入力 High レベルパルス幅	$t_{SCLH}$	2.70 V 以上 1.68～1.95 V	$3(6) \times t_{IICcyc} + 300$	—	ns	
	SCL 入力 Low レベルパルス幅	$t_{SCLL}$	2.70 V 以上 1.68～1.95 V	$3(6) \times t_{IICcyc} + 300$	—	ns	
	SCL, SDA 立ち上がり時間	$t_{Sr}$	2.70 V 以上 1.68～1.95 V	20	300	ns	
	SCL, SDA 立ち下がり時間	$t_{Sf}$	2.70 V 以上 1.68～1.95 V	$20 \times$ (外付けブルアップ電圧/5.5 V) (注1)	300	ns	
	SCL, SDA 入力スパイクパルス除去時間	$t_{SP}$	2.70 V 以上 1.68～1.95 V	0	$1(4) \times t_{IICcyc}$	ns	
	ウェイクアップ機能が無効な場合の SDA 入力バスターンフリー時間	$t_{BUF}$	2.70 V 以上 1.68～1.95 V	$3(6) \times t_{IICcyc} + 300$	—	ns	
	ウェイクアップ機能が有効な場合の SDA 入力バスターンフリー時間	$t_{BUF}$	2.70 V 以上 1.68～1.95 V	$3(6) \times t_{IICcyc} + 4 \times t_{Pcyc} + 300$	—	ns	
	ウェイクアップ機能が無効な場合のスタートコンディション入力ホールド時間	$t_{STAH}$	2.70 V 以上 1.68～1.95 V	$t_{IICcyc} + 300$	—	ns	
	ウェイクアップ機能が有効な場合のスタートコンディション入力ホールド時間	$t_{STAH}$	2.70 V 以上 1.68～1.95 V	$1(5) \times t_{IICcyc} + t_{Pcyc} + 300$	—	ns	
	リスタートコンディション入力セットアップ時間	$t_{STAS}$	2.70 V 以上 1.68～1.95 V	300	—	ns	
	ストップコンディション入力セットアップ時間	$t_{STOS}$	2.70 V 以上 1.68～1.95 V	300	—	ns	
	データ入力セットアップ時間	$t_{SDAS}$	2.70 V 以上 1.68～1.95 V	$t_{IICcyc} + 50$	—	ns	
	データ入力ホールド時間	$t_{SDAH}$	2.70 V 以上 1.68～1.95 V	0	—	ns	
	SCL, SDA の負荷容量	$C_b$	2.70 V 以上 1.68～1.95 V	—	400	pF	

注.  $t_{IICcyc}$  : IIC 内部基準クロック (IIC $\phi$ ) サイクル、 $t_{Pcyc}$  : PCLKB の周期

注. ICFER.NFE が 1 でデジタルフィルタが有効な場合、ICMR3.NF[1:0]が 11b であると ( ) 内の値が適用されます。

注. 所属グループを示すため、"\_A"や"\_B"のように端子名の後ろに文字を付加した端子を使用してください。IIC インタフェースについては、電気的特性の AC タイミングを各グループで測定しています。

注 1. SCL0\_A, SDA0\_A, SCL1\_A, SDA1\_A に限りサポートされています。

表 2.46 IIC タイミング (2)

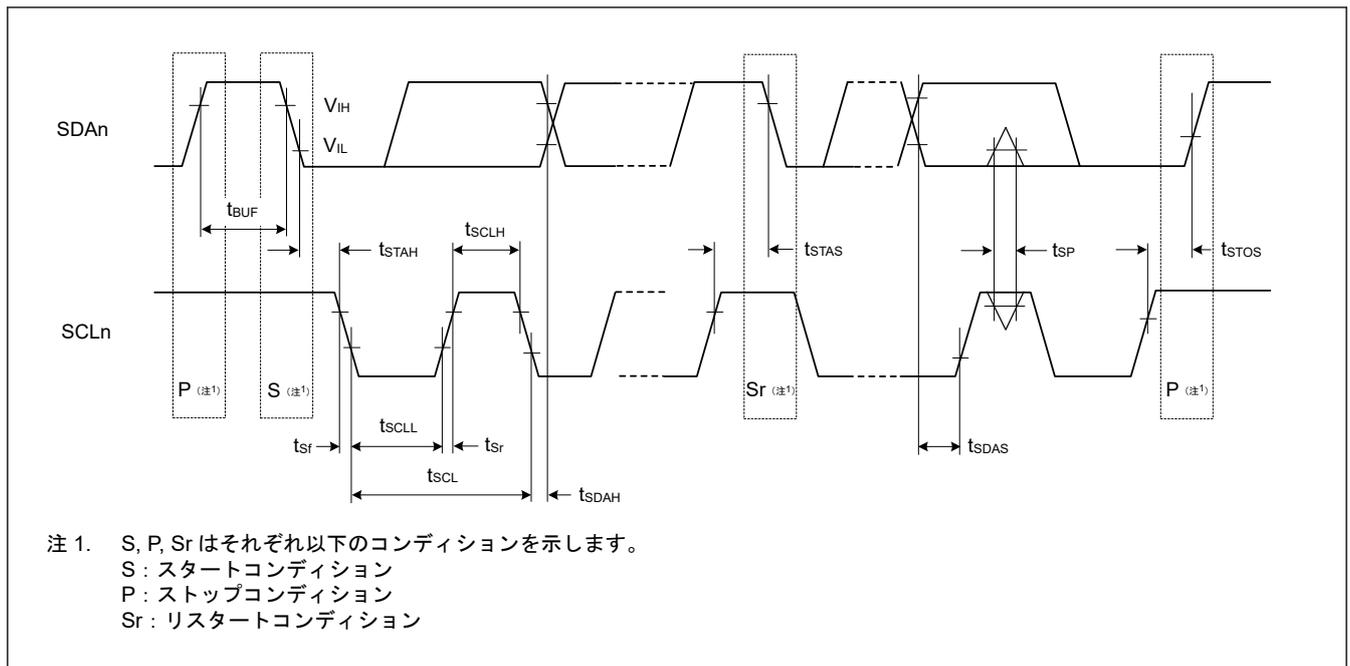
PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットがあれば、SCL0\_A、SDA0\_A、SCL1\_A、および SDA1\_A 端子の設定は必要ありません。

項目	シンボル	VCC	Min	Max	単位	測定条件	
IIC (ファストモード+) ICFER.FMPE = 1	SCL 入力サイクル時間	t <sub>SCL</sub>	2.70 V 以上	6 (12) × t <sub>IICcyc</sub> + 240	—	ns	図 2.65
	SCL 入力 High レベルパルス幅	t <sub>SCLH</sub>	2.70 V 以上	3 (6) × t <sub>IICcyc</sub> + 120	—	ns	
	SCL 入力 Low レベルパルス幅	t <sub>SCLL</sub>	2.70 V 以上	3 (6) × t <sub>IICcyc</sub> + 120	—	ns	
	SCL, SDA 立ち上がり時間	t <sub>Sr</sub>	2.70 V 以上	—	120	ns	
	SCL, SDA 立ち下がり時間	t <sub>Sf</sub>	2.70 V 以上	20 × (外付けブルアップ電圧 / 5.5 V)	120	ns	
	SCL, SDA 入カスパイクパルス除去時間	t <sub>SP</sub>	2.70 V 以上	0	1 (4) × t <sub>IICcyc</sub>	ns	
	ウェイクアップ機能が無効な場合の SDA 入カバスフリー時間	t <sub>BUF</sub>	2.70 V 以上	3 (6) × t <sub>IICcyc</sub> + 120	—	ns	
	ウェイクアップ機能が有効な場合の SDA 入カバスフリー時間	t <sub>BUF</sub>	2.70 V 以上	3 (6) × t <sub>IICcyc</sub> + 4 × t <sub>Pcyc</sub> + 120	—	ns	
	ウェイクアップ機能が無効な場合のスタートコンディション入カホールド時間	t <sub>STAH</sub>	2.70 V 以上	t <sub>IICcyc</sub> + 120	—	ns	
	ウェイクアップ機能が有効な場合のスタートコンディション入カホールド時間	t <sub>STAH</sub>	2.70 V 以上	1 (5) × t <sub>IICcyc</sub> + t <sub>Pcyc</sub> + 120	—	ns	
	リスタートコンディション入カセットアップ時間	t <sub>STAS</sub>	2.70 V 以上	120	—	ns	
	ストップコンディション入カセットアップ時間	t <sub>STOS</sub>	2.70 V 以上	120	—	ns	
	データ入カセットアップ時間	t <sub>SDAS</sub>	2.70 V 以上	t <sub>IICcyc</sub> + 30	—	ns	
	データ入カホールド時間	t <sub>SDAH</sub>	2.70 V 以上	0	—	ns	
SCL, SDA の負荷容量	C <sub>b</sub> (注1)	2.70 V 以上	—	550	pF		

注. t<sub>IICcyc</sub> : IIC 内部基準クロック (IICφ) の周期、t<sub>Pcyc</sub> : PCLKB の周期

注. ICFER.NFE が 1 でデジタルフィルタが有効な場合、ICMR3.NF[1:0]が 11b であると ( ) 内の値が適用されます。

注 1. C<sub>b</sub> はバスラインの容量総計を意味します。

図 2.65 I<sup>2</sup>C バスインタフェース入出力タイミング

## 2.3.12 I3C タイミング

表 2.47 IIC タイミング (1)-1

PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットでは、I3C\_SCL0 端子、I3C\_SDA0 端子の設定は必要ありません。

パラメータ	シンボル	VCC	Min	Max	単位	
IIC (標準モード、SMBus) BFCTL.FMPE = 0	SCL 入力サイクル時間	$t_{SCL}$	2.70 V 以上、 1.68~1.95 V	$10 (18) \times t_{I3CCyc} + 1300$	—	ns
	SCL 入力 High レベルパルス幅	$t_{SCLH}$	2.70 V 以上、 1.68~1.95 V	$5 (9) \times t_{I3CCyc} + 300$	—	ns
	SCL 入力 Low レベルパルス幅	$t_{SCLL}$	2.70 V 以上、 1.68~1.95 V	$5 (9) \times t_{I3CCyc} + 300$	—	ns
	SCL、SDA 立ち上がり時間	$t_{Sr}$	2.70 V 以上、 1.68~1.95 V	—	1000	ns
	SCL、SDA 立ち下がり時間	$t_{Sf}$	2.70 V 以上、 1.68~1.95 V	—	300	ns
	SCL、SDA 入カスパイクパルス除去時間	$t_{SP}$	2.70 V 以上、 1.68~1.95 V	0	$1 (4) \times t_{I3CCyc}$	ns
	ウェイクアップ機能が無効な場合の SDA 入力バスフリー時間	$t_{BUF}$	2.70 V 以上、 1.68~1.95 V	$5(9) \times t_{I3CCyc} + 300$	—	ns
	ウェイクアップ機能が有効な場合の SDA 入力バスフリー時間	$t_{BUF}$	2.70 V 以上、 1.68~1.95 V	$5(9) \times t_{I3CCyc} + 4 \times t_{Tcyc} + 300$	—	ns
	ウェイクアップ機能が無効な場合の開始条件入力ホールド時間	$t_{STAH}$	2.70 V 以上、 1.68~1.95 V	$t_{I3CCyc} + 300$	—	ns
	ウェイクアップ機能が有効な場合の開始条件入力ホールド時間	$t_{STAH}$	2.70 V 以上、 1.68~1.95 V	$1(5) \times t_{I3CCyc} + t_{Tcyc} + 300$	—	ns
	再開条件入力セットアップ時間	$t_{STAS}$	2.70 V 以上、 1.68~1.95 V	1000	—	ns
	停止条件入力セットアップ時間	$t_{STOS}$	2.70 V 以上、 1.68~1.95 V	1000	—	ns
	データ入力セットアップ時間	$t_{SDAS}$	2.70 V 以上、 1.68~1.95 V	$t_{I3CCyc} + 50$	—	ns
	データ入力ホールド時間	$t_{SDAH}$	2.70 V 以上、 1.68~1.95 V	0	—	ns
SCL、SDA の負荷容量	$C_b$ (注1)	2.70 V 以上、 1.68~1.95 V	—	400	pF	

注.  $t_{I3CCyc}$ : I3C 内部基準クロック (I3C $\phi$ ) サイクル、 $t_{Tcyc}$ : TCLK の周期

注. INCTL.DNFE が 1 でデジタルフィルタが有効な場合、INCTL.DNFS[3:0] が 0011b であると括弧内の値が適用されます。

注 1.  $C_b$  はバスラインの容量総計を意味します。

表 2.48 IIC タイミング (1)-2

PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットでは、I3C\_SCL0 端子、I3C\_SDA0 端子の設定は必要ありません。

パラメータ	シンボル	VCC	Min	Max	単位	
IIC (ファストモード)	SCL 入力サイクル時間	$t_{SCL}$	2.70 V 以上、 1.68~1.95 V	$10(18) \times t_{I3CCyc} + 600$	—	ns
	SCL 入力 High レベルパルス幅	$t_{SCLH}$	2.70 V 以上、 1.68~1.95 V	$5(9) \times t_{I3CCyc} + 300$	—	ns
	SCL 入力 Low レベルパルス幅	$t_{SCLL}$	2.70 V 以上、 1.68~1.95 V	$5(9) \times t_{I3CCyc} + 300$	—	ns
	SCL、SDA 立ち上がり時間	$t_{Sr}$	2.70 V 以上、 1.68~1.95 V	20	300	ns
	SCL、SDA 立ち下がり時間	$t_{Sf}$	2.70 V 以上、 1.68~1.95 V	$20 \times (\text{外付けプルアップ電圧}/3.6 \text{ V})$	300	ns
	SCL、SDA 入カスパイクパルス除去時間	$t_{SP}$	2.70 V 以上、 1.68~1.95 V	0	$1(4) \times t_{I3CCyc}$	ns
	ウェイクアップ機能が無効な場合の SDA 入力バスフリー時間	$t_{BUF}$	2.70 V 以上、 1.68~1.95 V	$5(9) \times t_{I3CCyc} + 300$	—	ns
	ウェイクアップ機能が有効な場合の SDA 入力バスフリー時間		2.70 V 以上、 1.68~1.95 V	$5(9) \times t_{I3CCyc} + 4 \times t_{TCyc} + 300$	—	ns
	ウェイクアップ機能が無効な場合の開始条件入力ホールド時間	$t_{STAH}$	2.70 V 以上、 1.68~1.95 V	$t_{I3CCyc} + 300$	—	ns
	ウェイクアップ機能が有効な場合の開始条件入力ホールド時間		2.70 V 以上、 1.68~1.95 V	$1(5) \times t_{I3CCyc} + t_{TCyc} + 300$	—	ns
	再開条件入力セットアップ時間	$t_{STAS}$	2.70 V 以上、 1.68~1.95 V	300	—	ns
	停止条件入力セットアップ時間	$t_{STOS}$	2.70 V 以上、 1.68~1.95 V	300	—	ns
	データ入力セットアップ時間	$t_{SDAS}$	2.70 V 以上、 1.68~1.95 V	$t_{I3CCyc} + 50$	—	ns
	データ入力ホールド時間	$t_{SDAH}$	2.70 V 以上、 1.68~1.95 V	0	—	ns
SCL、SDA の負荷容量	$C_b$ (注1)	2.70 V 以上、 1.68~1.95 V	—	400	pF	

注.  $t_{I3CCyc}$ : I3C 内部基準クロック (I3Cφ) サイクル、 $t_{TCyc}$ : TCLK の周期

注. INCTL.DNFE が 1 でデジタルフィルタが有効な場合、INCTL.DNFS[3:0] が 0011b であると括弧内の値が適用されます。

注 1.  $C_b$  はバスラインの容量総計を意味します。

表 2.49 IIC タイミング (1)-3

PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットでは、I3C\_SCL0 端子、I3C\_SDA0 端子の設定は必要ありません。

パラメータ	シンボル	VCC	Min	Max	単位	
IIC (ファストモード+) BFCTL.FMPE = 1	SCL 入力サイクル時間	$t_{SCL}$	2.70 V 以上	$10 (18) \times t_{I3CCyc} + 240$	—	ns
	SCL 入力 High レベルパルス幅	$t_{SCLH}$	2.70 V 以上	$5 (9) \times t_{I3CCyc} + 120$	—	ns
	SCL 入力 Low レベルパルス幅	$t_{SCLL}$	2.70 V 以上	$5 (9) \times t_{I3CCyc} + 120$	—	ns
	SCL、SDA 立ち上がり時間	$t_{Sr}$	2.70 V 以上	—	120	ns
	SCL、SDA 立ち下がり時間	$t_{Sf}$	2.70 V 以上	$20 \times (\text{外付けプルアップ電圧}/3.3 \text{ V})$	120	ns
	SCL、SDA 入カスパイクパルス除去時間	$t_{SP}$	2.70 V 以上	0	$1 (4) \times t_{I3CCyc}$	ns
	ウェイクアップ機能が無効な場合の SDA 入力バスフリー時間	$t_{BUF}$	2.70 V 以上	$5 (9) \times t_{I3CCyc} + 120$	—	ns
	ウェイクアップ機能が有効な場合の SDA 入力バスフリー時間			$5(9) \times t_{I3CCyc} + 4 \times t_{Tcyc} + 120$	—	ns
	ウェイクアップ機能が無効な場合の開始条件入力ホールド時間	$t_{STAH}$	2.70 V 以上	$t_{I3CCyc} + 120$	—	ns
	ウェイクアップ機能が有効な場合の開始条件入力ホールド時間			$1(5) \times t_{I3CCyc} + t_{Tcyc} + 120$	—	ns
	再開条件入力セットアップ時間	$t_{STAS}$	2.70 V 以上	120	—	ns
	停止条件入力セットアップ時間	$t_{STOS}$	2.70 V 以上	120	—	ns
	データ入力セットアップ時間	$t_{SDAS}$	2.70 V 以上	$t_{I3CCyc} + 30$	—	ns
	データ入力ホールド時間	$t_{SDAH}$	2.70 V 以上	0	—	ns
	SCL、SDA の負荷容量	$C_b$ (注1)	2.70 V 以上	—	550	pF

注.  $t_{I3CCyc}$  : I3C 内部基準クロック (I3Cφ) サイクル、 $t_{Tcyc}$  : TCLK の周期

注. INCTL.DNFE が 1 でデジタルフィルタが有効な場合、INCTL.DNFS[3:0] が 0011b であると括弧内の値が適用されます。

注 1.  $C_b$  はバスラインの容量総計を意味します。

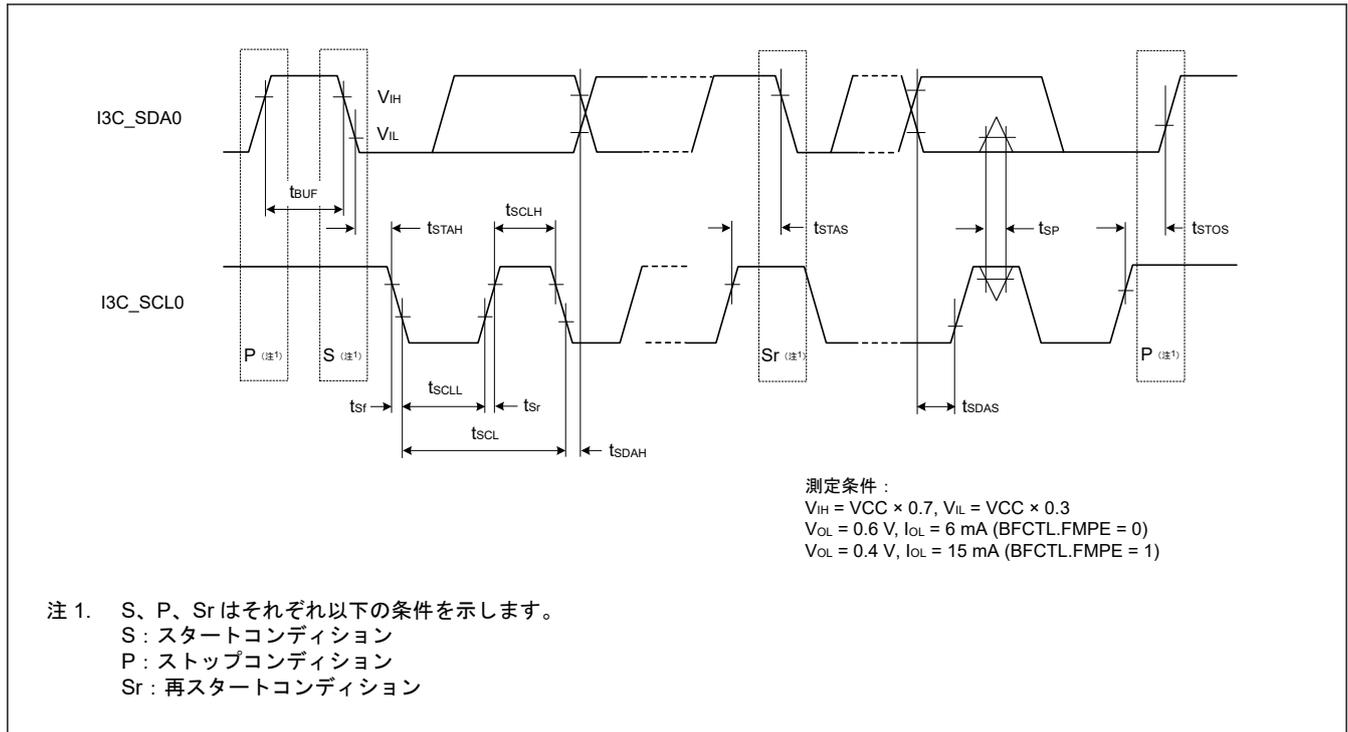


図 2.66 I<sup>2</sup>C バスインタフェース入出力タイミング

表 2.50 IIC タイミング (2)

PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットでは、I3C\_SCL0 端子、I3C\_SDA0 端子の設定は必要ありません。

パラメータ		シンボル	VCC	Min	Max	単位	
IIC (Hs モード) BFCTL.HS ME = 1	SCL 入力サイクル時間	$t_{SCL}$	3.00 V 以上	$47 (49) \times t_{I3CCyc}$	—	ns	
			1.68~1.95 V	$48 (50) \times t_{I3CCyc}$	—		
	SCL 入力 High レベルパルス幅	Cb = 400 pF	$t_{SCLH}$	3.00 V 以上	$36 (37) \times t_{I3CCyc}$	—	ns
				1.68~1.95 V	$31 (32) \times t_{I3CCyc}$	—	
		Cb = 100 pF		3.00 V 以上	$18 (19) \times t_{I3CCyc}$	—	
				1.68~1.95 V	$19 (20) \times t_{I3CCyc}$	—	
	SCL 入力 Low レベルパルス幅	Cb = 400 pF	$t_{SCLL}$	3.00 V 以上	$61 (62) \times t_{I3CCyc}$	—	ns
				1.68~1.95 V	$61 (62) \times t_{I3CCyc}$	—	
		Cb = 100 pF		3.00 V 以上	$29 (30) \times t_{I3CCyc}$	—	
				1.68~1.95 V	$29 (30) \times t_{I3CCyc}$	—	
	SCL 立ち上がり時間	Cb = 400 pF	$t_{SrCL}$	3.00 V 以上	—	80	ns
				1.68~1.95 V	—	80	
		Cb = 100 pF		3.00 V 以上	—	40	
				1.68~1.95 V	—	40	
	SDA 立ち上がり時間	Cb = 400 pF	$t_{SrDA}$	3.00 V 以上	—	160	ns
				1.68~1.95 V	—	160	
		Cb = 100 pF		3.00 V 以上	—	80	
				1.68~1.95 V	—	80	
	SCL 立ち下がり時間	Cb = 400 pF	$t_{SrCL}$	3.00 V 以上	—	80	ns
				1.68~1.95 V	—	80	
Cb = 100 pF		3.00 V 以上		—	40		
		1.68~1.95 V		—	40		
SDA 立ち下がり時間	Cb = 400 pF	$t_{SrDA}$	3.00 V 以上	—	160	ns	
			1.68~1.95 V	—	160		
	Cb = 100 pF		3.00 V 以上	—	80		
			1.68~1.95 V	—	80		
SCL、SDA 入カスパイクパルス除去時間		$t_{SP}$	3.00 V 以上	0	$1 (1) \times t_{I3CCyc}$	ns	
			1.68~1.95 V	0	$1 (1) \times t_{I3CCyc}$		
再開条件入力セットアップ時間		$t_{STAS}$	3.00 V 以上	40	—	ns	
			1.68~1.95 V	40	—		
停止条件入力セットアップ時間		$t_{STOS}$	3.00 V 以上	40	—	ns	
			1.68~1.95 V	40	—		
データ入力セットアップ時間		$t_{SDAS}$	3.00 V 以上	10	—	ns	
			1.65~1.95 V	10	—		
データ入力ホールド時間	Cb = 400 pF	$t_{SDAH}$	3.00 V 以上	0	150	ns	
			1.68~1.95 V	0	150		
	Cb = 100 pF		3.00 V 以上	0	70		
			1.68~1.95 V	0	70		
SCL、SDA の負荷容量		$C_b$ (注1)	3.00 V 以上	—	400	pF	
			1.68~1.95 V	—	400		

- 注.  $t_{3Cyc}$ : I3C 内部基準クロック (I3Cφ) サイクル。
- 注. INCTL.DNFE が 1 でデジタルフィルタが有効な場合、INCTL.DNFS[3:0] が 0011b であると括弧内の値が適用されます。
- 注 1.  $C_b$  はバスラインの容量総計を意味します。

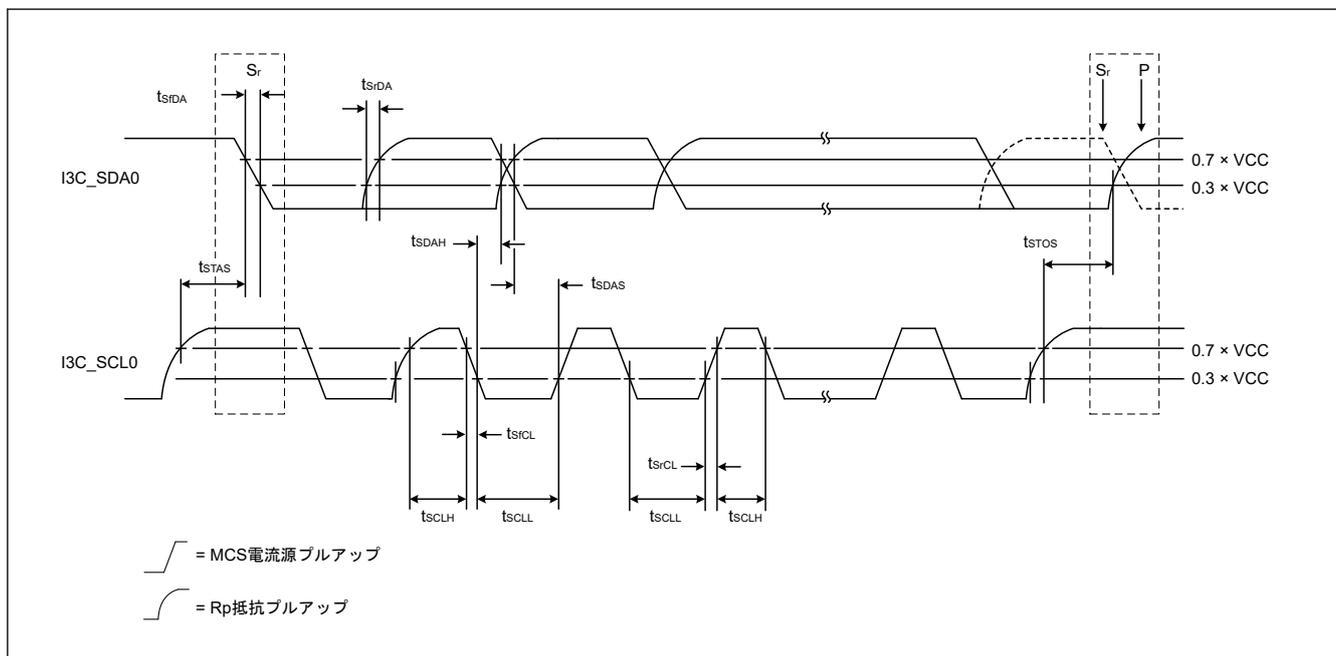


図 2.67 I<sup>2</sup>C バスインタフェース入出力タイミング (Hs モード)

表 2.51 I3C タイミング (オープンドレインタイミングパラメータ)

PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットでは、I3C\_SCL0 端子、I3C\_SDA0 端子の設定は必要ありません。

パラメータ	シンボル	VCC	Min	Max	単位	測定条件	
I3C オープンド レインタイ ミングパラ メータ	SCL クロ ック Low 期間	$t_{LOW\_OD}^{(注1)}$ (注2)	3.00 V 以上	200	—	ns	図 2.70
			1.68~1.95 V	200	—		
		$t_{DIG\_OD\_L}$	3.00 V 以上	$t_{LOW\_ODmin} + t_{fDA\_ODmin}$	—	ns	図 2.70
			1.68~1.95 V	$t_{LOW\_ODmin} + t_{fDA\_ODmin}$	—		
	SCL クロ ック High 期間	$t_{HIGH}^{(注3)}$ (注4)	3.00 V 以上	—	41	ns	図 2.68
			1.68~1.95 V	—	41		
		$t_{DIG\_H}$	3.00 V 以上	—	$t_{HIGH} + t_{CF}$	ns	図 2.68
			1.68~1.95 V	—	$t_{HIGH} + t_{CF}$		
SDA 信号立 ち下がり時 間	$t_{fDA\_OD}$	3.00 V 以上	$t_{CF}$	12	ns	図 2.70	
		1.68~1.95 V	$t_{CF}$	12			
SDA データ セットアッ プ時間オー プンドレイ ンモード	$t_{SU\_OD}^{(注1)}$	3.00 V 以上	12	—	ns	図 2.69	
		1.68~1.95 V	18	—			
スタート (S) コンディシ ョン後クロ ック	$t_{CAS}^{(注5) (注6)}$	3.00 V 以上	38.4 ナノ	ENAS0: 1 $\mu$	秒	図 2.70	
				ENAS1: 100 $\mu$			
				ENAS2: 2 ミリ			
				ENAS3: 50 ミリ			
		1.68~1.95 V	38.4 ナノ	ENAS0: 1 $\mu$			
				ENAS1: 100 $\mu$			
		ENAS2: 2 ミリ					
		ENAS3: 50 ミリ					
ストップ (P) コンディシ ョン前クロ ック	$t_{CBP}$	3.00 V 以上	$t_{CASmin} / 2$	—	秒	図 2.71	
		1.68~1.95 V	$t_{CASmin} / 2$	—			
ハンドオフ 中の現マス タからセカ ンダリマス タまでのオ ーバラッ プ時間	$t_{MMOverlap}$	3.00 V 以上	$t_{DIG\_OD\_Lmin}$	—	ns	図 2.77	
		1.68~1.95 V	$t_{DIG\_OD\_Lmin}$	—			
バス使用可 能条件	$t_{AVAL}^{(注7)}$	3.00 V 以上	1	—	$\mu$ s	—	
		1.68~1.95 V	1	—			
バスアイド ル条件	$t_{IDLE}$	3.00 V 以上	1	—	ms	—	
		1.68~1.95 V	1	—			
SDA Low 駆 動していな い新マス タの内 部時間	$t_{MMLock}$	3.00 V 以上	$t_{AVALmin}$	—	$\mu$ s	図 2.77	
		1.68~1.95 V	$t_{AVALmin}$	—			

注 1.  $t_{LOWmin} + t_{DS\_ODmin} + t_{rDA\_ODtyp} + t_{SU\_ODmin}$  と近似的に同じです。

注 2. 安全な場合、すなわち SDA がすでに VIH を上回っている場合、マスタは短い Low 期間を使用する可能性があります。

注 3.  $t_{SPIKE}$ 、立ち上がり/立ち下がり時間、インターコネクに基づきます。注 4. この最大 High 期間は、レガシー I<sup>2</sup>C デバイスで信号を安全に確認できる場合や、インターコネクを考慮した上で (バスが短い場合など)、超過する場合があります。

製品仕様上、この最大値を保証できない場合、この最大値を変更し、ミックスバスで使用できないように指定してください。

注 5. I<sup>2</sup>C デバイスがスタートを確認する必要があるレガシーバス上

注 6. オプションの ENTASx CCC をサポートしていないスレーブは、ENTAS3 に示されている  $t_{CAS}$  最大値を使用します。

注 7. Fm レガシー I<sup>2</sup>C デバイスのミックスバス上で、 $t_{AVAIL}$  は Fm バスフリー条件時間 ( $t_{BUF}$ ) より 300 ns 短いです。

**表 2.52 I3C タイミング (SDR モードおよび HDR-DDR モード用プッシュプルタイミングパラメータ)**

PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットでは、I3C SCL0 端子、I3C SDA0 端子の設定は必要ありません。

パラメータ	シンボル	VCC	Min	Max	単位	測定条件	
SDR モードと HDR-DDR モードの I3C プッシュプルタイミングパラメータ	SCL クロック周波数	$f_{SCL}$ (注1)	3.00 V 以上	0.01	12.5	MHz	—
		1.68~1.95 V	0.01	12.5			
	SCL クロック Low 期間	$t_{LOW}$	3.00 V 以上	27	—	ns	図 2.68
			1.68~1.95 V	32	—		
		$t_{DIG\_L}$ (注2) (注4)	3.00 V 以上	35	—	ns	図 2.68
			1.68~1.95 V	40	—		
	ミックスバスにおける SCL クロックの High 期間	$t_{HIGH\_MIXED}$	3.00 V 以上	24	—	ns	図 2.68
			1.68~1.95 V	27	—		
		$t_{DIG\_H\_MIXED}$ (注2) (注3)	3.00 V 以上	32	45	ns	図 2.68
			1.68~1.95 V	35	45		
	SCL クロック High 期間	$t_{HIGH}$	3.00 V 以上	24	—	ns	図 2.68
			1.68~1.95 V	27	—		
		$t_{DIG\_H}$ (注2)	3.00 V 以上	32	—	ns	図 2.68
			1.68~1.95 V	35	—		
	スレーブ用データ出カクロック	$t_{SCO}$	3.00 V 以上	—	12	ns	図 2.73
			1.68~1.95 V	—	12		
	SCL クロック立ち上がり時間	$t_{CR}$	3.00 V 以上	—	$150 \times 1 / f_{SCL}$ (上限 60)	ns	図 2.68
			1.68~1.95 V	—	$150 \times 1 / f_{SCL}$ (上限 60)		
	SCL クロック立ち下がり時間	$t_{CF}$	3.00 V 以上	—	$150 \times 1 / f_{SCL}$ (上限 60)	ns	図 2.68
			1.68~1.95 V	—	$150 \times 1 / f_{SCL}$ (上限 60)		
プッシュプルモードの SDA 信号データホールド	マスタ	$t_{HD\_PP}$ (注4) (注5)	3.00 V 以上	$t_{CR} + 3, t_{CF} + 3$	—	—	図 2.72
	1.68~1.95 V		$t_{CR} + 3, t_{CF} + 3$	—			
スレーブ	$t_{HD\_PP}$ (注5)	3.00 V 以上	0	—	—	—	図 2.72
		1.68~1.95 V	0	—			
プッシュプルモードの SDA 信号データセットアップ	$t_{SU\_PP}$	3.00 V 以上	12	N/A	ns	図 2.74	
		1.68~1.95 V	18	なし			
繰り返しのスタート (Sr) 後クロック	$t_{CASr}$	3.00 V 以上	$t_{CASmin}$	N/A	ns	図 2.76	
		1.68~1.95 V	$t_{CASmin}$	N/A			
繰り返しのスタート (Sr) 前クロック	$t_{CBSr}$	3.00 V 以上	$t_{CASmin} / 2$	N/A	ns	図 2.76	
		1.68~1.95 V	$t_{CASmin} / 2$	N/A			
バスライン (SDA/SCL) ごとの容量性負荷	$C_b$	3.00 V 以上	—	50	pF	—	
		1.68~1.95 V	—	50			

注 1.  $f_{SCL} = 1 / (t_{DIG\_L} + t_{DIG\_H})$

注 2.  $t_{DIG\_L}$  および  $t_{DIG\_H}$  は、 $V_{IL}$ 、 $V_{IH}$  を使用した I3C バスのレシーバ終了時の Low および High 期間クロックです。

注 3. ミックスバス上で I3C デバイスと通信する際は、I<sup>2</sup>C デバイスが I3C シグナリングを有効な I<sup>2</sup>C シグナリングと解釈しないようにするため、 $t_{DIG\_H\_MIXED}$  期間に制約を設ける必要があります。

- 注 4. 両エッジが使用されているとき、ホールド時間はそれぞれのエッジを満たす必要があります。すなわち、立ち下がりエッジクロックに対して  $t_{CF} + 3$ 、立ち上がりエッジクロックに対して  $t_{CR} + 3$  です。
- 注 5. ホールド時間パラメータは、SDR モードでは「 $t_{HD\_SDR}$ 」と表され、DDR モードでは「 $t_{HD\_DDR}$ 」と表されます。

**表 2.53 I3C タイミング (HDR-TSP モードおよび HDR-TSL モード用プッシュプルタイミングパラメータ)**

PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットでは、I3C\_SCL0 端子、I3C\_SDA0 端子の設定は必要ありません。

項目	シンボル	VCC	Min	Max	単位	測定条件		
HDR-TSP モードおよび HDR-TSL モード用 I3C プッシュプルタイミングパラメータ	エッジ間期間	$t_{EDGE}^{(注1)}$	3.00 V 以上	$t_{DIG\_H}$	—	ns	図 2.68	
		(注2)	1.68~1.95 V	$t_{DIG\_H}$	—			
	“同時”変更信号の間で許容される差異	$t_{SKEW}$	3.00 V 以上	—	10			ns
			1.68~1.95 V	—	10			
	シンボル間の安定した状態	$t_{EYE}$	3.00 V 以上	12	—			ns
			1.68~1.95 V	12	—			
	連続するシンボル間の時間	$t_{SYMBOL}$	3.00 V 以上	$t_{EDGE}$ Min	—	ns		
			1.68~1.95 V	$t_{EDGE}$ Min	—			
	シンボルクロック	$t_{CLOCK}$	3.00 V 以上	$1 / f_{SCL} (Max)$	—	—		
			1.68~1.95 V	$1 / f_{SCL} (Max)$	—			

注 1.  $1 / (t_{EDGE} \times 2)$  の割合でエッジ発生

注 2. ミックスパスでは、HDR-TSL は図 2.71 に示す最大  $t_{DIG\_H\_MIXED}$  に従うこととします。

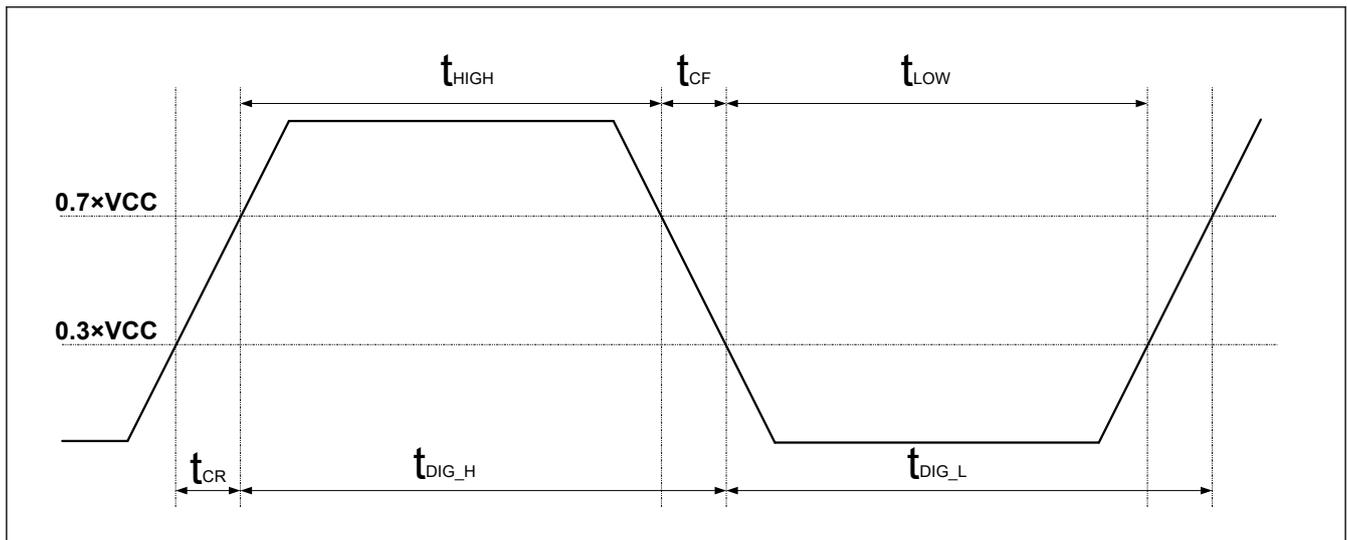


図 2.68  $t_{DIG\_H}$ 、 $t_{DIG\_L}$

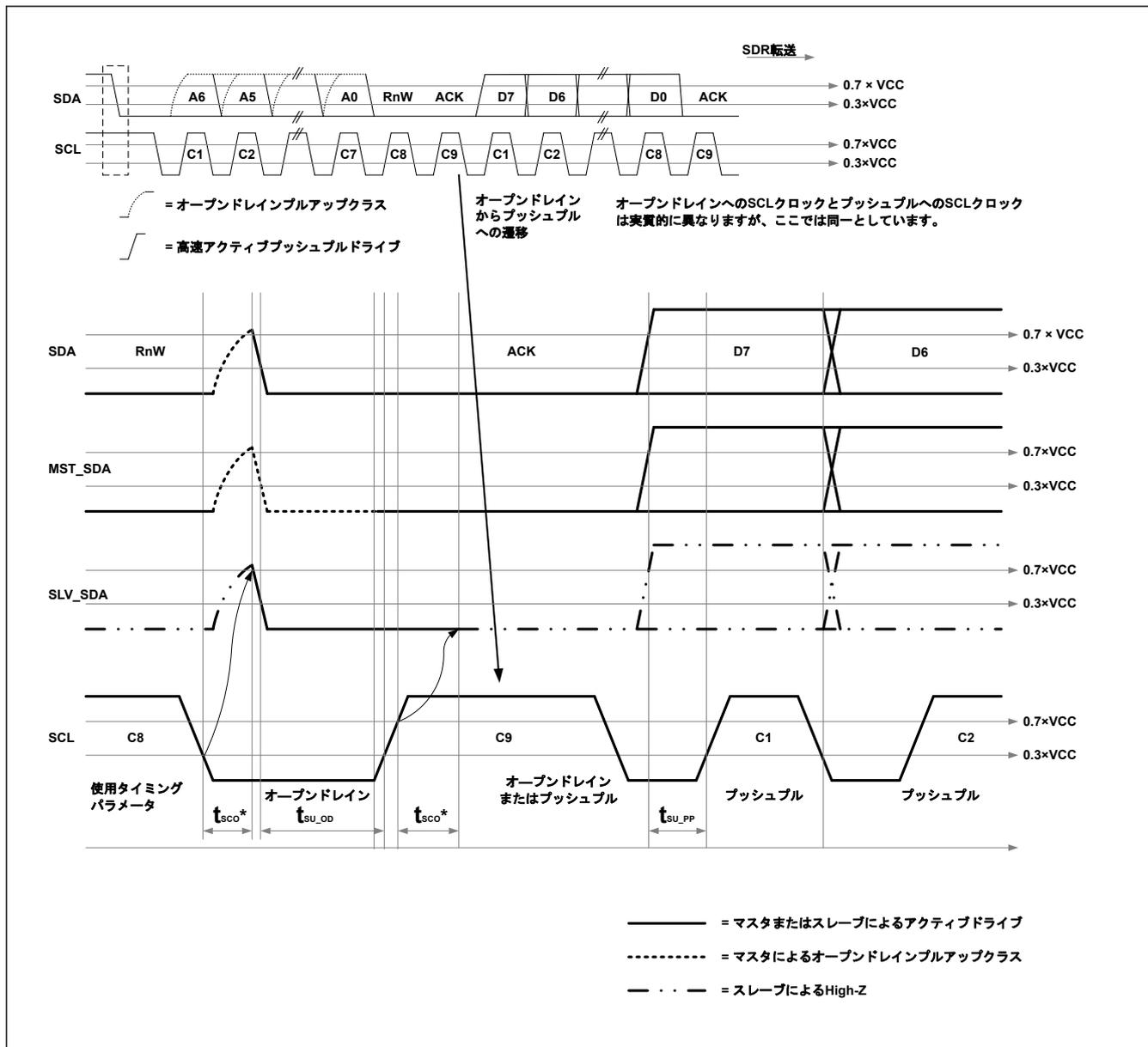


図 2.69 I3C データ転送 - スレーブによる ACK

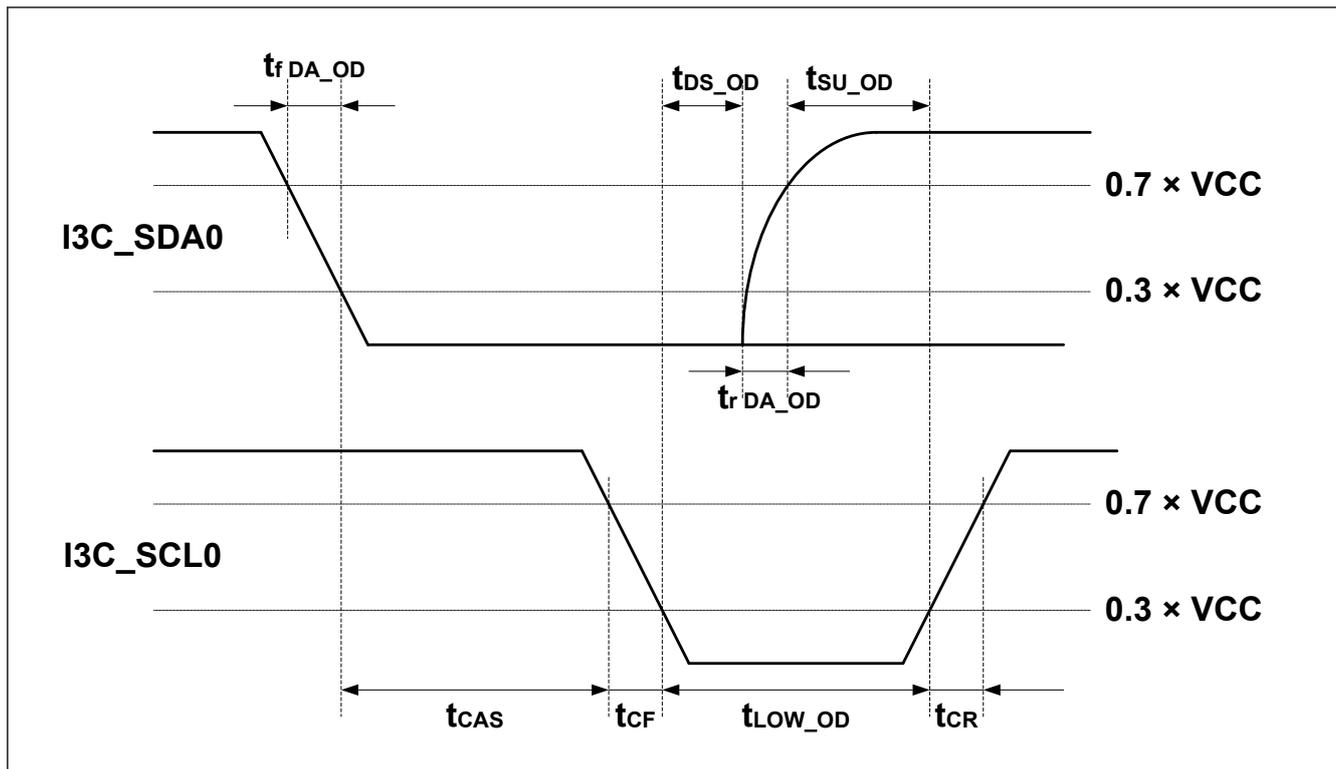


図 2.70 I3C スタートコンディションタイミング

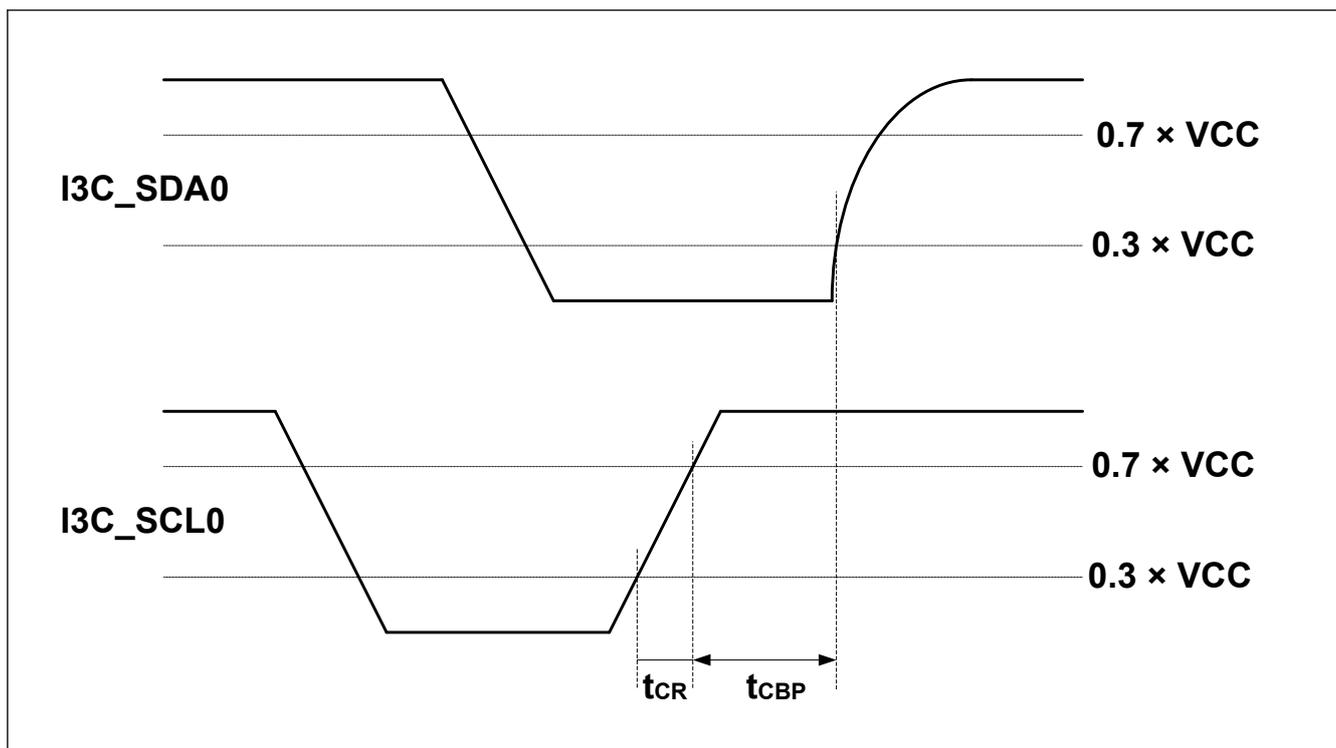


図 2.71 I3C ストップコンディションタイミング

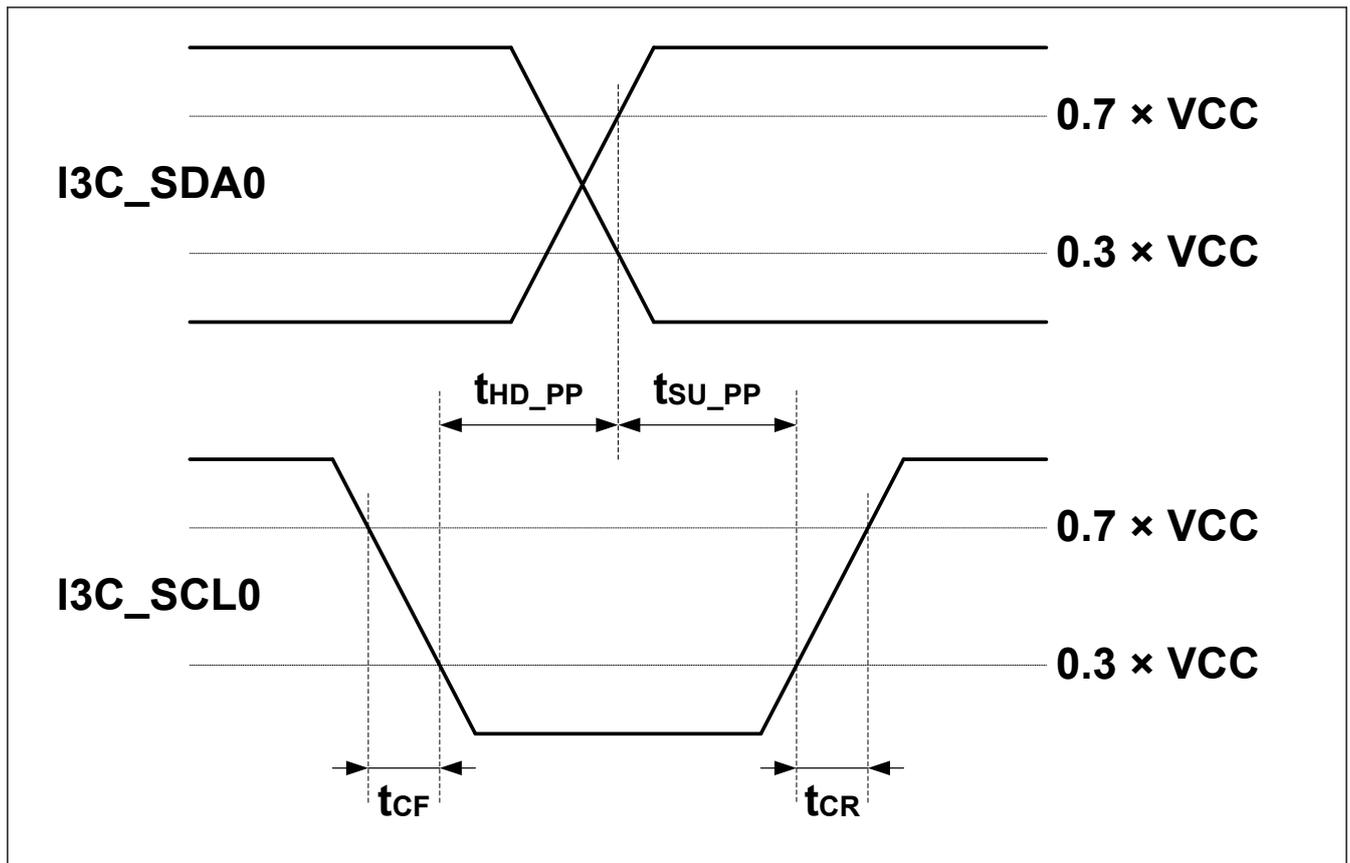


図 2.72 I3C マスタ出力タイミング

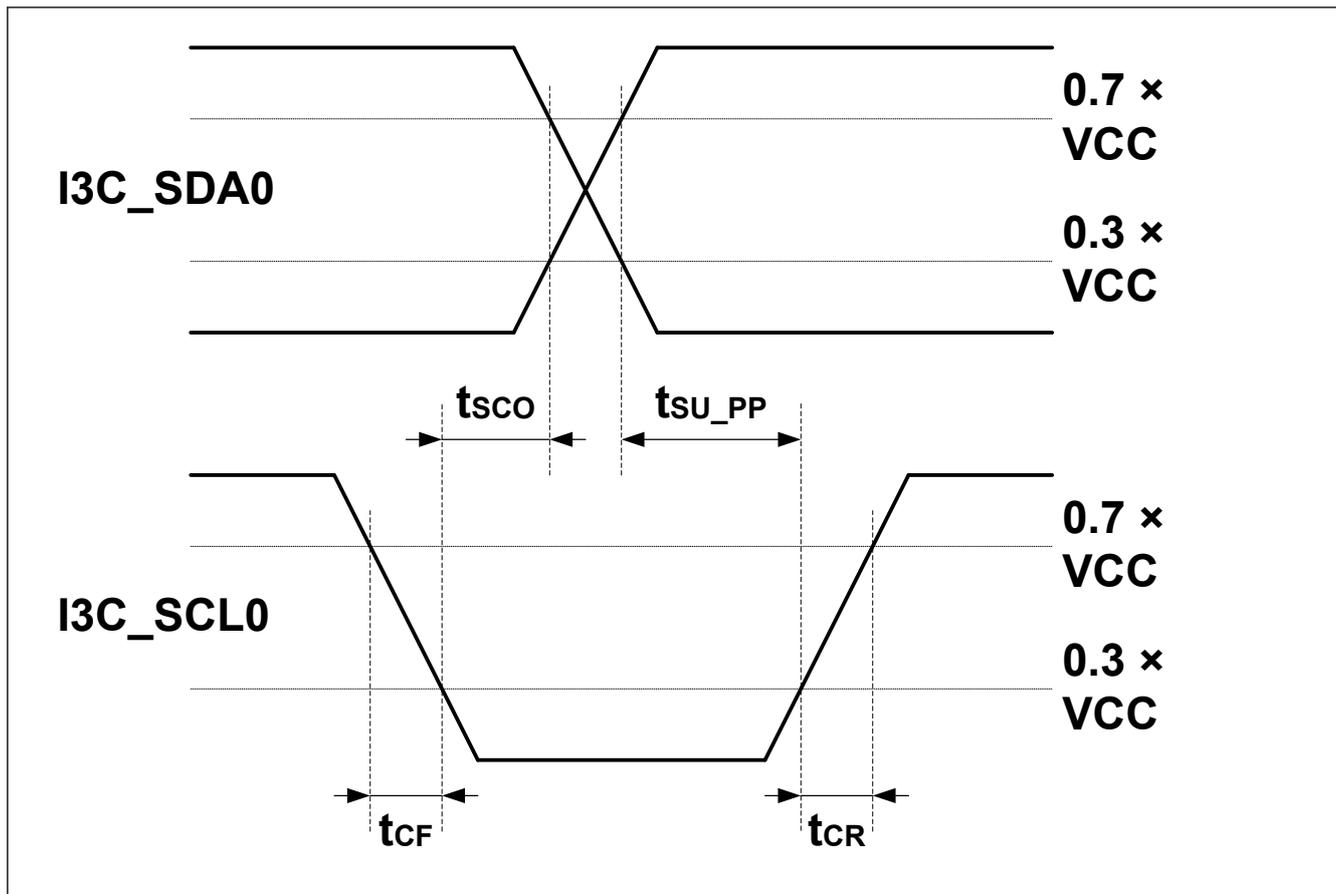


図 2.73 I3C スレーブ出カタイミング

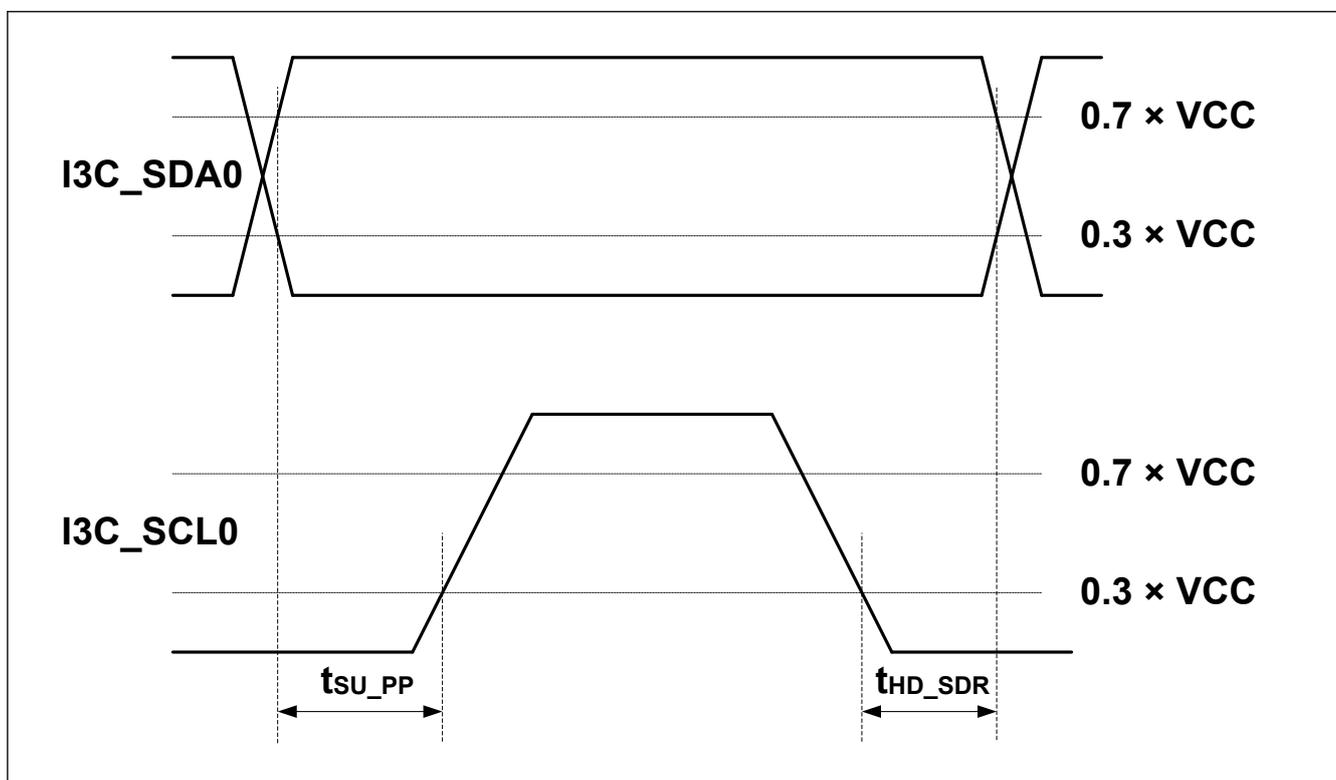


図 2.74 マスタ SDR タイミング

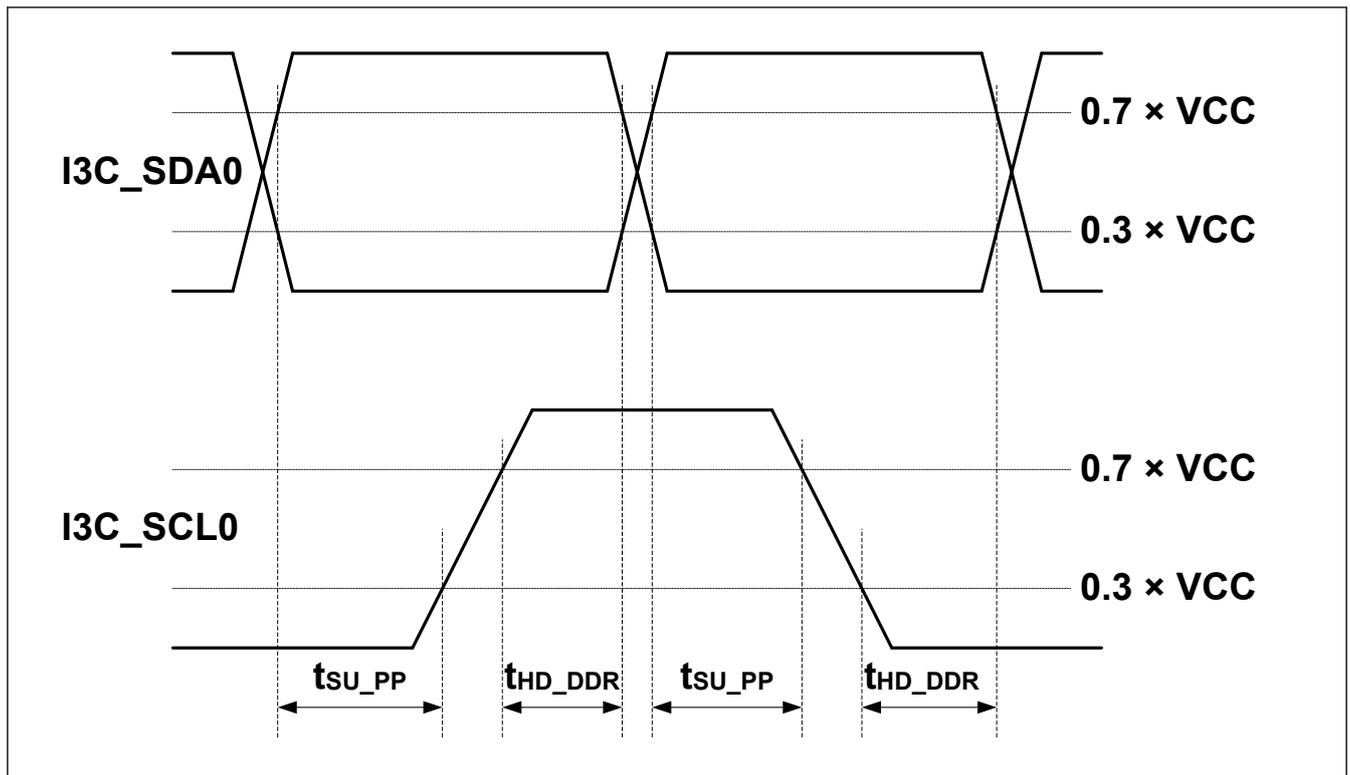


図 2.75 マスタ DDR タイミング

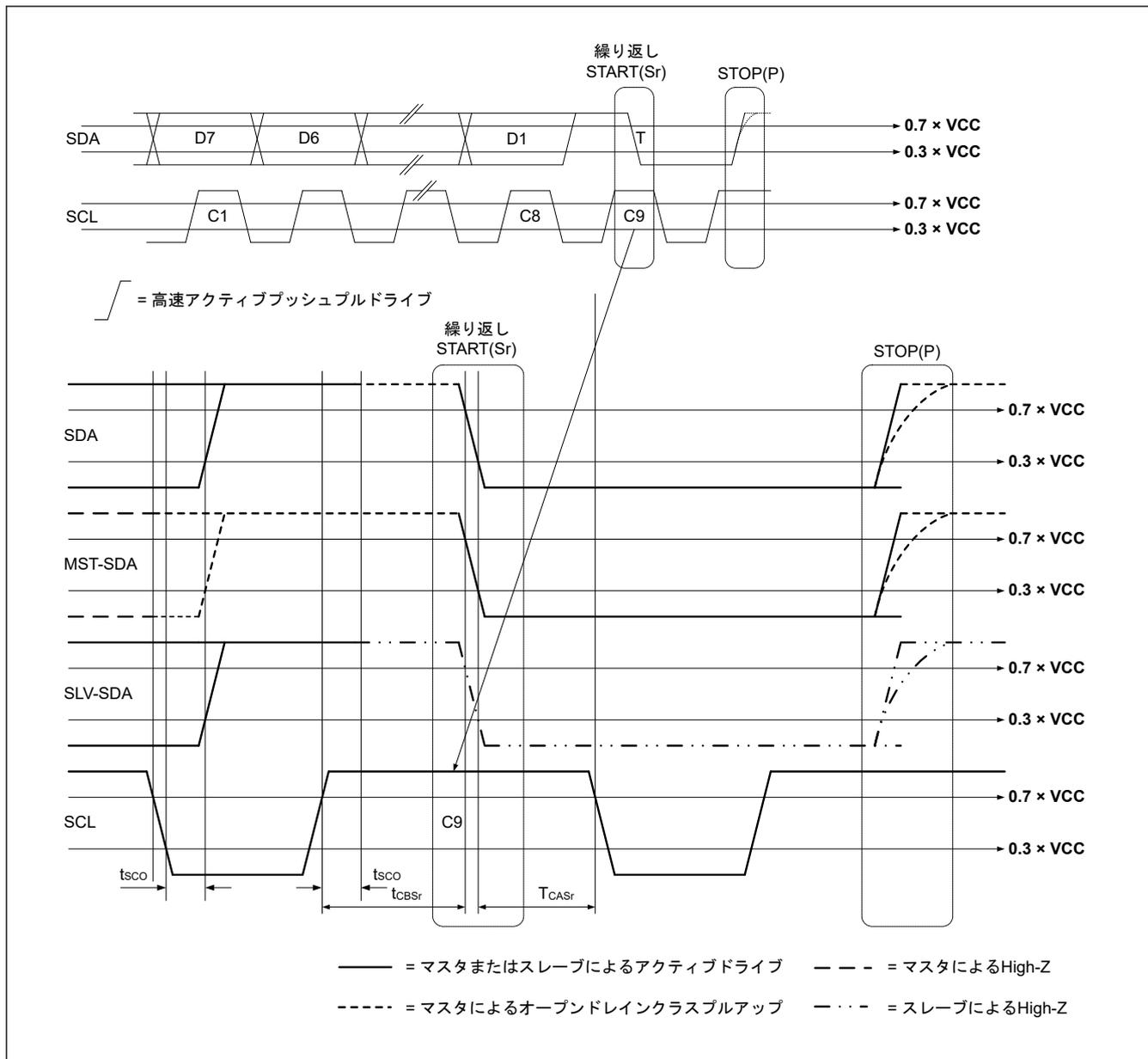


図 2.76 繰り返しのスタートコンディションおよびストップコンディションでのマスタ終了時の T ビット読み出し

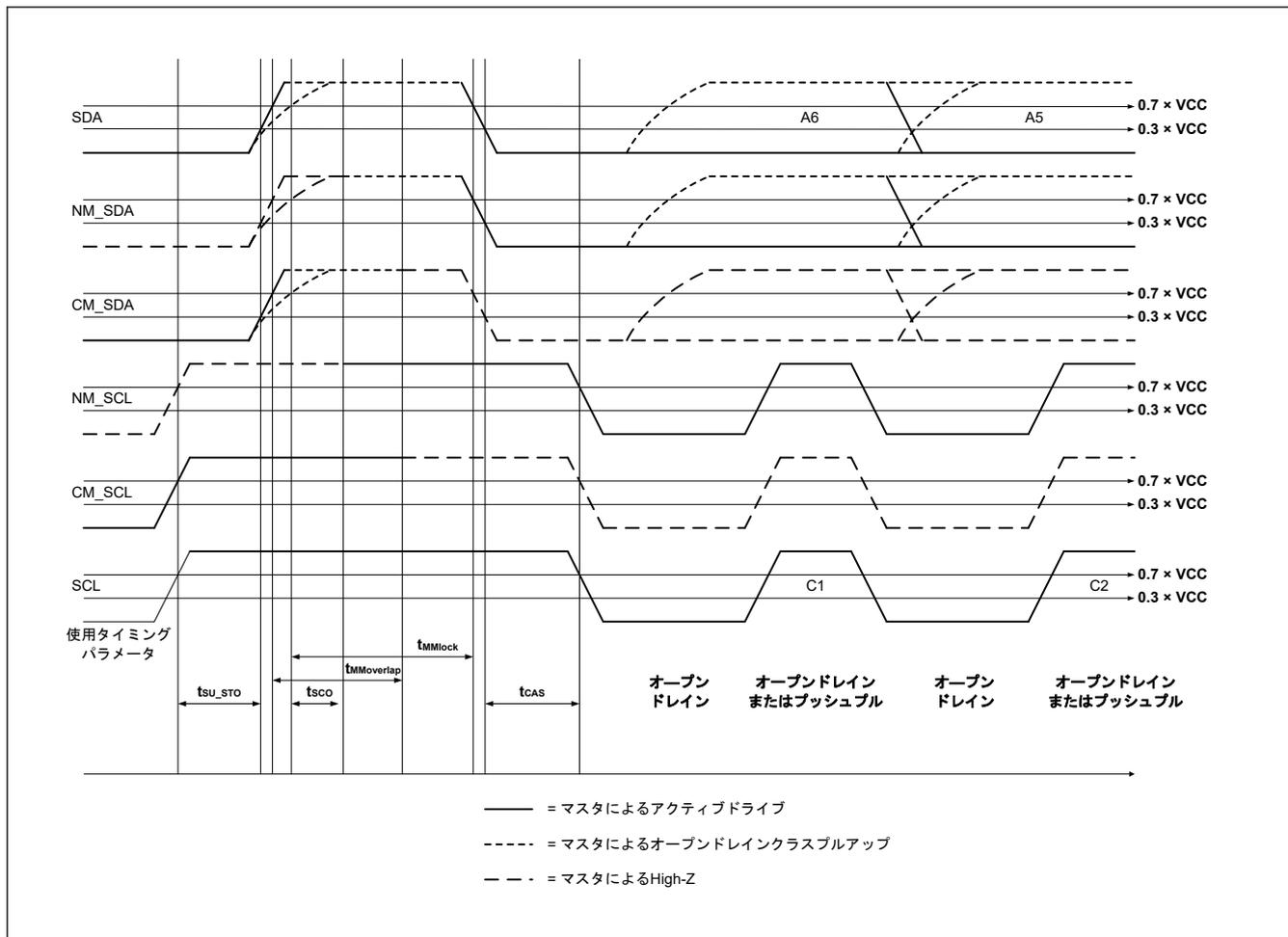


図 2.77 マスタ間のバス移管

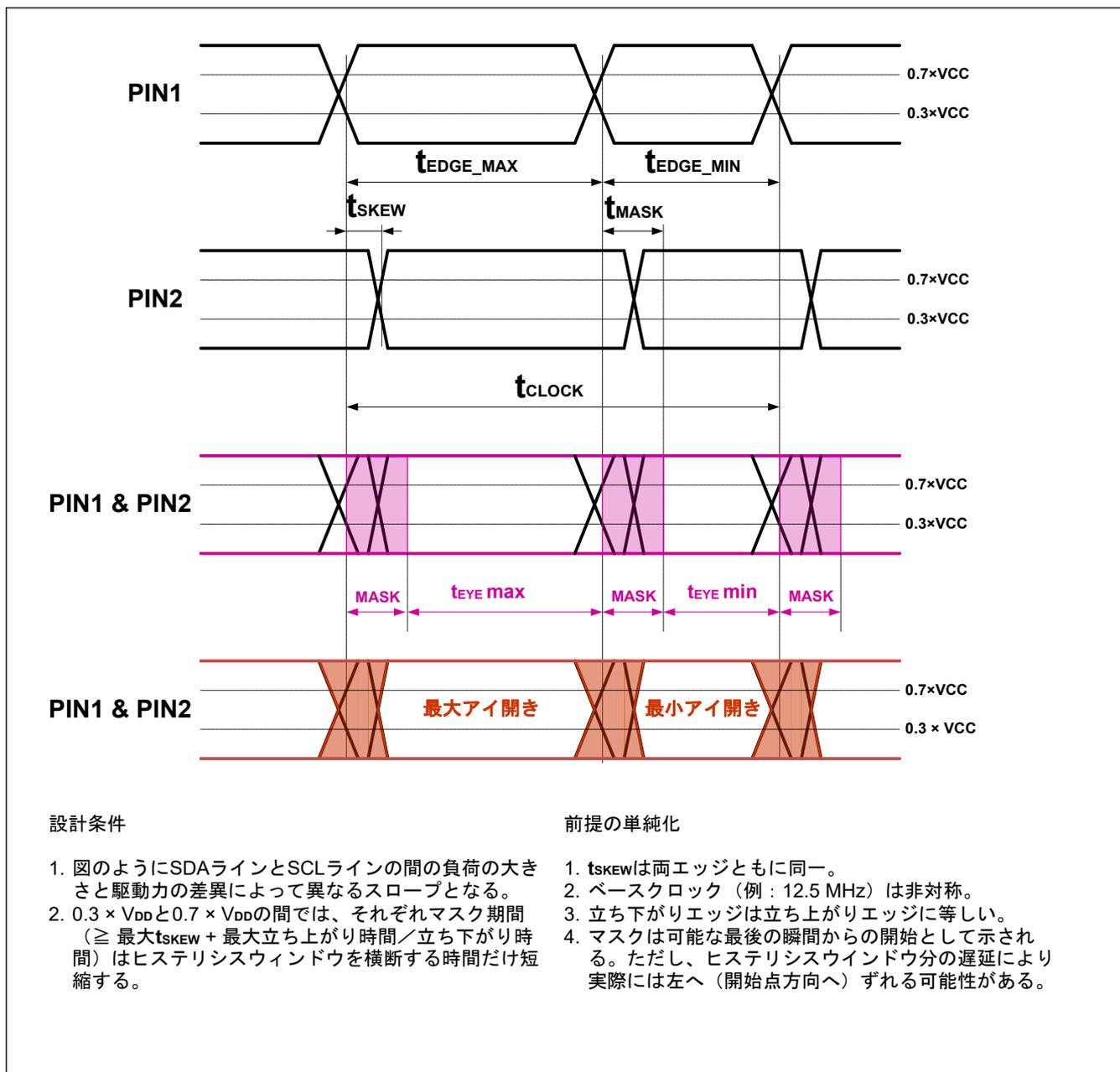


図 2.78 Ternary プロトコルタイミング

## 2.3.13 SD/MMC ホストインタフェースタイミング

表 2.54 SD/MMC ホストインタフェース信号タイミング

条件：PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットで高駆動出力が選択されています。  
 特定条件で高速高駆動出力が選択されています。「注 1」を参照してください。  
 クロックデューティ比は 50% です。

項目	シンボル	VCC/VCC2	Min	Max	単位	測定条件
SDnCLK クロックサイクル	tSDCYC	2.70 V 以上	20	—	ns	図 2.79
		1.70~1.95 V(注1)	20	—		
		1.70~1.95 V	40	—		
SDnCLK クロック High レベルパルス幅	tSDWH	2.70 V 以上	6.5	—	ns	
		1.70~1.95 V(注1)	6.5	—		
		1.70~1.95 V	13.0	—		
SDnCLK クロック Low レベルパルス幅	tSDWL	2.70 V 以上	6.5	—	ns	
		1.70~1.95 V(注1)	6.5	—		
		1.70~1.95 V	13.0	—		
SDnCLK クロック立ち上がり時間	tSDLH	2.70 V 以上	—	3.0	ns	
		1.70~1.95 V(注1)	—	4.0		
		1.70~1.95 V	—	8.0		
SDnCLK クロック立ち下がり時間	tSDHL	2.70 V 以上	—	3.0	ns	
		1.70~1.95 V(注1)	—	4.0		
		1.70~1.95 V	—	8.0		
SDnCMD/SDnDATm 出力データ遅延	tSDODLY	2.70 V 以上	-7.0	4.0	ns	
		1.70~1.95 V(注1)	-7.0	7.0		
		1.70~1.95 V	-15.0	15.0		
SDnCMD/SDnDATm 入力データセットアップ	tSDIS	2.70 V 以上	4.5	—	ns	
		1.70~1.95 V(注1)	4.5	—		
		1.70~1.95 V	20.0	—		
SDnCMD/SDnDATm 入力データホールド	tSDIH	2.70 V 以上	1.5	—	ns	
		1.70~1.95 V	1.5	—		

注. 属するグループを示すため、例えば\_A、\_Bといった文字が端子名に付加されています。同じ文字が付加された端子を使用してください。SD/MMC ホストインタフェースについては、電気的特性の AC タイミングを各グループで測定しています。

注. SD1DAT4\_A~SD1DAT7\_A 使用時、VCC = VCC2 のときに限って上記の特性が保証されます。

注 1. Ch0 グループ B ("SD0\*\_B") および Ch1 グループ A ("SD1\*\_A") にのみ対応  
 以下の端子は、PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットで高速高駆動出力が選択されています：  
 SD0CLK\_B, SD1CLK\_A

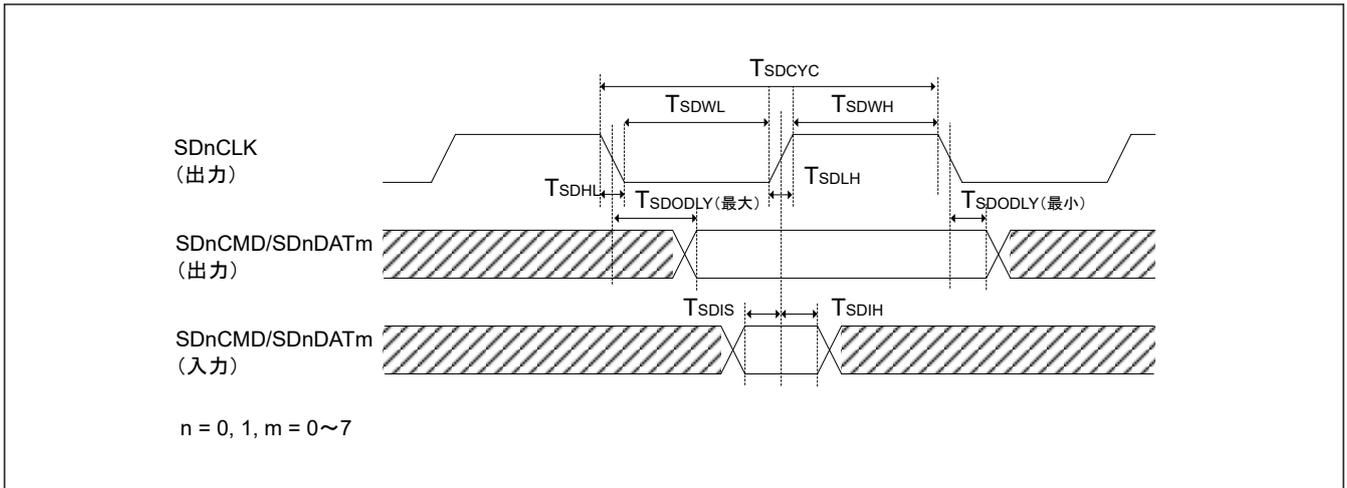


図 2.79 SD/MMC ホストインタフェース信号タイミング

## 2.3.14 ETHERC タイミング

表 2.55 ETHERC タイミング

条件: ETHERC (RMII): 以下の端子は、PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットで中駆動出力が選択されています: ET0\_MDC、ET0\_MDIO  
 その他の端子は、PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットで高駆動出力が選択されています。  
 ETHERC (MII): PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットで中駆動出力が選択されています。

項目	シンボル	VCC	Min	Max	単位	測定条件	
ETHERC (RMII)	REF50CK0 サイクル時間	2.70 V 以上	20	—	ns	図 2.80～図 2.83	
	REF50CK0 周波数、Typ. 50 MHz		—	50 + 100 ppm	MHz		
	REF50CK0 デューティー		35	65	%		
	REF50CK0 立ち上がり/立ち下がり時間		$T_{ckr/ckf}$	0.5	3.5		ns
	RMII_XXXX(注1)出力遅延時間		$T_{co}$	2.5	12.0		ns
	RMII_XXXX(注2)セットアップ時間		$T_{su}$	3	—		ns
	RMII_XXXX(注2)ホールド時間		$T_{hd}$	1	—		ns
	RMII_XXXX(注1)(注2)立ち上がり/立ち下がり時間		$T_r/T_f$	0.5	5.0		ns
	ET0_WOL 出力遅延時間		$t_{WOLd}$	1	23.5		ns
ETHERC (MII)	ET0_TX_CLK サイクル時間	$t_{Tcyc}$	40	—	ns	—	
	ET0_TX_EN 出力遅延時間	$t_{TENd}$	1	20	ns	図 2.85	
	ET0_ETXD0～ET_ETXD3 出力遅延時間	$t_{MTDd}$	1	20	ns		
	ET0_CRS セットアップ時間	$t_{CRSs}$	10	—	ns		
	ET0_CRS ホールド時間	$t_{CRSh}$	10	—	ns		
	ET0_COL セットアップ時間	$t_{COLs}$	10	—	ns		図 2.86
	ET0_COL ホールド時間	$t_{COLh}$	10	—	ns		
	ET0_RX_CLK サイクル時間	$t_{TRcyc}$	40	—	ns	—	
	ET0_RX_DV セットアップ時間	$t_{RDVs}$	10	—	ns	図 2.87	
	ET0_RX_DV ホールド時間	$t_{RDVh}$	10	—	ns		
	ET0_ERXD0～ET_ERXD3 セットアップ時間	$t_{MRDs}$	10	—	ns		
	ET0_ERXD0～ET_ERXD3 ホールド時間	$t_{MRDh}$	10	—	ns		
	ET0_RX_ER セットアップ時間	$t_{RERs}$	10	—	ns	図 2.88	
	ET0_RX_ER ホールド時間	$t_{RESh}$	10	—	ns		
	ET0_WOL 出力遅延時間	$t_{WOLd}$	1	23.5	ns		図 2.89

注. 以下の端子は、属するグループを示すため、例えば A、\_B といった文字が端子名に付加されています。同じ文字が付加された端子を使用してください。ETHERC (RMII) ホストインタフェースについては、電気的特性の AC タイミングを各グループで測定しています。REF50CK0\_A、REF50CK0\_B、RMII0\_XXXX\_A、RMII0\_XXXX\_B

注 1. RMII\_TXD\_EN、RMII\_TXD1、RMII\_TXD0

注 2. RMII\_CRS\_DV、RMII\_RXD1、RMII\_RXD0、RMII\_RX\_ER

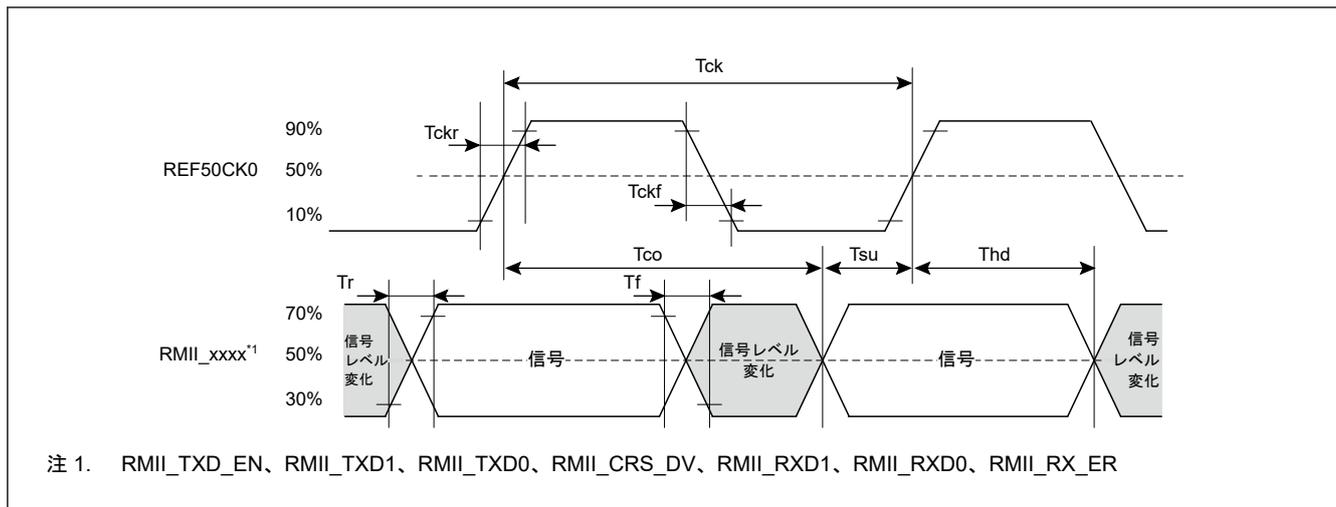


図 2.80 REF50CK0、RMII の信号タイミング

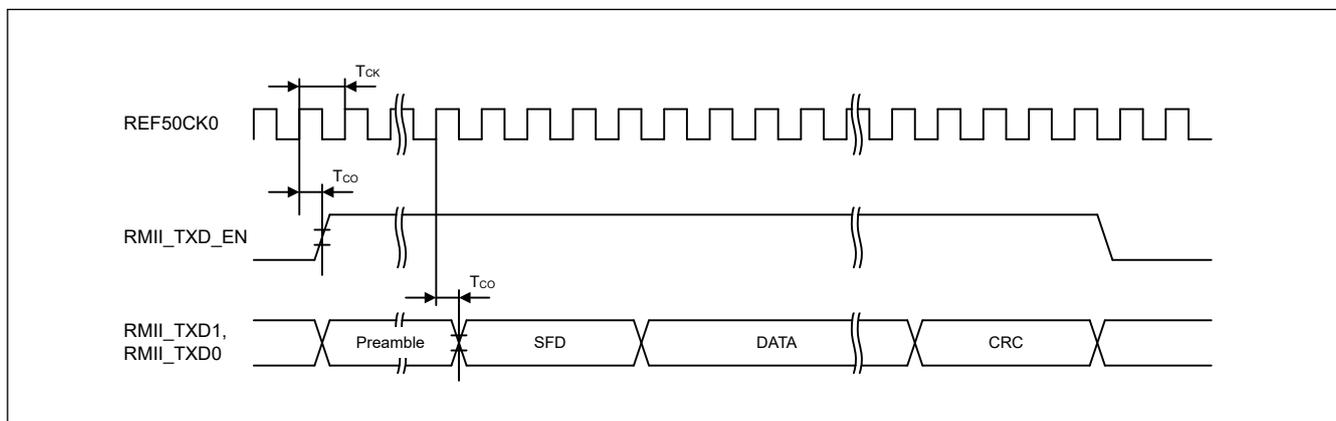


図 2.81 RMII 送信タイミング

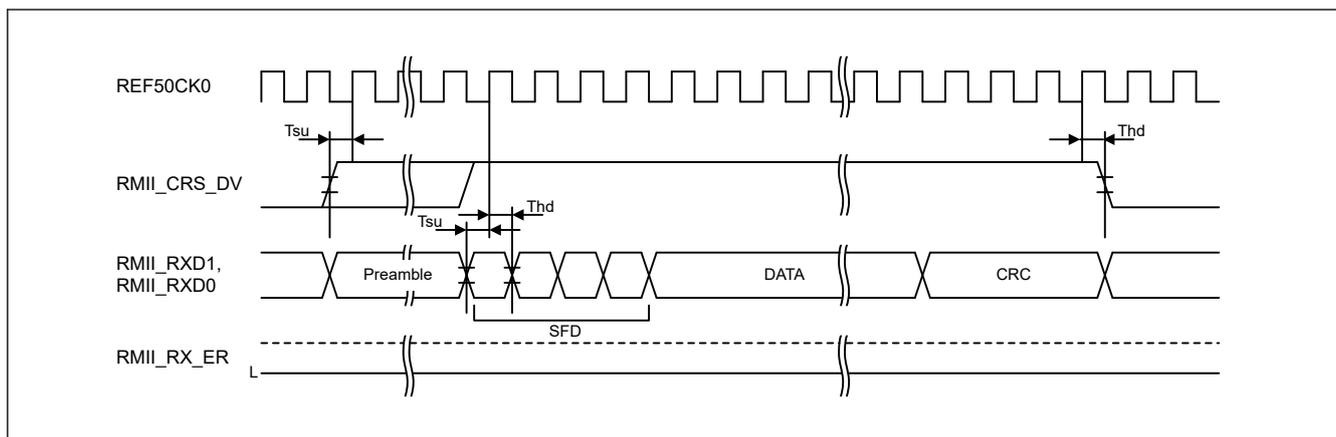


図 2.82 正常動作時の RMII 受信タイミング

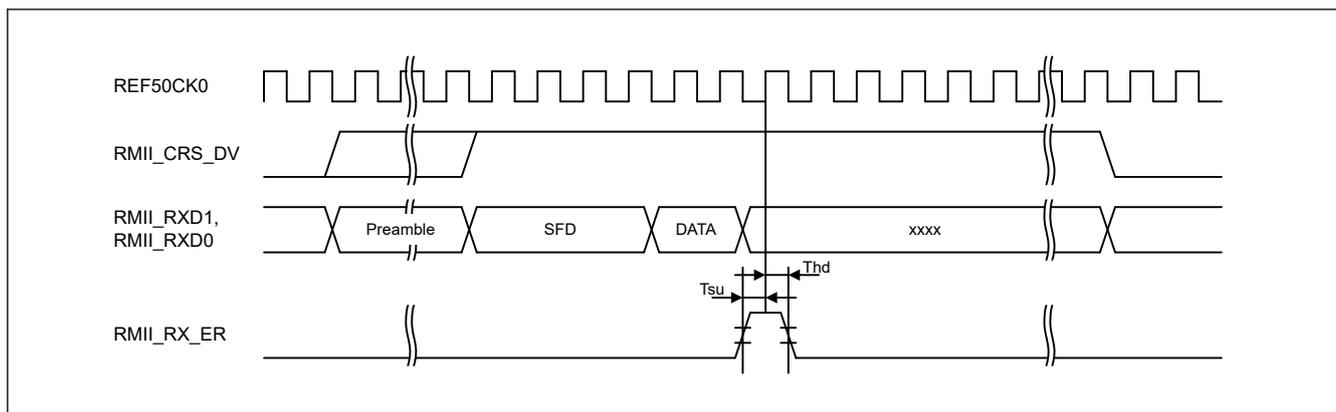


図 2.83 エラー発生時の RMII 受信タイミング

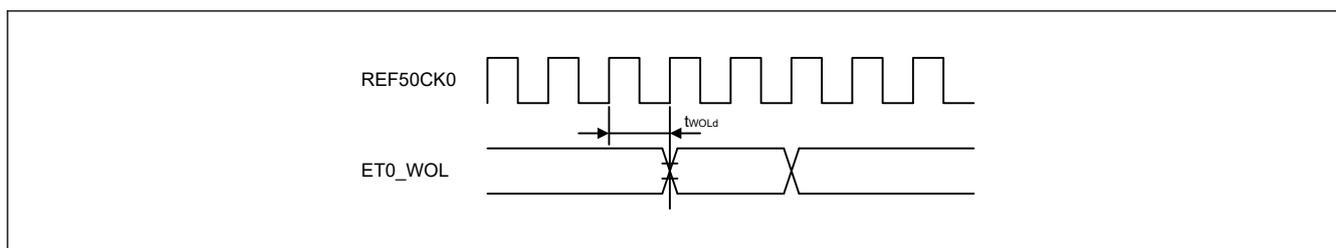


図 2.84 RMII に対する WOL 出カタイミング

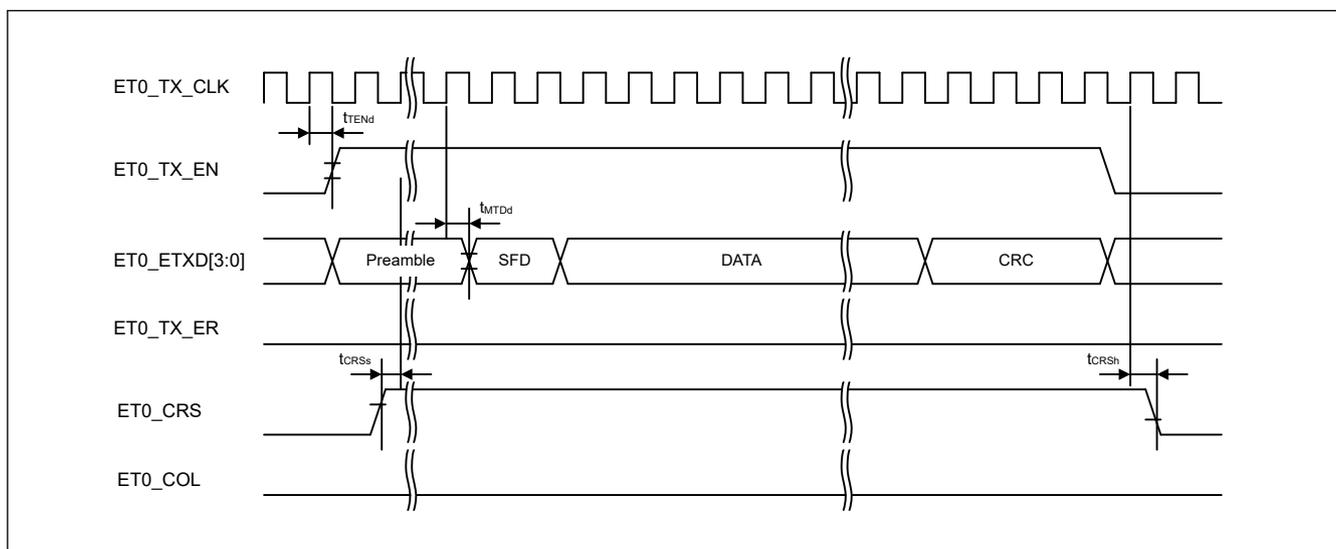


図 2.85 正常動作時の MII 送信タイミング

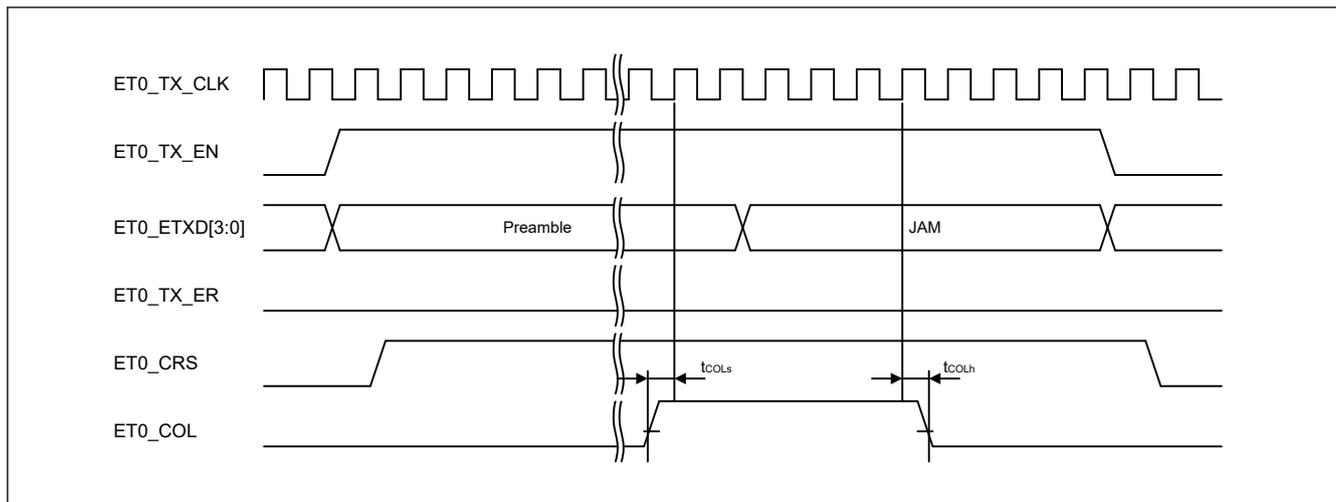


図 2.86 競合発生時の MII 送信タイミング

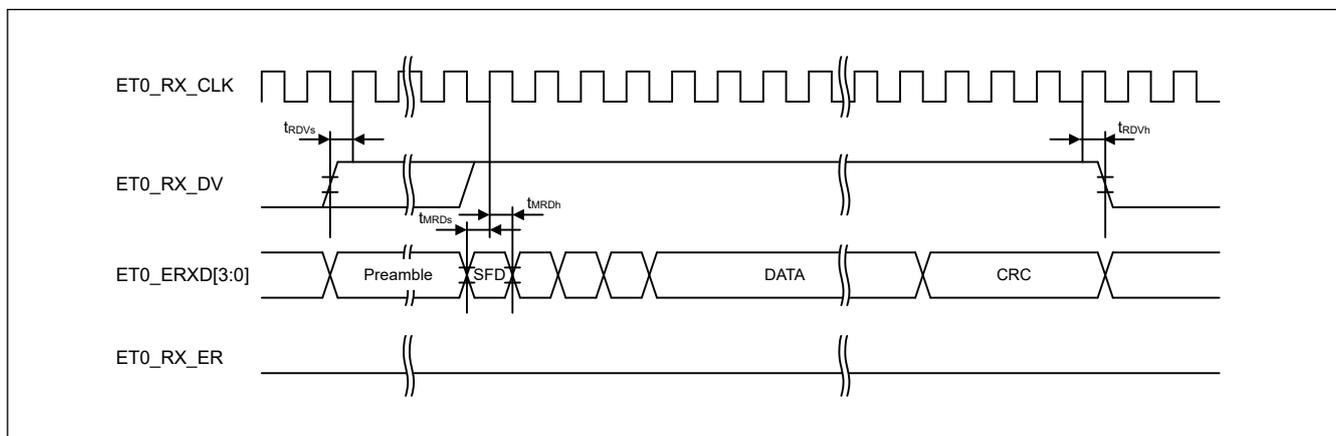


図 2.87 正常動作時の MII 受信タイミング

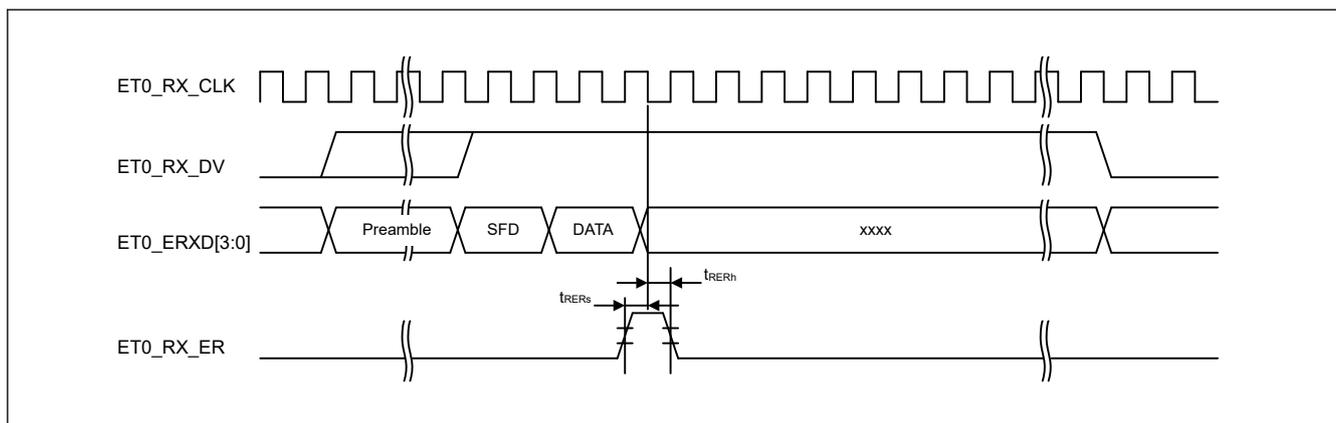


図 2.88 エラー発生時の MII 受信タイミング

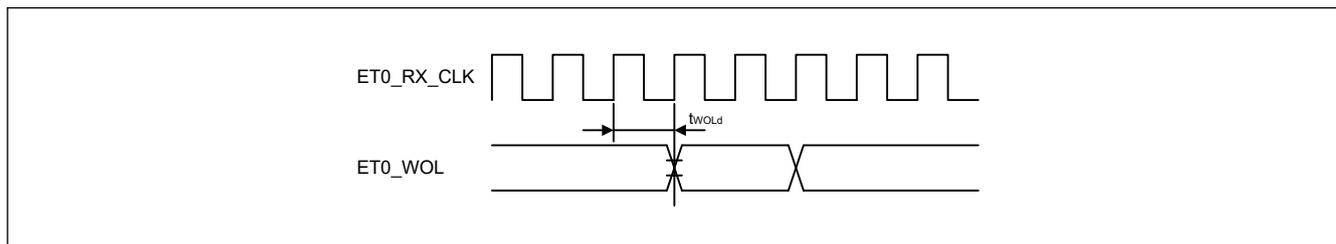


図 2.89 MII に対する WOL 出カタイミング

### 2.3.15 CANFD タイミング

表 2.56 CANFD インタフェースタイミング

項目	シンボル	VCC/VCC2	Min	Max	単位	測定条件
内部遅延時間	$t_{node}$	2.70 V 以上	—	50	ns	図 2.90
		1.68 V 以上 (VCC) 1.65 V 以上 (VCC2)	—	50		

注. 内部遅延時間 ( $t_{node}$ ) = 内部転送遅延時間 ( $t_{output}$ ) + 内部受信遅延時間 ( $t_{input}$ )

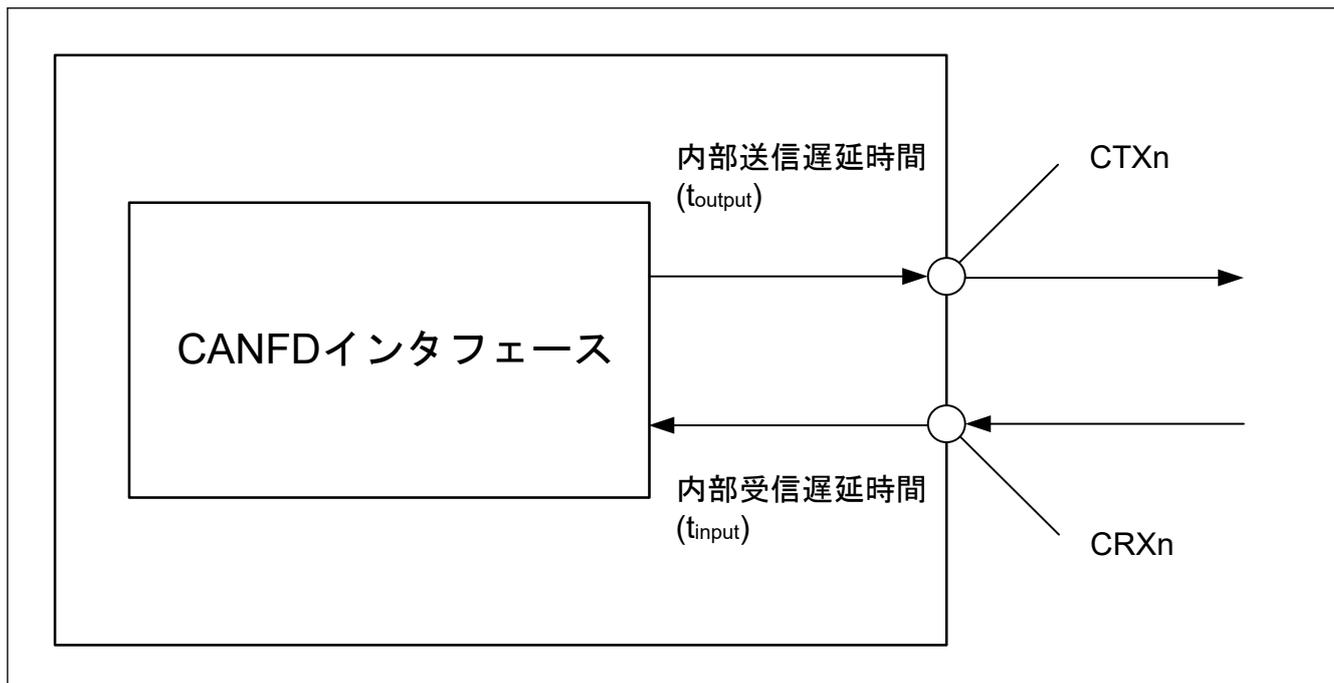


図 2.90 CANFD インタフェース条件

## 2.4 USB 特性

### 2.4.1 USBFS タイミング

表 2.57 ホストに限定した USBFS 低速特性 (USB\_DP 端子および USB\_DM 端子特性) (1/2)

条件 : VCC = VCC\_USB = 3.0~3.6 V、USBCLK = 48 MHz

項目		シンボル	Min	Typ	Max	単位	測定条件
入力特性	入力 High レベル電圧	$V_{IH}$	2.0	—	—	V	—
	入力 Low レベル電圧	$V_{IL}$	—	—	0.8	V	—
	差動入力感度	$V_{DI}$	0.2	—	—	V	USB_DP - USB_DM
	差動コモンモードレンジ	$V_{CM}$	0.8	—	2.5	V	—
出力特性	出力 High レベル電圧	$V_{OH}$	2.8	—	3.6	V	$I_{OH} = -200 \mu A$
	出力 Low レベル電圧	$V_{OL}$	0.0	—	0.3	V	$I_{OL} = 2 \text{ mA}$
	クロスオーバー電圧	$V_{CRS}$	1.3	—	2.0	V	図 2.91
	立ち上がり時間	$t_{LR}$	75	—	300	ns	
	立ち下がり時間	$t_{LF}$	75	—	300	ns	
	立ち上がり/立ち下がり時間比	$t_{LR} / t_{LF}$	80	—	125	%	$t_{LR} / t_{LF}$

表 2.57 ホストに限定した USBFS 低速特性 (USB\_DP 端子および USB\_DM 端子特性) (2/2)

条件: VCC = VCC\_USB = 3.0~3.6 V, USBCLK = 48 MHz

項目	シンボル	Min	Typ	Max	単位	測定条件
プルアップ/ プルダウン特性	R <sub>pd</sub>	14.25	—	24.80	kΩ	—

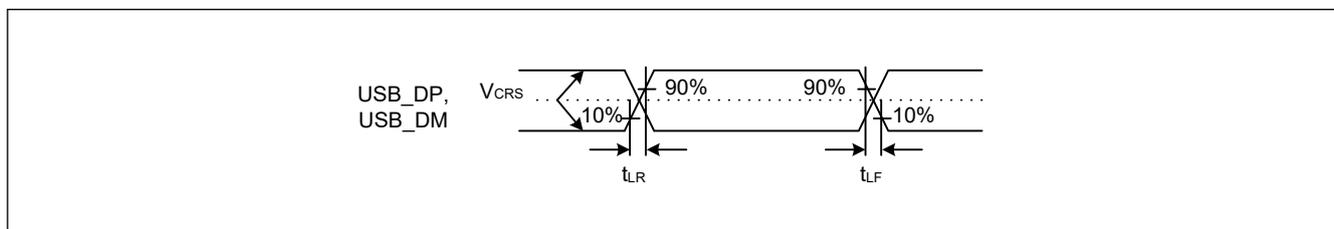


図 2.91 Low-speed モードにおける USB\_DP、USB\_DM の出力タイミング

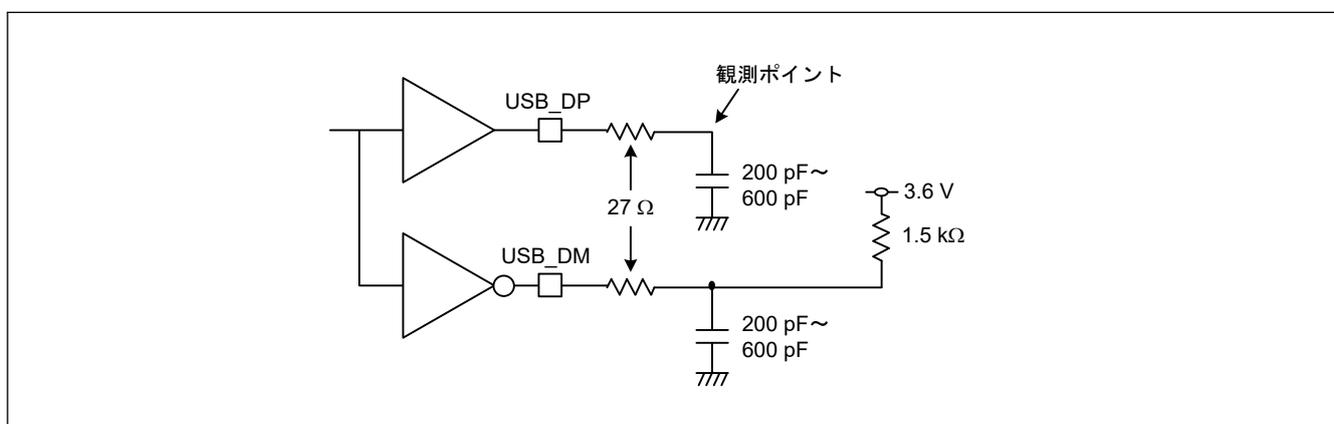


図 2.92 Low-speed モードにおける測定回路

表 2.58 USBFS フルスピード特性 (USB\_DP 端子および USB\_DM 端子特性)

条件: VCC = VCC\_USB = 3.0~3.6 V, USBCLK = 48 MHz

項目	シンボル	Min	Typ	Max	単位	測定条件	
入力特性	入力 High レベル電圧	V <sub>IH</sub>	2.0	—	—	V	
	入力 Low レベル電圧	V <sub>IL</sub>	—	—	0.8	V	
	差動入力感度	V <sub>DI</sub>	0.2	—	—	V	USB_DP - USB_DM
	差動コモンモードレンジ	V <sub>CM</sub>	0.8	—	2.5	V	—
出力特性	出力 High レベル電圧	V <sub>OH</sub>	2.8	—	3.6	V	I <sub>OH</sub> = -200 μA
	出力 Low レベル電圧	V <sub>OL</sub>	0.0	—	0.3	V	I <sub>OL</sub> = 2 mA
	クロスオーバー電圧	V <sub>CRS</sub>	1.3	—	2.0	V	図 2.93
	立ち上がり時間	t <sub>LR</sub>	4	—	20	ns	t <sub>FR</sub> / t <sub>FF</sub>
	立ち下がり時間	t <sub>LF</sub>	4	—	20	ns	
	立ち上がり/立ち下がり時間比	t <sub>LR</sub> / t <sub>LF</sub>	90	—	111.11	%	
	出力抵抗	Z <sub>DRV</sub>	28	—	44	Ω	USBFS: R <sub>s</sub> = 27 Ω 含む
プルアップ/ プルダウン特性	デバイスコントローラモードにおける DM プルアップ抵抗	R <sub>pu</sub>	0.900	—	1.575	kΩ	アイドル状態の間
		R <sub>pu</sub>	1.425	—	3.090	kΩ	送受信中
	ホストコントローラモードにおける USB_DP、USB_DM のプルダウン抵抗	R <sub>pd</sub>	14.25	—	24.80	kΩ	—

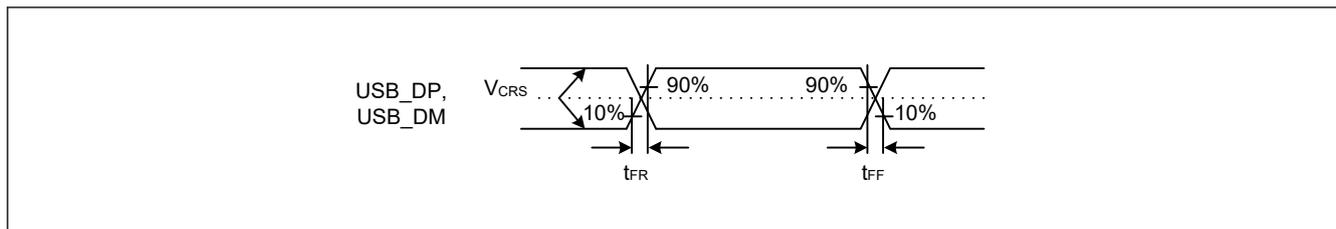


図 2.93 フルスピードモードにおける USB\_DP、USB\_DM の出カタイミング

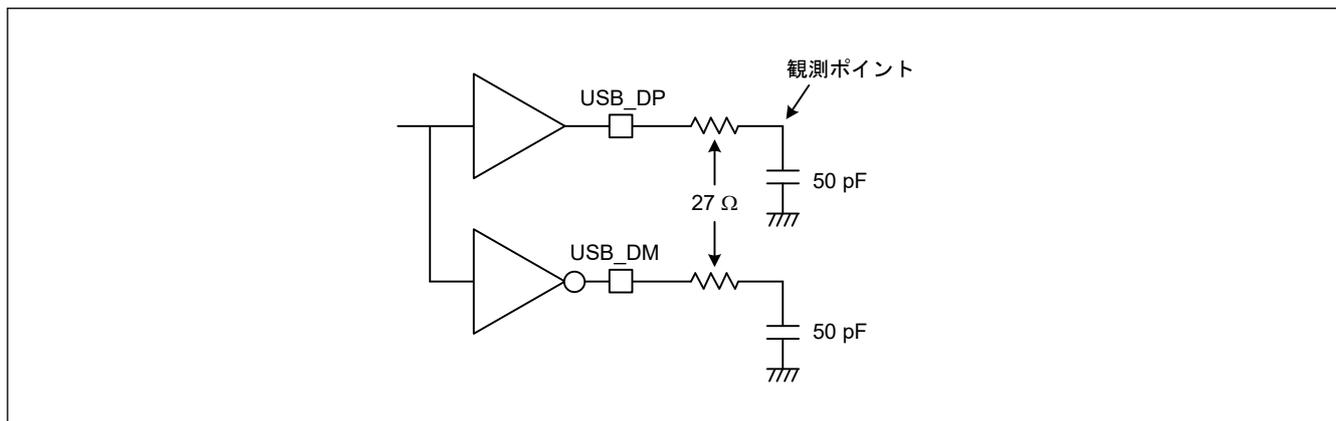


図 2.94 フルスピードモードにおける測定回路

## 2.5 ADC12 特性

表 2.59 ユニット 0 の A/D 変換特性 (DCDC モード) (1/2)

条件 : PCLKC = 1~60 MHz

項目		Min	Typ	Max	単位	測定条件	
周波数		1	—	60	MHz	—	
アナログ入力容量		—	—	30	pF	—	
量子化誤差		—	±0.5	—	LSB	—	
分解能		—	—	12	ビット	—	
使用中のチャンネル専用サンプル&ホールド回路 (AN000~AN002)	変換時間(注1) (PCLKC = 60 MHz で動作時)	許容信号源インピーダンス Max = 1 kΩ	1.06 (0.4 + 0.25)(注2)	—	—	μs	<ul style="list-style-type: none"> <li>チャンネル専用サンプル&amp;ホールド回路 24 ステートのサンプリング</li> <li>サンプリング 15 ステート</li> </ul>
	オフセット誤差		—	±1.5	±3.5	LSB	AN000~AN002 = 0.25 V
	フルスケール誤差		—	±1.5	±3.5	LSB	AN000~AN002 = VREFH0 - 0.25 V
	絶対精度		—	±2.5	±10.5	LSB	LQFP パッケージ AVCC0 = 2.7~3.6 V VREFH0 = 2.7 V~AVCC0
			—	±2.5	±7.5		LQFP パッケージ AVCC0 = VREFH0 = 2.7~3.6 V
			—	±2.5	±5.5		BGA パッケージ AVCC0 = 2.7~3.6 V VREFH0 = 2.7 V~AVCC0
	DNL 微分非直線性誤差		—	±1.0	±2.0	LSB	—
	INL 積分非直線性誤差		—	±1.5	±4.0	LSB	—
	サンプル&ホールド回路のホールド特性		—	—	20	μs	—
ダイナミックレンジ		0.25	—	VREFH0 - 0.25	V	—	

表 2.59 ユニット 0 の A/D 変換特性 (DCDC モード) (2/2)

条件 : PCLKC = 1~60 MHz

項目	Min	Typ	Max	単位	測定条件		
高精度チャンネル、未使用のチャンネル専用サンプル&ホールド回路 (AN000~AN002, AN004~AN008)	変換時間(注1) (PCLKC = 60 MHz で動作時)	許容信号源インピーダンス Max = 1 kΩ	0.48 (0.267) <sup>(注2)</sup>	—	—	μs	サンプリング 16 ステート
		Max = 400 Ω	0.40 (0.183) <sup>(注2)</sup>	—	—	μs	サンプリング 11 ステート AVCC0 = VREFH0 = 3.0~3.6 V
	オフセット誤差	—	±1.0	±2.5	LSB	—	
	フルスケール誤差	—	±1.0	±3.5	LSB	—	
	絶対精度	—	±2.0	±7.5	LSB	LQFP パッケージ AVCC0 = 2.7~3.6 V VREFH0 = 2.7 V~AVCC0	
		—	±2.0	±6.0	LSB	LQFP パッケージ AVCC0 = VREFH0 = 2.7~3.6 V	
		—	±2.0	±5.5	LSB	BGA パッケージ AVCC0 = 2.7~3.6 V VREFH0 = 2.7 V~AVCC0	
DNL 微分非直線性誤差	—	±0.5	±2.0	LSB	—		
INL 積分非直線性誤差	—	±1.0	±2.5	LSB	—		
通常精度チャンネル (AN016~AN019)	変換時間(注1) (PCLKC = 60 MHz で動作時)	許容信号源インピーダンス Max = 1 kΩ	0.88 (0.667) <sup>(注2)</sup>	—	—	μs	サンプリング 40 ステート
	オフセット誤差	—	±1.0	±5.5	LSB	—	
	フルスケール誤差	—	±1.0	±5.5	LSB	—	
	絶対精度	—	±2.0	±10.0	LSB	LQFP パッケージ AVCC0 = 2.7~3.6 V VREFH0 = 2.7 V~AVCC0	
		—	±2.0	±7.5	LSB	LQFP パッケージ AVCC0 = VREFH0 = 2.7~3.6 V	
		—	±2.0	±7.5	LSB	BGA パッケージ AVCC0 = 2.7~3.6 V VREFH0 = 2.7 V~AVCC0	
	DNL 微分非直線性誤差	—	±0.5	±4.5	LSB	—	
INL 積分非直線性誤差	—	±1.0	±5.5	LSB	—		

注. これらの規格値は、1つだけ A/D コンバータが動作中で、D/A コンバータと ACMPHS が動作しておらず、A/D 変換中に外部バスアクセスがない場合に適用されます。

他の A/D コンバータ、D/A コンバータ、または ACMPHS が動作中か、あるいは A/D 変換中にバスアクセスが発生した場合は、記載した範囲に数値が収まらない可能性があります。

12 ビット A/D コンバータ使用時は、ポート 0 をデジタル出力として使用しないでください。

上記の特性は、AVCC0、AVSS0、VREFH0、VREFH、VREFL0、VREFL および 12 ビット A/D コンバータの入力電圧が安定しているときの特性です。

注 1. 変換時間にはサンプリング時間と比較時間が含まれます。測定条件には、サンプリングステート数が示されています。

注 2. ( ) 内の値は、サンプリング時間を意味します。

表 2.60 ユニット 1 の A/D 変換特性 (DCDC モード) (1/2)

条件 : PCLKC = 1~60 MHz

項目	Min	Typ	Max	単位	測定条件
周波数	1	—	60	MHz	—
アナログ入力容量	—	—	30	pF	—
量子化誤差	—	±0.5	—	LSB	—
分解能	—	—	12	ビット	—

表 2.60 ユニット 1 の A/D 変換特性 (DCDC モード) (2/2)

条件: PCLKC = 1~60 MHz

項目	Min	Typ	Max	単位	測定条件		
高精度チャンネル (AN100~AN102, AN104~AN106)	変換時間(注1) (PCLKC = 60 MHz で動作時)	許容信号源インピーダンス Max = 1 kΩ	0.48 (0.267) <sup>(注2)</sup>	—	—	μs	サンプリング 16 ステート
		Max = 400 Ω	0.40 (0.183) <sup>(注2)</sup>	—	—	μs	サンプリング 11 ステート AVCC0 = VREFH = 3.0~3.6 V
	オフセット誤差	—	±1.0	±2.5	LSB	—	
	フルスケール誤差	—	±1.0	±3.5	LSB	—	
	絶対精度	—	±2.0	±7.5	LSB	LQFP パッケージ AVCC0 = 2.7~3.6 V VREFH = 2.7 V~AVCC0	
		—	±2.0	±6.0		LQFP パッケージ AVCC0 = VREFH = 2.7~3.6 V	
		—	±2.0	±5.5		BGA パッケージ AVCC0 = 2.7~3.6 V VREFH = 2.7 V~AVCC0	
	DNL 微分非直線性誤差	—	±0.5	±2.0	LSB	—	
	INL 積分非直線性誤差	—	±1.0	±2.5	LSB	—	
	通常精度チャンネル (AN116~AN122)	変換時間(注1) (PCLKC = 60 MHz で動作時)	許容信号源インピーダンス Max = 1 kΩ	0.88 (0.667) <sup>(注2)</sup>	—	—	μs
オフセット誤差			—	±1.0	±5.5	LSB	—
フルスケール誤差		—	±1.0	±5.5	LSB	—	
絶対精度		—	±2.0	±10.0	LSB	LQFP パッケージ AVCC0 = 2.7~3.6 V VREFH = 2.7 V~AVCC0	
		—	±2.0	±7.5		LQFP パッケージ AVCC0 = VREFH = 2.7~3.6 V	
		—	±2.0	±7.5		BGA パッケージ AVCC0 = 2.7~3.6 V VREFH = 2.7 V~AVCC0	
DNL 微分非直線性誤差		—	±0.5	±4.5	LSB	—	
INL 積分非直線性誤差	—	±1.0	±5.5	LSB	—		

注. これらの規格値は、1つだけ A/D コンバータが動作中で、D/A コンバータと ACMPHS が動作しておらず、A/D 変換中に外部バスアクセスがない場合に適用されます。

他の A/D コンバータ、D/A コンバータ、または ACMPHS が動作中か、あるいは A/D 変換中にバスアクセスが発生した場合は、記載した範囲に数値が収まらない可能性があります。

12 ビット A/D コンバータ使用時は、ポート 0 をデジタル出力として使用しないでください。

上記の特性は、AVCC0、AVSS0、VREFH0、VREFH、VREFL0、VREFL および 12 ビット A/D コンバータの入力電圧が安定しているときの特性です。

注 1. 変換時間にはサンプリング時間と比較時間が含まれます。測定条件には、サンプリングステート数が示されています。

注 2. ( ) 内の値は、サンプリング時間を意味します。

表 2.61 ユニット 0 の A/D 変換特性 (外部 VDD モード) (1/2)

条件: PCLKC = 1~60 MHz

AVCC0 = 2.7~3.6 V, VREFH0 = 2.7~3.6 V

項目	Min	Typ	Max	単位	測定条件
周波数	1	—	60	MHz	—

表 2.61 ユニット 0 の A/D 変換特性 (外部 VDD モード) (2/2)

条件 : PCLKC = 1~60 MHz

AVCC0 = 2.7~3.6 V, VREFH0 = 2.7~3.6 V

項目	Min	Typ	Max	単位	測定条件		
アナログ入力容量	—	—	30	pF	—		
量子化誤差	—	±0.5	—	LSB	—		
分解能	—	—	12	ビット	—		
使用中のチャンネル専用サンプル&ホールド回路 (AN000~AN002)	変換時間(注1) (PCLKC = 60 MHz で動作時)	許容信号源インピーダンス Max = 1 kΩ	1.06 (0.4 + 0.25)(注2)	—	—	μs	<ul style="list-style-type: none"> <li>チャンネル専用サンプル&amp;ホールド回路 24 ステートのサンプリング</li> <li>サンプリング 15 ステート</li> </ul>
	オフセット誤差		—	±1.5	±3.5	LSB	AN000~AN002 = 0.25 V
	フルスケール誤差		—	±1.5	±3.5	LSB	AN000~AN002 = VREFH0 - 0.25 V
	絶対精度		—	±2.5	±5.5	LSB	—
	DNL 微分非直線性誤差		—	±1.0	±2.0	LSB	—
	INL 積分非直線性誤差		—	±1.5	±3.0	LSB	—
	サンプル&ホールド回路のホールド特性		—	—	20	μs	—
高精度チャンネル、未使用のチャンネル専用サンプル&ホールド回路 (AN000~AN002, AN004~AN008)	変換時間(注1) (PCLKC = 60 MHz で動作時)	許容信号源インピーダンス Max = 1 kΩ	0.48 (0.267)(注2)	—	—	μs	サンプリング 16 ステート
		Max = 400 Ω	0.40 (0.183)(注2)	—	—	μs	サンプリング 11 ステート AVCC0 = 3.0~3.6 V 3.0 V ≤ VREFH0 ≤ AVCC0
	オフセット誤差		—	±1.0	±2.5	LSB	—
	フルスケール誤差		—	±1.0	±3.5	LSB	—
	絶対精度		—	±2.0	±4.5	LSB	—
	INL 積分非直線性誤差		—	±1.0	±2.5	LSB	—
通常精度チャンネル (AN016~AN019)	変換時間(注1) (PCLKC = 60 MHz で動作時)	許容信号源インピーダンス Max = 1 kΩ	0.88 (0.667)(注2)	—	—	μs	サンプリング 40 ステート
		オフセット誤差		—	±1.0	±5.5	LSB
	フルスケール誤差		—	±1.0	±5.5	LSB	—
	絶対精度		—	±2.0	±7.5	LSB	—
	INL 積分非直線性誤差		—	±1.0	±5.5	LSB	—

注. これらの規格値は、1つだけ A/D コンバータが動作中で、D/A コンバータと ACMPHS が動作しておらず、A/D 変換中に外部バスアクセスがない場合に適用されます。

他の A/D コンバータ、D/A コンバータ、または ACMPHS が動作中か、あるいは A/D 変換中にバスアクセスが発生した場合は、記載した範囲に数値が収まらない可能性があります。

12 ビット A/D コンバータ使用時は、ポート 0 をデジタル出力として使用しないでください。

上記の特性は、AVCC0、AVSS0、VREFH0、VREFH、VREFL0、VREFL および 12 ビット A/D コンバータの入力電圧が安定しているときの特性です。

注 1. 変換時間にはサンプリング時間と比較時間が含まれます。測定条件には、サンプリングステート数が示されています。

注 2. ( ) 内の値は、サンプリング時間を意味します。

表 2.62 ユニット 1 の A/D 変換特性 (外部 VDD モード)

条件 : PCLKC = 1~60 MHz

AVCC0 = 2.7~3.6 V, VREFH = 2.7~3.6 V

項目	Min	Typ	Max	単位	測定条件		
周波数	1	—	60	MHz	—		
アナログ入力容量	—	—	30	pF	—		
量子化誤差	—	±0.5	—	LSB	—		
分解能	—	—	12	ビット	—		
高精度チャンネル (AN100~AN102, AN104~AN106)	変換時間(注1) (PCLKC = 60 MHz で動作時)	許容信号源インピーダンス Max = 1 kΩ	0.48 (0.267) (注2)	—	—	μs	サンプリング 16 ステート
		Max = 400 Ω	0.40 (0.183) (注2)	—	—	μs	サンプリング 11 ステート AVCC0 = 3.0~3.6 V 3.0 V ≤ VREFH ≤ AVCC0
	オフセット誤差	—	±1.0	±2.5	LSB	—	
	フルスケール誤差	—	±1.0	±3.5	LSB	—	
	絶対精度	—	±2.0	±4.5	LSB	—	
	DNL 微分非直線性誤差	—	±0.5	±1.5	LSB	—	
通常精度チャンネル (AN116~AN122)	変換時間(注1) (PCLKC = 60 MHz で動作時)	許容信号源インピーダンス Max = 1 kΩ	0.88 (0.667) (注2)	—	—	μs	サンプリング 40 ステート
		オフセット誤差	—	±1.0	±5.5	LSB	—
	フルスケール誤差	—	±1.0	±5.5	LSB	—	
	絶対精度	—	±2.0	±7.5	LSB	—	
	DNL 微分非直線性誤差	—	±0.5	±4.5	LSB	—	
	INL 積分非直線性誤差	—	±1.0	±5.5	LSB	—	

注. これらの規格値は、1 つだけ A/D コンバータが動作中で、D/A コンバータと ACMPHS が動作しておらず、A/D 変換中に外部バスアクセスがない場合に適用されます。

他の A/D コンバータ、D/A コンバータ、または ACMPHS が動作中か、あるいは A/D 変換中にバスアクセスが発生した場合は、記載した範囲に数値が収まらない可能性があります。

12 ビット A/D コンバータ使用時は、ポート 0 をデジタル出力として使用しないでください。

上記の特性は、AVCC0、AVSS0、VREFH0、VREFH、VREFL0、VREFL および 12 ビット A/D コンバータの入力電圧が安定しているときの特性です。

注 1. 変換時間にはサンプリング時間と比較時間が含まれます。測定条件には、サンプリングステート数が示されています。

注 2. ( ) 内の値は、サンプリング時間を意味します。

表 2.63 A/D 内部基準電圧特性

項目	Min	Typ	Max	単位	測定条件
A/D 内部基準電圧	1.13	1.18	1.28	V	—
サンプリング時間	4.15	—	—	μs	—

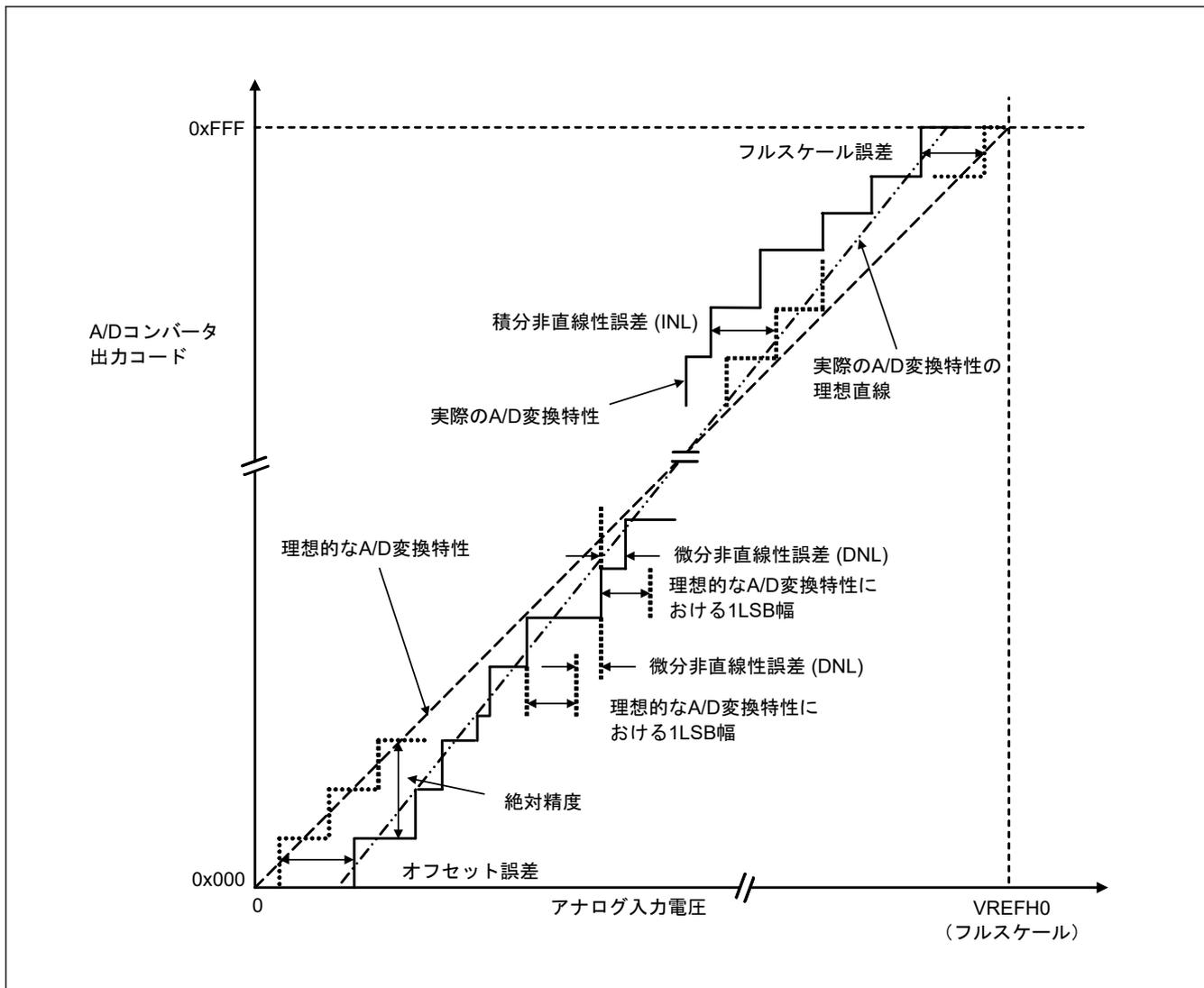


図 2.95 ADC12 特性用語の解説図

### 絶対精度

絶対精度とは、理論的 A/D 変換特性に基づく出力コードと、実際の A/D 変換結果との差です。絶対精度を測定する場合、理論的 A/D 変換特性において同じ出力コードが期待できるアナログ入力電圧の幅 (1-LSB 幅) の中点の電圧を、アナログ入力電圧として使用します。たとえば、分解能が 12 ビットで、基準電圧  $V_{REFH0} = 3.072 \text{ V}$  の場合、1-LSB 幅は  $0.75 \text{ mV}$  になり、アナログ入力電圧には  $0 \text{ mV}$ 、 $0.75 \text{ mV}$ 、 $1.5 \text{ mV}$  が使用されます。 $\pm 5 \text{ LSB}$  の絶対精度とは、アナログ入力電圧が  $6 \text{ mV}$  の場合、理論的 A/D 変換特性から期待される出力コードが  $0x008$  であっても、実際の A/D 変換結果は  $0x003 \sim 0x00D$  の範囲になることを意味します。

### 積分非直線性誤差 (INL)

積分非直線性誤差とは、測定されたオフセット誤差とフルスケール誤差をゼロにした場合の理想的な直線と実際の出力コードとの最大偏差です。

### 微分非直線性誤差 (DNL)

微分非直線性誤差とは、理想的 A/D 変換特性に基づく 1-LSB 幅と、実際の出力コード幅との差です。

### オフセット誤差

オフセット誤差とは、理想的な最初の出力コードの変化点と実際の最初の出力コードとの差です。

### フルスケール誤差

フルスケール誤差とは、理想的な最後の出力コードの変化点と実際の最後の出力コードとの差です。

表 2.64 入力チャネルごとの A/D 入力電圧範囲

項目		シンボル	Min	Typ	Max	単位	測定条件	
入力電圧範囲	ユニット 0	AN000~AN002, AN004~AN008	VI	VREFL0	—	VREFH0	V	—
		AN016~AN018		VREFL0	—	VREFH0		$VREFH0 \leq VCC$
				VREFL0	—	VCC		$VCC < VREFH0$
		AN019		VREFL0	—	VREFH0		$VREFH0 \leq VCC2$
				VREFL0	—	VCC2		$VCC2 < VREFH0$
	ユニット 1	AN100~AN102, AN104~AN106		VREFL	—	VREFH		—
		AN116~AN118		VREFL	—	VREFH		$VREFH \leq VCC$
				VREFL	—	VCC		$VCC < VREFH$
		AN119~AN122		VREFL	—	VREFH		$VREFH \leq VCC2$
				VREFL	—	VCC2		$VCC2 < VREFH$

## 2.6 DAC12 特性

表 2.65 D/A 変換特性 (1/2)

項目		Min	Typ	Max	単位	測定条件
分解能		—	—	12	ビット	—
出力アンプなし (端子出力用、AVCC0 $\geq$ 1.65V)						
絶対精度	$VREFH \geq 2.7V$	—	—	$\pm 24$	LSB	負荷抵抗 2 M $\Omega$
	$VREFH < 2.7V$	—	—	$\pm 36$		
INL	$VREFH \geq 2.7V$	—	$\pm 2.0$	$\pm 8.0$	LSB	負荷抵抗 2 M $\Omega$
	$VREFH < 2.7V$	—	$\pm 2.0$	$\pm 8.0$		
DNL	$VREFH \geq 2.7V$	—	$\pm 1.0$	$\pm 2.0$	LSB	—
	$VREFH < 2.7V$	—	$\pm 1.0$	$\pm 3.0$		
出カインピーダンス		—	8.5	—	k $\Omega$	—
変換時間	$VREFH \geq 2.7V$	—	—	3.0	$\mu s$	負荷抵抗 2 M $\Omega$ 、負荷容量 20 pF
	$VREFH < 2.7V$	—	—	6.0		
出力電圧範囲		0	—	VREFH	V	—
出力アンプなし (内部出力用、AVCC0 $\geq$ 1.65V)						
絶対精度	$VREFH \geq 2.7V$	—	—	$\pm 4.0$	LSB	—
	$VREFH < 2.7V$	—	—	$\pm 6.0$		
変換時間	$VREFH \geq 2.7V$	—	—	3.0	$\mu s$	—
	$VREFH < 2.7V$	—	—	6.0		
出力電圧範囲		0	—	VREFH	V	—
出力アンプあり (AVCC0 $\geq$ 2.70 V)						

表 2.65 D/A 変換特性 (2/2)

項目		Min	Typ	Max	単位	測定条件
INL		—	±2.0	±4.0	LSB	—
DNL		—	±1.0	±2.0	LSB	—
変換時間		—	—	3.5	μs	—
負荷抵抗		5	—	—	kΩ	—
負荷容量		—	—	50	pF	—
出力電圧範囲	VREFH ≥ 2.7V	0.20	—	VREFH - 0.20	V	—
	VREFH < 2.7V	0.22	—	VREFH - 0.22		—

## 2.7 TSN 特性

表 2.66 TSN 特性

項目	シンボル	Min	Typ	Max	単位	測定条件
相対精度	—	—	±1.0	—	°C	—
温度傾斜	—	—	4.0	—	mV/°C	—
出力電圧 (25°C時)	—	—	1.24	—	V	—
温度センサ起動時間	t <sub>START</sub>	—	—	30	μs	—
サンプリング時間	—	4.15	—	—	μs	—

## 2.8 OSC 停止検出特性

表 2.67 発振停止検出回路特性

項目	シンボル	Min	Typ	Max	単位	測定条件
検出時間	t <sub>dr</sub>	—	—	1	ms	<a href="#">図 2.96</a>

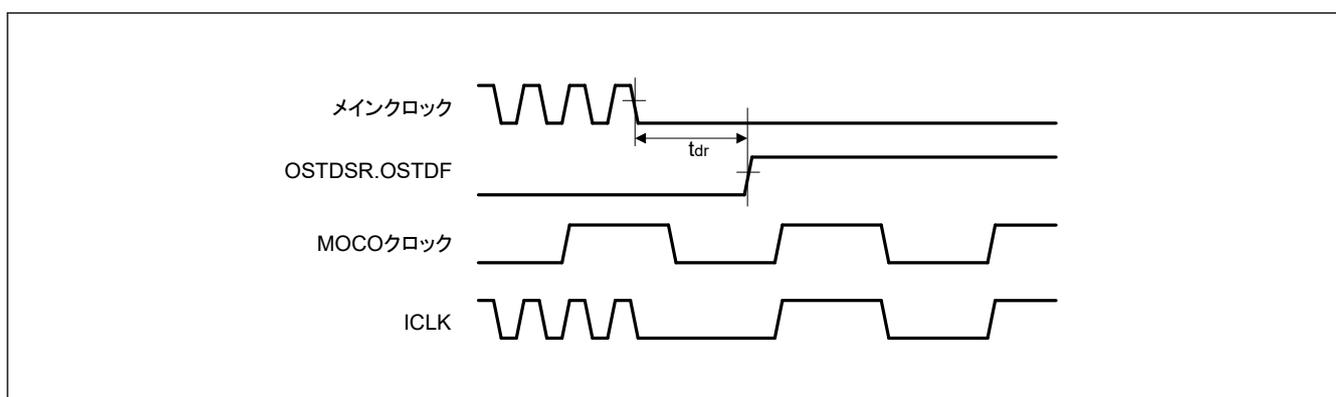


図 2.96 発振停止検出タイミング

## 2.9 POR と PVD の特性

表 2.68 パワーオンリセット回路と電圧検出回路の特性 (1/2)

項目	シンボル	Min	Typ	Max	単位	測定条件		
電圧検出レベル	パワーオンリセット (POR)	Tj = 25°C	V <sub>POR1</sub>	1.55	1.60	1.68	V	<a href="#">図 2.97</a>
		Tj = 125°C		1.55	1.60	1.70		
		Tj = 25°C	V <sub>POR2</sub>	1.65	1.70	1.79		
		Tj = 125°C		1.65	1.70	1.81		
	電圧検出回路 (PVD0)	V <sub>det0_0</sub>	2.76	2.85	2.99	V	<a href="#">図 2.98</a>	
		V <sub>det0_1</sub>	2.50	2.58	2.71			
		V <sub>det0_2</sub>	2.08	2.15	2.27			
		V <sub>det0_3</sub>	1.94	2.00	2.12			
		V <sub>det0_4</sub>	1.84	1.90	2.01			
		V <sub>det0_5</sub>	1.74	1.80	1.91			
		V <sub>det0_6</sub>	1.65	1.70	1.81			
		V <sub>det0_7</sub>	1.55	1.60	1.70			
	電圧検出回路 (PVDn) (n = 1, 2)	V <sub>detn_3_rise</sub>	3.78	3.92	4.10	V	<a href="#">図 2.99</a>	
		V <sub>detn_3_fall</sub>	3.72	3.86	4.04			
		V <sub>detn_4_rise</sub>	3.09	3.20	3.35			
		V <sub>detn_4_fall</sub>	3.03	3.14	3.29			
		V <sub>detn_5_rise</sub>	3.05	3.16	3.31			
		V <sub>detn_5_fall</sub>	2.99	3.10	3.25			
		V <sub>detn_6_rise</sub>	3.03	3.14	3.29			
		V <sub>detn_6_fall</sub>	2.97	3.08	3.23			
V <sub>detn_7_rise</sub>		2.81	2.91	3.05				
V <sub>detn_7_fall</sub>		2.75	2.85	2.99				
V <sub>detn_8_rise</sub>		2.79	2.89	3.03				
V <sub>detn_8_fall</sub>		2.73	2.83	2.97				
V <sub>detn_9_rise</sub>		2.76	2.86	3.00				
V <sub>detn_9_fall</sub>		2.70	2.80	2.94				
V <sub>detn_10_rise</sub>		2.58	2.67	2.80				
V <sub>detn_10_fall</sub>		2.53	2.62	2.75				
電圧検出レベル	電圧検出回路 (PVDn) (n = 1, 2)	V <sub>detn_12_rise</sub>	1.88	1.94	2.05	V	<a href="#">図 2.99</a>	
		V <sub>detn_12_fall</sub>	1.84	1.90	2.01			
		V <sub>detn_13_rise</sub>	1.84	1.90	2.01			
		V <sub>detn_13_fall</sub>	1.80	1.86	1.97			
		V <sub>detn_14_rise</sub>	1.72	1.78	1.89			
		V <sub>detn_14_fall</sub>	1.68	1.74	1.85			
		V <sub>detn_15_rise</sub>	1.69	1.75	1.85			
		V <sub>detn_15_fall</sub>	1.65	1.71	1.81			

表 2.68 パワーオンリセット回路と電圧検出回路の特性 (2/2)

項目	シンボル	Min	Typ	Max	単位	測定条件		
内部リセット時間 (注1)	パワーオンリセット時間	$t_{POR1}$	—	—	8.2	ms	図 2.97	
		$t_{POR2}$	—	—	4.5			
	PVD0 リセット時間	$t_{PVD0}$	—	—	(注1)			
	PVD1 リセット時間	$t_{PVD1}$	—	—	(注1)			
	PVD2 リセット時間	$t_{PVD2}$	—	—	(注1)			
最小 VCC 低下時間 (POR) (注2)	$100\text{ mV} < V_D$	$t_{VOFFP}$	500	—	—	$\mu\text{s}$	図 2.97	
	$50\text{ mV} < V_D \leq 100\text{ mV}$		900	—	—			
	$V_D \leq 50\text{ mV}$		2000	—	—			
最小 VCC 低下時間 (PVD) (注2)	PVD0 (ディープソフトウェアスタンバイモード 1, 2 で OFS1(_SEC).PVDLPSEL = 0)	$t_{VOFF}$	400	—	—	$\mu\text{s}$	図 2.98	
	PVD0 (上記以外)、PVD1、PVD2		200	—	—			
応答遅延時間 (POR)	$100\text{ mV} < V_D$	$t_{detp}$	—	—	500	$\mu\text{s}$	図 2.97	
	$50\text{ mV} < V_D \leq 100\text{ mV}$		—	—	900			
	$V_D \leq 50\text{ mV}$		—	—	2000			
応答遅延時間 (PVD)	PVD0 (ディープソフトウェアスタンバイモード 1, 2 で OFS1(_SEC).PVDLPSEL = 0)	$50\text{ mV} < V_D$	$t_{det}$	—	—	$\mu\text{s}$	図 2.98、図 2.99	
		$50\text{ mV} \geq V_D$		—	—			400
	PVD0 (上記以外)、PVD1、PVD2	$100\text{ mV} < V_D$		—	—			10
		$100\text{ mV} \geq V_D$		—	—			200
PVD 動作安定時間 (PVD 有効切り替え後)		$T_d (E-A)$	—	—	20	$\mu\text{s}$	図 2.99	

- 注 1.  $t_{DSBY}$  の値が  $t_{PVD0}$  の最大値となります。それは、ディープソフトウェアスタンバイモードから復帰した時に内部リセット時間が最大となるからです。  
 $t_{DSTBY}$  の値が  $t_{PVD1}$  と  $t_{PVD2}$  の最大値となります。それは、ディープソフトウェアスタンバイモードから復帰した時に内部リセット時間が最大となるからです。
- 注 2. 最小 VCC 低下時間は、POR/PVD の電圧検出レベル  $V_{POR1}$ 、 $V_{det1}$ 、 $V_{det2}$  の最小値を VCC が下回っている時間です。

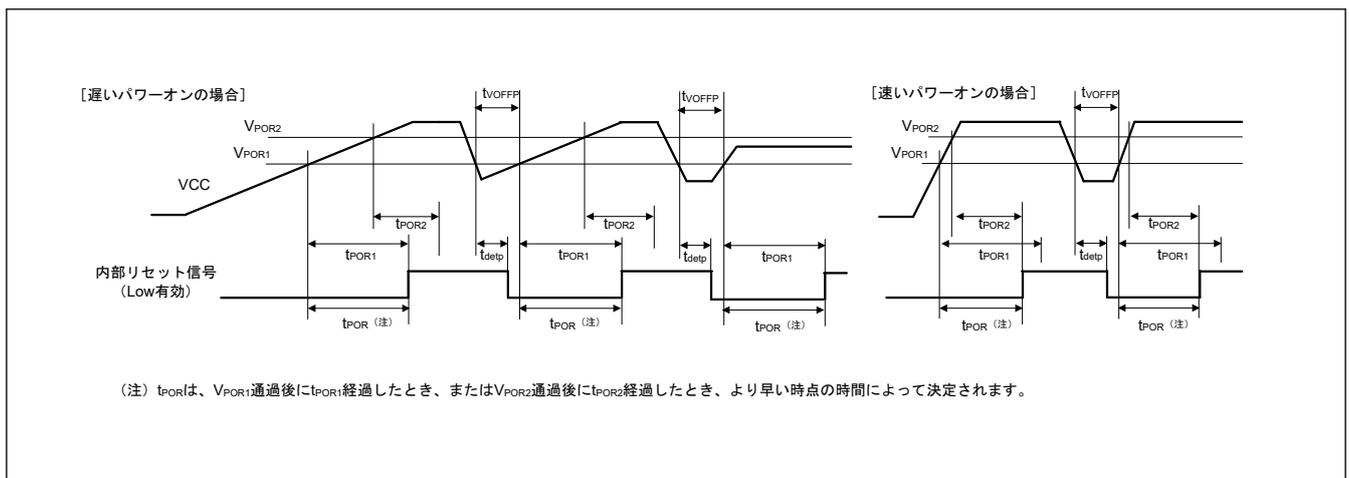


図 2.97 パワーオンリセットタイミング

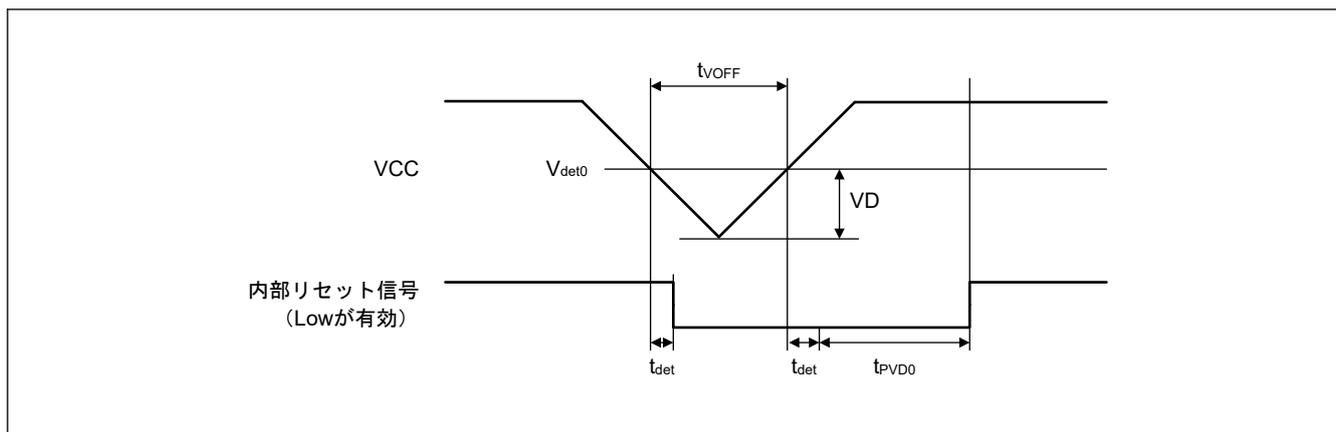


図 2.98 電圧検出回路タイミング ( $V_{det0}$ )

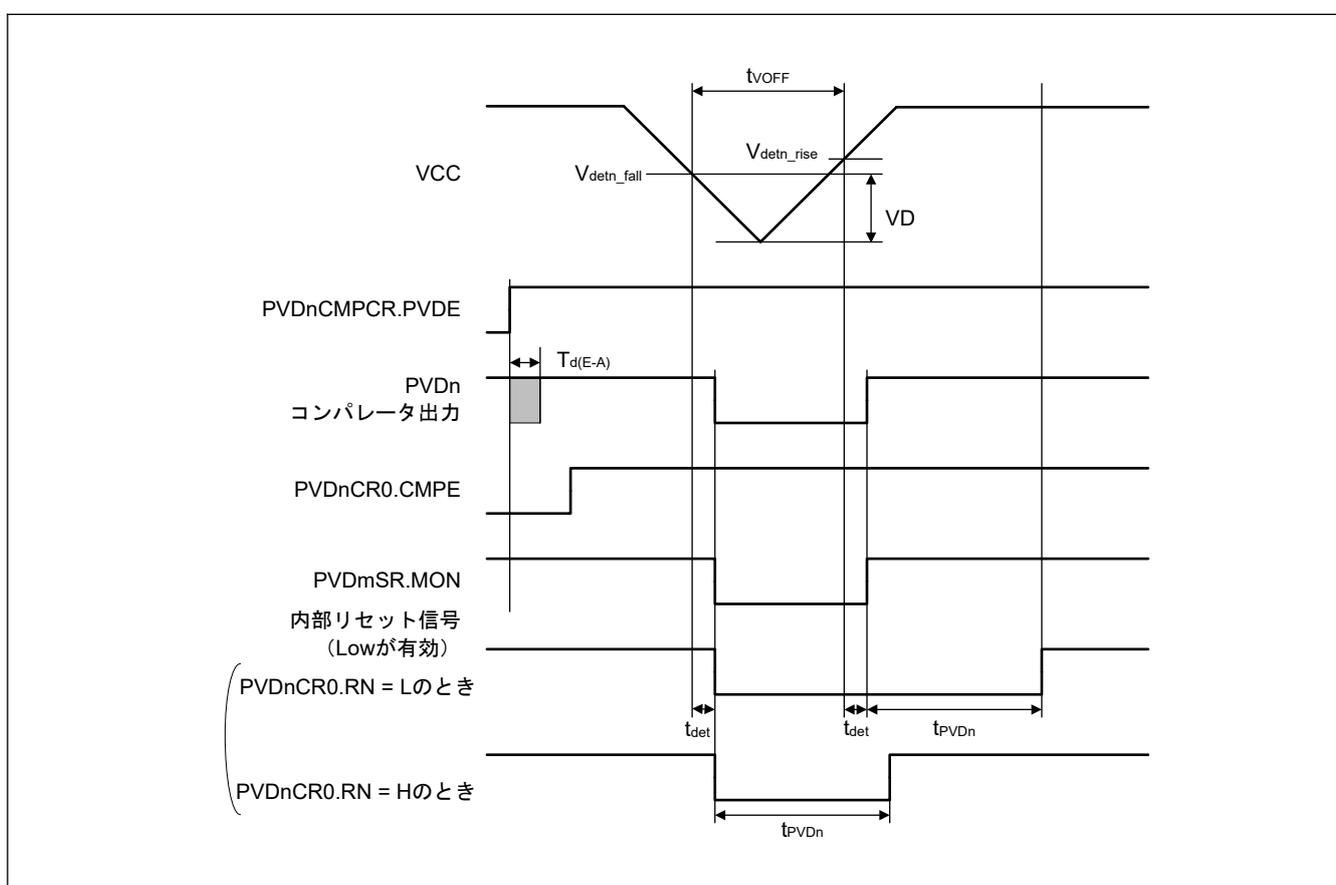


図 2.99 電圧検出回路タイミング ( $V_{detn}$ ) ( $n = 1, 2$ )

## 2.10 ACMPHS 特性

表 2.69 ACMPHS (1/2)

項目	シンボル	Min	Typ	Max	単位	測定条件	
基準電圧範囲	VREF	0	—	AVCC0	V	—	
入力電圧範囲	ACMPHS0	VI	0	—	AVCC0	V	—
			0	—	AVCC0		—
	ACMPHS1	IVCMP1~IVCMP3	0	—	AVCC0	V	VCC >= AVCC0
			0	—	VCC		VCC < AVCC0

表 2.69 ACMPHS (2/2)

項目	シンボル	Min	Typ	Max	単位	測定条件
出力遅延(注1)	Td	—	50	100	ns	VI = VREF ± 100 mV
内部基準電圧	Vref	1.13	1.18	1.28	V	—

注 1. 内部伝搬遅延の値です。

## 2.11 フラッシュメモリ特性

### 2.11.1 コードフラッシュメモリ特性

表 2.70 コードフラッシュメモリ特性

条件：プログラム/イレース：FCLK = 4~60 MHz

読み出し時：FCLK ≤ 60 MHz

項目	シンボル	FCLK = 4 MHz			20 MHz ≤ FCLK ≤ 60 MHz			単位	測定条件
		Min	Typ(注6)	Max	Min	Typ(注6)	Max		
プログラム時間 N <sub>PEC</sub> ≤ 100 回	128 バイト	t <sub>P128</sub>	—	0.75	13.2	—	0.34	6.0	ms
	8 KB	t <sub>P8K</sub>	—	49	176	—	22	80	ms
	32 KB	t <sub>P32K</sub>	—	194	704	—	88	320	ms
プログラム時間 N <sub>PEC</sub> > 100 回	128 バイト	t <sub>P128</sub>	—	0.91	15.8	—	0.41	7.2	ms
	8 KB	t <sub>P8K</sub>	—	60	212	—	27	96	ms
	32 KB	t <sub>P32K</sub>	—	234	848	—	106	384	ms
イレース時間 N <sub>PEC</sub> ≤ 100 回	8 KB	t <sub>E8K</sub>	—	78	216	—	43	120	ms
	32 KB	t <sub>E32K</sub>	—	283	864	—	157	480	ms
イレース時間 N <sub>PEC</sub> > 100 回	8 KB	t <sub>E8K</sub>	—	94	260	—	52	144	ms
	32 KB	t <sub>E32K</sub>	—	341	1040	—	189	576	ms
再プログラム/イレースサイクル(注4)	N <sub>PEC</sub>	10000(注1)	—	—	10000(注1)	—	—	回	
プログラム中のサスペンド遅延時間	t <sub>SPD</sub>	—	—	264	—	—	120	μs	
プログラムレジューム時間	t <sub>PRT</sub>	—	—	110	—	—	50	μs	
サスペンド優先モードにおけるイレース中の 1 回目のサスペンド遅延時間	t <sub>SESD1</sub>	—	—	216	—	—	120	μs	
サスペンド優先モードにおけるイレース中の 2 回目のサスペンド遅延時間	t <sub>SESD2</sub>	—	—	1.7	—	—	1.7	ms	
イレース優先モードにおけるイレース中のサスペンド遅延時間	t <sub>SEED</sub>	—	—	1.7	—	—	1.7	ms	
サスペンド優先モードにおけるイレース中の 1 回目のイレースレジューム時間(注5)	t <sub>REST1</sub>	—	—	1.7	—	—	1.7	ms	
サスペンド優先モードにおけるイレース中の 2 回目のイレースレジューム時間	t <sub>REST2</sub>	—	—	144	—	—	80	μs	
イレース優先モードにおけるイレース中のイレースレジューム時間	t <sub>REET</sub>	—	—	144	—	—	80	μs	
強制停止コマンド	t <sub>FD</sub>	—	—	32	—	—	20	μs	
データ保持時間(注2)	t <sub>DRP</sub>	10(注2)(注3)	—	—	10(注2)(注3)	—	—	年	Tj = +125°C
		20(注2)(注3)	—	—	20(注2)(注3)	—	—		Tj = +105°C
		30(注2)(注3)	—	—	30(注2)(注3)	—	—		Tj = +85°C

注 1. 再プログラム後の、すべての特性を保証する最小回数です。保証範囲は 1~最小値です。

注 2. 書き換えが仕様範囲内で行われたときの特性の最小値です。

- 注 3. この結果は信頼性試験から得られたものです。
- 注 4. 再プログラム／イレースサイクルは、ブロックごとの消去回数です。再プログラム／イレースサイクルが n 回 (n = 10,000) の場合、ブロックごとにそれぞれ n 回ずつ消去することができます。たとえば、8 KB のブロックについて、それぞれ異なるアドレスに 128 バイト書き込みを 64 回に分けて行った後に、そのブロックを消去した場合も、再プログラム／イレースサイクル回数は 1 回と数えます。ただし、消去 1 回に対して、同一アドレスに複数回の書き込みを行うことはできません。上書きはしないでください。
- 注 5. レジューム時には、サスペンド時に中断されたイレースパルス（最大 1 フルパルス）を再印加する時間が含まれます。
- 注 6. VCC = 3.3 V および室温における基準値。

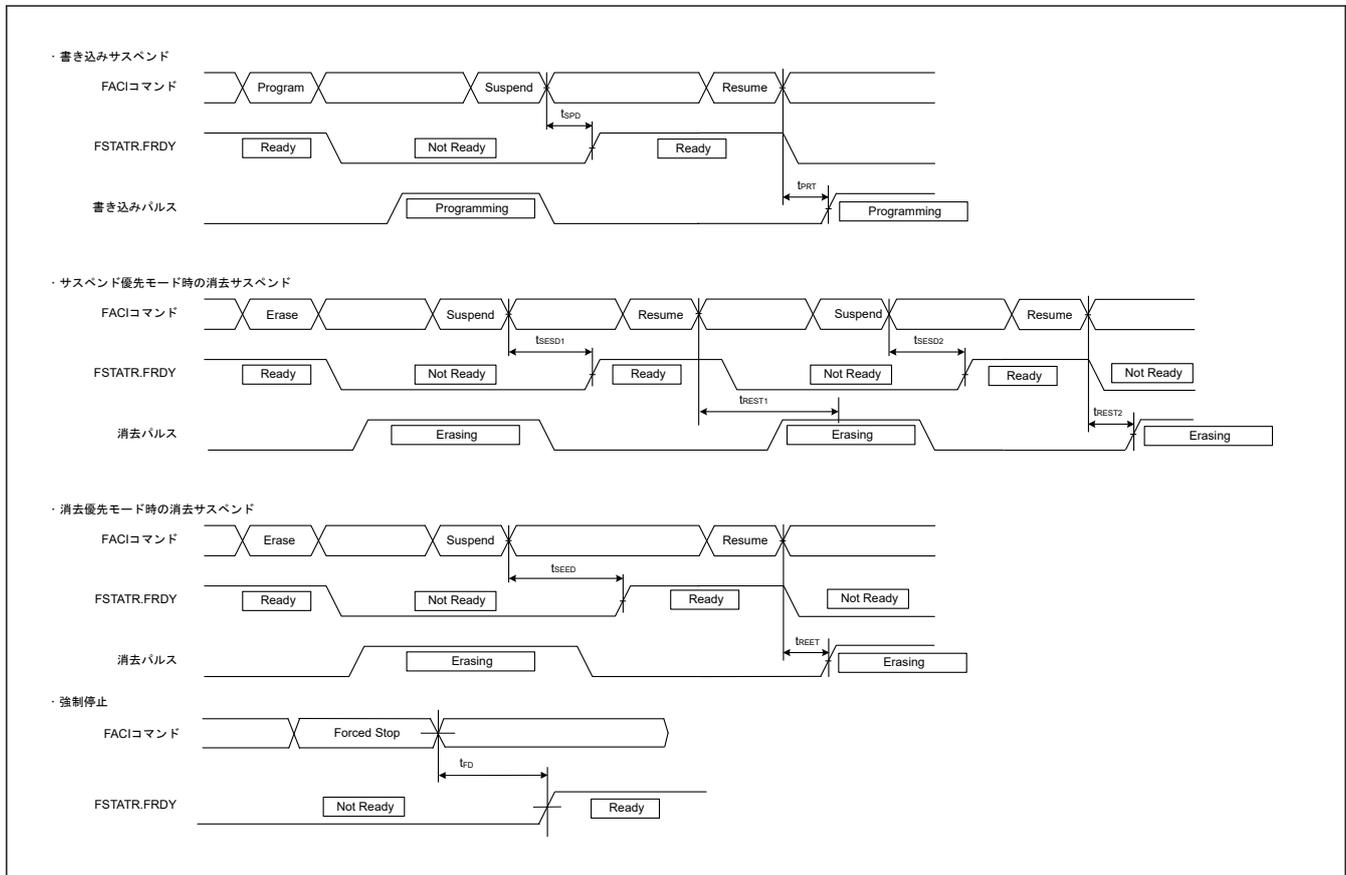


図 2.100 フラッシュメモリのプログラム／イレースのサスペンドタイミングと強制停止タイミング

### 2.11.2 データフラッシュメモリ特性

表 2.71 データフラッシュメモリ特性 (1/2)

条件：プログラム／イレース：FCLK = 4~60 MHz  
読み出し時：FCLK ≤ 60 MHz

項目	シンボル	FCLK = 4 MHz			20 MHz ≤ FCLK ≤ 60 MHz			単位	測定条件
		Min	Typ(注6)	Max	Min	Typ(注6)	Max		
プログラム時間	4 バイト	$t_{DP4}$	—	0.36	3.8	—	0.16	1.7	ms
	8 バイト	$t_{DP8}$	—	0.38	4.0	—	0.17	1.8	
	16 バイト	$t_{DP16}$	—	0.42	4.5	—	0.19	2.0	
イレース時間	64 バイト	$t_{DE64}$	—	3.1	18	—	1.7	10	ms
	128 バイト	$t_{DE128}$	—	4.7	27	—	2.6	15	
	256 バイト	$t_{DE256}$	—	8.9	50	—	4.9	28	
ブランクチェック時間	4 バイト	$t_{DBC4}$	—	—	84	—	—	30	μs

表 2.71 データフラッシュメモリ特性 (2/2)

条件：プログラム/イレース：FCLK = 4~60 MHz

読み出し時：FCLK ≤ 60 MHz

項目	シンボル	FCLK = 4 MHz			20 MHz ≤ FCLK ≤ 60 MHz			単位	測定条件
		Min	Typ <sup>(注6)</sup>	Max	Min	Typ <sup>(注6)</sup>	Max		
再プログラム/イレースサイクル <sup>(注1)</sup>	N <sub>DPEC</sub>	125000 (注2)	—	—	125000 (注2)	—	—	—	
プログラム中のサスペンド遅延時間	4 バイト 8 バイト 16 バイト	t <sub>DSPD</sub>	—	—	264	—	—	120	μs
			—	—	264	—	—	120	
			—	—	264	—	—	120	
プログラムレジューム時間	t <sub>DPRT</sub>	—	—	110	—	—	50	μs	
サスペンド優先モードにおけるイレース中の1回目のサスペンド遅延時間	64 バイト 128 バイト 256 バイト	t <sub>DSESD1</sub>	—	—	216	—	—	120	μs
			—	—	216	—	—	120	
			—	—	216	—	—	120	
サスペンド優先モードにおけるイレース中の2回目のサスペンド遅延時間	64 バイト 128 バイト 256 バイト	t <sub>DSESD2</sub>	—	—	300	—	—	300	μs
			—	—	390	—	—	390	
			—	—	570	—	—	570	
イレース優先モードにおけるイレース中のサスペンド遅延時間	64 バイト 128 バイト 256 バイト	t <sub>DSEED</sub>	—	—	300	—	—	300	μs
			—	—	390	—	—	390	
			—	—	570	—	—	570	
サスペンド優先モードにおけるイレース中の1回目のイレースレジューム時間 <sup>(注5)</sup>	t <sub>DREST1</sub>	—	—	300	—	—	300	μs	
サスペンド優先モードにおけるイレース中の2回目のイレースレジューム時間サスペンド優先モードにおけるイレース中の1回目のイレースレジューム時間	t <sub>DREST2</sub>	—	—	126	—	—	70	μs	
イレース優先モードにおけるイレース中のイレースレジューム時間	t <sub>DREET</sub>	—	—	126	—	—	70	μs	
強制停止コマンド	t <sub>FD</sub>	—	—	32	—	—	20	μs	
データ保持時間 <sup>(注3)</sup>	t <sub>DRP</sub>	10 <sup>(注3)</sup> (注4)	—	—	10 <sup>(注3)</sup> (注4)	—	—	年	T <sub>j</sub> = +125°C
		20 <sup>(注3)</sup> (注4)	—	—	20 <sup>(注3)</sup> (注4)	—	—		T <sub>j</sub> = +105°C
		30 <sup>(注3)</sup> (注4)	—	—	30 <sup>(注3)</sup> (注4)	—	—		T <sub>j</sub> = +85°C

注 1. 再プログラム/イレースサイクルは、ブロックごとの消去回数です。再プログラム/イレースサイクルが n 回 (n = 125,000) の場合、ブロックごとにそれぞれ n 回ずつ消去することができます。たとえば、64 バイトのブロックについて、それぞれ異なる番地に 4 バイト書き込みを 16 回に分けて行った後に、そのブロックを消去した場合も、再プログラム/イレースサイクル回数は 1 回と数えます。ただし、消去 1 回に対して、同一アドレスに複数回の書き込みを行うことはできません。上書きはしないでください。

注 2. 再プログラム後の、すべての特性を保証する最小回数です。保証範囲は 1~最小値です。

注 3. 書き換えが仕様範囲内で行われたときの特性の最小値です。

注 4. 信頼性試験から得られた結果です。

注 5. レジューム時には、サスペンド時に中断されたイレースパルス（最大 1 フルパルス）を再印加する時間が含まれます。

注 6. VCC = 3.3 V および室温における基準値

### 2.11.3 オプション設定メモリ（コードフラッシュメモリ）特性

表 2.72 オプション設定メモリ（コードフラッシュメモリ）特性

条件：プログラム：FCLK = 4~60 MHz

読み出し時：FCLK ≤ 60 MHz

項目	シンボル	FCLK = 4 MHz			20 MHz ≤ FCLK ≤ 60 MHz			単位	測定条件
		Min	Typ(注4)	Max	Min	Typ(注4)	Max		
プログラム時間 N <sub>OPC</sub> ≤ 200 回	t <sub>OP</sub>	—	83	309	—	45	162	ms	
プログラム時間 N <sub>OPC</sub> > 200 回	t <sub>OP</sub>	—	100	371	—	55	195	ms	
再プログラムサイクル	N <sub>OPC</sub>	20000 (注1)	—	—	20000 (注1)	—	—	回	
データ保持時間(注2)	t <sub>DRP</sub>	10(注2) (注3)	—	—	10(注2) (注3)	—	—	年	T <sub>j</sub> = +125°C
		20(注2) (注3)	—	—	20(注2) (注3)	—	—		T <sub>j</sub> = +105°C
		30(注2) (注3)	—	—	30(注2) (注3)	—	—		T <sub>j</sub> = +85°C

注 1. 再プログラム後の、すべての特性を保証する最小回数です。保証範囲は 1~最小値です。

注 2. 書き換えが仕様範囲内で行われたときの特性の min 値です。

注 3. 信頼性試験から得られた結果です。

注 4. VCC = 3.3 V および室温における基準値

### 2.11.4 オプション設定メモリ（データフラッシュメモリ）特性

表 2.73 オプション設定メモリ（データフラッシュメモリ）特性

条件：プログラム：FCLK = 4~60 MHz

読み出し時：FCLK ≤ 60 MHz

項目	シンボル	FCLK = 4 MHz			20 MHz ≤ FCLK ≤ 60 MHz			単位	測定条件
		Min	Typ(注4)	Max	Min	Typ(注4)	Max		
コンフィグレーション設定コマンド（4 バイト/16 バイト）の命令時間	t <sub>DCCT</sub>	—	68	515	—	35	255	ms	
コンフィグレーション領域の更新サイクル	N <sub>cupc</sub>	125000 (注1)	—	—	125000 (注1)	—	—	回	
データ保持時間(注2)	t <sub>DRP</sub>	10(注2) (注3)	—	—	10(注2) (注3)	—	—	年	T <sub>j</sub> = +125°C
		20(注2) (注3)	—	—	20(注2) (注3)	—	—		T <sub>j</sub> = +105°C
		30(注2) (注3)	—	—	30(注2) (注3)	—	—		T <sub>j</sub> = +85°C

注 1. 再プログラム後の、すべての特性を保証する最小回数です。保証範囲は 1~最小値です。

注 2. 書き換えが仕様範囲内で行われたときの特性の最小値です。

注 3. 信頼性試験から得られた結果です。

注 4. VCC = 3.3 V および室温における基準値

## 2.11.5 アンチロールバックカウンタ特性

表 2.74 アンチロールバックカウンタ特性

条件：プログラム：FCLK = 4~60 MHz

読み出し時：FCLK ≤ 60 MHz

項目	シンボル	FCLK = 4 MHz			20 MHz ≤ FCLK ≤ 60 MHz			単位	測定条件
		Min	Typ(注4)	Max	Min	Typ(注4)	Max		
インクリメントカウンタおよびリフレッシュカウンタの命令時間	t <sub>IRCT</sub>	—	11.9	81	—	6.3	42	ms	
読み出しカウンタの命令時間	t <sub>RCT</sub>	—	—	25	—	—	5	μs	
更新周期（インクリメントとリフレッシュの合計）	N <sub>cupc</sub>	125000 (注1)	—	—	125000 (注1)	—	—	回	
データ保持時間(注2)	t <sub>DRP</sub>	10(注2) (注3)	—	—	10(注2) (注3)	—	—	年	T <sub>j</sub> = +125°C
		20(注2) (注3)	—	—	20(注2) (注3)	—	—		T <sub>j</sub> = +105°C
		30(注2) (注3)	—	—	30(注2) (注3)	—	—		T <sub>j</sub> = +85°C

注 1. 再プログラム後の、すべての特性を保証する最小回数です。保証範囲は 1~最小値です。

注 2. 書き換えが仕様範囲内で行われたときの特性の最小値です。

注 3. 信頼性試験から得られた結果です。

注 4. VCC = 3.3 V および室温における基準値

## 2.12 バウンダリスキャン

表 2.75 バウンダリスキャン特性 (1/2)

項目	VCC	シンボル	Min	Typ	Max	単位	測定条件
TCK クロックサイクル時間	1.68 V 以上	t <sub>TCKcyc</sub>	100	—	—	ns	図 2.101
TCK クロック High レベルパルス幅	1.68 V 以上	t <sub>TCKH</sub>	0.45	—	—	t <sub>TCKcyc</sub>	
TCK クロック Low レベルパルス幅	1.68 V 以上	t <sub>TCKL</sub>	0.45	—	—	t <sub>TCKcyc</sub>	
TCK クロック立ち上がり時間	1.68 V 以上	t <sub>TCKr</sub>	—	—	0.05(注2)	t <sub>TCKcyc</sub>	
TCK クロック立ち下がり時間	1.68 V 以上	t <sub>TCKf</sub>	—	—	0.05(注2)	t <sub>TCKcyc</sub>	
TMS セットアップ時間	1.68 V 以上	t <sub>TMSS</sub>	20	—	—	ns	図 2.102
TMS ホールド時間	1.68 V 以上	t <sub>TMSH</sub>	20	—	—	ns	
TDI セットアップ時間	1.68 V 以上	t <sub>TDIS</sub>	20	—	—	ns	
TDI ホールド時間	1.68 V 以上	t <sub>TDIH</sub>	20	—	—	ns	
TDO データ遅延時間	1.68 V 以上	t <sub>TDOD</sub>	—	—	40	ns	
キャプチャレジスタセットアップ時間	1.68 V 以上	t <sub>CAPTS</sub>	20	—	—	ns	図 2.103
キャプチャレジスタホールド時間	1.68 V 以上	t <sub>CAPTH</sub>	20	—	—	ns	
更新レジスタ遅延時間	1.68 V 以上	t <sub>UPDATED</sub>	—	—	40	ns	

表 2.75 バウンダリスキャン特性 (2/2)

項目	VCC	シンボル	Min	Typ	Max	単位	測定条件
バウンダリスキャン回路起動時間 (注1)	1.68 V 以上	T <sub>BSSTUP</sub>	t <sub>RESWP</sub>	—	—	—	図 2.104

注 1. パワーオンリセットが無効になるまで、バウンダリスキャンは機能しません。

注 2. 最長 1 μs

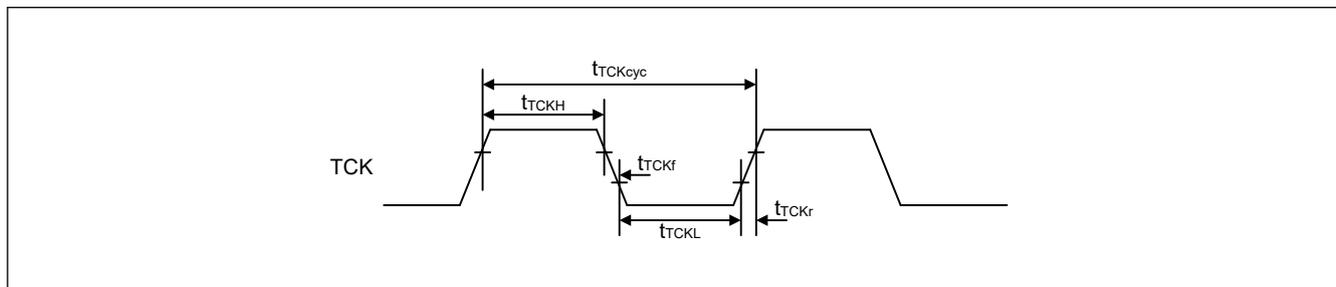


図 2.101 バウンダリスキャン TCK タイミング

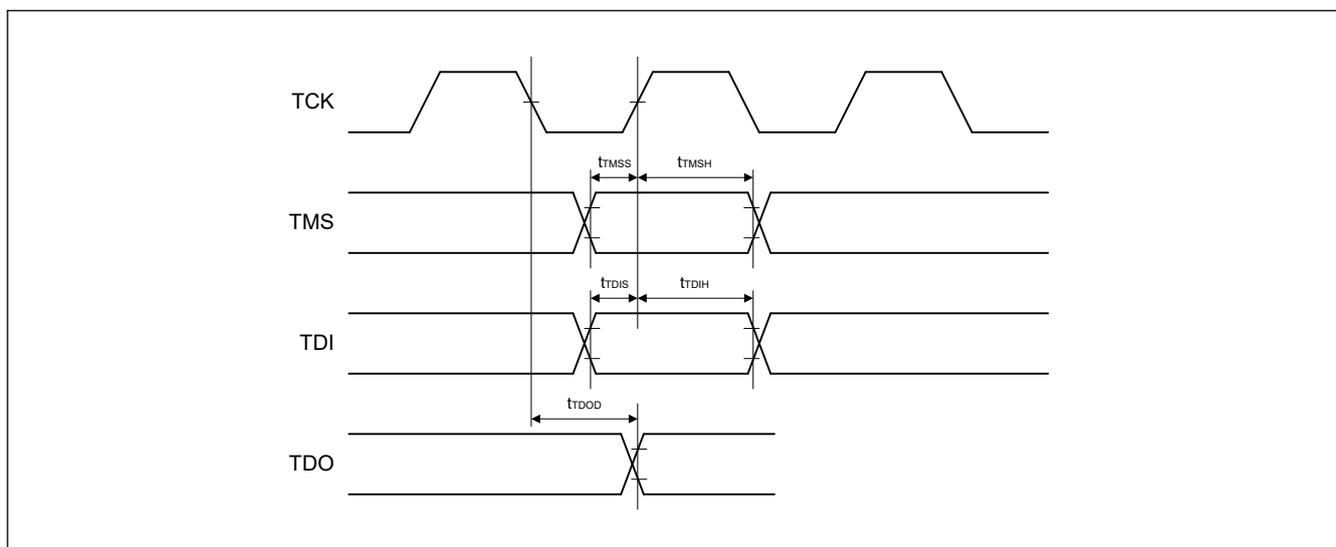


図 2.102 バウンダリスキャン入出力タイミング (1)

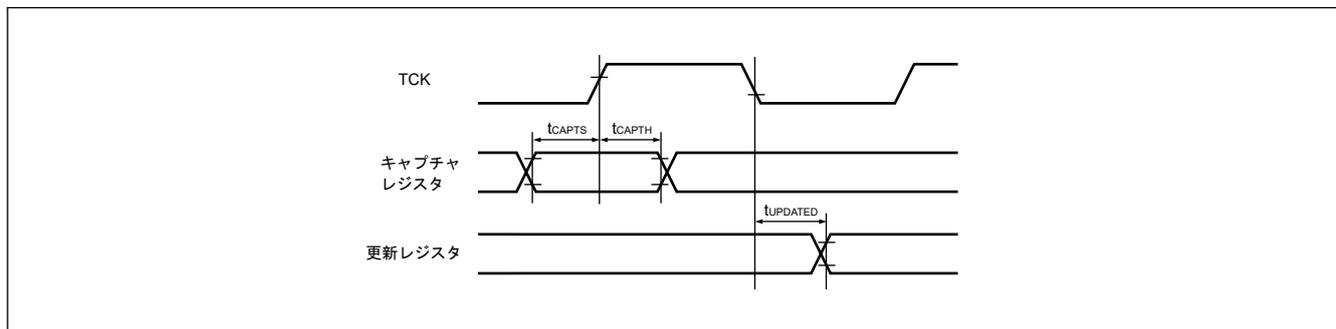


図 2.103 バウンダリスキャン入出力タイミング (2)

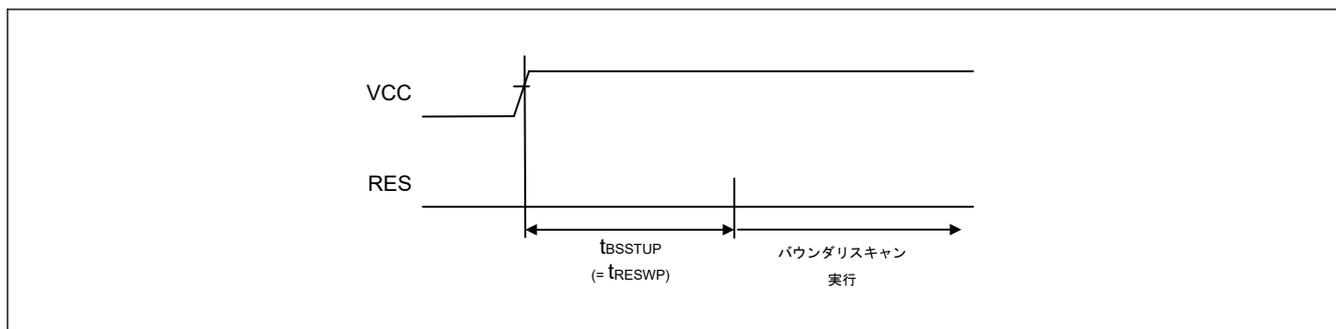


図 2.104 バウンダリスキャン回路起動タイミング

## 2.13 JTAG (Joint Test Action Group)

表 2.76 JTAG

項目	VCC	シンボル	Min	Typ	Max	単位	測定条件	
TCK クロックサイクル時間	2.7 V 以上	$t_{TCKcyc}$	40.0	—	—	ns	図 2.105	
	1.68 V 以上		40.0	—	—	ns		
TCK クロック High レベルパルス幅	2.7 V 以上	$t_{TCKH}$	0.375	—	—	$t_{TCKcyc}$		
	1.68 V 以上		0.375	—	—	$t_{TCKcyc}$		
TCK クロック Low レベルパルス幅	2.7 V 以上	$t_{TCKL}$	0.375	—	—	$t_{TCKcyc}$		
	1.68 V 以上		0.375	—	—	$t_{TCKcyc}$		
TCK クロック立ち上がり時間	2.7 V 以上	$t_{TCKr}$	—	—	0.125(注1)	$t_{TCKcyc}$		
	1.68 V 以上		—	—	0.125(注1)	$t_{TCKcyc}$		
TCK クロック立ち下がり時間	2.7 V 以上	$t_{TCKf}$	—	—	0.125(注1)	$t_{TCKcyc}$		
	1.68 V 以上		—	—	0.125(注1)	$t_{TCKcyc}$		
TMS セットアップ時間	2.7 V 以上	$t_{TMSS}$	8.0	—	—	ns		図 2.106
	1.68 V 以上		8.0	—	—	ns		
TMS ホールド時間	2.7 V 以上	$t_{TMSH}$	8.0	—	—	ns		
	1.68 V 以上		8.0	—	—	ns		
TDI セットアップ時間	2.7 V 以上	$t_{TDIS}$	8.0	—	—	ns		
	1.68 V 以上		8.0	—	—	ns		
TDI ホールド時間	2.7 V 以上	$t_{TDIH}$	8.0	—	—	ns		
	1.68 V 以上		8.0	—	—	ns		
TDO データ遅延時間	2.7 V 以上	$t_{TDOD}$	—	—	20.0	ns		
	1.68 V 以上		—	—	28.0	ns		

注 1. 最長 1  $\mu$ s

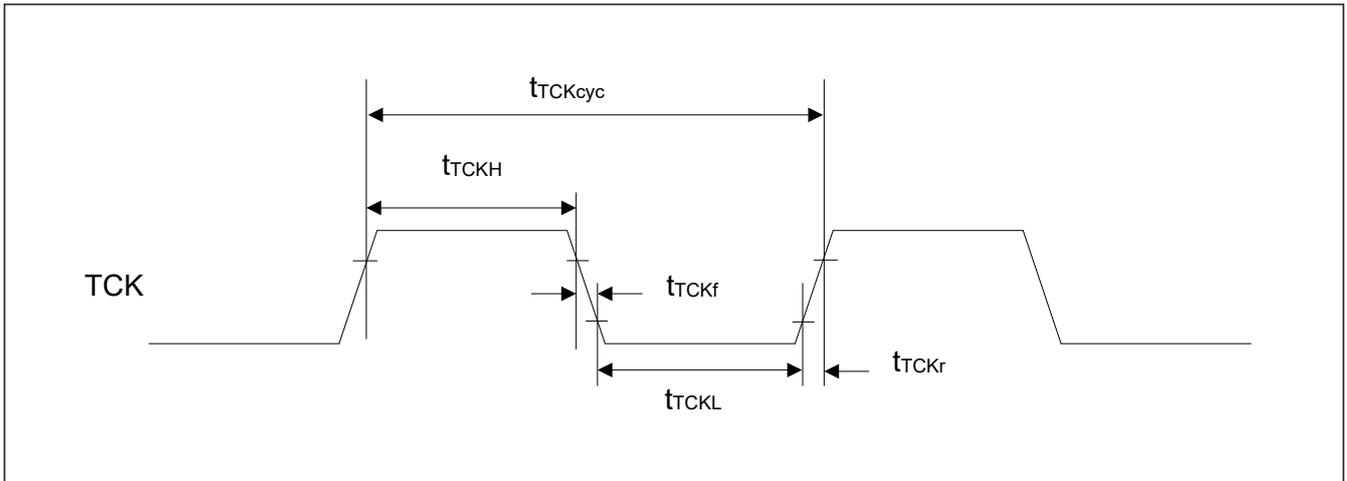


図 2.105 JTAG TCK タイミング

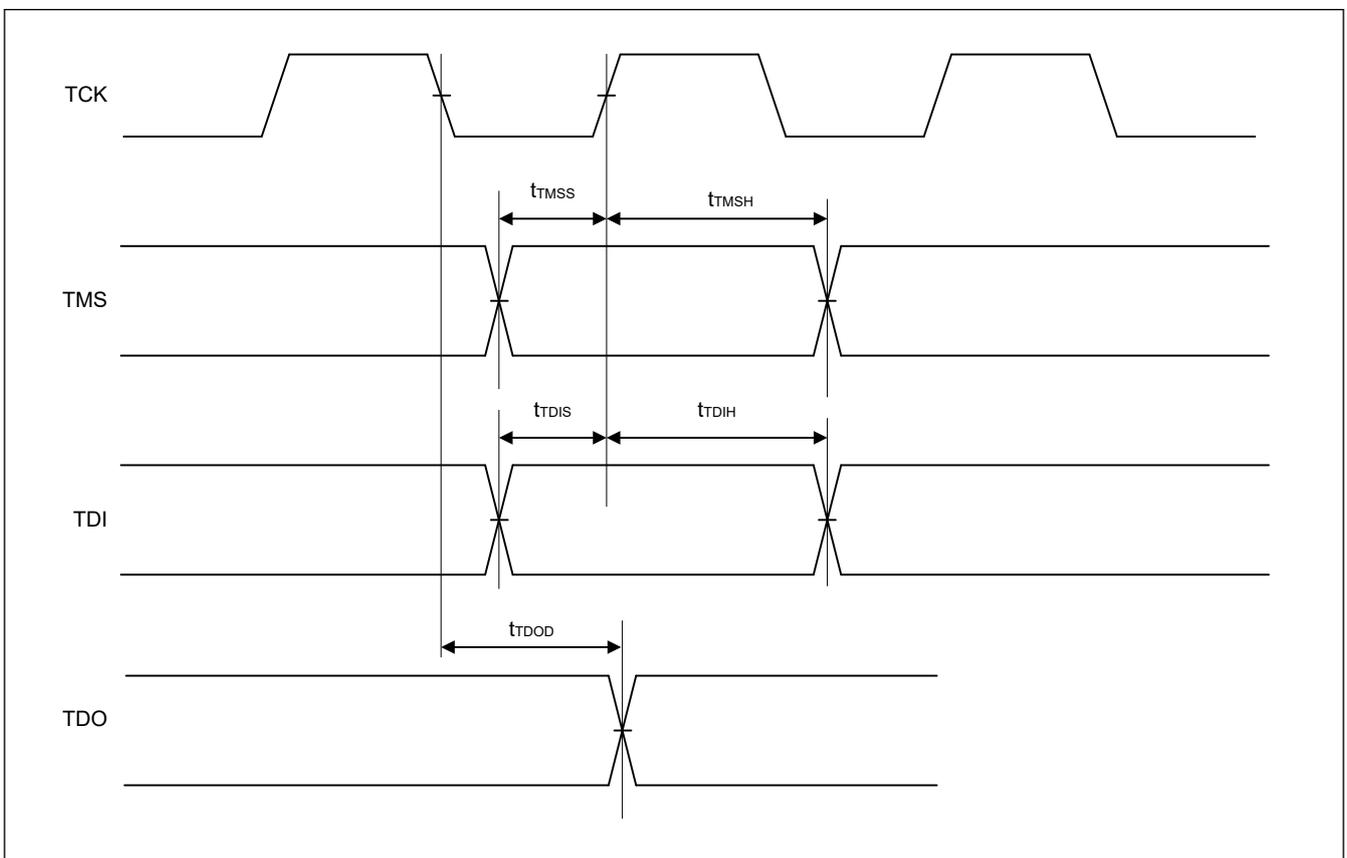


図 2.106 JTAG 入出力タイミング

2.14 シリアルワイヤデバッグ (SWD)

表 2.77 SWD

項目	VCC	シンボル	Min	Typ	Max	単位	測定条件	
SWCLK クロックサイクル時間	2.7 V 以上	$t_{SWCKcyc}$	40.0	—	—	ns	図 2.107	
	1.68 V 以上		40.0	—	—	ns		
SWCLK クロック High レベルパルス幅	2.7 V 以上	$t_{SWCKH}$	0.375	—	—	$t_{SWCKcyc}$		
	1.68 V 以上		0.375	—	—	$t_{SWCKcyc}$		
SWCLK クロック Low レベルパルス幅	2.7 V 以上	$t_{SWCKL}$	0.375	—	—	$t_{SWCKcyc}$		
	1.68 V 以上		0.375	—	—	$t_{SWCKcyc}$		
SWCLK クロック立ち上がり時間	2.7 V 以上	$t_{SWCKr}$	—	—	0.125(注1)	$t_{SWCKcyc}$		
	1.68 V 以上		—	—	0.125(注1)	$t_{SWCKcyc}$		
SWCLK クロック立ち下がり時間	2.7 V 以上	$t_{SWCKf}$	—	—	0.125(注1)	$t_{SWCKcyc}$		
	1.68 V 以上		—	—	0.125(注1)	$t_{SWCKcyc}$		
SWDIO セットアップ時間	2.7 V 以上	$t_{SWDS}$	8.0	—	—	ns		図 2.108
	1.68 V 以上		8.0	—	—	ns		
SWDIO ホールド時間	2.7 V 以上	$t_{SWDH}$	8.0	—	—	ns		
	1.68 V 以上		8.0	—	—	ns		
SWDIO データ遅延時間	2.7 V 以上	$t_{SWDD}$	2.0	—	28.0	ns		
	1.68 V 以上		2.0	—	32.0	ns		

注 1. 最長 1  $\mu$ s

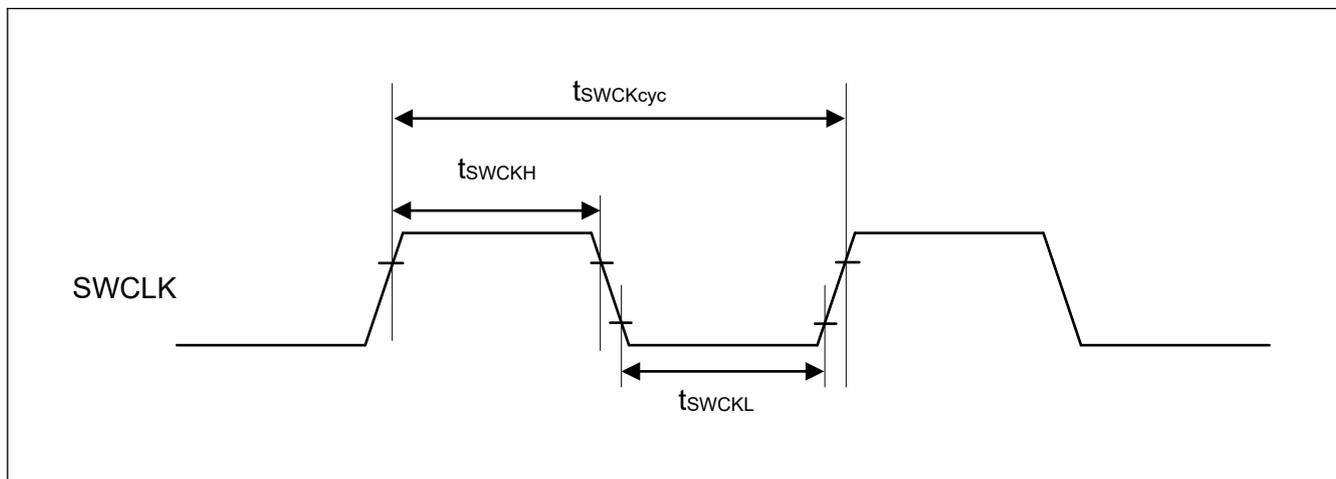


図 2.107 SWD SWCLK タイミング

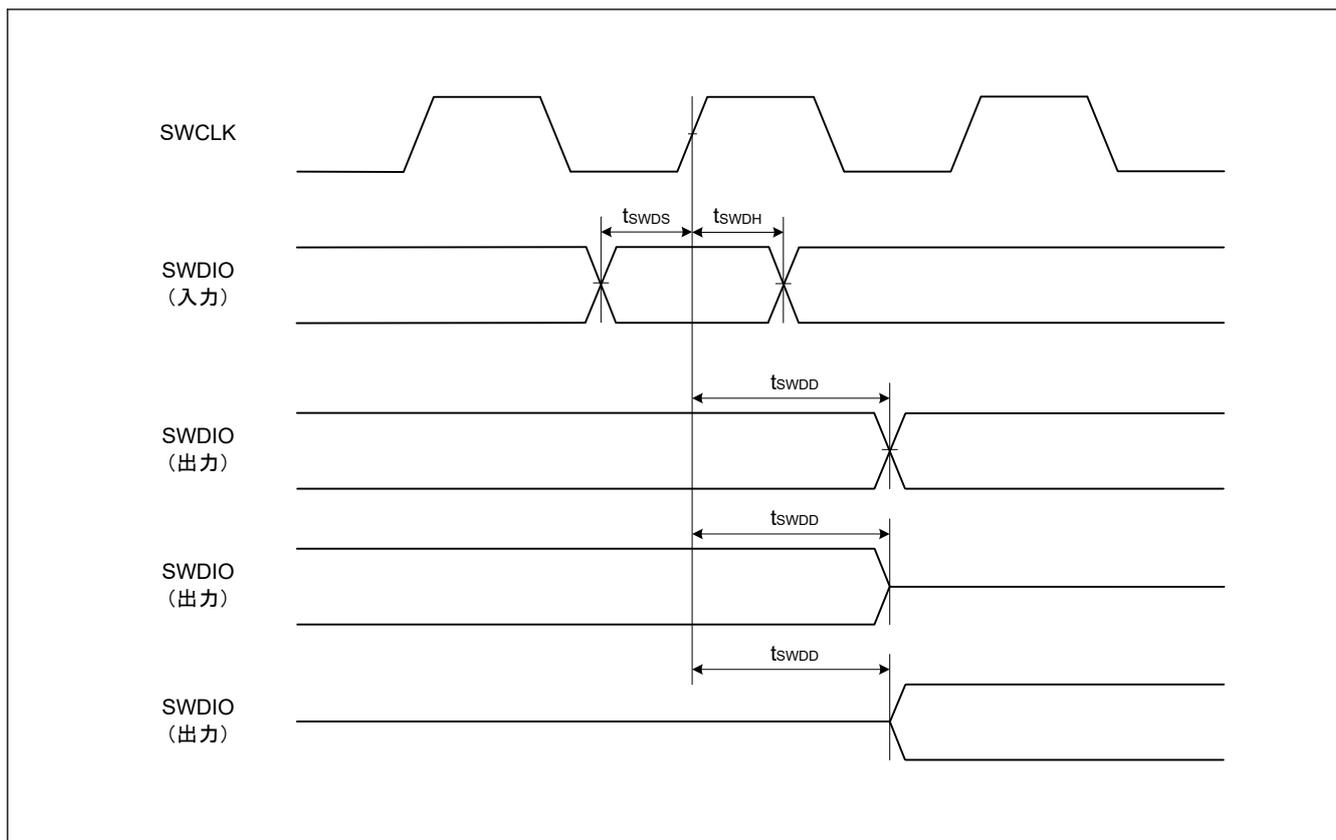


図 2.108 SWD 入出力タイミング

### 2.15 エンベデッドトレースマクロインタフェース (ETM)

表 2.78 ETM (1/2)

条件：PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットで高速高駆動出力が選択されています。

項目	VCC	シンボル	Min	Typ	Max	単位	測定条件
TCLK クロックサイクル時間	2.7 V 以上	$t_{TCLKcyc}$	16.6	—	—	ns	図 2.109
	1.68 V 以上		16.6	—	—	ns	
TCLK クロック High レベルパルス幅	2.7 V 以上	$t_{TCLKH}$	7.3	—	—	ns	
	1.68 V 以上		6.3	—	—	ns	
TCLK クロック Low レベルパルス幅	2.7 V 以上	$t_{TCLKL}$	7.3	—	—	ns	
	1.68 V 以上		6.3	—	—	ns	
TCLK クロック立ち上がり時間	2.7 V 以上	$t_{TCLKr}$	—	—	1.0	ns	
	1.68 V 以上		—	—	2.0	ns	
TCLK クロック立ち下がり時間	2.7 V 以上	$t_{TCLKf}$	—	—	1.0	ns	
	1.68 V 以上		—	—	2.0	ns	

表 2.78 ETM (2/2)

条件：PmnPFS レジスタのポート駆動能力ビットで高速高駆動出力が選択されています。

項目	VCC	シンボル	Min	Typ	Max	単位	測定条件
TDATA[3:0]出力有効時間	2.7 V 以上	$t_{TRDV}$	—	—	$t_{TCLKcyc}/4 + 1.6$	ns	図 2.110
	1.68 V 以上		—	—	$t_{TCLKcyc}/4 + 1.6$	ns	
TDATA[3:0]出力ホールド時間	2.7 V 以上	$t_{TRDH}$	1.5	—	—	ns	
	1.68 V 以上		1.5	—	—	ns	

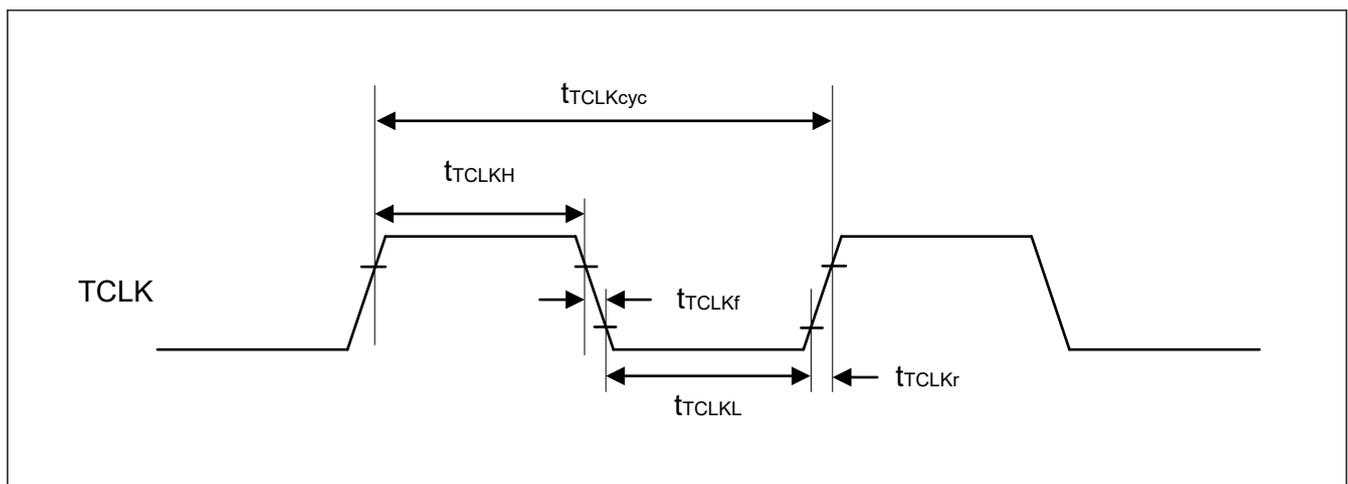


図 2.109 ETM TCLK タイミング

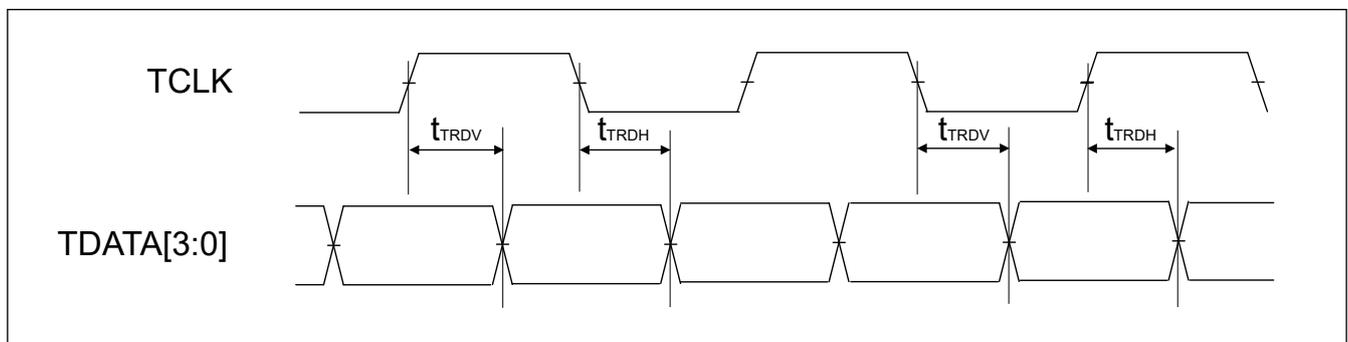


図 2.110 ETM 出力タイミング

付録 1. 各プロセスモードのポート状態

機能	端子機能	リセット	ソフトウェアスタンバイモード (SSTBY)		ディープソフトウェアスタンバイモード 1, 2, 3 (DSTBY1, 2, 3)		ディープソフトウェアスタンバイモード解除後 (スタートアップモードに復帰)	
			OPE = 0	OPE = 1	DSTBY1	DSTBY2/ DSTBY3	IOKEEP P = 0	IOKEEP = 1(注1)
モード	MD	プルアップ	Keep-I		Keep		プルアップ	Keep
JTAG/SWD	TCK/TMS/TDI/SWCLK	プルアップ	TCK/TDI/TMS/SWCLK 入力		TCK/TDI/TMS/SWCLK 入力		TCK/TDI/TMS/SWCLK 入力	
	TDO	出力	TDO 出力		TDO 出力		TDO 出力	
	SWDIO	プルアップ	SWDIO 入力		SWDIO 入力		SWDIO 入力	
トレース	TCLK/TDATAx/SWO	TCLK/ TDATAx/SWO 出力	TCLK/TDATAx/SWO 出力		TCLK/TDATAx/SWO 出力		TCLK/TDATAx/SWO 出力	
IRQ	IRQx	Hi-Z	Hi-Z(注2)		Keep		Hi-Z	Keep
	IRQx-DS (x: 5 以外)	Hi-Z	Hi-Z(注2)		Keep(注3)		Hi-Z	Keep
	IRQ5-DS	Hi-Z	Hi-Z(注2)		Keep(注3)		Hi-Z	
AGT	AGTIO <sub>n</sub>	Hi-Z	AGTIO <sub>n</sub> 入力		Keep		Hi-Z	Keep
	AGTIO <sub>n</sub> /AGTOAn/ AGTOB <sub>n</sub>	Hi-Z	AGTIO <sub>n</sub> /AGTOAn/AGTOB <sub>n</sub> 出力		Keep		Hi-Z	Keep
ULPT	ULPTEEn/ULPTEVIn	Hi-Z	ULPTEEn/ULPTEVIn 入力		Keep		Hi-Z	Keep
	ULPTEEn-DS/ ULPTEVIn-DS	Hi-Z	ULPTEEn-DS/ULPTEVIn-DS 入力		ULPTEEn-DS/ ULPTEVIn-DS 入力	Hi-Z	Hi-Z	Keep
	ULPTOn/ULPTOAn/ ULPTOB <sub>n</sub>	Hi-Z	ULPTOn/ULPTOAn/ULPTOB <sub>n</sub> 出力		Keep		Hi-Z	Keep
	ULPTOn-DS/ ULPTOAn-DS/ ULPTOB <sub>n</sub> -DS	Hi-Z	ULPTOn/ULPTOAn-DS/ ULPTOB <sub>n</sub> -DS 出力		ULPTOn/ ULPTOAn-DS/ ULPTOB <sub>n</sub> -DS 出力	Keep	Hi-Z	DSTBY1: ULPTOn/ ULPTOAn-DS/ ULPTOB <sub>n</sub> -DS 出力 DSTBY2, 3: Keep
IIC	SCL <sub>n</sub> /SDA <sub>n</sub>	Hi-Z	Keep-O(注2)		Keep		Hi-Z	Keep
I3C	I3C_SCL0/I3C_SDA0	Hi-Z	Keep-O(注2)		Hi-Z		Hi-Z	
USBFS	USB_OVRCUR <sub>x</sub>	Hi-Z	Hi-Z(注2)		Keep		Hi-Z	Keep
	USB_OVRCUR <sub>x</sub> -DS/ USB_VBUS	Hi-Z	Hi-Z(注2)		Keep(注3)	Keep	Hi-Z	Keep
	USB_DP/USB_DM	Hi-Z	Keep-O(注4)		Keep(注3)	Keep	Hi-Z	Keep
ACMPHS	VCOUT	Hi-Z	VCOUT 出力		Keep		Hi-Z	Keep
CLKOUT	CLKOUT	Hi-Z	CLKOUT 出力		Keep		Hi-Z	Keep
DAC	DAn	Hi-Z	D/A 出力保持		Hi-Z		Hi-Z	
外部バス (CS、 SDRAM 領域)	EBCLK/SDCLK	Hi-Z	High レベル出力		Keep		Hi-Z	Keep
	Dxx/DQxx	Hi-Z	Hi-Z		Hi-Z		Hi-Z	
	Axx/DQMx	Hi-Z	Hi-Z	Keep-O	Keep		Hi-Z	Keep
	BC0	Hi-Z	Hi-Z	(注5)	Keep		Hi-Z	Keep
	BC1~ BC3/CSx/RD/WRx/WE	Hi-Z	Hi-Z	High レベル出力	Keep		Hi-Z	Keep
	ALE	Hi-Z	Hi-Z	Low レベル出力	Keep		Hi-Z	Keep
	CKE/SDCS/RAS/CAS	Hi-Z	Hi-Z	SDSELF.SFEN = 0: High レベル出力 SDSELF.SFEN = 1: Low レベル出力	Keep		Hi-Z	Keep
P400/P401	IRQ5-DS 機能以外	Hi-Z	Keep-O(注2)		Hi-Z		Hi-Z	
その他	—	Hi-Z	Keep-O		Keep		Hi-Z	Keep

注. Hi-Z: ハイインピーダンス  
 Keep-O: 出力端子は前の値を保持します。入力端子はハイインピーダンスになります。  
 Keep-I: 通常モード期間中、端子状態は保持されます。

Keep : ソフトウェアスタンバイモード期間中、端子状態は保持されます。

- 注 1. DPSBYCR.IOKEEP ビットが 0 になるまで、I/O ポートの状態が保持されます。
- 注 2. 端子が外部割り込み端子として使用され、ソフトウェアスタンバイの解除要因に指定されている場合、入力が許可されます。
- 注 3. 端子がディープソフトウェアスタンバイの解除要因に指定されている場合、入力が許可されます。
- 注 4. 入力端子として使用されている端子への入力は許可されています。
- 注 5. ソフトウェアスタンバイモードへ遷移する前の動作次第で、High レベルまたは Low レベルが出力されます。ユーザーズマニュアルハードウェア編の「13. バス」の使用上の注意事項を参照してください。

### 付録 2. 外形寸法図

外形寸法図の最新版や実装に関する情報は、弊社のウェブサイトの「パッケージ」を参照してください。

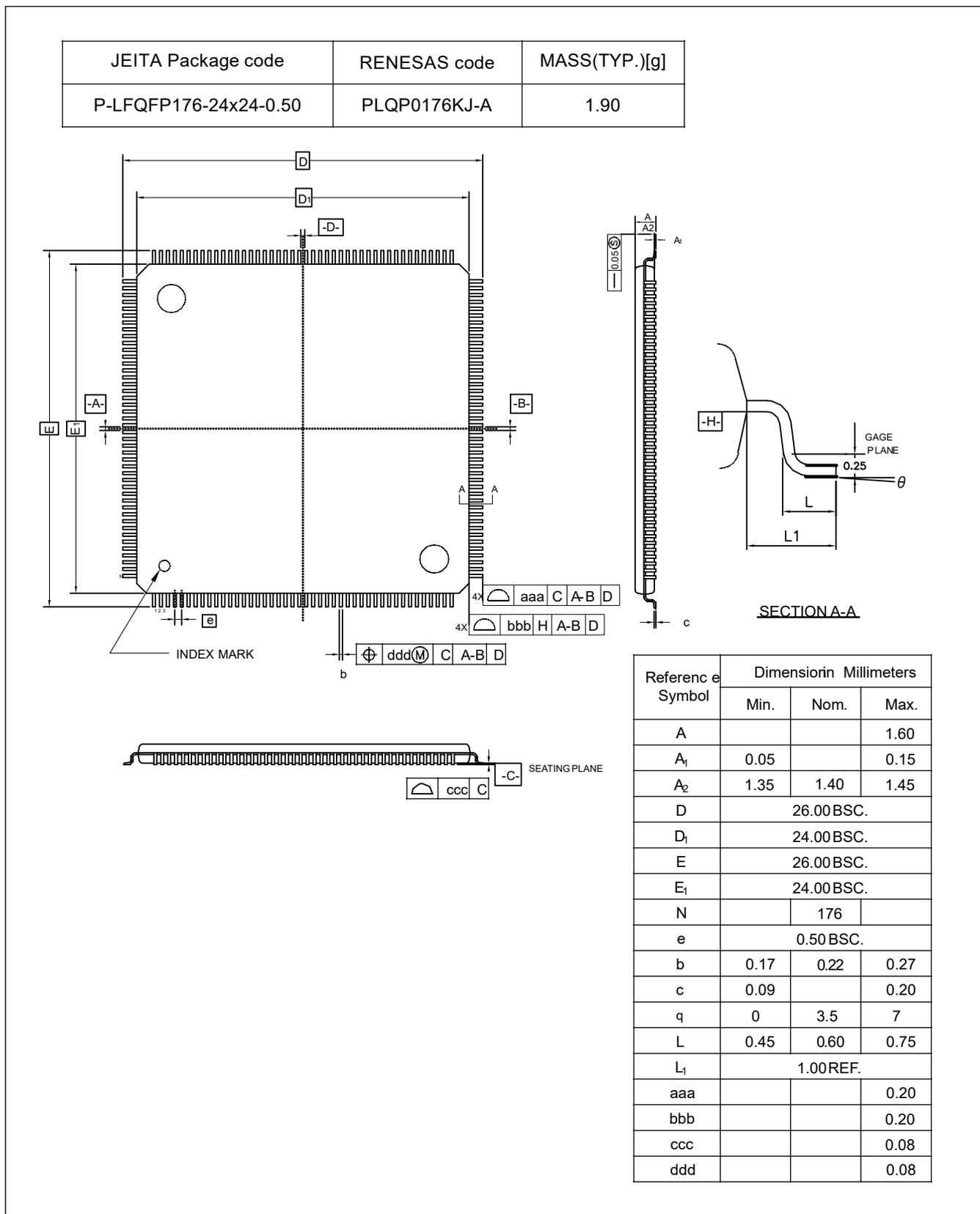
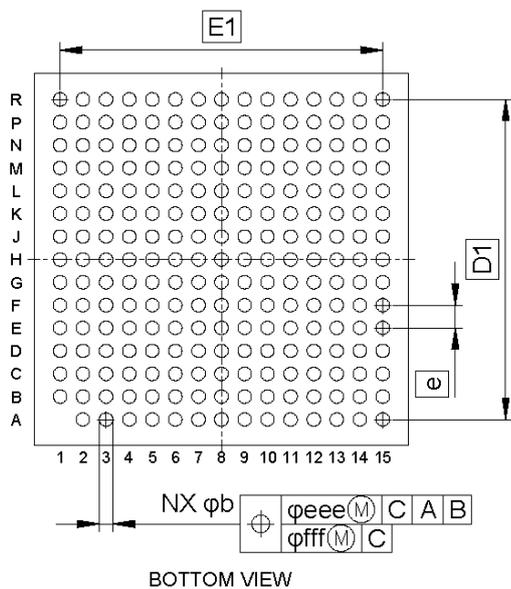
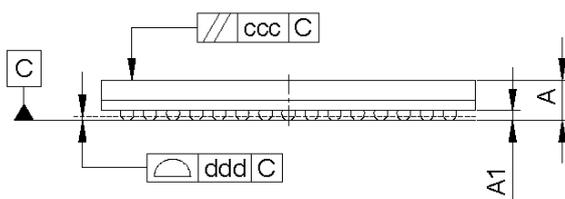
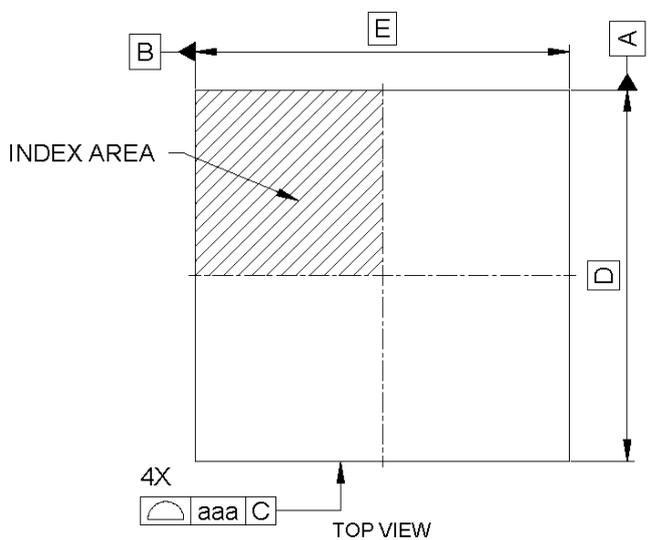


図 A2.1 LQFP 176 ピン

JEITA Package code	RENESAS code	MASS(TYP.)[g]
P-LFBGA224-13x13-0.80	PLBG0224GD-A	0.44

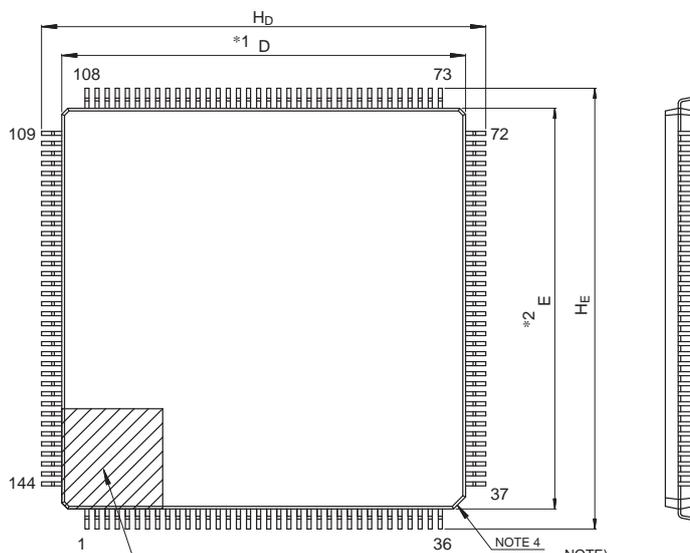


Reference Symbol	Dimension in Millimeters		
	Min.	Nom.	Max.
D	—	13.00	—
E	—	13.00	—
D1	—	11.20	—
E1	—	11.20	—
A	—	—	1.47
A1	0.29	—	—
b	0.42	0.47	0.52
e	—	0.80	—
aaa	—	—	0.15
ccc	—	—	0.20
ddd	—	—	0.12
eee	—	—	0.15
fff	—	—	0.08
N	—	224	—

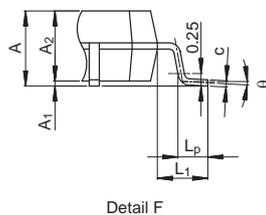
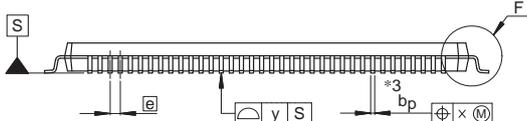
図 A2.2 BGA 224 ピン

JEITA Package Code	RENESAS Code	Previous Code	MASS (Typ) [g]
P-LFQFP144-20x20-0.50	PLQP0144KA-B	—	1.2

Unit: mm



- NOTE)
1. DIMENSIONS "1" AND "2" DO NOT INCLUDE MOLD FLASH.
  2. DIMENSION "3" DOES NOT INCLUDE TRIM OFFSET.
  3. PIN 1 VISUAL INDEX FEATURE MAY VARY, BUT MUST BE LOCATED WITHIN THE HATCHED AREA.
  4. CHAMFERS AT CORNERS ARE OPTIONAL, SIZE MAY VARY.

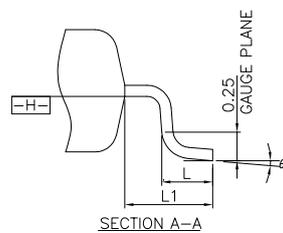
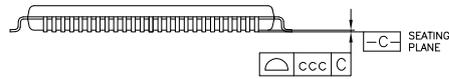
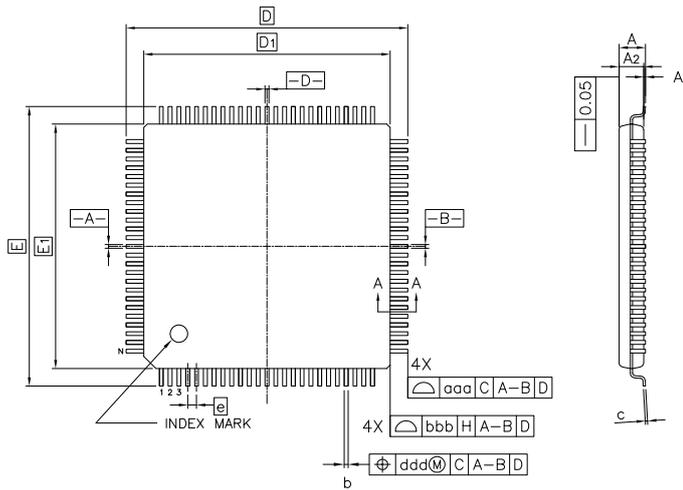


Reference Symbol	Dimensions in millimeters		
	Min	Nom	Max
D	19.9	20.0	20.1
E	19.9	20.0	20.1
A <sub>2</sub>	—	1.4	—
H <sub>D</sub>	21.8	22.0	22.2
H <sub>E</sub>	21.8	22.0	22.2
A	—	—	1.7
A <sub>1</sub>	0.05	—	0.15
b <sub>p</sub>	0.17	0.20	0.27
c	0.09	—	0.20
θ	0°	3.5°	8°
e	—	0.5	—
x	—	—	0.08
y	—	—	0.08
L <sub>p</sub>	0.45	0.6	0.75
L <sub>1</sub>	—	1.0	—

© 2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.

☒ A2.3 LQFP 144 ピン

JEITA Package code	RENESAS code	MASS(TYP.)[g]
P-LFQFP100-14x14-0.50	PLQP0100KP-A	0.67



Reference Symbol	Dimension in Millimeters		
	Min.	Nom.	Max.
A	-	-	1.60
A <sub>1</sub>	0.05	-	0.15
A <sub>2</sub>	1.35	1.40	1.45
D	-	16.00	-
D <sub>1</sub>	-	14.00	-
E	-	16.00	-
E <sub>1</sub>	-	14.00	-
N	-	100	-
e	-	0.50	-
b	0.17	0.22	0.27
c	0.09	-	0.20
θ	0°	3.5°	7°
L	0.45	0.60	0.75
L <sub>1</sub>	-	1.00	-
aaa	-	-	0.20
bbb	-	-	0.20
ccc	-	-	0.08
ddd	-	-	0.08

図 A2.4 LQFP 100 ピン

## 付録 3. I/O レジスタ

この付録では、I/O レジスタアドレス、アクセスサイクルについて機能ごとに説明します。

### 3.1 周辺機能のベースアドレス

本マニュアルに記載の周辺機能のベースアドレスは下記のとおりです。表 A3.1 に、各周辺機能の名前、説明、ベースアドレスを示します。

表 A3.1 周辺機能のベースアドレス (1/3)

内容	セキュアレジスタ名	セキュアエイリアス領域内のセキュアレジスタのベースアドレス	非セキュアレジスタ名	非セキュアエイリアス領域内の非セキュアレジスタのベースアドレス
Renesas メモリプロテクションユニット	RMPU	0x4000_0000	RMPU_NS	0x5000_0000
SRAM 制御	SRAM	0x4000_2000	SRAM_NS	0x5000_2000
バス制御	BUS	0x4000_3000	BUS_NS	0x5000_3000
共通割り込みコントローラ	ICU_COMMON	0x4000_6000	ICU_COMMON_NS	0x5000_6000
CPU システムセキュリティコントロールユニット	CPSCU	0x4000_8000	CPSCU_NS	0x5000_8000
ダイレクトメモリアクセスコントローラ 00	DMAC00	0x4000_A000	DMAC00_NS	0x5000_A000
ダイレクトメモリアクセスコントローラ 01	DMAC01	0x4000_A040	DMAC01_NS	0x5000_A040
ダイレクトメモリアクセスコントローラ 02	DMAC02	0x4000_A080	DMAC02_NS	0x5000_A080
ダイレクトメモリアクセスコントローラ 03	DMAC03	0x4000_A0C0	DMAC03_NS	0x5000_A0C0
ダイレクトメモリアクセスコントローラ 04	DMAC04	0x4000_A100	DMAC04_NS	0x5000_A100
ダイレクトメモリアクセスコントローラ 05	DMAC05	0x4000_A140	DMAC05_NS	0x5000_A140
ダイレクトメモリアクセスコントローラ 06	DMAC06	0x4000_A180	DMAC06_NS	0x5000_A180
ダイレクトメモリアクセスコントローラ 07	DMAC07	0x4000_A1C0	DMAC07_NS	0x5000_A1C0
DMAC モジュール起動 0	DMA0	0x4000_A800	DMA0_NS	0x5000_A800
データ転送コントローラ 0	DTC0	0x4000_AC00	DTC0_NS	0x5000_AC00
割り込みコントローラ	ICU	0x4000_C000	ICU_NS	0x5000_C000
CPU コントロールレジスタ	CPU_CTRL	0x4000_F000	CPU_CTRL_NS	0x5000_F000
オンチップデバッグ	OCD_CPU	0x4001_1000	OCD_CPU_NS	0x5001_1000
DAP 機能	OCD_DAP	0x8001_1000	—	—
デバッグ機能	CPU_DBG	0x4001_B000	CPU_DBG_NS	0x5001_B000
システム制御	SYSC	0x4001_E000	SYSC_NS	0x5001_E000
温度センサデータ	TSD	0x4011_B000	TSD_NS	0x5011_B000
イベントリンクコントローラ	ELC	0x4020_1000	ELC_NS	0x5020_1000
リアルタイムクロック	RTC	0x4020_2000	RTC_NS	0x5020_2000
独立ウォッチドッグタイマ	IWDT	0x4020_2200	IWDT_NS	0x5020_2200
クロック周波数精度測定回路	CAC	0x4020_2400	CAC_NS	0x5020_2400
ウォッチドッグタイマ 0	WDT0	0x4020_2600	WDT0_NS	0x5020_2600

表 A3.1 周辺機能のベースアドレス (2/3)

内容	セキュアレジスタ名	セキュアエイリアス領域内のセキュアレジスタのベースアドレス	非セキュアレジスタ名	非セキュアエイリアス領域内の非セキュアレジスタのベースアドレス
モジュールストップコントロール A, B, C, D, E	MSTP	0x4020_3000	MSTP_NS	0x5020_3000
ペリフェラルセキュリティ制御ユニット	PSCU	0x4020_4000	PSCU_NS	0x5020_4000
GPT 用ポートアウトプットイネーブルモジュール	POEG	0x4021_2000	POEG_NS	0x5021_2000
超低消費電力タイマ 0	ULPT0	0x4022_0000	ULPT0_NS	0x5022_0000
超低消費電力タイマ 1	ULPT1	0x4022_0100	ULPT1_NS	0x5022_0100
低消費電力非同期汎用タイマ 0	AGT0	0x4022_1000	AGT0_NS	0x5022_1000
低消費電力非同期汎用タイマ 1	AGT1	0x4022_1100	AGT1_NS	0x5022_1100
温度センサ	TSN	0x4023_5000	TSN_NS	0x5023_5000
高速アナログコンパレータ 0	ACMPHS0	0x4023_6000	ACMPHS0_NS	0x5023_6000
高速アナログコンパレータ 1	ACMPHS1	0x4023_6100	ACMPHS1_NS	0x5023_6100
USB 2.0 FS モジュール	USBFS	0x4025_0000	USBFS_NS	0x5025_0000
SD ホストインタフェース 0	SDHI0	0x4025_2000	SDHI0_NS	0x5025_2000
SD ホストインタフェース 1	SDHI1	0x4025_2400	SDHI1_NS	0x5025_2400
Inter-Integrated Circuit 0	IIC0	0x4025_E000	IIC0_NS	0x5025_E000
Inter-Integrated Circuit 0 ウェイクアップユニット	IIC0WU	0x4025_E014	IIC0WU_NS	0x5025_E014
Inter-Integrated Circuit 1	IIC1	0x4025_E100	IIC1_NS	0x5025_E100
CRC 演算器	CRC	0x4031_0000	CRC_NS	0x5031_0000
データ演算回路	DOC_B	0x4031_1000	DOC_B_NS	0x5031_1000
32 ビット汎用 PWM タイマ 0	GPT320	0x4032_2000	GPT320_NS	0x5032_2000
32 ビット汎用 PWM タイマ 1	GPT321	0x4032_2100	GPT321_NS	0x5032_2100
32 ビット汎用 PWM タイマ 2	GPT322	0x4032_2200	GPT322_NS	0x5032_2200
32 ビット汎用 PWM タイマ 3	GPT323	0x4032_2300	GPT323_NS	0x5032_2300
32 ビット汎用 PWM タイマ 4	GPT324	0x4032_2400	GPT324_NS	0x5032_2400
32 ビット汎用 PWM タイマ 5	GPT325	0x4032_2500	GPT325_NS	0x5032_2500
32 ビット汎用 PWM タイマ 6	GPT326	0x4032_2600	GPT326_NS	0x5032_2600
32 ビット汎用 PWM タイマ 7	GPT327	0x4032_2700	GPT327_NS	0x5032_2700
16 ビット汎用 PWM タイマ 8	GPT168	0x4032_2800	GPT168_NS	0x5032_2800
16 ビット汎用 PWM タイマ 9	GPT169	0x4032_2900	GPT169_NS	0x5032_2900
16 ビット汎用 PWM タイマ 10	GPT1610	0x4032_2A00	GPT1610_NS	0x5032_2A00
16 ビット汎用 PWM タイマ 11	GPT1611	0x4032_2B00	GPT1611_NS	0x5032_2B00
16 ビット汎用 PWM タイマ 12	GPT1612	0x4032_2C00	GPT1612_NS	0x5032_2C00
16 ビット汎用 PWM タイマ 13	GPT1613	0x4032_2D00	GPT1613_NS	0x5032_2D00
出力相切り替えコントローラ	GPT_OPS	0x4032_3F00	GPT_OPS_NS	0x5032_3F00
12 ビット A/D コンバータ 0	ADC120	0x4033_2000	ADC120_NS	0x5033_2000
12 ビット A/D コンバータ 1	ADC121	0x4033_2200	ADC121_NS	0x5033_2200
12 ビット D/A コンバータ	DAC12	0x4033_3000	DAC12_NS	0x5033_3000
イーサネットコントローラチャンネル 0 用 DMA コントローラ	EDMAC0	0x4035_4000	EDMAC0_NS	0x5035_4000

表 A3.1 周辺機能のベースアドレス (3/3)

内容	セキュアレジスタ名	セキュアエイリアス領域内のセキュアレジスタのベースアドレス	非セキュアレジスタ名	非セキュアエイリアス領域内の非セキュアレジスタのベースアドレス
イーサネットコントローラチャンネル 0	ETHERC0	0x4035_4100	ETHERC0_NS	0x5035_4100
シリアルコミュニケーションインタフェース 0	SCI0_B	0x4035_8000	SCI0_B_NS	0x5035_8000
シリアルコミュニケーションインタフェース 1	SCI1_B	0x4035_8100	SCI1_B_NS	0x5035_8100
シリアルコミュニケーションインタフェース 2	SCI2_B	0x4035_8200	SCI2_B_NS	0x5035_8200
シリアルコミュニケーションインタフェース 3	SCI3_B	0x4035_8300	SCI3_B_NS	0x5035_8300
シリアルコミュニケーションインタフェース 4	SCI4_B	0x4035_8400	SCI4_B_NS	0x5035_8400
シリアルコミュニケーションインタフェース 9	SCI9_B	0x4035_8900	SCI9_B_NS	0x5035_8900
シリアルペリフェラルインタフェース 0	SPI0	0x4035_C000	SPI0_NS	0x5035_C000
シリアルペリフェラルインタフェース 1	SPI1	0x4035_C100	SPI1_NS	0x5035_C100
I3C バスインタフェース	I3C	0x4035_F000	I3C_NS	0x5035_F000
MBRAM0 用エラー補正回路	ECCMB0	0x4036_F200	ECCMB0_NS	0x5036_F200
MBRAM1 用エラー補正回路	ECCMB1	0x4036_F300	ECCMB1_NS	0x5036_F300
CANFD モジュール 0	CANFD0	0x4038_0000	CANFD0_NS	0x5038_0000
CANFD モジュール 1	CANFD1	0x4038_2000	CANFD1_NS	0x5038_2000
ポート 0 コントロールレジスタ	PORT0	0x4040_0000	PORT0_NS	0x5040_0000
ポート 1 コントロールレジスタ	PORT1	0x4040_0020	PORT1_NS	0x5040_0020
ポート 2 コントロールレジスタ	PORT2	0x4040_0040	PORT2_NS	0x5040_0040
ポート 3 コントロールレジスタ	PORT3	0x4040_0060	PORT3_NS	0x5040_0060
ポート 4 コントロールレジスタ	PORT4	0x4040_0080	PORT4_NS	0x5040_0080
ポート 5 コントロールレジスタ	PORT5	0x4040_00A0	PORT5_NS	0x5040_00A0
ポート 6 コントロールレジスタ	PORT6	0x4040_00C0	PORT6_NS	0x5040_00C0
ポート 7 コントロールレジスタ	PORT7	0x4040_00E0	PORT7_NS	0x5040_00E0
ポート 8 コントロールレジスタ	PORT8	0x4040_0100	PORT8_NS	0x5040_0100
ポート 9 コントロールレジスタ	PORT9	0x4040_0120	PORT9_NS	0x5040_0120
ポート A コントロールレジスタ	PORTA	0x4040_0140	PORTA_NS	0x5040_0140
ポート B コントロールレジスタ	PORTB	0x4040_0160	PORTB_NS	0x5040_0160
Pmn 端子機能コントロールレジスタ	PFS	0x4040_0800	PFS_NS	0x5040_0800
フラッシュキャッシュ	FCACHE	0x4001_C100	FCACHE_NS	0x5001_C100
データフラッシュ	FLAD	0x4011_C000	FLAD_NS	0x5011_C000
フラッシュアプリケーションコマンドインタフェース	FACI	0x4011_E000	FACI_NS	0x5011_E000
データフラッシュセキュリティ設定	FDfs	0x2703_0000	—	—

注. 名称 = 周辺機能の名称  
 内容 = 周辺機能  
 ベースアドレス = 最下位の予約アドレスまたは周辺機能が使用するアドレス

### 3.2 アクセスサイクル

本項では、本マニュアルに記載の I/O レジスタのアクセスサイクル情報を示します。

- レジスタは対応するモジュールごとにグループ化されています。
- アクセスサイクル数については、指定の基準クロックのサイクル数を示しています。
- 内部 I/O 領域では、レジスタに割り当てられていない予約アドレスにアクセスしないでください。アクセスした場合、動作は保証されません。
- I/O アクセスサイクル数は、内部周辺バスのバスサイクル、分周クロック同期化サイクル、および各モジュールのウェイトサイクルによって異なります。分周クロック同期化サイクルは、ICLK と PCLK 間の周波数比によって異なります。
- ICLK 周波数と PCLK 周波数が等しいとき、分周クロック同期化サイクル数は常に一定です。
- ICLK 周波数が PCLK 周波数より大きいとき、分周クロック同期化サイクル数に少なくとも 1PCLK サイクル追加されます。
- 書き込みアクセスのサイクル数は、非バッファラブル書き込みアクセスにより得られるサイクル数を示します。

注. CPU からのレジスタアクセスが、外部メモリへの命令フェッチや、DMAC や DTC のような他のバスマスタのバスアクセスと競合せずに実行された場合のサイクル数です。

表 A3.2 アクセスサイクル (1/3)

周辺機能のベースアドレスシンボル	アドレス(注1)		アクセスサイクル数				サイクルの単位	関連機能
			ICLK = PCLK		ICLK > PCLK(注2)			
	ここから	ここまで	読み出し	書き込み	読み出し	書き込み		
RMPU, SRAM, BUS, ICU_COMMON, CPSCU, DMAC0n, DMA0, DTC0, ICU, CPU_CTRL	0x4000_0000	0x4001_CFFF	3	2	3	2	ICLK	Renesas メモリプロテクションユニット, SRAM コントロール, BUS コントロール, 共通割り込みコントローラ, CPU システムセキュリティコントロールユニット, ダイレクトメモリアクセスコントローラ 0n, DMAC モジュール起動 0, データトランスファコントローラ 0, 割り込みコントローラ, CPU コントロールレジスタ
CPU_OCD	0x4001_1004	0x4001_1FFF	7	2	7	2	ICLK	オンチップデバッグ
CPU_DBG, FCACHE	0x4000_B000	0x4001_CFFF	3	2	3	2	ICLK	デバッグ機能, フラッシュキャッシュ
SYSC	0x4001_E000	0x4001_E9FF	4	3	2~4	1~3	PCLK B	システムコントロール
SYSC	0x4001_EA00	0x4001_ED7F	7	6	5~7	4~6	PCLK B	システムコントロール
TSD	0x4011_B17C	0x4011_B17C	4	3	4	3	ICLK	温度センサデータ
ELC	0x4020_1000	0x4020_21FF	4	3	2~4	1~3	PCLK B	イベントリンクコントローラ
IWDT	0x4020_2200	0x4020_22FF	4	65	2~4	63~65	PCLK B	独立ウォッチドッグタイマ
CAC, WDT0, MSTP, PSCU, POEG	0x4020_2400	0x4021_2FFF	4	3	2~4	1~3	PCLK B	クロック周波数精度測定回路, ウォッチドッグタイマ 0, モジュールストップコントロール, ペリフェラルセキュリティコントロールユニット, GPT 用ポートアウトプットイネーブルモジュール
ULPTn	0x4022_0000	0x4022_01FF	6	65	4~6	63~65	PCLK B	超低消費電力タイマ n
AGTn	0x4022_1000	0x4022_11FF	6	3	4~6	1~3	PCLK B	低消費電力非同期汎用タイマ n
TSN	0x4023_5000	0x4023_5FFF	4	3	2~4	1~3	PCLK B	温度センサ
ACMPHSn	0x4023_6000	0x4023_61FF	3	3	1~3	1~3	PCLK B	高速アナログコンパレータ n

表 A3.2 アクセスサイクル (2/3)

周辺機能のベースアドレスシンボル	アドレス(注1)		アクセスサイクル数				サイクルの単位	関連機能
			ICLK = PCLK		ICLK > PCLK(注2)			
	ここから	ここまで	読み出し	書き込み	読み出し	書き込み		
USBFS	0x4025_0000	0x4025_03FF	5	4	3~5	2~4	PCLK B	USB 2.0 FS モジュール
USBFS	0x4025_0400	0x4025_04FF	4	65	2~4	63~65	PCLK B	USB 2.0 FS モジュール
SDHIn, IICn	0x4025_2000	0x4026_88FF	4	3	2~4	1~3	PCLK B	SD ホストインタフェース n, Inter-Integretad Circuit n
CRC, DOC	0x4031_0000	0x4031_1FFF	4	3	2~4	1~3	PCLK A	CRC 演算器、データ演算回路
GPT32n, GPT16n, GPT_OPS	0x4032_2000	0x4032_3FFF	7	4	5~7	2~4	PCLK A	32 ビット汎用 PWM タイマ n, 16 ビット汎用 PWM タイマ n, 出力相切り替えコントローラ
ADC12n, DAC12n	0x4033_2000	0x4034_6FFF	4	3	2~4	1~3	PCLK A	12 ビット A/D コンバータ n, 12 ビット D/A コンバータ n
EDMAC0	0x4035_4000	0x4035_40FF	5	4	3~5	2~4	PCLK A	イーサネットコントローラチャネル 0 用 DMA コントローラ
ETHERC0	0x4035_4100	0x4035_43FF	14	13	12~14	11~13	PCLK A	イーサネットコントローラチャネル 0
SCIn, SPIn, I3C	0x4035_8000	0x4035_FFFF	4	3	2~4	1~3	PCLK A	シリアルコミュニケーションインタフェース n, シリアルペリフェラルインタフェース n, I3C バスインタフェース
ECCMBn	0x4036_F200	0x4036_F3FF	5	4	3~5	2~4	PCLK A	MBRAMn 用エラー補正回路
CANFDn	0x4038_0000	0x4038_3FFF	4	3	2~4	1~3	PCLK A	CANFD モジュール n
PORTn	0x4040_0000	0x4040_01FF	4	2	4	2	ICLK	ポート n コントロールレジスタ
PFS	0x4040_0800	0x4040_0FFF	8	2	8	2	ICLK	Pmn 端子機能コントロールレジスタ
RSIP-E51A	—	—	1~3	2	1~3	1~2	PCLK A	ルネサスセキュリティ IP

表 A3.2 アクセスサイクル (3/3)

周辺機能のベースアドレスシンボル	アドレス(注1)		アクセスサイクル数				サイクルの単位	関連機能
			ICLK = FCLK		ICLK > FCLK(注2)			
	ここから	ここまで	読み出し	書き込み	読み出し	書き込み		
FLAD, FACI	0x4011_C040	0x4011_EFFF	4	3	4	3	FCLK	データフラッシュ、フラッシュアプリケーションコマンドインタフェース

注 1. 本表ではセキュアアドレスのみを示しています。非セキュアアドレスのアクセスサイクルは、セキュアアドレスのアクセスサイクルと同じです。

注 2. PCLK または FCLK サイクル数が整数ではない (たとえば 1.5) 場合、最小値は小数点以下を切り捨て、最大値は小数点以下を切り上げます。たとえば、1.5~2.5 は 1~3 となります。

## 付録 4. レジスタ R/W に関する注意事項

- セキュアバスマスタは、IDAU/SAU または MSAU によってセキュアに指定されているアドレスを使用して「セキュアアクセス」を発行します。
- セキュアバスマスタは、IDAU/SAU または MSAU によって非セキュアに指定されているアドレスを使用して「非セキュアアクセス」を発行します。
- 非セキュアバスマスタは、IDAU/SAU または MSAU によって非セキュアに指定されているアドレスを使用して「非セキュアアクセス」を発行します。

表 A4.1 レジスタタイプに関する注意文 (S-TYPE)

TYPE	UM 内での説明
S-TYPE-1	セキュアアクセスのみ本レジスタへ書き込み可能です。リードアクセスは常に許可されます。非セキュアライトアクセスは無視されますが、TrustZone アクセスエラーは発生しません。
S-TYPE-2	リードアクセスは常に許可されます。 セキュリティ属性がセキュアに設定されている場合、 <ul style="list-style-type: none"> <li>● セキュアライトアクセスが許可されます。</li> <li>● 非セキュアライトアクセスは無視されますが、TrustZone アクセスエラーは発生しません。</li> </ul>
	セキュリティ属性が非セキュアに設定されている場合、 <ul style="list-style-type: none"> <li>● セキュアライトアクセスは無視されますが、TrustZone アクセスエラーは発生しません。</li> <li>● 非セキュアアクセスが許可されます。</li> </ul>
S-TYPE-3	セキュリティ属性がセキュアに設定されている場合、 <ul style="list-style-type: none"> <li>● セキュアアクセスが許可されます。</li> <li>● 非セキュアライトアクセスは無視され、非セキュアリードアクセスは 0 が読めます。TrustZone アクセスエラーが発生します。</li> </ul>
	セキュリティ属性が非セキュアに設定されている場合、 <ul style="list-style-type: none"> <li>● セキュアライトアクセスは無視され、セキュアリードアクセスは 0 が読めます。TrustZone アクセスエラーが発生します。</li> <li>● 非セキュアアクセスが許可されます。</li> </ul>
S-TYPE-4	セキュリティ属性がセキュアに設定されている場合、 <ul style="list-style-type: none"> <li>● セキュアアクセスが許可されます。</li> <li>● 非セキュアライトアクセスは無視され、非セキュアリードアクセスは 0 が読めます。TrustZone アクセスエラーは発生しません。</li> </ul>
	セキュリティ属性が非セキュアに設定されている場合、 <ul style="list-style-type: none"> <li>● セキュアライトアクセスは無視され、セキュアリードアクセスは 0 が読めます。TrustZone アクセスエラーは発生しません。</li> <li>● 非セキュアアクセスが許可されます。</li> </ul>
S-TYPE-5	アクセスは常に許可されます。
S-TYPE-6	セキュアアクセスが許可されます。 非セキュアライトアクセスは無視され、非セキュアリードアクセスは 0 が読めます。TrustZone アクセスエラーが発生します。
S-TYPE-7	セキュアライトアクセスは無視され、セキュアリードアクセスは 0 が読めます。TrustZone アクセスエラーが発生します。 非セキュアアクセスが許可されます。

注. 非セキュアバスマスタは、IDAU/SAU または MSAU によりセキュアにマークされたアドレスを使用して、いかなるアクセスも発行しません。

表 A4.2 レジスタタイプに関する注意文 (P-TYPE) (1/2)

TYPE	UM 内での説明
P-TYPE-1	プリビレッジライトアクセスが許可されます。リードアクセスは常に許可されます。 アンプリビレッジライトアクセスは無視されますが、TrustZone アクセスエラーは発生しません。
P-TYPE-2	プリビレッジアクセスが許可されます。 アンプリビレッジライトアクセスは無視され、アンプリビレッジリードアクセスは 0 が読めます。TrustZone アクセスエラーが発生します。
P-TYPE-3	プリビレッジ属性がプリビレッジに設定されている場合、 <ul style="list-style-type: none"> <li>● プリビレッジアクセスが許可されます。</li> <li>● アンプリビレッジライトアクセスは無視され、アンプリビレッジリードアクセスは 0 が読めます。TrustZone アクセスエラーが発生します。</li> </ul>
	プリビレッジ属性がアンプリビレッジに設定されている場合、 <ul style="list-style-type: none"> <li>● プリビレッジアクセスとアンプリビレッジアクセスが許可されます。</li> </ul>

表 A4.2 レジスタタイプに関する注意文 (P-TYPE) (2/2)

TYPE	UM 内での説明
P-TYPE-4	プリビレッジ属性がプリビレッジに設定されている場合、 <ul style="list-style-type: none"><li>● プリビレッジアクセスが許可されます。</li><li>● アンプリビレッジライトアクセスは無視され、アンプリビレッジリードアクセスは 0 が読めます。TrustZone アクセスエラーは発生しません。</li></ul>
	プリビレッジ属性がアンプリビレッジに設定されている場合、 <ul style="list-style-type: none"><li>● プリビレッジアクセスとアンプリビレッジアクセスが許可されます。</li></ul>
P-TYPE-5	アクセスは常に許可されます。

## 付録 5. ペリフェラル変数

表 A5.1 に本マニュアルで使用されるモジュール名とペリフェラル変数の対応関係を示します。

表 A5.1 モジュール名とペリフェラル変数の対応関係

モジュール名	ペリフェラル変数
SCI	SCI_B
SPI	SPI_B
DOC	DOC_B

## 改訂履歴

### Revision 1.10 — 2024 年 1 月 23 日

初版発行

### Revision 1.20 — 2024 年 11 月 22 日

特長：

- セキュリティおよび暗号化を更新

1. 概要：

- 表 1.13 機能の比較を更新

2. 電気的特性：

- 表 2.8 High-speed モード、最大条件（MVE および周辺機能動作）（DCDC モード）における電流を更新
- 表 2.9 High-speed モード、最大条件（MVE および周辺機能動作）（外部 VDD モード）における電流を更新
- 表 2.27 各ユニットの消費電力を更新
- 表 2.56 CANFD インタフェースタイミングを更新

付録 5. ペリフェラル変数：

- 付録 5. ペリフェラル変数を追加

### Revision 1.30 — 2026 年 2 月 10 日

1. 概要：

- 図 1.2 型名の読み方を更新
- 表 1.13 機能の比較を更新
- 表 1.15 端子一覧を更新

2. 電気的特性：

- 表 2.6 I/O  $I_{OH}$ ,  $I_{OL}$  を更新
- 表 2.54 SD/MMC ホストインタフェース信号タイミングを更新
- 表 2.64 入力チャネルごとの A/D 入力電圧範囲を追加

付録 4. レジスタ R/W に関する注意事項：

- 表 A4.1 レジスタタイプに関する注意文 (S-TYPE) を更新
- 表 A4.2 レジスタタイプに関する注意文 (P-TYPE) を更新

付録 5. ペリフェラル変数：

- 表 A5.1 モジュール名とペリフェラル変数の対応関係を更新

## 製品ご使用上の注意事項

ここでは、マイコン製品全体に適用する「使用上の注意事項」について説明します。個別の使用上の注意事項については、本ドキュメントおよびテクニカルアップデートを参照してください。

### 1. 静電気対策

CMOS 製品の取り扱いの際は静電気防止を心がけてください。CMOS 製品は強い静電気によってゲート絶縁破壊を生じることがあります。運搬や保存の際には、当社が出荷梱包に使用している導電性のトレーやマガジンケース、導電性の緩衝材、金属ケースなどを利用し、組み立て工程にはアースを施してください。プラスチック板上に放置したり、端子を触ったりしないでください。また、CMOS 製品を実装したボードについても同様の扱いをしてください。

### 2. 電源投入時の処置

電源投入時は、製品の状態は不定です。電源投入時には、LSI の内部回路の状態は不確定であり、レジスタの設定や各端子の状態は不定です。外部リセット端子でリセットする製品の場合、電源投入からリセットが有効になるまでの期間、端子の状態は保証できません。同様に、内蔵パワーオンリセット機能を使用してリセットする製品の場合、電源投入からリセットのかかる一定電圧に達するまでの期間、端子の状態は保証できません。

### 3. 電源オフ時における入力信号

当該製品の電源がオフ状態のときに、入力信号や入出力プルアップ電源を入れしないでください。入力信号や入出力プルアップ電源からの電流注入により、誤動作を引き起こしたり、異常電流が流れ内部素子を劣化させたりする場合があります。資料中に「電源オフ時における入力信号」についての記載のある製品は、その内容を守ってください。

### 4. 未使用端子の処理

未使用端子は、「未使用端子の処理」に従って処理してください。CMOS 製品の入力端子のインピーダンスは、一般に、ハイインピーダンスとなっています。未使用端子を開放状態で動作させると、誘導現象により、LSI 周辺のノイズが印加され、LSI 内部で貫通電流が流れたり、入力信号と認識されて誤動作を起こす恐れがあります。

### 5. クロックについて

リセット時は、クロックが安定した後、リセットを解除してください。プログラム実行中のクロック切り替え時は、切り替え先クロックが安定した後、切り替えてください。リセット時、外部発振子（または外部発振回路）を用いたクロックで動作を開始するシステムでは、クロックが十分安定した後、リセットを解除してください。また、プログラムの途中で外部発振子（または外部発振回路）を用いたクロックに切り替える場合は、切り替え先のクロックが十分安定してから切り替えてください。

### 6. 入力端子の印加波形

入力ノイズや反射波による波形歪みは誤動作の原因になりますので注意してください。CMOS 製品の入力がノイズなどに起因して、 $V_{IL}$  (Max.) から  $V_{IH}$  (Min.) までの領域にとどまるような場合は、誤動作を引き起こす恐れがあります。入力レベルが固定の場合はもちろん、 $V_{IL}$  (Max.) から  $V_{IH}$  (Min.) までの領域を通過する遷移期間中にチャタリングノイズなどが入らないように使用してください。

### 7. リザーブアドレス（予約領域）のアクセス禁止

リザーブアドレス（予約領域）のアクセスを禁止します。アドレス領域には、将来の拡張機能用に割り付けられている リザーブアドレス（予約領域）があります。これらのアドレスをアクセスしたときの動作については、保証できませんので、アクセスしないようにしてください。

### 8. 製品間の相違について

型名の異なる製品に変更する場合は、製品型名ごとにシステム評価試験を実施してください。同じグループのマイコンでも型名が違えば、フラッシュメモリ、レイアウトパターンの相違などにより、電気的特性の範囲で、特性値、動作マージン、ノイズ耐量、ノイズ輻射量などが異なる場合があります。型名が違えば製品に変更する場合は、個々の製品ごとにシステム評価試験を実施してください。

## ご注意書き

1. 本資料に記載された回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報は、半導体製品の動作例、応用例を説明するものです。回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報を使用する場合、お客様の責任において、お客様の機器・システムを設計ください。これらの使用に起因して生じた損害（お客様または第三者いずれに生じた損害も含まれます。以下同じです。）に関し、当社は、一切その責任を負いません。
2. 当社製品または本資料に記載された製品データ、図、表、プログラム、アルゴリズム、応用回路例等の情報の使用に起因して発生した第三者の特許権、著作権その他の知的財産権に対する侵害またはこれらに関する紛争について、当社は、何らの保証を行うものではなく、また責任を負うものではありません。
3. 当社は、本資料に基づき当社または第三者の特許権、著作権その他の知的財産権を何ら許諾するものではありません。
4. 当社製品を組み込んだ製品の輸出入、製造、販売、利用、配布その他の行為を行うにあたり、第三者保有の技術の利用に関するライセンスが必要となる場合、当該ライセンス取得の判断および取得はお客様の責任において行ってください。
5. 当社製品を、全部または一部を問わず、改造、改変、複製、リバースエンジニアリング、その他、不適切に使用しないでください。かかる改造、改変、複製、リバースエンジニアリング等により生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
6. 当社は、当社製品の品質水準を「標準水準」および「高品質水準」に分類しており、各品質水準は、以下に示す用途に製品が使用されることを意図しております。

標準水準： コンピュータ、OA 機器、通信機器、計測機器、AV 機器、家電、工作機械、パーソナル機器、産業用ロボット等

高品質水準： 輸送機器（自動車、電車、船舶等）、交通制御（信号）、大規模通信機器、金融端末基幹システム、各種安全制御装置等

当社製品は、データシート等により高信頼性、Harsh environment 向け製品と定義しているものを除き、直接生命・身体に危害を及ぼす可能性のある機器・システム（生命維持装置、人体に埋め込み使用するもの等）、もしくは多大な物的損害を発生させるおそれのある機器・システム（宇宙機器と、海底中継器、原子力制御システム、航空機制御システム、プラント基幹システム、軍事機器等）に使用されることを意図しておらず、これらの用途に使用することは想定していません。たとえ、当社が想定していない用途に当社製品を使用したことにより損害が生じて、当社は一切その責任を負いません。

7. あらゆる半導体製品は、外部攻撃からの安全性を 100%保証されているわけではありません。当社ハードウェア/ソフトウェア製品にはセキュリティ対策が組み込まれているものもありますが、これによって、当社は、セキュリティ脆弱性または侵害（当社製品または当社製品が使用されているシステムに対する不正アクセス・不正使用を含みますが、これに限りません。）から生じる責任を負うものではありません。当社は、当社製品または当社製品が使用されたあらゆるシステムが、不正な改変、攻撃、ウイルス、干渉、ハッキング、データの破壊または窃盗その他の不正な侵入行為（「脆弱性問題」といいます。）によって影響を受けないことを保証しません。当社は、脆弱性問題に起因したまたはこれに関連して生じた損害について、一切責任を負いません。また、法令において認められる限りにおいて、本資料および当社ハードウェア/ソフトウェア製品について、商品性および特定目的との合致に関する保証ならびに第三者の権利を侵害しないことの保証を含め、明示または黙示のいかなる保証も行いません。
8. 当社製品をご使用の際は、最新の製品情報（データシート、ユーザーズマニュアル、アプリケーションノート、信頼性ハンドブックに記載の「半導体デバイスの使用上の一般的な注意事項」等）をご確認の上、当社が指定する最大定格、動作電源電圧範囲、放熱特性、実装条件その他指定条件の範囲内でご使用ください。指定条件の範囲を超えて当社製品をご使用された場合の故障、誤動作の不具合および事故につきましては、当社は、一切その責任を負いません。
9. 当社は、当社製品の品質および信頼性の向上に努めていますが、半導体製品はある確率で故障が発生したり、使用条件によっては誤動作したりする場合があります。また、当社製品は、データシート等において高信頼性、Harsh environment 向け製品と定義しているものを除き、耐放射線設計を行っておりません。仮に当社製品の故障または誤動作が生じた場合であっても、人身事故、火災事故その他社会的損害等を生じさせないよう、お客様の責任において、冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計等の安全設計およびエージング処理等、お客様の機器・システムとしての出荷保証を行ってください。特に、マイコンソフトウェアは、単独での検証は困難なため、お客様の機器・システムとしての安全検証をお客様の責任で行ってください。
10. 当社製品の環境適合性等の詳細につきましては、製品個別に必ず当社営業窓口までお問合せください。ご使用に際しては、特定の物質の含有・使用を規制する RoHS 指令等、適用される環境関連法令を十分調査のうえ、かかる法令に適合するようご使用ください。かかる法令を遵守しないことにより生じた損害に関して、当社は、一切その責任を負いません。
11. 当社製品および技術を国内外の法令および規則により製造・使用・販売を禁止されている機器・システムに使用することはできません。当社製品および技術を輸出、販売または移転等する場合は、「外国為替及び外国貿易法」その他日本国および適用される外国の輸出管理関連法規を遵守し、それらの定めるところに従い必要な手続きを行ってください。
12. お客様が当社製品を第三者に転売等される場合には、事前に当該第三者に対して、本ご注意書き記載の諸条件を通知する責任を負うものといたします。
13. 本資料の全部または一部を当社の文書による事前の承諾を得ることなく転載または複製することを禁じます。
14. 本資料に記載されている内容または当社製品についてご不明な点がございましたら、当社の営業担当者までお問合せください。

注 1. 本資料において使用されている「当社」とは、ルネサス エレクトロニクス株式会社およびルネサス エレクトロニクス株式会社が直接的、間接的に支配する会社をいいます。

注 2. 本資料において使用されている「当社製品」とは、注 1 において定義された当社の開発、製造製品をいいます。

(Rev.5.0-1 2020.10)

## 本社所在地

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24（豊洲フォレシア）

[www.renesas.com](http://www.renesas.com)

## お問合せ窓口

弊社の製品や技術、ドキュメントの最新情報、最寄の営業お問合せ窓口に関する情報などは、弊社ウェブサイトをご覧ください。

[www.renesas.com/contact/](http://www.renesas.com/contact/)

## 商標について

ルネサスおよびルネサスロゴはルネサス エレクトロニクス株式会社の商標です。すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。